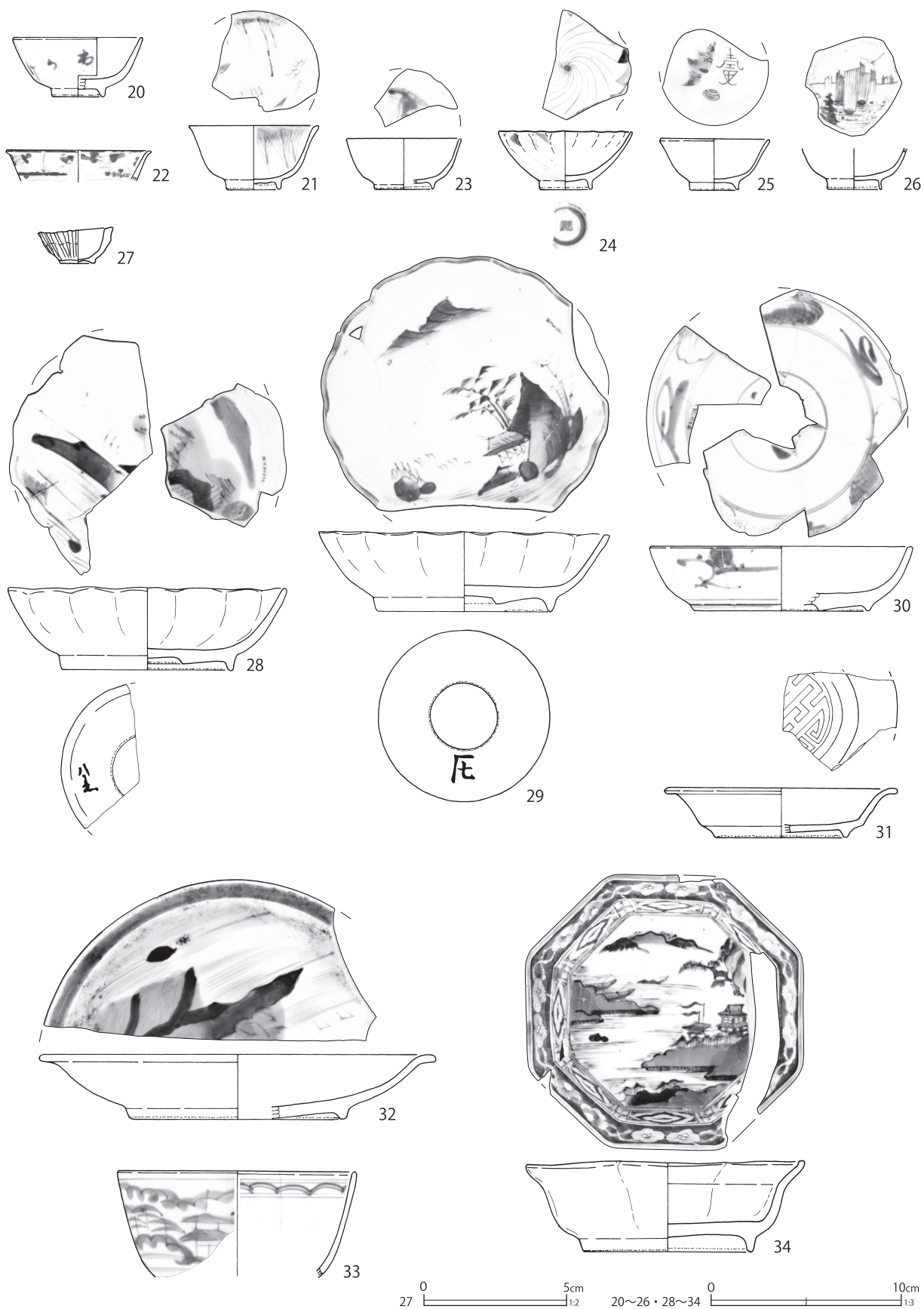
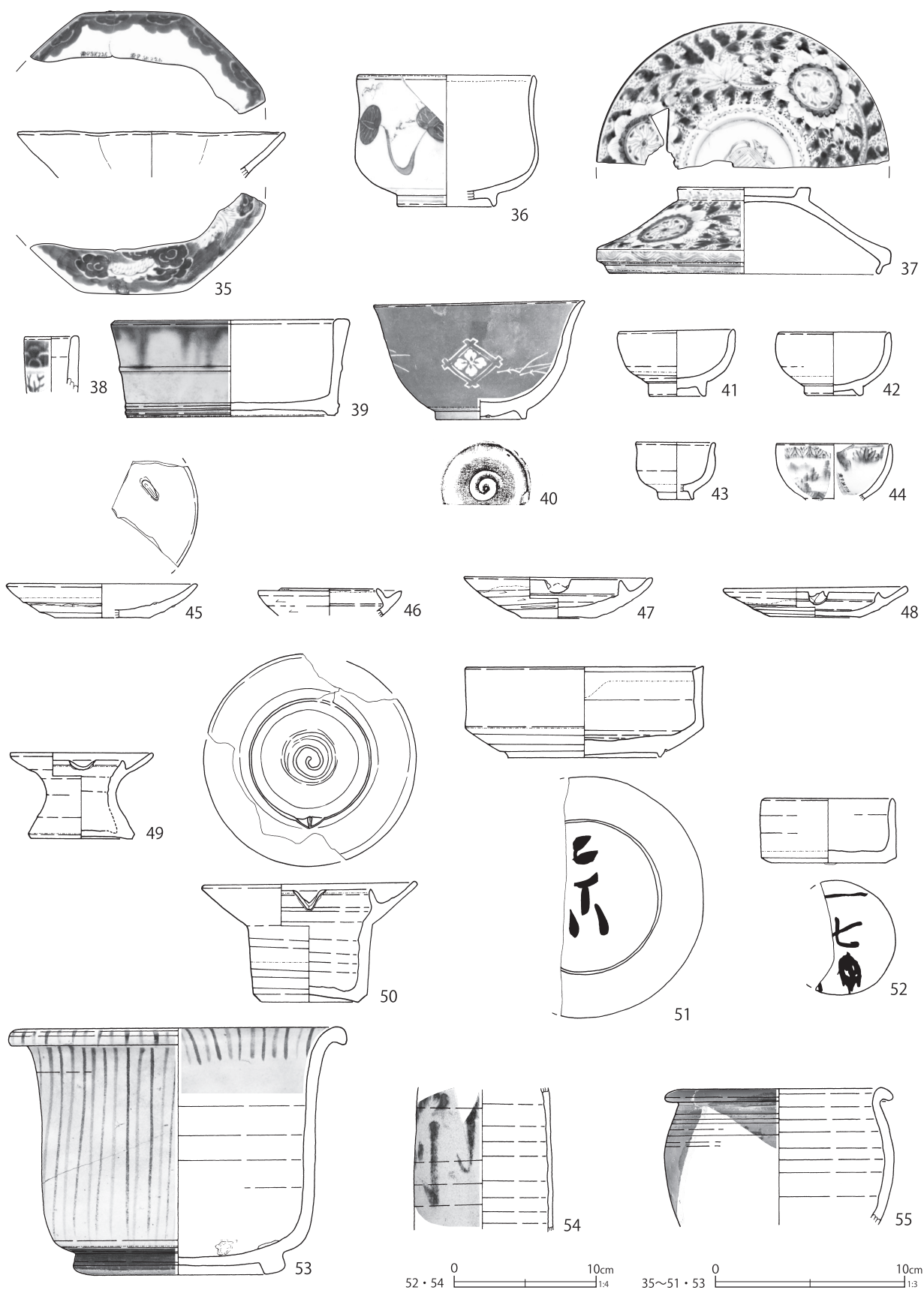




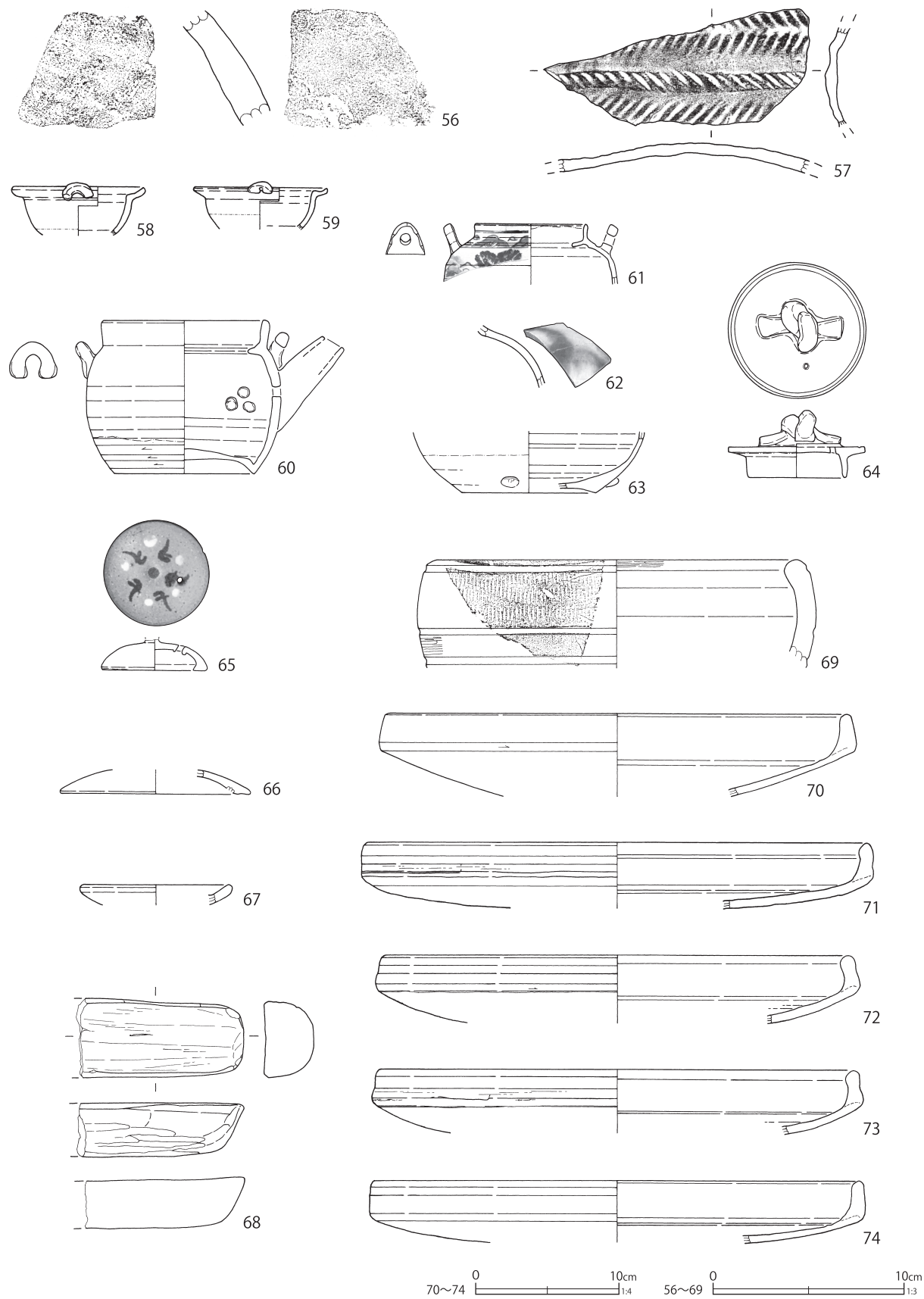
第 389 图 第 226 号土壙出土遺物 (1)



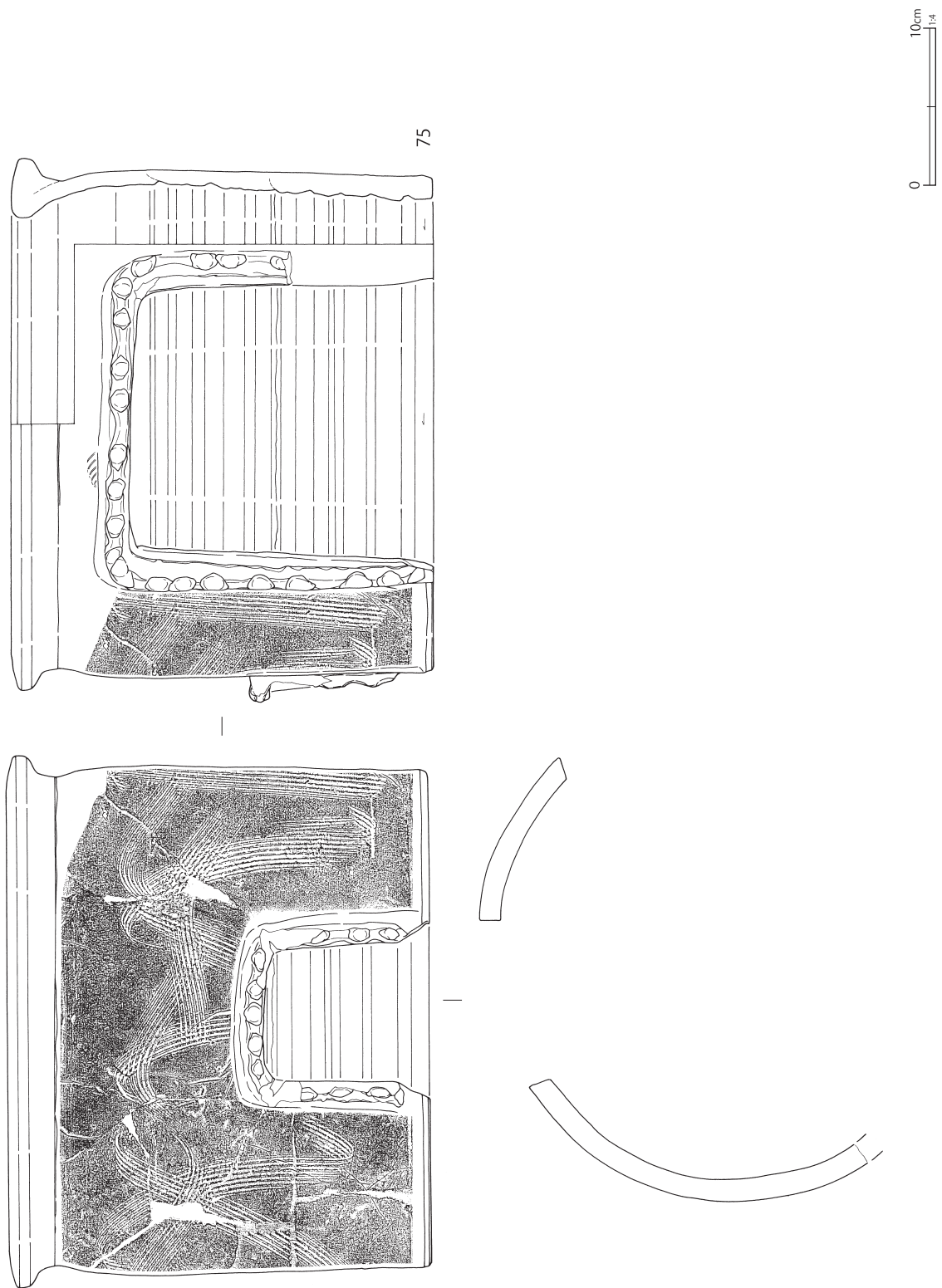
第 390 图 第 226 号土壙出土遺物 (2)



第 391 图 第 226 号土壙出土遺物 (3)



第 392 图 第 226 号土壙出土遺物 (4)



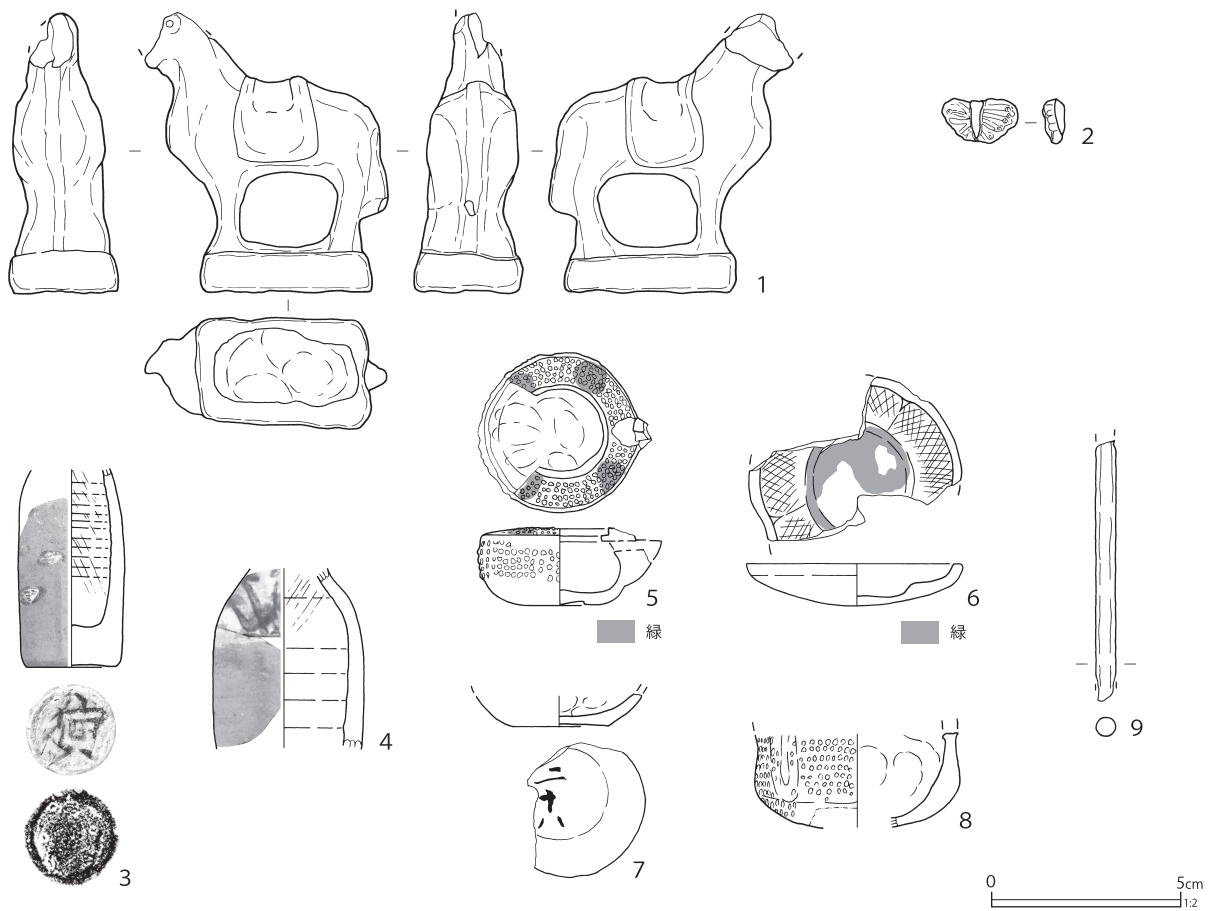
75

第 393 图 第 226 号土坑出土遗物 (5)

第188表 第226号土壙出土遺物観察表(1)(第389~393図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	10.5	6.0	3.9	-	70	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗)	203-5
2	磁器	碗	10.6	5.9	4.1	-	100	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗)	204-1
3	磁器	碗	10.5	6.0	4.2	-	60	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	204-2
4	磁器	碗	(10.3)	6.1	4.3	-	55	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(白) 弱く被熱・煤付着 (端反碗)	204-3
5	磁器	碗	8.7	4.7	3.5	-	60	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗) 同文別個体1あり	204-4
6	磁器	碗	(9.3)	[4.9]	(4.0)	-	35	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	
7	磁器	碗	(8.8)	[3.8]	-	-	25	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付 (端反碗)	
8	磁器	蓋	3.3	2.8	8.9	-	85	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋) 少量煤付着	204-5
9	磁器	蓋	3.7	2.9	9.3	-	80	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋) 少量煤付着	204-6
10	磁器	蓋	4.1	2.9	10.0	-	70	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋)	204-7
11	磁器	碗	(8.0)	6.1	4.4	-	45	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	204-8
12	磁器	碗	6.9	5.5	3.2	-	50	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	
13	磁器	碗	7.4	6.0	3.6	-	70	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	205-1
14	磁器	碗	7.1	6.1	3.7	-	70	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗) 少量煤付着	205-2
15	磁器	碗	(6.9)	6.1	(3.5)	-	40	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面木型打込施文・染付 (湯呑形碗) 少量煤付着 同文別個体1あり	
16	磁器	碗	6.8	5.8	3.4	-	95	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	205-3
17	磁器	碗	(8.4)	7.9	(5.0)	-	35	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 外面中位、釉拭き取り後に鉄絵・白盛絵付 少量煤付着	205-4
18	磁器	碗	(12.2)	5.2	(4.4)	-	15	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	
19	磁器	猪口	(8.3)	5.8	(4.8)	-	45	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 外面染付	205-5
20	磁器	坏	(6.7)	[3.1]	(2.6)	-	50	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 外面染付	205-6
21	磁器	坏	(6.8)	3.3	2.8	-	30	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面染付	
22	磁器	坏	(7.4)	[1.6]	-	-	10	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付	
23	磁器	坏	(5.9)	2.6	(3.0)	-	20	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面染付(卵殻手酒杯)	
24	磁器	坏	(6.9)	[3.0]	(2.6)	-	35	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付	205-7
25	磁器	坏	(5.7)	2.6	2.5	-	70	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(紫・緑・赤・黄)(卵殻手酒杯)	205-8
26	磁器	坏	-	[2.1]	2.8	-	60	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(青) 少量煤付着	206-1
27	磁器	坏	2.6	1.3	1.2	-	100	良好	白	SK226	肥前系 型成形 内外面施釉 紅坏	
28	磁器	皿	(14.5)	4.3	(8.8)	-	60	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 内面染付 蛇の目状高台 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤) 少量煤付着	206-2
29	磁器	皿	15.2	4.2	9.0	-	80	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 口紅 内面染付 蛇の目状高台 墨書「E」	206-3
30	磁器	皿	(13.6)	3.4	9.1	-	65	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付「□らや」 蛇の目状凹形高台	
31	磁器	皿	(11.8)	2.6	(6.8)	-	20	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面押施文	206-4
32	磁器	皿	(20.4)	3.3	(11.0)	-	30	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 内面染付 煤付着	
33	磁器	鉢	(12.4)	[5.5]	-	-	25	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付	
34	磁器	鉢	14.6	4.8	8.8	-	85	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 内面染付 焼き継ぎ痕 同文別個体1以上あり	206-5
35	磁器	鉢	(14.0)	[2.4]	-	-	10	普通	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
36	磁器	蓋物	(9.2)	6.9	(5.0)	-	35	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 外面染付	
37	磁器	蓋	(7.0)	4.5	(14.2)	-	45	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 外面染付 最大径 (15.5) cm	206-6
38	磁器	御神酒德利鉢	2.5	[2.9]	-	-	5	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	
39	陶器	鉢	12.0	5.0	10.9	-	75	良好	灰白	SK226	淡路珉平系 内外面黄色釉 口縁部緑釉流掛	206-7
40	陶器	碗	10.9	6.2	4.6	K	50	良好	にぶい橙	SK226	内外面灰釉 外面白盛絵付	206-8
41	陶器	坏	5.9	3.5	2.9	I	95	良好	浅黄橙	SK226	瀬戸美濃系 内外面灰釉	207-1
42	陶器	坏	5.8	3.3	3.0	E	60	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面灰釉	207-2
43	陶器	坏	(4.0)	3.0	(1.8)	-	40	良好	灰白	SK226	京都信楽系 内外面透明釉	207-3
44	陶器	坏	(6.0)	[2.9]	-	-	15	普通	白	SK226	内外面施釉・白土染付	207-4
45	陶器	灯明皿	(10.0)	1.8	(5.0)	E	15	良好	褐灰	SK226	内面〜口縁部灰釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕	
46	陶器	灯明皿	(7.6)	[1.4]	-	K	10	良好	灰白	SK226	大堀相馬系 内外面鉄釉	
47	陶器	灯明皿	9.8	2.1	3.9	EH	80	良好	にぶい黄橙	SK226	瀬戸美濃系 内外面柿釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕 煤付着	
48	陶器	灯明皿	9.4	1.6	4.8	EI	95	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面柿釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕	
49	陶器	灯火具	(7.6)	4.5	5.2	IK	70	良好	灰白	SK226	京都信楽系 内外面透明釉	
50	陶器	灯火具	11.0	6.3	5.1	EI	70	良好	灰白	SK226	大堀相馬系 内外面鉄釉	207-5
51	陶器	香炉	(13.0)	4.9	8.4	E	50	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内面上位〜外面灰釉 底部墨書	
52	陶器	餌入れ	(6.7)	3.5	5.9	EI	45	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面灰釉 底部墨書「[E]」	207-7
53	陶器	水鉢	(22.4)	17.3	12.2	EIK	60	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面灰釉 呉須絵・鉄絵	207-6
54	陶器	爛德利	-	[7.4]	-	K	10	良好	灰白	SK226	京都信楽系 外面透明釉・鉄絵(文字)	207-8
55	陶器	甕	(14.2)	[9.6]	-	E	15	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面柿釉 外面鉄釉流掛	
56	陶器	甕	-	[5.9]	-	DE	10	良好	明褐灰	SK226	常滑 中世	
57	陶器	不明	-	-	-	K	10	良好	灰白	SK226	内外面柿釉 施文(型押施文か) 縦 [6.0] cm 横 [13.8] cm	208-1
58	陶器	鍋	(6.8)	[2.5]	-	EI	20	良好	にぶい橙	SK226	内外面柿釉 ミニチュアの可能性あり	
59	陶器	鍋	(6.8)	[2.5]	-	E	15	良好	明褐灰	SK226	内外面柿釉 ミニチュアの可能性あり	
60	陶器	土瓶	8.5	8.0	7.3	IK	70	普通	明赤褐	SK226	外面鉄釉	208-2
61	陶器	土瓶	(5.8)	[3.1]	-	I	5	普通	褐灰	SK226	外面施釉・絵付(緑・黄・青・茶)	208-3
62	陶器	土瓶	-	[3.1]	-	K	5	良好	灰白	SK226	大堀相馬系か 外面糠白釉・緑釉流掛 63と同一個体	208-4
63	陶器	土瓶	-	[3.1]	(7.0)	HIK	15	良好	灰白	SK226	大堀相馬系か 外面糠白釉 露胎部煤付着	208-4
64	陶器	蓋	-	3.5	5.0	K	95	良好	灰白	SK226	大堀相馬系か 外面鉄釉, 一部緑釉流掛 穿孔1 最大径 7.1 cm	208-5
65	陶器	蓋	-	[1.6]	5.4	EI	95	普通	赤褐	SK226	上面灰釉 鉄絵・白盛絵付 穿孔1	208-6
66	土師質土器	蓋	-	[1.2]	(9.9)	AI	10	普通	灰	SK226	(土瓶の蓋)	208-7
67	施釉土器	灯明皿	(7.6)	[1.0]	-	HIK	5	普通	にぶい赤褐	SK226	江戸在地系 内外面透明釉	
68	瓦質土器	十能	-	[2.5]	-	CHI	10	普通	断面: 灰黄 表面: 灰	SK226	燻す 側面ヘラナデ 長 [8.7] cm 幅 4.2 cm	
69	瓦質土器	火鉢	(19.0)	[5.6]	-	EH	10	良好	灰黄褐	SK226	外面トビガンナ状施文 一部ミガキ	
70	土師質土器	焙烙	(32.2)	[5.7]	-	CEHI	30	普通	灰白	SK226	砂目底 外面煤付着	
71	土師質土器	焙烙	(35.0)	[4.6]	(35.9)	CEHIK	20	普通	灰白	SK226	砂目底	
72	土師質土器	焙烙	(32.3)	[4.7]	(33.6)	CEI	15	普通	灰白	SK226	砂目底 外面少量煤付着 73と同一個体か	
73	土師質土器	焙烙	(33.0)	[4.4]	(33.7)	CEHI	10	普通	灰白	SK226	砂目底 内外面煤付着	
74	土師質土器	焙烙	(34.0)	[4.3]	(34.0)	CEI	15	普通	灰白	SK226	砂目底 外面煤付着	
75	瓦質土器	竈	29.4	26.9	(31.4)	CHI	65	普通	褐灰	SK226	外面櫛描文施文 窓2箇所あり 燻す 煤付着	208-8



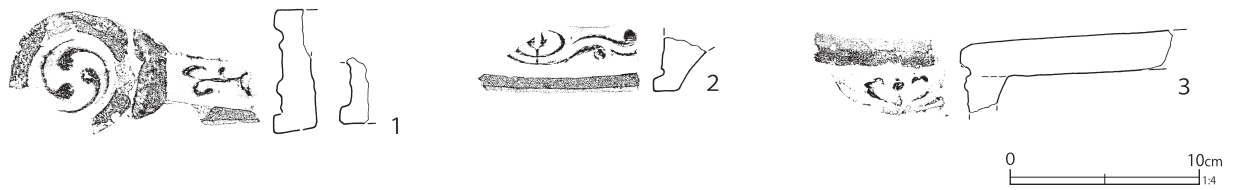
第 394 図 第 226 号土壌出土遺物 (6)

第 189 表 第 226 号土壌出土遺物観察表 (2) (第 394 図)

番号	種別	器種	幅/長	高さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版	
1	土製品	人形	2.9/[6.5]	[7.3]	-	47.7	AK	良好	にぶい褐	SK226	馬 左右合二枚型成形 中実 全面白化粧	244-14	
2	土製品	泥面子	2.0/[1.1]	-	0.6	0.8	AH	良好	橙	SK226	一枚型成形 芥子面 蝶 在地系	244-15	
番号	種別	器種	口径	器高	底径	重量	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版	
3	施釉土器	ミニチュア	-	[4.7]	2.4	10.4	K	良好	橙	SK226	江戸在地系 德利 胎土粉質 外面施釉 彩色(白・黒・緑) 底部墨書「寅」	245-1	
4	施釉土器	ミニチュア	-	[5.2]	-	21.2	AH	良好	橙	SK226	江戸在地系 德利 底部糸切痕(右) 外面施釉 絵付(白・黒)	244-17	
5	施釉土器	ミニチュア	(2.5)	2.0	2.5	15.9	E	良好	灰黄	SK226	京都系 上下合二枚型成形 外面緑釉	244-16	
6	施釉土器	ミニチュア	(5.6)	1.1	-	6.5	HK	良好	橙	SK226	江戸在地系 型成形 内面陽刻文 白土・緑釉 内外面施釉	244-18	
7	施釉土器	ミニチュア	-	[0.8]	2.5	3.9	AK	普通	灰白	SK226	京都系 上下合二枚型成形 上位施釉の痕跡 底部墨書「二十八」	245-2	
8	施釉土器	ミニチュア	-	[2.4]	-	13.6	A	普通	橙	SK226	江戸在地系 上下合二枚型成形 外面型押 陽刻文 施釉	244-19	
9	硝子製品	筭	長 [6.9] 幅 0.5 厚 0.5 重さ 6.0								SK226	透明 中実	

23・25は口縁部が端反になる卵殻手酒杯で、25は上絵付けで「壽」文や宝珠等を描く。24は口縁部を輪花状に仕上げるものである。26は内面に青の上絵付けで、船が浮かぶ水辺の文を描く。煤の付着があるが被熱痕か否かは判断し難い。

28・29は肥前系磁器の皿で、内面に山水楼閣文を染付し、口縁部を輪花状に仕上げるものである。高い蛇の目状高台を有す。28は焼き継ぎが施される。29は口紅が施される。高台内に墨書で「卍」と書かれている。30は肥前系磁器の皿



第 395 図 第 226 号土壙出土遺物（7）

第 190 表 第 226 号土壙出土遺物観察表（3）（第 395 図）

番号	種別	器種	長さ	幅	径	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	軒棧瓦	[4.7]	[13.3]	6.4	AIK	良好	灰白	SK226	左巻き 胎土硬質	
2	瓦	軒棧瓦	[3.4]	[8.1]	-	AIK	良好	灰白	SK226	胎土硬質	
3	瓦	軒棧瓦	[11.3]	[11.2]	-	AIK	良好	灰	SK226	被熱・黒化 胎土硬質	

で、内面外周に「と／ら／屋」銘を染付するものとみられる。栗橋宿跡第6地点に所在した「とら屋運平」に関わる遺物である。31は瀬戸美濃系磁器の型押壽文皿である。32は肥前系磁器の端反の皿で、内面に山水楼閣文を染付する。全体に煤が付着するが、被熱によるものではなく、廃棄後に付着したものであろう。33は肥前系磁器の鉢だが「大碗」としたほうが良いかもしれない。外面に山水楼閣文を染付する。34は肥前系磁器の八角形の鉢で、通常の八角鉢より器高は浅い。内面には精緻な山水楼閣文を描く。まったく同じサイズ・文様の鉢が、第105・121号土壙の火災廃棄遺物の中に複数認められる。35は鉢としたが器高が極めて浅く、蓋の可能性も否定できない。外面に雲竜文、内面口縁部に墨弾きで雲文を染付する。

37は肥前系磁器の蓋で、幅の広い環状のつまみを有す。外面には唐花文が染付される。

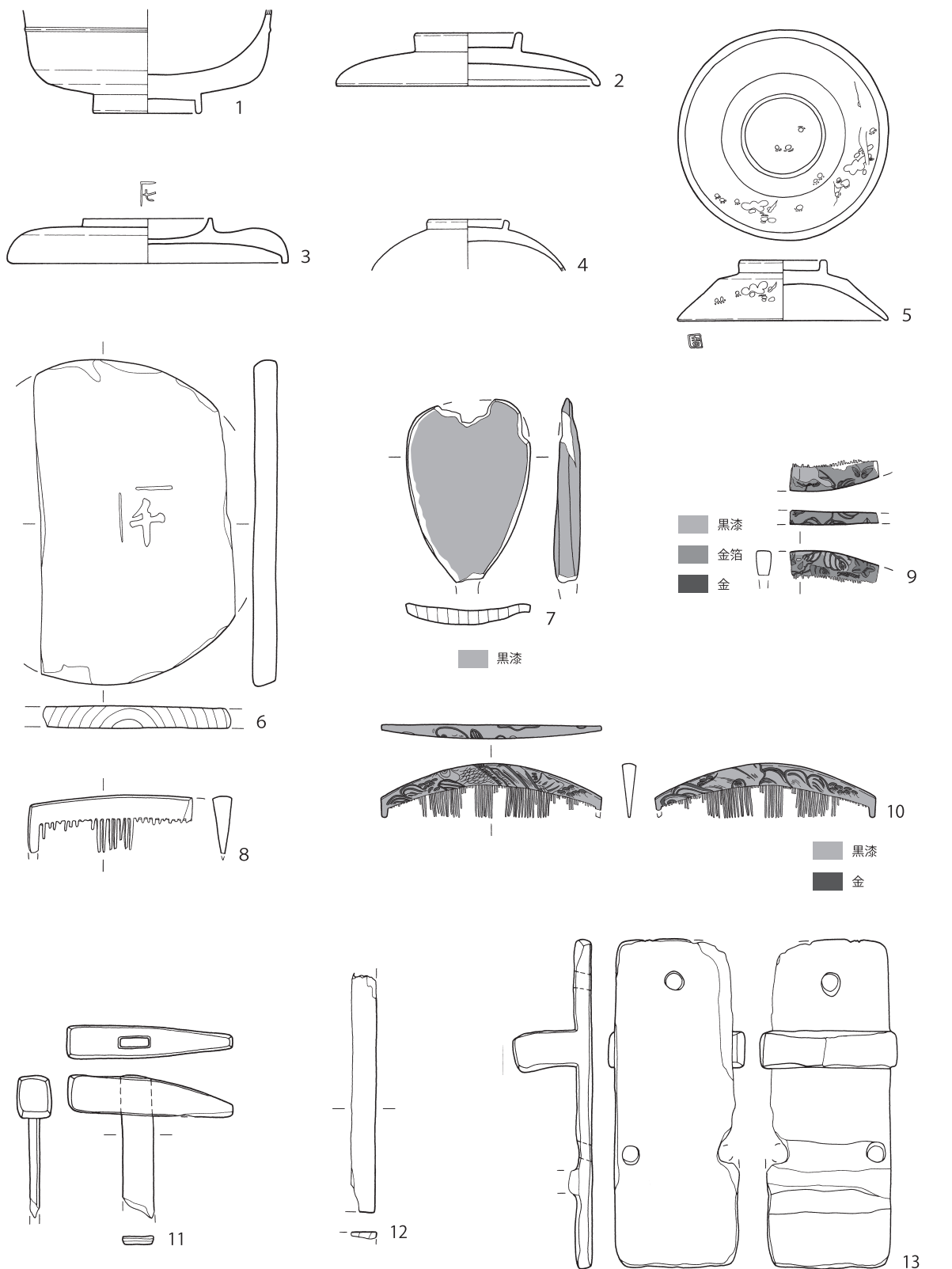
38は瀬戸美濃系陶器の徳利の口縁部で、御神酒徳利と思われる。外面に滲んだ染付が施される。39は淡路珉平系陶器の鉢で、黄色の釉薬に、口縁部から緑釉を流し掛けしている。

40は陶器の碗で端反のものである。胎土は緻密・硬質で、良く焼き締まって混入鉱物はほとんど見られない。色調はにぶい橙色であるが、釉下部分は還元して灰色を呈する。釉薬は暗い深緑色

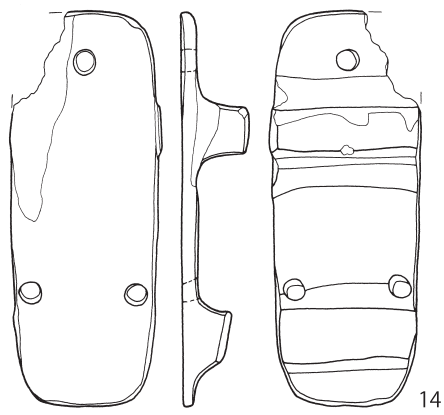
に発色する灰釉で、外面に白盛で絵付けがされる。高台は低くシャープで、高台内に渦巻き状のケズリを有す。

41・42は瀬戸美濃系陶器の坏で、灰釉を施す。40のほうが白色味の強い灰釉を用いる。いずれも高台端部はナデにより丸みを帯びる。43は京都信楽系陶器の小型の坏で、口縁部が端反になるものである。胎土は硬質・緻密で混入鉱物はほぼ見られない。44は産地不明の陶器坏で、白土染付を施すものである。

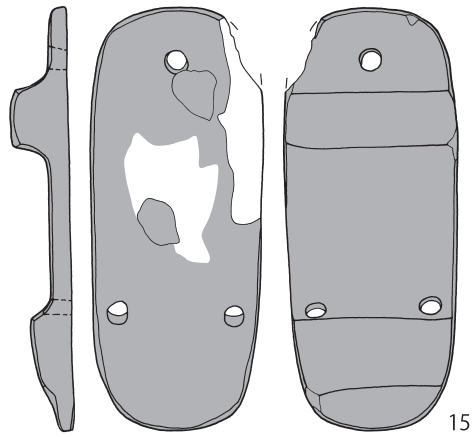
45～50までは陶器の灯火具類である。45は灯明皿（油皿）と思われる。内外面とも緑色味を帯びる灰白色の灰釉が施される。外面の釉薬の拭き取りや、環状重ね焼き痕の特徴は瀬戸美濃系陶器に準ずる。ただし、内面の重ね焼き痕が環状であるか否かは判断し難い。46は陶器の灯明皿（受皿）でやや小型のものに還元される。明るい褐色の鉄釉の色調や、胎土が50に準ずることから大堀相馬系陶器と判断した。47・48は瀬戸美濃系陶器の柿釉灯明皿（受皿）である。47はやや底部が厚いもので、柿釉はやや光沢がにぶい。受部径は6.8cm前後、U字状の切れ込みを有す。外面の重ね焼き痕は径6.4cmである。内外面ともに多量の煤が付着する。48はやや扁平のもので、柿釉は薄いため光沢が鈍く、少しムラがある。受部は低く、径6.5cm、U字形の切り込みを有す。外



第 396 図 第 226 号土壙出土遺物 (8)

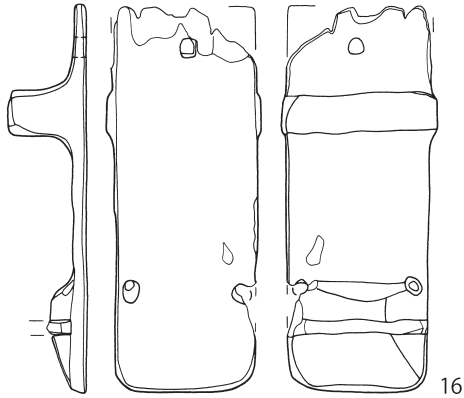


14

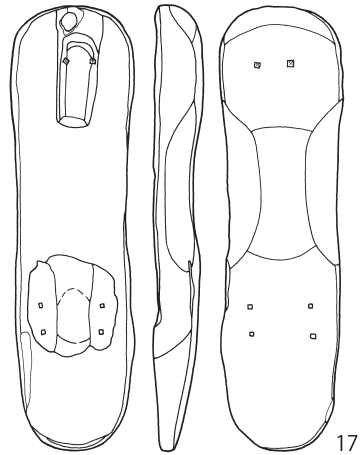


15

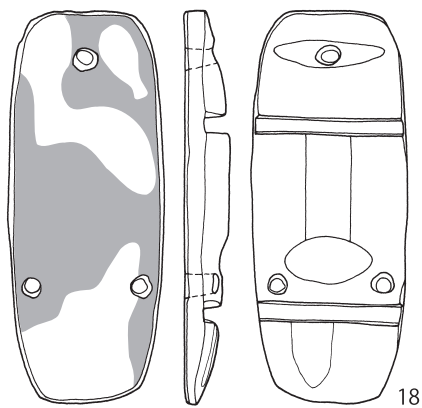
■ 黒漆



16

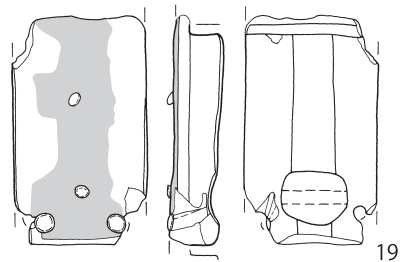


17



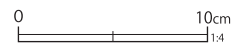
18

■ 黒漆



19

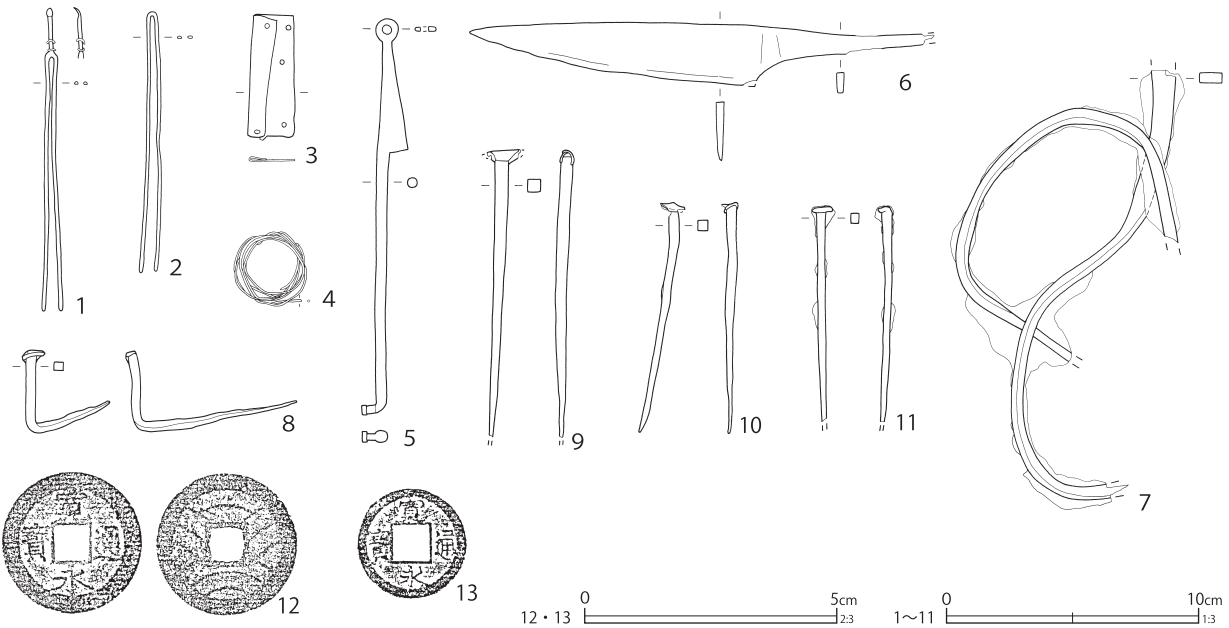
■ 茶漆



第 397 図 第 226 号土壙出土遺物 (9)

第 191 表 第 226 号土壌出土遺物観察表 (4) (第 396・397 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	漆椀	-	-	-	-	[5.1]	5.4	横木 取り	SK226	内面赤漆 外面黒漆	
2	木製品	漆椀蓋	つまみ径 5.3		-	12.9	2.6	-	横木 取り	SK226	内外面黒漆	
3	木製品	漆椀蓋	つまみ径 6.0		-	14.0	1.8	-	板目	SK226	前面黒漆つまみ内に金で「卍」	
4	木製品	漆椀蓋	つまみ径 (3.9)		-	-	[2.5]	-	横木 取り	SK226	内外面黒漆	
5	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.2		-	10.3	3.0	-	横木 取り	SK226	内面赤漆 金で「吉」 外面黒漆 金で文様	
6	木製品	桶	-	-	1.2	15.9	-	-	板目	SK226	蓋 焼印「千」	
7	木製品	杓子	[9.1]	6.2	1.3	-	-	-	榫目	SK226	前面黒漆	
8	木製品	櫛	[8.2]	[2.9]	0.9	-	-	-	板目	SK226		
9	木製品	櫛	[1.4]	[4.4]	0.7	-	-	-	板目	SK226	黒の上に金 金で文様	
10	木製品	櫛	11.0	2.7	0.7	-	-	-	榫目	SK226	表・裏・背黒漆 金で鯛滝登り 表・裏の 歯の上にけびき	
11	木製品	木槌	[7.0]	8.3	1.7	-	-	-	榫目	SK226		
12	木製品	板	[11.9]	[1.2]	0.3	-	-	-	板目	SK226	墨書「角屋七兵衛」他 第 241 表 40	298-10
13	木製品	下駄	21.7	9.2	-	-	5.1	-	板目	SK226	連歯下駄	
14	木製品	下駄	20.8	7.7	-	-	3.6	-	板目	SK226	連歯下駄	
15	木製品	下駄	22.2	9.2	-	-	3.5	-	板目	SK226	陰卯下駄 中と側面、裏爪先に黒漆あり	
16	木製品	下駄	20.3	7.5	-	-	4.2	-	板目	SK226	後歯下駄	
17	木製品	下駄	23.5	6.0	-	-	2.5	-	板目	SK226	無眼下駄 木釘残 2 孔 4 鋌 1	
18	木製品	下駄	20.7	7.7	-	-	[2.4]	-	板目	SK226	連歯下駄 表面黒漆	
19	木製品	下駄	[12.2]	7.2	-	-	[2.2]	-	板目	SK226	陰卯下駄 表残存 鋌 4	



第 398 図 第 226 号土壌出土遺物 (10)

面の重ね焼き痕は径6.6cmである。49は京都信楽系陶器の灯火具で脚付きの灯明皿である。受部径は4.2cmで、上端は釉剥ぎされる。50は大堀相馬系陶器の灯火具で、深い油溜めを有す。釉薬は明るい褐色である。内底面から体部にかけては渦巻

き状にロクロナデ、油溜り部の外面はケズリ後に施釉、底部は回転ケズリ後に周囲を弱くナデ調整するらしい。

51は瀬戸美濃系陶器の香炉で、黄色味の強い灰釉が掛けられる。底部に墨書がある。52も瀬

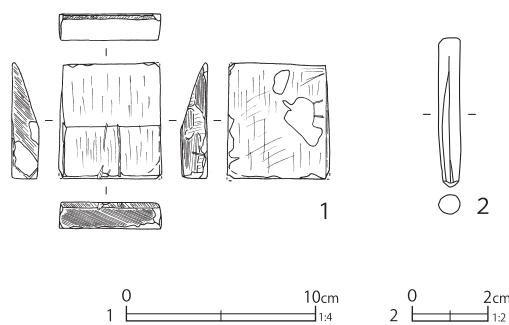
第 192 表 第 226 号土壙出土遺物観察表 (5) (第 398 図)

番号	種別	器種	分量	遺構	備考	図版
1	銅製品	簪	長さ 12.0 厚さ 0.1 重さ 3.5	SK226	飾り欠失 折れ曲がる 縁に小孔 5 径約 2 cm の棒状品に括り 付けられていた形状を残 す	274-1
2	銅製品	簪	長さ 10.3 幅 0.5 厚さ 0.1 重さ 3.0	SK226		274-1
3	銅製品	不明	縦 [4.9] 横 1.9 厚さ 0.05 重さ 2.6	SK226		
4	銅製品	針金	縦 2.9 横 2.9 厚さ 0.1 重さ 2.3	SK226		
5	鉄製品	鍵	長さ 15.7 幅 1.2 厚さ 0.4 重さ 19.1	SK226	寛永通寶 (新) 11 波 寛永通寶 (新)	275-1
6	鉄製品	包丁	長さ [18.5] 刃長 11.5 刃幅 2.3 背幅 0.3 重さ 43.1	SK226		
7	鉄製品	不明	縦 [17.1] 横 [8.8] 厚さ (0.4) 重さ 109.1	SK226		
8	鉄製品	釘	長さ 3.2 幅 0.4 厚さ 0.4 重さ 5.4	SK226		
9	鉄製品	釘	長さ [11.3] 幅 0.5 厚さ 0.5 重さ 14.3	SK226		
10	鉄製品	釘	長さ 9.1 幅 0.4 厚さ 0.4 重さ 5.3	SK226		
11	鉄製品	釘	長さ [8.5] 幅 (0.3) 厚さ (0.4) 重さ 3.9	SK226		
12	銅製品	銭貨	径 28.1 厚さ 1.1 重さ 4.2	SK226		
13	銅製品	銭貨	径 21.8 厚さ 1.0 重さ 2.4	SK226		

戸美濃系陶器で、把手の欠失した餌入れであろう。底部に墨書「卍」と亀と見られる絵が描かれる。53は瀬戸美濃系陶器の水甕で、内外面ともに灰釉、外面から内面上位には鉄絵・呉須絵で縦線を絵付けする。外面下位露胎部と高台内は鉄化粧するが、壺付部はこれを行わない。内底面に砂目の目跡が四箇所残るが、本来は五箇所あったものであろう。54は京都信楽系陶器の爛徳利で、外面に鉄絵で文字を書くものらしい。55は瀬戸美濃系陶器の柿釉甕で、柿釉は光沢が強い。56は常滑焼の甕で、中世の所産と考えられる。57は産地不明、器種不明の陶器で、光沢の強い柿釉を施釉し、外面全面に型押し施文される。胎土は硬質である。器形が想定できなかつたので、図示した上下も想定に過ぎない。58・59は小型の柿釉鍋（両手鍋）で、サイズからミニチュア・玩具類の可能性もある。

60～63は、陶器の土瓶である。60は鉄釉の土瓶で、胎土は煉瓦色を呈する。61は白土の上から彩色される土瓶である。62・63は同一個体の

土瓶片で、外面に糠白釉が掛けられ、上部の破片には緑釉が流し掛けされる。二彩釉であったことが分かる。胎土は灰白色で緻密である。大堀相馬系陶器の可能性が考えられる。64・65は陶器の蓋である。64は土瓶の蓋で明るい褐色の鉄釉が施され、紐をアレンジしたつまみの部分に青緑釉が流し掛けされる。胎土や釉薬から、大堀相馬系陶器の可能性が高い。65も断面がドーム形を呈する土瓶蓋と思われる。内面露胎部の胎土は赤褐色だが、釉下で還元している部分は暗灰色である。釉薬は鼠色に発色し、白盛・鉄絵で絵付け



第 399 図 第 226 号土壙出土遺物 (11)

第 193 表 第 226 号土壙出土遺物観察表 (6) (第 399 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	砥石	6.1	5.4	1.4	82.8	頁岩	SK226	側縁部ノコギリ痕 表刃物痕 砥面 2	283-2
2	石製品	石筆	3.9	径 0.5		2.7	滑石	SK226	白色不透明	

される。つまみは欠失する。66は土器の土瓶蓋で、胎土に雲母が含まれる。施釉されず、上面は丁寧なナデが施される。

67は江戸在地系土器の灯明皿で、透明釉が施された受皿である。脚が付く可能性もある。68は十能の把手で、上面は強いナデが施され、工具ナデの可能性がある。側面は粗くミガキが施される。69は瓦質土器の丸火鉢で、口縁部と外面の横区画内はミガキが施され、トビガンナ状の施文がみられる。

70～74は、土師質土器の焙烙である。いずれも在地系の土器であるが、70は底部が薄く、底面の細かい砂目痕が弱くナデ消しされるなど、特徴的である。71～74は厚手の焙烙で、栗橋宿跡では一般的に見られるものである。75は瓦質土器の竈で、正面の窓とは別に、側面側にも小型の窓が付くものである。窓の周囲は、指圧で凹凸を加えた隆帯が巡り、体部外面には櫛歯状文が施文される。

本跡から出土した陶磁器は、全体的に栗橋8期頃の様相を示している。磁器の碗類では湯呑形碗が主体で、次いで端反碗が多い。全体的な様相から、18・22などは後世の混在と判断される。

第394図は土製品と硝子製品である。1は馬を模した土製品で、左右型合せ成形である。全体に白色の塗布物が認められる。2は土製品の泥面子で、蝶を模したものである。3～8は土製品のミニチュアである。3・4は爛徳利を模したもので、透明釉の上から白土・鉄絵・緑釉等で絵付けを行う。3は底部糸切後に墨書（「寅」か）が認められる。いずれも江戸在地系である。5は銚子の模倣で透明釉に緑釉を散らす。京都系である。6は皿で口唇部に白土、内底面は白土上から緑釉が施される。江戸在地系である。7は京都系の器物で、上下型合せの部分で欠損・下部のみが遺存する。底部に「二十八」の墨書がある。8は何らかの器物であろうか。平面形は四隅が窪んで花

形、上下型合せの部分で欠損して下側のみの遺存である。表面には柚子肌状の細かい凸凹があり、透明釉は底部には施釉しない。江戸在地系である。9は硝子製の筭である。

第395図1～3は出土した瓦で、軒棧瓦を示した。

第396・397図は木製品である。1は漆碗で、体部中位に線状の装飾を施す。2～5は漆碗蓋である。3は肩部が張る器形である。つまみ内は挿鉢状であり、金で「卍」の文字が書かれる。5は外面に丸みがなく、口縁部に向かって直線的に開く器形である。内面は赤漆塗りで、金で「吉」の文字が書かれる。8～10は櫛である。9・10は漆塗りで、全面に文様を施す。11は木槌である。柄の厚さは0.5cmほどと薄く、工具としては華奢なつくりである。19は陰卯下駄である。台には表が付けられていたと考えられ、鉾が四箇所残存する。

第398図1～11は金属製品である。1・2は銅製の簪、3は折れ曲がって潰れた状態の銅製品であるが用途は不明である。4は銅製の針金、5は鉄製品の鍵である。6は鉄製の包丁、7は用途不明の鉄製品である。8～11は鉄釘、12・13は寛永通寶である。

第399図1は頁岩製の砥石で、再加工されて短くなっているものであろう。表面側には刃ならし痕状の深い傷が認められる。側面はノコギリ状工具痕がみられる。2は石筆で、石材は白色不透明である。使用部分は先細りに削られている。上端は欠損のようだが、周囲を僅かに使用している。

陶磁器（第389～393図）のうち、11の磁器湯呑形碗や34の磁器八角鉢は、第7区画の第105・121号土壌の被熱遺物に同文・同形のもの認められる。しかし、本跡から出土したものに被熱は認められない。29・52の陶磁器や第396図3の漆器に書かれた「卍」の文字は、第7区画の「旅籠屋 七兵衛」の店印である。従って、本跡の出

土遺物の一部が、第7区画の居住者・七兵衛と関連する可能性が高い。本跡は、第7区画第105・121号土壌に関わる火災時期より確実に降る時期であり、19世紀第Ⅱ四半期の火災を免れた遺物が、伝世して投棄された可能性が高い。

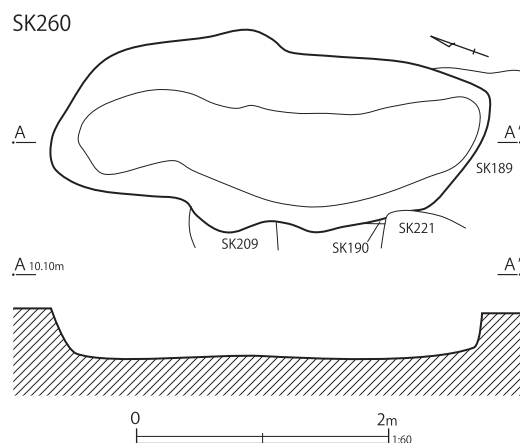
第260号土壌（第400～412図）

区画中央部より西側、E 7-I 5グリッドに位置する。土壌が密集する範囲であり、第189・190・209・221号土壌と重複している。遺構の新旧関係や土層については調査時の記録が無いが、検出レベルの差から第189・190号土壌（栗橋9期）より本跡の方が古いとみられる。長軸3.5m、短軸1.55m軸の不整形の土壌である。

なお、本跡は第一次調査で上面の掘削・調査を行った。その後、第二次調査の精査によって、完掘しきっていないと判断され、再度下層の調査が行われている。遺物の様相を確認してみると、第一次調査の出土陶磁器の方が明らかに新しく、結果的には、下層と上層は別の遺構を掘削した可能性が高い。遺構図も掘り上がりの形状が記録されているのみである。これは、下層側として扱った部分の遺構と考えられる。以下には、主に第二次調査で扱った下層の資料を中心に扱う。

第401～403図には出土した陶磁器を示した。

1は肥前系磁器の小丸碗で、やや大振りである。外面上位には、斜格子・市松文様を染付する。2・3は肥前系磁器の筒形碗である。4は肥前系磁器の端反碗で、一部に染付を施した後、赤などで色絵が施される。5・6も肥前系磁器の端反碗で、比較的小型の物である。5に焼き継ぎ痕が認められる。7は瀬戸美濃系磁器の端反碗で、小型のものである。外面に山水楼閣文を染付する。口縁部の反りはやや大きい、体部下位が特に厚くなる。8・9の端反碗にも焼き継ぎ痕が認められる。8は肥前系磁器で、「福／壽」文などを染付する。焼き継ぎ印は「ト六六」であろうか。9は瀬戸美濃系磁器で、内外面に花文の染付



第400図 第260号土壌

を散らす。焼き継ぎ印は消えて判読し難いが、「ト四八」であろうか。

10・11は碗蓋である。10は肥前系磁器の丸碗蓋で、細い線画で花文や、丸枠内に水辺の景色を染付する。11は瀬戸美濃系磁器の端反碗蓋で、完形である。全面に縦格子状に染付を施す。

12は肥前系磁器碗の底部で、端反碗の底部であろうか。焼き継ぎ印は一部消えて読み難いが、「ト十二」「□ハ」（ないし「□八」）であろうか。13～15は瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗である。13は、変形の蕪文を対向して二単位染付する。釉薬は白っぽい不透明色、呉須の発色も悪い。14は、草花文を三単位染付する。15は輪違文を染付するもので、厚手だが、底部は極めて薄い。

16は肥前系磁器で小型サイズの猪口である。口縁部に瓔珞状の輪宝文が染付される。17は瀬戸美濃系磁器の端反の坏で、外面に崩れた雲龍文が染付される。

18は瀬戸美濃系磁器の卵殻手酒杯と思われるが、湯呑形碗を小型化したような形である。外面に上絵付けで文字が書かれている。19は瀬戸美濃系磁器の坏で「くりはし／鯉こく／稻荷屋」の上絵付け銘を有す。

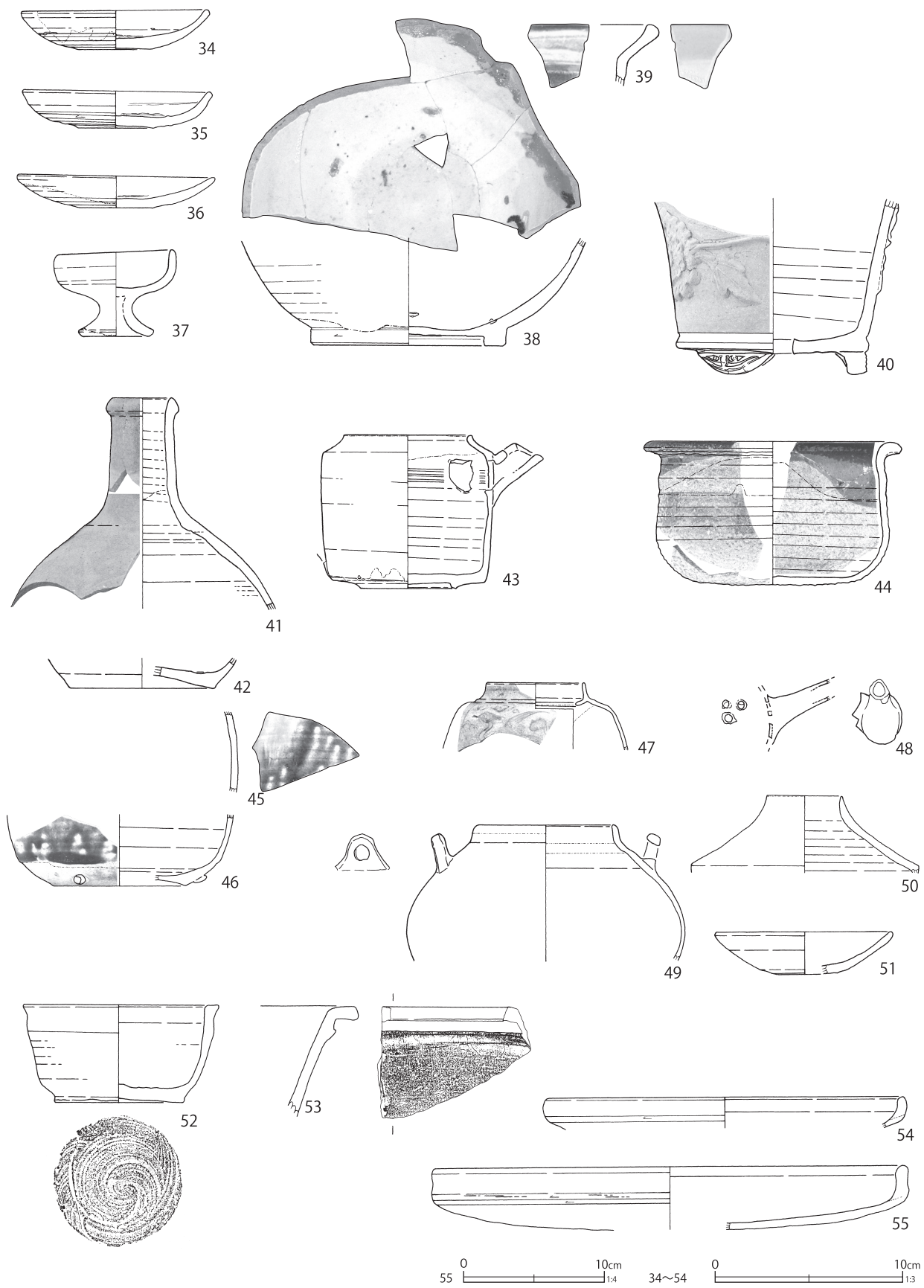
20・21は肥前系磁器の皿で、いずれも口縁部を輪花状に成形するものである。21には焼き継ぎ痕が顕著に残り、蛇の目状高台の露胎部には、



第 401 図 第 260 号土壙出土遺物 (1)



第 402 図 第 260 号土壙出土遺物 (2)



第403図 第260号土壙出土遺物(3)

第194表 第260号土壙出土遺物観察表(1)(第401~403図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(8.2)	5.9	3.4	-	60	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (小丸碗)	
2	磁器	碗	6.4	5.4	3.3	-	90	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (筒形碗)	211-5
3	磁器	碗	6.7	5.2	3.7	-	70	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (筒形碗)	
4	磁器	碗	(10.5)	[4.6]	-	-	30	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付・色絵(赤・金・紫・黄) (端反碗)	211-6
5	磁器	碗	9.5	[3.8]	-	-	35	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕 (端反碗)	212-1
6	磁器	碗	(8.4)	4.8	3.2	-	40	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗)	
7	磁器	碗	9.1	5.1	3.4	-	95	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	212-2
8	磁器	碗	(11.1)	6.1	4.5	-	25	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	212-3
9	磁器	碗	10.4	6.0	4.3	-	95	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)「ト[四カ]八」	212-4
10	磁器	蓋	3.7	2.7	9.4	-	85	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付	213-2
11	磁器	蓋	3.6	2.6	8.9	-	100	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋)	213-3
12	磁器	碗	3.9	[2.0]	-	-	25	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)「□ハ」「ト[十カ]ニ」	212-5
13	磁器	碗	6.9	6.2	3.5	-	70	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付 (湯呑形碗)	213-4
14	磁器	碗	(6.9)	5.1	3.0	-	50	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	
15	磁器	碗	(8.1)	6.3	(3.8)	-	25	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕 (湯呑形碗)	
16	磁器	猪口	(4.9)	3.1	(3.2)	-	30	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付	213-6
17	磁器	坏	(5.8)	3.3	(2.3)	-	40	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	212-6
18	磁器	坏	(4.3)	3.2	(1.9)	-	15	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉 対面上絵付 口紅 (卵殻手酒杯)	212-7
19	磁器	坏	-	[1.9]	2.4	-	55	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(金)「くりはし/鯉こく/稻荷屋」	213-1
20	磁器	皿	(13.3)	4.8	(7.5)	-	40	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 煤付着	
21	磁器	皿	15.1	5.0	8.5	-	95	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印 蛇の目状高台	214-1
22	磁器	鉢	16.0	5.7	8.7	-	60	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付 蛇の目状高台 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	
23	磁器	鉢	(13.5)	6.8	6.6	-	60	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 蛇の目状高台	213-5
24	磁器	香炉	(9.8)	7.1	6.9	-	60	良好	白	SK260	肥前系 口縁部~外面施釉 外面染付	213-7
25	磁器	香炉	(8.5)	5.2	3.9	-	50	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付 墨書	214-2
26	磁器	蓋	-	1.5	4.3	-	95	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉 外面染付	214-3
27	磁器	蓋	-	2.7	6.9	-	100	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉 外面染付	214-4
28	磁器	御神酒德利	(1.7)	[14.5]	-	-	40	良好	白	SK260	肥前系 外面施釉・染付	
29	磁器	爛德利	2.6	[20.8]	-	-	65	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	
30	陶器	皿	-	[1.9]	(7.0)	BH	15	良好	灰白	SK260	瀬戸美濃系 内外面長石釉・高台内拭き取り 内面鉄絵 (志野皿)	214-5
31	陶器	皿	(12.2)	2.7	(5.5)	DEIK	30	良好	褐灰	SK260	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面露胎部煤付着 直重ね焼き痕	214-6
32	陶器	灯明皿	-	[2.6]	4.7	EIK	40	良好	灰褐	SK260	志戸呂系 内外面鉄釉	215-1
33	陶器	灯明皿	9.4	2.1	4.3	EIK	100	良好	にぶい黄橙	SK260	瀬戸美濃系 内外面柿釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕 外面煤付着	215-2
34	陶器	灯明皿	9.7	2.1	3.9	K	100	良好	灰黄褐	SK260	瀬戸美濃系 内外面柿釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕	
35	陶器	灯明皿	9.9	2.0	4.0	EIK	100	良好	灰黄褐	SK260	瀬戸美濃系 内外面柿釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕	
36	陶器	灯明皿	10.3	1.7	4.0	EIK	100	良好	にぶい黄橙	SK260	瀬戸美濃系 内外面柿釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕	
37	陶器	仏飯器	6.0	4.5	3.4	K	95	良好	灰白	SK260	瀬戸美濃系 内外面灰釉	215-3
38	陶器	鉢	-	[5.7]	10.0	I	20	良好	にぶい黄橙	SK260	高台内一方向ヘラナデ・墨痕 内面糠白釉・上位緑釉流掛 外面灰釉	
39	陶器	鉢	-	[3.3]	-	I	-	良好	灰白	SK260	内面糠白釉 外面灰釉 38と同一個体	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
40	陶器	植木鉢	-	[9.3]	10.2	D	50	良好	灰	SK260	外面施文	215-4
41	陶器	徳利	3.0	[11.2]	-	IK	15	良好	黄灰	SK260	外面灰釉 口縁部緑釉流掛	
42	陶器	瓶類か	-	[1.6]	(7.6)	D	5	良好	灰	SK260	備前系 炆器質	215-5
43	陶器	水注	6.7	8.1	5.1	IK	70	良好	にぶい黄橙	SK260	瀬戸美濃系 外面柿釉	215-6
44	陶器	香炉か	(12.6)	7.6	-	IK	25	良好	にぶい橙	SK260	松岡系か 口縁部鉄釉 外面下位灰釉 (下方ほど鮫肌釉状)	215-7
45	陶器	土瓶	-	[4.2]	-	K	5	良好	灰白	SK260	大堀相馬系 外面青緑釉・鉄釉掛け分け	
46	陶器	土瓶	-	[3.7]	(7.0)	K	15	良好	灰白	SK260	大堀相馬系 外面鉄釉	216-1
47	陶器	土瓶	(5.1)	[3.5]	-	I	15	良好	灰	SK260	外面白化粧・施釉・絵付(青・緑・黒)	216-2
48	陶器	土瓶		[3.5]	-		5	良好	浅黄橙	SK260	京都信楽系 外面緑釉	
49	陶器	土瓶	7.2	[7.2]	-	I	20	良好	浅黄橙	SK260	外面青緑釉	
50	陶器	土瓶	(3.9)	[4.1]	-	K	5	良好	灰白	SK260	外面青緑釉 上下接点ない2破片から図上復元	
51	施釉土器	灯明皿	(9.2)	2.2	(3.5)	IK	20	普通	橙	SK260	底部糸切痕 内外面透明釉 胎土粉質 口縁部煤付着	
52	瓦質土器	鉢	10.2	5.2	6.8	CIK	55	普通	黒褐	SK260	底部離糸切痕 燻す(全体黒化)	216-3
53	土師質土器	器台か		[5.9]	-	AIK	5	普通	にぶい橙	SK260	三河系 内外面煤付着	
54	土師質土器	焙烙	(25.4)	[2.2]	(25.2)	AEHIK	10	普通	にぶい橙	SK260	江戸在地系 砂目底 胎土粉質 小型	
55	土師質土器	焙烙	(33.4)	[4.5]	(33.2)	CEHIK	25	普通	灰白	SK260	底部シワ状痕	

三箇所焼き継ぎ印が残る。22は瀬戸美濃系磁器の鉢で、型紙摺絵染付が施された駄知井形のものである。焼き継ぎ印は判読が難しいが「ひ九」「口十九」であろうか。23は肥前系磁器の八角鉢である。24は肥前系磁器の香炉で、外面に山水楼閣文を染付する。内面と高台内は全て露胎とする。25は瀬戸美濃系磁器の香炉、釉薬は僅かに緑色味を帯び、外面には山水文を染付する。円盤状の底部は露胎とし、墨書が認められる。「ヤト口／四十」と読めるが、「ヤ」部分が「中」である可能性も残る。判読できない一文字は、「ハ」・「八」・「リ」・「ヒ」・「日」などの可能性があるが、文意が取れず確定は困難である。なお、第6区画、第251号土壇の遺物にも、「ヤトヒ」と判読できる墨書が認められる。

26・27は肥前系磁器の蓋でいずれもほぼ完形のものである。26はサイズから合子の蓋の可能性はある。28は肥前系磁器の御神酒徳利で、頸部は蛸唐草文、体部には若杉文等が染付される。29は瀬戸美濃系磁器の爛徳利で、やや大型である。山水楼閣文を染付する。

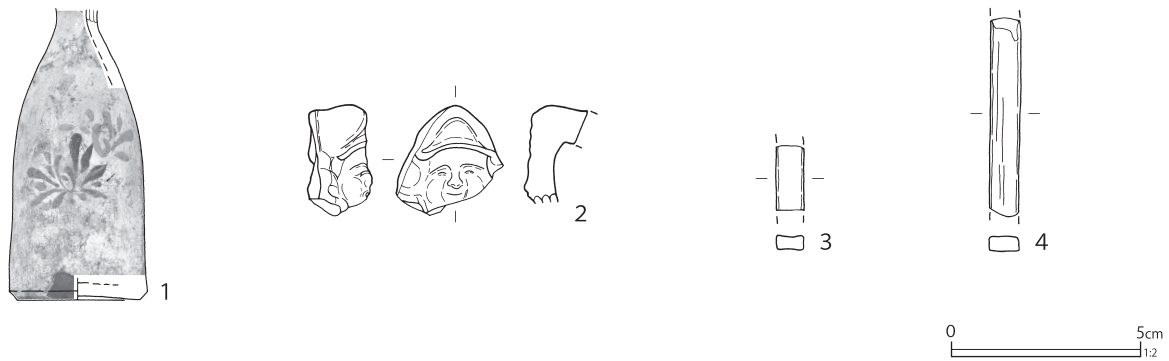
30は瀬戸美濃系陶器の皿で、17世紀に遡る

「志野鉄絵皿」である。高台内は露胎とする。

31は瀬戸美濃系陶器の皿で、口縁部は僅かに端反となり、内底面に環状の重ね焼き痕を有するものである。高台部を中心とした露胎部に煤が顕著に付着している。

32～36までは、陶器の灯明皿である。32は志戸呂系陶器で、このタイプとしてはかなり厚手である。受部の切れ込みは半円形孔で、二箇所が遺存するが、本来は三箇所であろう。外面下位から底部は回転ケズリで成形している。33～36は瀬戸美濃系陶器の柿釉灯明皿で、いずれもほぼ完形である。33は受皿で、受部は低く、切れ込みはU字形である。受部径は6.4cm、外面に残る重ね焼きの痕跡は径6.6cm程である。外面に少し煤が付着する。34は赤味が強い柿釉が施され、内底面には径3cm内外の重ね焼き痕が残る。35はやや口縁部の立ち上がり強く、内底面に径4.3～5.0cm程の楕円形の重ね焼き痕が残る。36も赤みが強く、光沢が強い柿釉が施されるもので、内面に径4.0～4.5cmの環状の重ね焼き痕が残る。

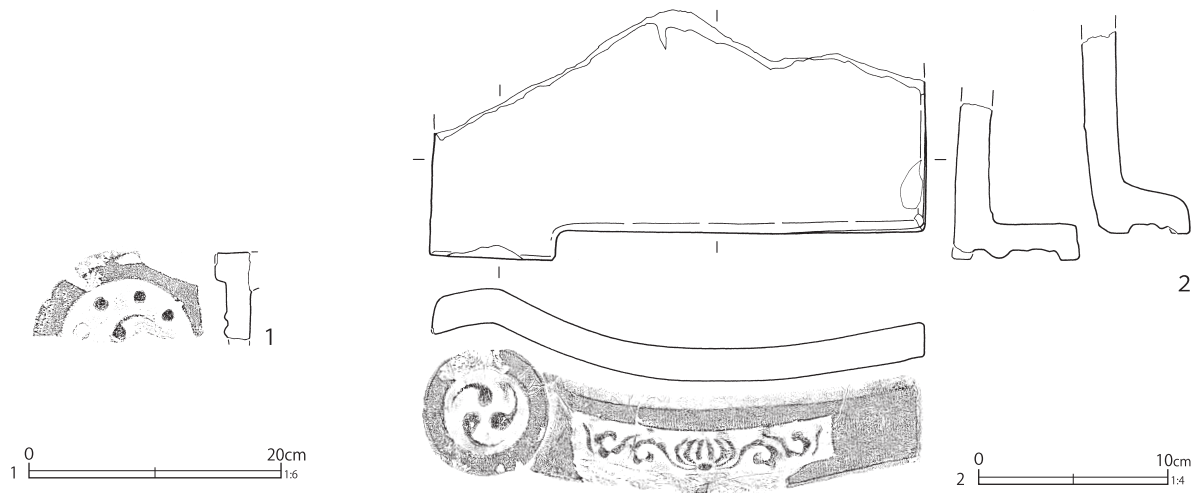
37は瀬戸美濃系陶器の仏飯器である。胎土・灰釉とも浅い卵色を帯びる。



第 404 図 第 260 号土壙出土遺物 (4)

第 195 表 第 260 号土壙出土遺物観察表 (2) (第 404 図)

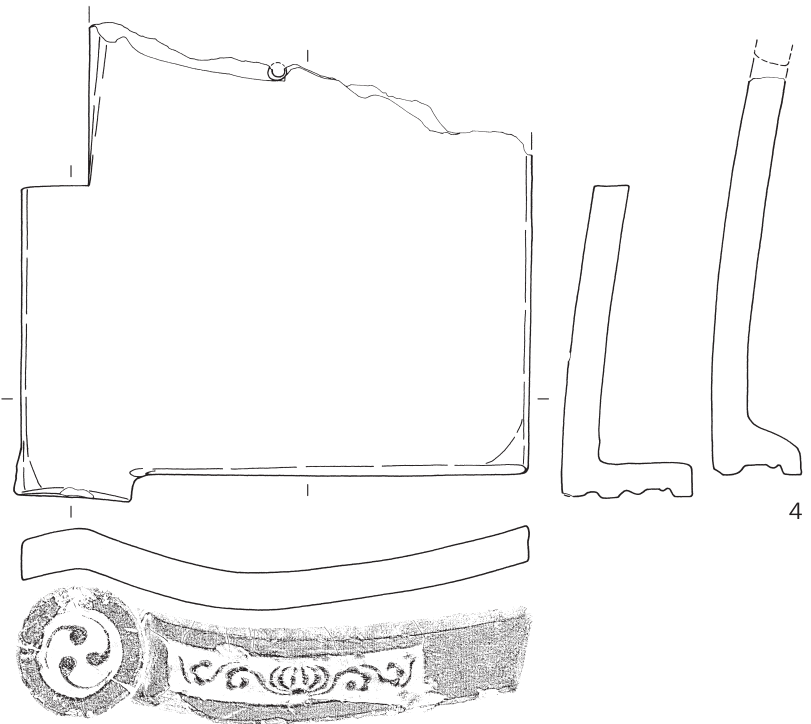
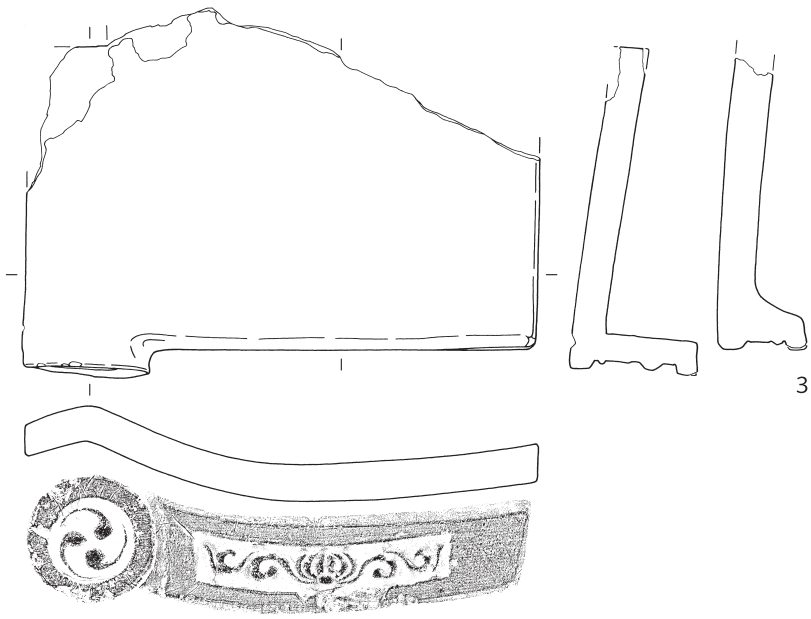
番号	種別	器種	口径	器高	底径	重量	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版	
1	施釉土器	ミニチュア	-	[7.8]	3.3	47.4	A I	普通	橙	SK260	江戸在地系 徳利 内外面白化粧 外面彩色 (赤・橙) 被熱か	245-7	
番号	種別	器種	幅 / 長	高さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版	
2	土製品	人形	[2.8] / [2.9]	-	1.7	6.9	A K	良好	にぶい橙	SK260	江戸在地系 恵比壽 前後合二枚型成形 中空 彩色 (赤) 僅かに遺存	245-8	
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	遺構	備考				図版	
3	硝子製品	筭	[1.9]	0.7	0.4	1.0	SK260	透明 中実					284-6
4	硝子製品	筭	[5.2]	0.8	0.4	6.0	SK260	透明 中実 被熱 (黄白色化)					284-6



第 405 図 第 260 号土壙出土遺物 (5)

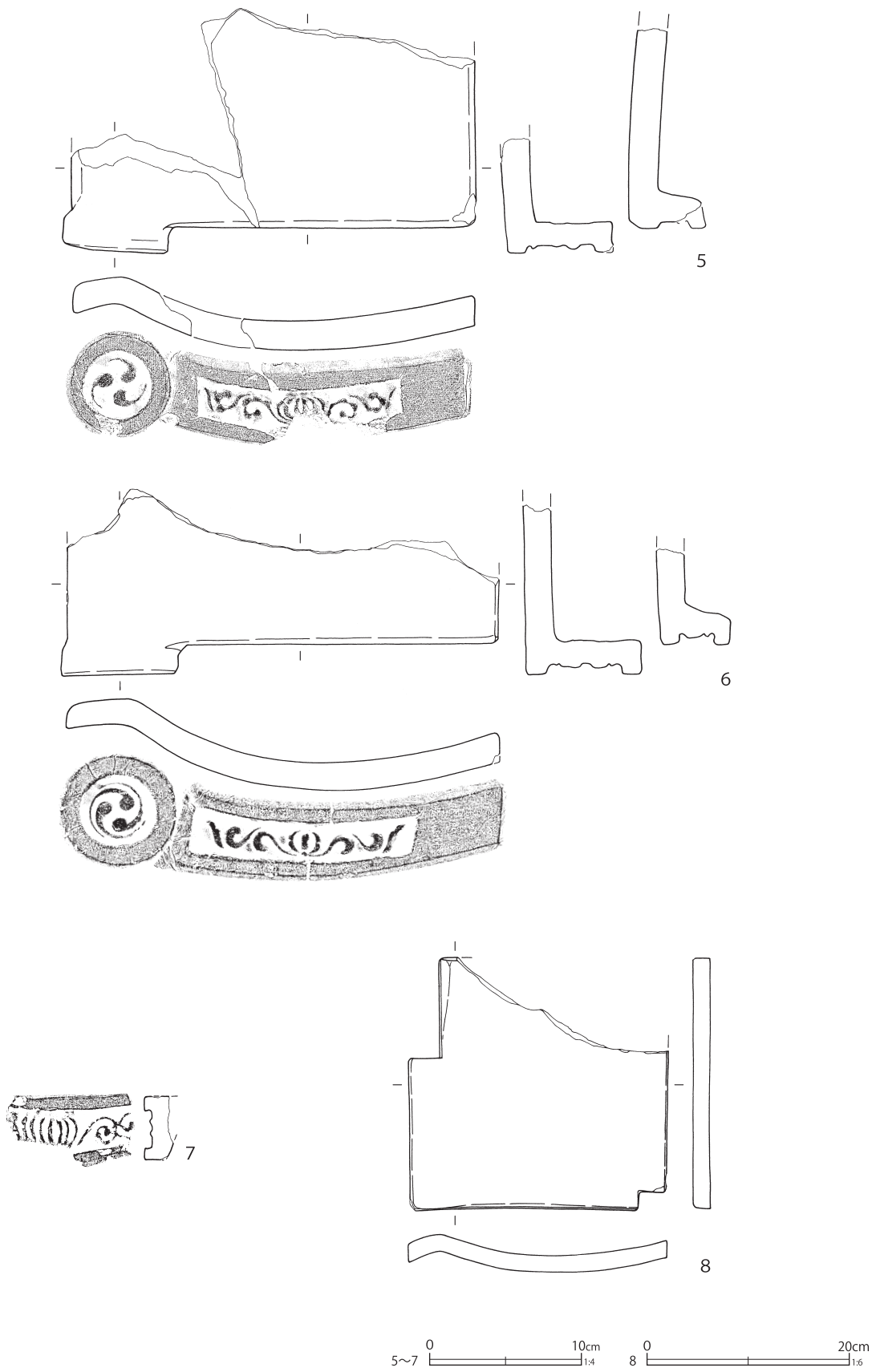
第 196 表 第 260 号土壙出土遺物観察表 (3) (第 405 ~ 407 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	径	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	軒丸瓦	[3.2]	[13.4]	(16.0)	ACIK	普通	灰白	SK260	左巻き	
2	瓦	軒棧瓦	[13.6]	[26.8]	6.8	C	普通	灰白	SK260	右巻き	255-7
3	瓦	軒棧瓦	[20.6]	27.4	6.7	ACHIK	普通	灰白	SK260	右巻き	255-8
4	瓦	軒棧瓦	[25.4]	27.3	6.8	AIK	普通	灰白	SK260	右巻き	256-1
5	瓦	軒棧瓦	[16.3]	27.2	7.0	CI	普通	灰白	SK260	右巻き	256-2
6	瓦	軒棧瓦	[12.3]	[28.8]	7.6	ACIK	普通	灰白	SK260	右巻き	256-3
7	瓦	軒棧瓦	[2.3]	[8.6]	-	IK	普通	灰白	SK260		
8	瓦	棧瓦	25.2	25.7	-	ACIK	普通	灰	SK260		

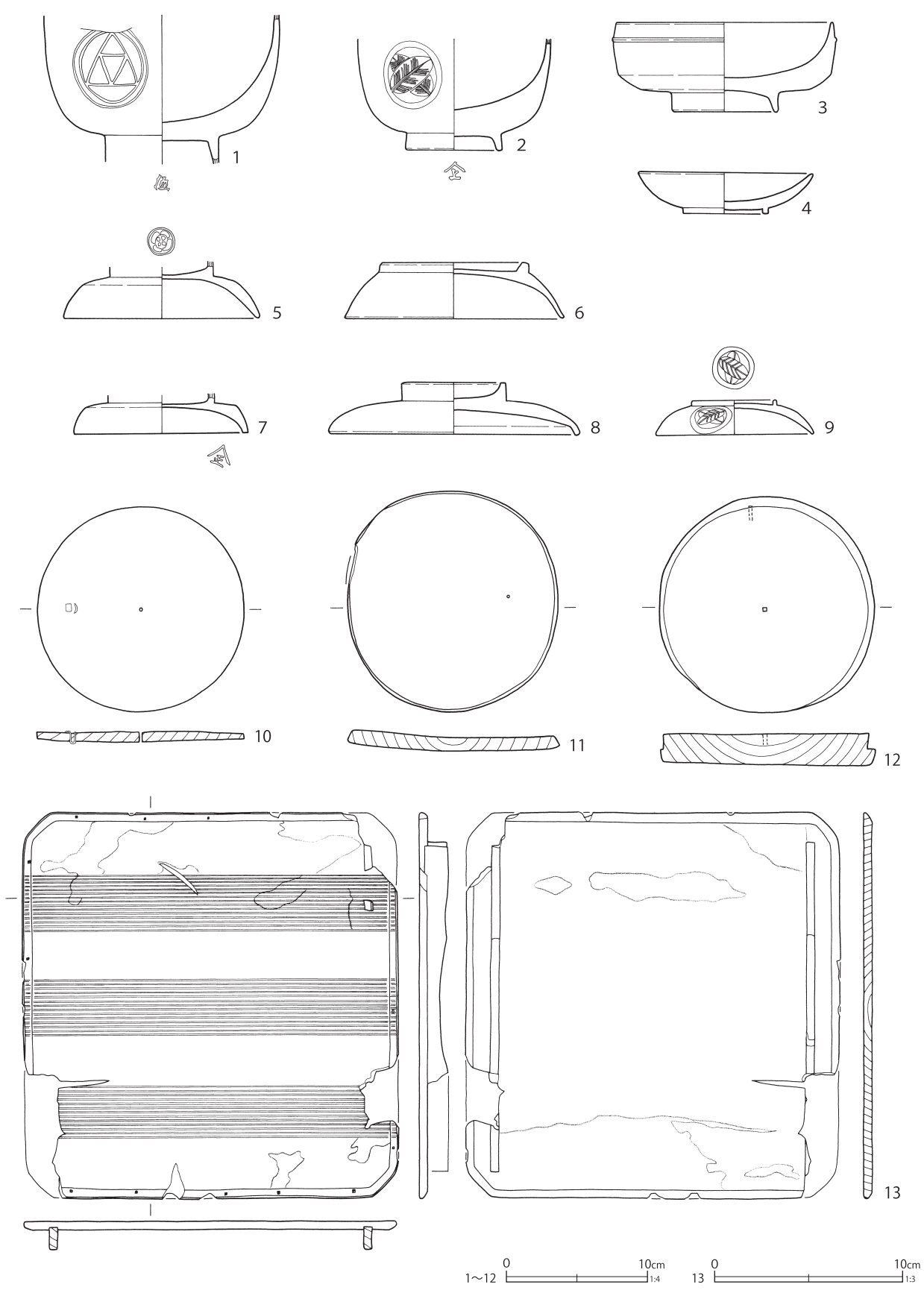


0 10cm
1:4

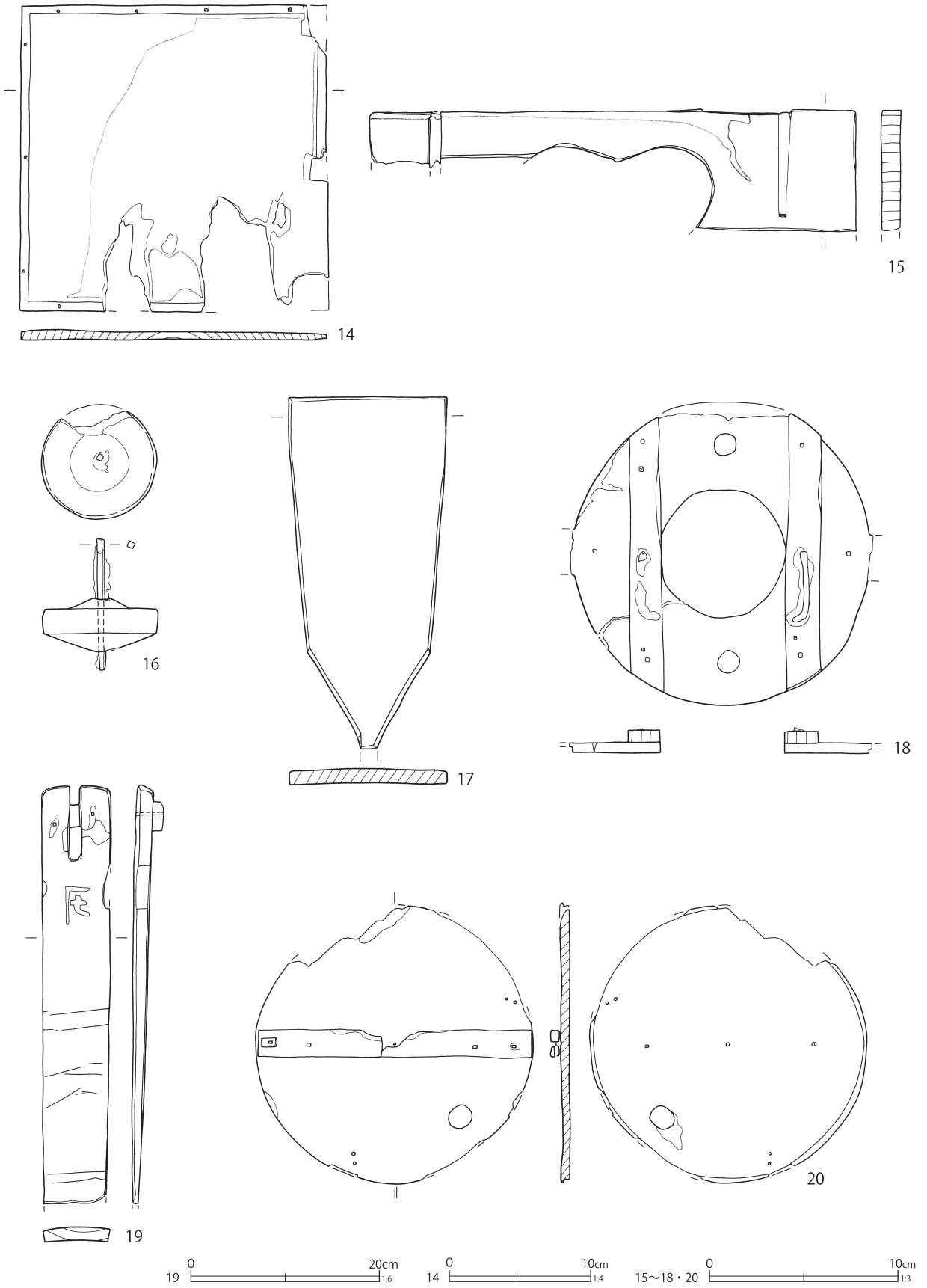
第 406 図 第 260 号土壙出土遺物 (6)



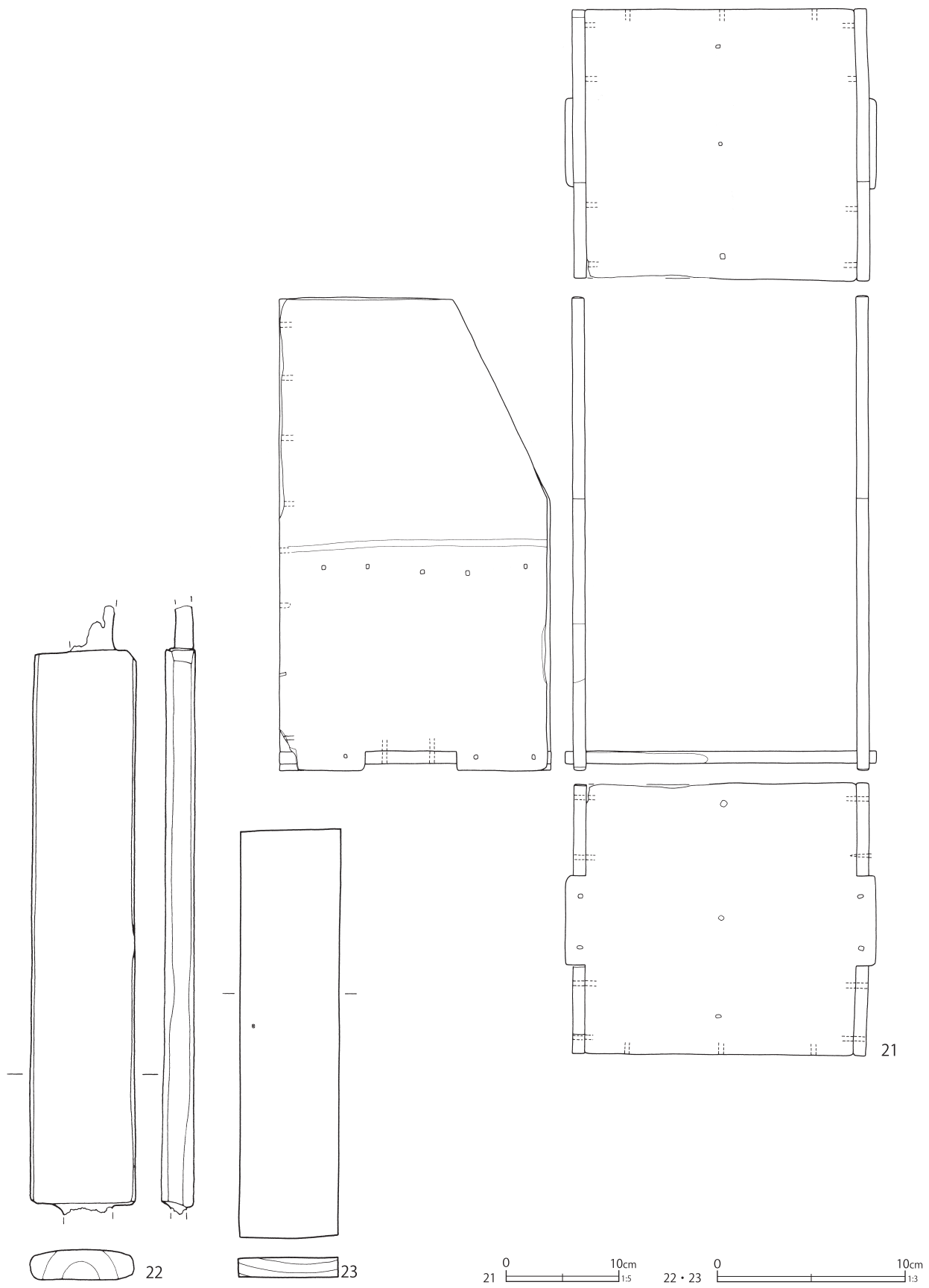
第 407 图 第 260 号土壤出土遺物 (7)



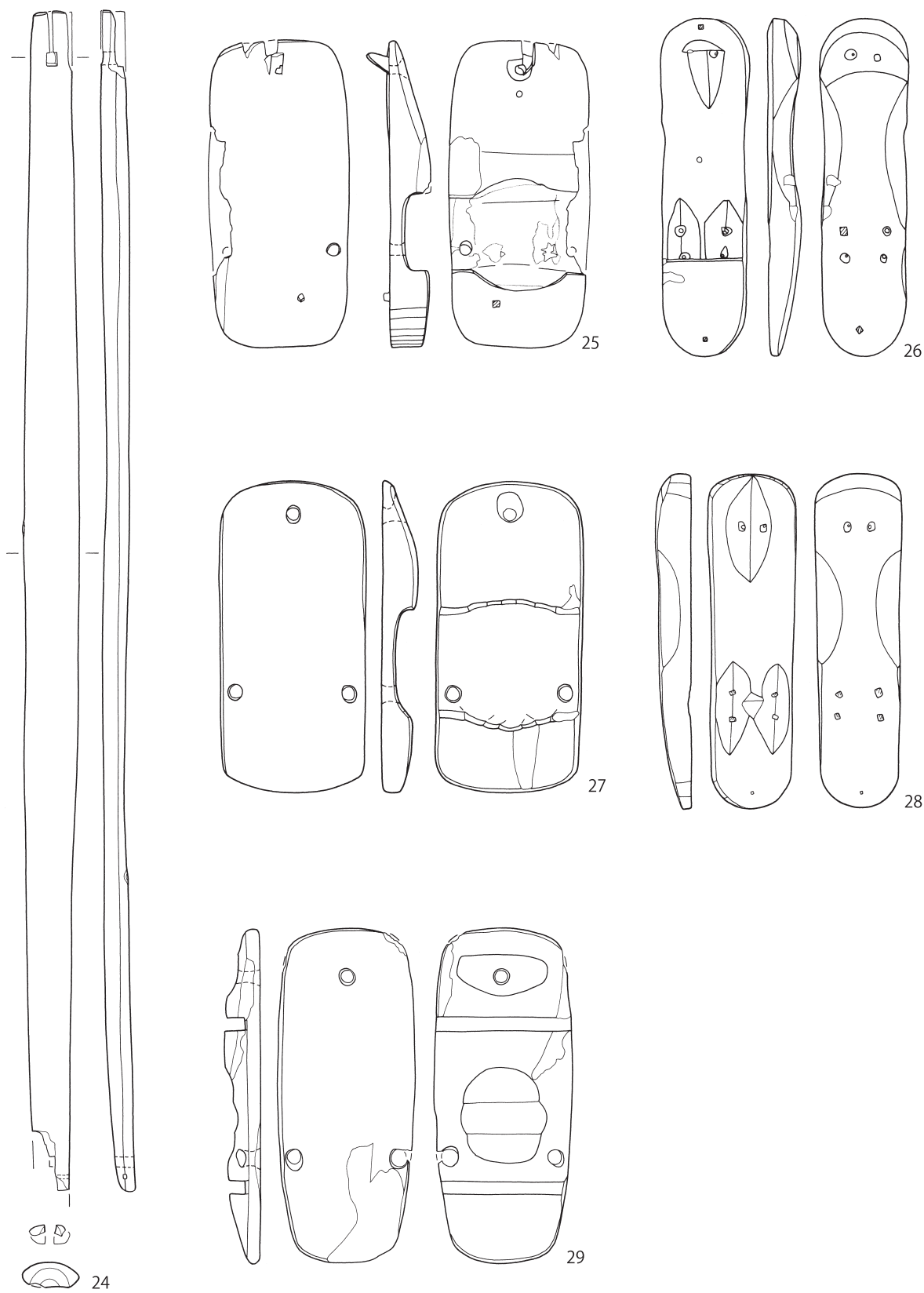
第 408 図 第 260 号土壙出土遺物 (8)



第 409 图 第 260 号土壤出土遺物 (9)



第410図 第260号土壙出土遺物(10)

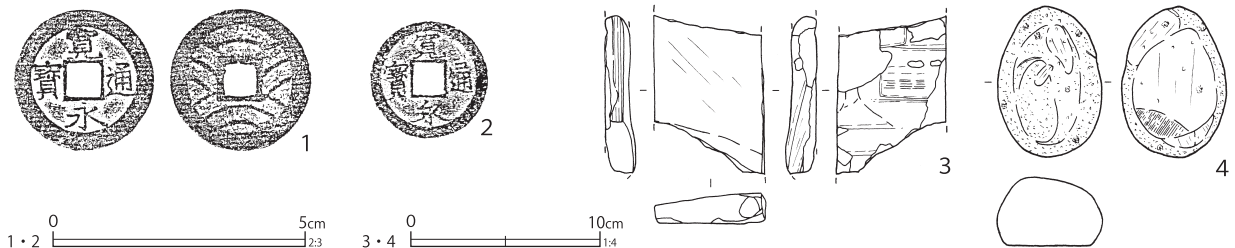


25~29 0 10cm 1:4 24 0 20cm 1:6

第 411 图 第 260 号土壤出土遗物 (11)

第 197 表 第 260 号土壙出土遺物観察表 (4) (第 408 ~ 411 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	漆椀	-	-	-	-	[7.8]	-	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆 外面に赤漆で(二重丸に『三つろこ』)家紋3 高台内に赤漆で「極」	
2	木製品	漆椀	-	-	-	-	5.8	5.0	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆 高台内に赤漆で「企」外面3箇所に家紋(丸に違い鷲の羽)	
3	木製品	漆椀	-	-	-	(11.4)	4.7	5.4	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆 表裏上部に炭化口縁歪み内傾	
4	木製品	漆坏	-	-	-	9.1	2.0	4.7	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆	
5	木製品	漆椀蓋	つまみ径-		-	10.4	[3.0]	-	横木取り	SK260	内外面赤漆 口縁黒漆 つまみ内黒漆で文様(丸に四方松の模様)	
6	木製品	漆椀蓋	つまみ径7.6		-	(11.5)	2.9	-	横木取り	SK260	内外面黒漆	
7	木製品	漆椀蓋	つまみ径-		-	9.2	[2.0]	-	横木取り	SK260	内面黒漆内側赤漆で「企」	
8	木製品	漆椀蓋	つまみ径5.3		-	13.1	2.7	-	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆	
9	木製品	漆椀蓋	つまみ径4.3		-	(8.2)	1.8	-	板目	SK260	内面赤漆 外面黒漆 紋赤漆(違い鷹の羽) 外面3、つまみ内1	
10	木製品	曲物	-	-	0.6	10.9	-	-	板目	SK260	蓋に樹皮紐残あり	
11	木製品	曲物	-	-	0.7	11.6	-	-	板目	SK260	底板	
12	木製品	底板	-	-	1.7	11.4	-	-	板目	SK260	孔1 木釘残1	
13	木製品	膳	27.4	26.8	0.6	-	[2.0]	-	板目	SK260	孔13裏面に貫通せず 表裏側面赤漆の上に黒漆	
14	木製品	箱	21.7	21.6	0.7	-	-	-	板目	SK260	表面黒漆 裏面下地の塗り痕跡 木釘孔8	
15	木製品	膳	[6.5]	25.6	1.0	-	-	-	板目	SK260	表裏面黒漆	
16	木製品	独楽	-	-	-	6.1	6.9	-	柱目	SK260	鉄軸0.3×0.3cm	
17	木製品	羽子板	[18.5]	8.3	0.8	-	-	-	板目	SK260		
18	木製品	提灯蓋	-	-	1.4	16.0	-	-	柱目 板目	SK260	中央に穴	
19	木製品	桶	[44.8]	7.4	3.1	-	-	-	板目	SK260	側板 表面焼印 「E」	
20	木製品	提灯	-	-	1.1	14.8	-	-	板目	SK260	裏面に焼け跡あり 孔貫通5ヶ所 表中央に細板がついている 両端の釘は金属で銅の様なもの物付着	
21	木製品	棚	[24.1]	27.7	1.1	-	42.2	-	板目	SK260	左側板に圧痕 二段の棚か 孔31 接合できない同一個体一点あり	
22	木製品	不明	[32.6]	5.6	1.7	-	-	-	板目	SK260		
23	木製品	木札	21.7	5.3	1.1	-	-	-	板目	SK260	両面墨書 第241表43	299-2
24	木製品	天秤棒	[118.4]	5.6	2.7	-	-	-	板目	SK260	方形の孔2(1つは欠) 鉄釘1	
25	木製品	下駄	20.6	9.4	-	-	2.8	-	板目	SK260	剥り下駄 炭化 裏面歯と歯の間黒漆 墨書 木釘残1 鉄釘残1 孔貫通2	
26	木製品	下駄	22.7	6.0	-	-	2.2	-	板目	SK260	無眼下駄 鉄釘残1 木釘残3 孔1 孔貫通4	
27	木製品	下駄	21.0	10.0	-	-	2.4	-	板目	SK260	剥り下駄	
28	木製品	下駄	22.5	5.8	-	-	2.5	-	板目	SK260	無眼下駄	
29	木製品	下駄	22.5	9.3	-	-	[2.3]	-	板目	SK260	陰卯下駄	



第 412 図 第 260 号土壙出土遺物 (12)

第 198 表 第 260 号土壇出土遺物観察表（5）（第 412 図）

番号	種別	器種	法量				遺構名	備考	図版	
1	銅製品	錢貨	径 28.2 厚さ 1.3 重さ 5.2				SK260	寛永通寶（新）11 波		
2	銅製品	錢貨	径 23.3 厚さ 0.9 重さ 2.4				SK260			
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
3	石製品	砥石	[8.3]	[5.9]	[1.6]	89.1	流紋岩	SK260	下層 幅広工具痕 砥面 4	283-4
4	石製品	磨石	8.0	5.6	3.6	93.1	角閃石安山岩	SK260	下層 多孔質 自然面遺存 使用面 2 線状痕あり 一部黒色化	284-1

38・39は同一個体と思われる陶器の鉢で、胎土はかなり硬質である。内面は糠白釉で、上位に緑釉を流し掛けする。外面灰釉が施される。高台内は一方向のヘラナゲで調整する。墨書が認められるが、多くが消えていて判読できない。

40は陶器の植木鉢で、全面露胎である。外面に陽刻状の施文がみられる。

41は陶器の徳利で、灰釉が施釉される。所謂「すず徳利」で、肩の突帯は無いが、頸～肩部間の接合痕は認められる。口縁部から緑釉が流し掛けされる。42は炆器質の陶器で、備前系陶器の広口壺とみられる。本地点でも、第3号埋設桶出土品に類例がある（第1分冊第87図4）。43は瀬戸美濃系陶器の水注で、柿釉が施される。所謂「汁次」である。44の陶器は、上下接点の無い数破片から図上復元して示した。口縁部に鉄釉、柿釉を施し、頸部の一部を露胎として、体部下位～底部には鈍い緑色の鮫肌釉が施される。底部はやや丸底気味になる。器種は不詳だが、内面が露胎であるので、香炉であろうか。胎土の特徴は松岡系陶器に類似する。

45～50までは陶器の土瓶である。

45・46は、同一個体の土瓶であろう。明るい褐色の鉄釉に、青緑釉が流し掛けされる。胎土は緻密な灰白色である。独特な褐色の釉から大堀相馬系陶器と考えられる。

47は薄手の土瓶で胎土は濃い灰色だが、外面に白化粧をし、その上から施釉する。鉄絵で輪郭を取り緑色・青色を用いて鳥文・樹木を描く。48は、緑色の釉が薄く施釉される土瓶の注口部で、胎土は緻密である。京都系のものであろう。

49・50は青緑釉土瓶である。このうち50は、直接接合しない二破片から図上復元して示したものである。

51は江戸在地系の施釉土器灯明皿である。口縁部に煤が付着する。52は瓦質土器の鉢で、底部に穿孔が無いが、器形から植木鉢と考えられる。糸切痕は離し糸切である。胎土に角閃石を含む。53は器台と考えたが、全体形状はよく分からない。いずれにしても火鉢・焔炉ないし、その付属品と思われる。金雲母を多く含むので、三河系土器であろう。54は、江戸在地系土器の焙烙だが、小型のものである。55は在地系の焙烙で、厚手のものである。

第405～407図は出土した瓦であり、1は軒丸瓦、2～7は軒棧瓦、8は棧瓦である。2～5は同文の軒棧瓦で、軒丸部分は珠文の無い右巻きの三つ巴文、軒平部分には瘤状の凹凸がある唐草を配す。

第408～411図に木製品を示す。1～3は漆椀である。1・2の外面には家紋が描かれる。1の高台内には「極」、2には「企」の文字が書かれる。3は外面に線状の装飾が施される。口縁が内湾しているが、土圧による変形である。4は浅い坏だが、8・9と同種の蓋の可能性はある。13は膳で、赤漆の上に黒漆が塗られている。底板は四隅を落とした形状である。表面には線状の文様が刻まれる。外周に木釘が残存し、側板の痕跡が見られる。裏面に板状の脚が2列つけられる。14は黒漆塗りの箱である。外周に側板固定の木釘が残存する。15は膳の脚部である。表面に長方形の薄い板が2本はめ込まれている。

16は独楽で、鉄軸である。18は提灯の蓋、20は提灯の底板である。21は棚である。棚板は残存しないが、二段であったと考えられる。23は木札である。墨書で「秋葉兵助殿／行／伊勢屋／左兵衛出し」の文字が書かれる。24は天秤棒である。残存する長さは118.4cmで、両端の突起部分は欠失している。25～29は下駄である。25・27は割り下駄である。27の前歯と後歯の間は黒漆塗りである。歯部には半円形の加工痕を残す。26・28は無眼下駄である。28の鼻緒位置の窪みは木の葉型、26は木の葉型の一端が直線的な形である。

第412図には、金属製品の寛永通寶2枚（1・2）と、石製品（3・4）を示した。3は流紋岩製の砥石で、裏面に刃幅の広い工具による成形痕が認められる。4は角閃石安山岩製の磨石で比較的大きなものである。使用面（研磨面）は二面あるが、主な使用面は一面であり、その部分が黒色化している。墨痕ないしは、炭を磨った痕跡のように見える。

第290号土壌

区画の東側、E7-H6、I6グリッドに位置する。土壌の東側が調査区外に延びるため、全体の形状は不明であるが、隅丸方形の土壌のようである。南北長2.6m、東西長は1.0m以上である。覆土は木片を多く含むシルト質土が主体であるが、覆土の一部に砂質土層が含まれる。

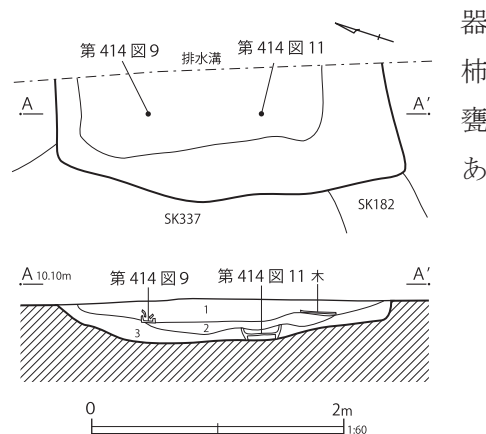
第414図1～11には陶磁器を示す。

1は、肥前系磁器の端反碗である。外面に草花文を染付する。2は瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗で、外面に木型打込による施文後に染付を施す。3は瀬戸美濃系磁器の坏で、酸化クロム青磁釉を施す。高台内は蛇の目凹形で露胎とする。

4は瀬戸美濃系磁器の植木鉢で、外面は木型打込による施文後に染付を施す。5は肥前系磁器の瓶類で、肩の張る器形である。外面にはやや丁寧な絵付けで花文が染付される。6は瀬戸美濃系

陶SK290

の
釉
で



器
柿
甕
あ

第290号土壌	
1 暗灰色土	シルト質 木片多く含む 炭化物少量 焼土微量 粘性・しまりあり
2 暗灰色土	砂質 1層より黄色味帯びる 炭化物微量 粘性・しまり弱
3 暗灰褐色土	シルト質 木質多く含む 浅間A火山灰少量含む 粘性・しまりあり

第413図 第290号土壌

る。内面は鉄化粧、外面は赤味の強い柿釉に鉄釉を流し掛けする。底部の墨書は「三ヰ」とみられ、「ヰ」は「貫」の崩しともみられる。7は京都信楽系陶器の爛徳利で、外面は黄色味を帯びた透明釉、口縁部に緑釉が流し掛けされる。

8・9は白色土器質の陶器である。目皿と涼炉で、組物で用いられたものと思われる。胎土には金雲母と白色粒が多く含まれる。目皿は径8cm弱と小型で、底部に糸切痕を残す。9は涼炉の本体で、筒形を呈する。外面は全面横位のケズリで整形される。窓は円形で、中筒部に長方形の孔が穿たれる。上部には「松／沼／聴／泉」の刻印が、窓の横には、楕円の丸に「あわた」の刻印がある。口縁部には使用による煤の付着が認められる。第224号土壌に類例がある（第457-415）。

10は瓦質土器火鉢の体部破片で、全体に強く燻されている。外面にトビガンナ状施文や横走する沈線が施される。内面には火箸状の痕跡が顕著である。輪高台状の脚を有し、口縁部が短く外反する火鉢と思われる。11も瓦質土器の火鉢であるが、全体に酸化炎焼成ぎみで、色調は橙色味を帯びるものである。外面に菊花文を有し、輪高台



0 10cm 0 10cm
 6·11 1/4 1~5·7·10~12·13 1/3

第 414 图 第 290 号土壙出土遺物

第199表 第290号土壌出土遺物観察表(第414図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(10.8)	6.0	4.5	-	55	良好	白	SK290	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗)	220-1
2	磁器	碗	(6.9)	[5.1]	-	-	40	良好	白	SK290	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面木型打込施文・染付	
3	磁器	坏	(7.4)	3.6	(3.4)	-	40	良好	白	SK290	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 外面しのぎ状施文	
4	磁器	植木鉢	-	[7.0]	7.0	-	30	良好	白	SK290	瀬戸美濃系 外面施釉・木型打込施文・染付	220-2
5	磁器	瓶類	-	[10.1]	(5.3)	-	30	良好	白	SK290	肥前系 外面施釉・染付	220-3
6	陶器	甕	11.8	15.8	11.0	EIK	25	良好	灰白	SK290	瀬戸美濃系 内面鉄化粧 口縁部～外面柿釉, 上位鉄釉流掛	220-4
7	陶器	爛徳利	[3.4]	[15.9]	-	I	40	良好	灰白	SK290	京都信楽系 外面透明釉 口縁部緑釉	
8	陶器	目皿	(7.8)	1.4	(4.4)	EHIK	20	普通	浅黄橙	SK290	京都系 白色土器 9の部品	220-5
9	陶器	涼炉	14.8	16.8	13.9	ADI	80	良好	灰白	SK290	京都系 白色土器 外面刻印 口縁部の一部に煤付着	221-1
10	瓦質土器	火鉢	-	[9.2]	-	CEHIK	10	普通	明褐灰・黄灰	SK290	外面トビガンナ状施文 燻す 内面下位火箸状痕跡	
11	瓦質土器	火鉢	30.0	13.4	24.5	CEGHIK	75	普通	橙	SK290	砂目底 やや酸化炎焼成 体部外面菊花スタンプ文	220-6
番号	種別	器種	質量						遺構	備考	図版	
12	銅製品	簪	長さ12.1 幅0.4 厚さ0.1 重さ2.6						SK290	飾り欠失か	274-9	
13	鉄製品	釘	長さ2.8 幅0.3 厚さ0.3 重さ2.8						SK290			

状の脚を備える。栗橋宿跡では比較的一般的にみられる火鉢である。

本跡から出土した陶磁器は、全体的には栗橋8期頃までのものが主体である。型紙摺絵染付・銅版転写染付の磁器が僅かにみられるが、全体の様相からは混在と判断されよう。本跡は栗橋8期ないし9期はじめに帰属する可能性が高い。

第414図には、金属製品を示す。12・13は簪と釘である。

本跡から出土したような京都産陶器の涼炉(第414図8・9)は、数は少ないが栗橋宿跡各所の調査で出土している。ただし、全体像が窺われるような資料は少なく、第3地点の第258号土壌や、本陣跡第201号土壌(共に栗橋8期)など僅かで、胴張り状に体部が膨らむものであった(『栗橋宿跡I』・『栗橋本陣跡II』報告)。本資料のような筒形の京都産涼炉は、第7地点第111・112号土壌に複数の破片が認められる。この遺構は1870年代の火災に関わる廃棄土壌と考えられている(『栗橋宿跡IV』報告)。今回報告したほぼ完形の資料も含めて、京都産涼炉が栗橋8期から9期はじめにかけて搬入されたことが窺

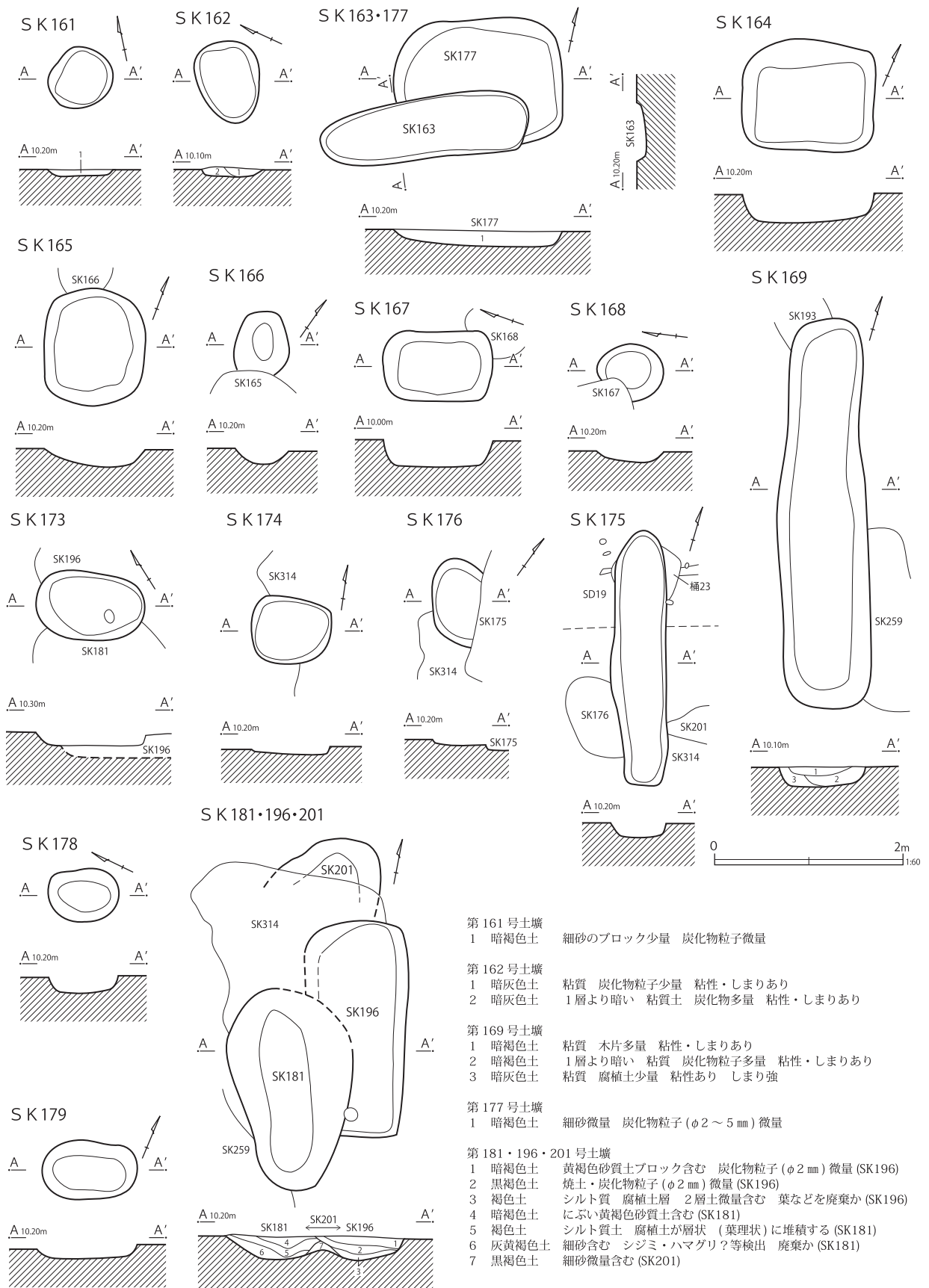
われる。

第5区画のその他の土壌(第415～476図)

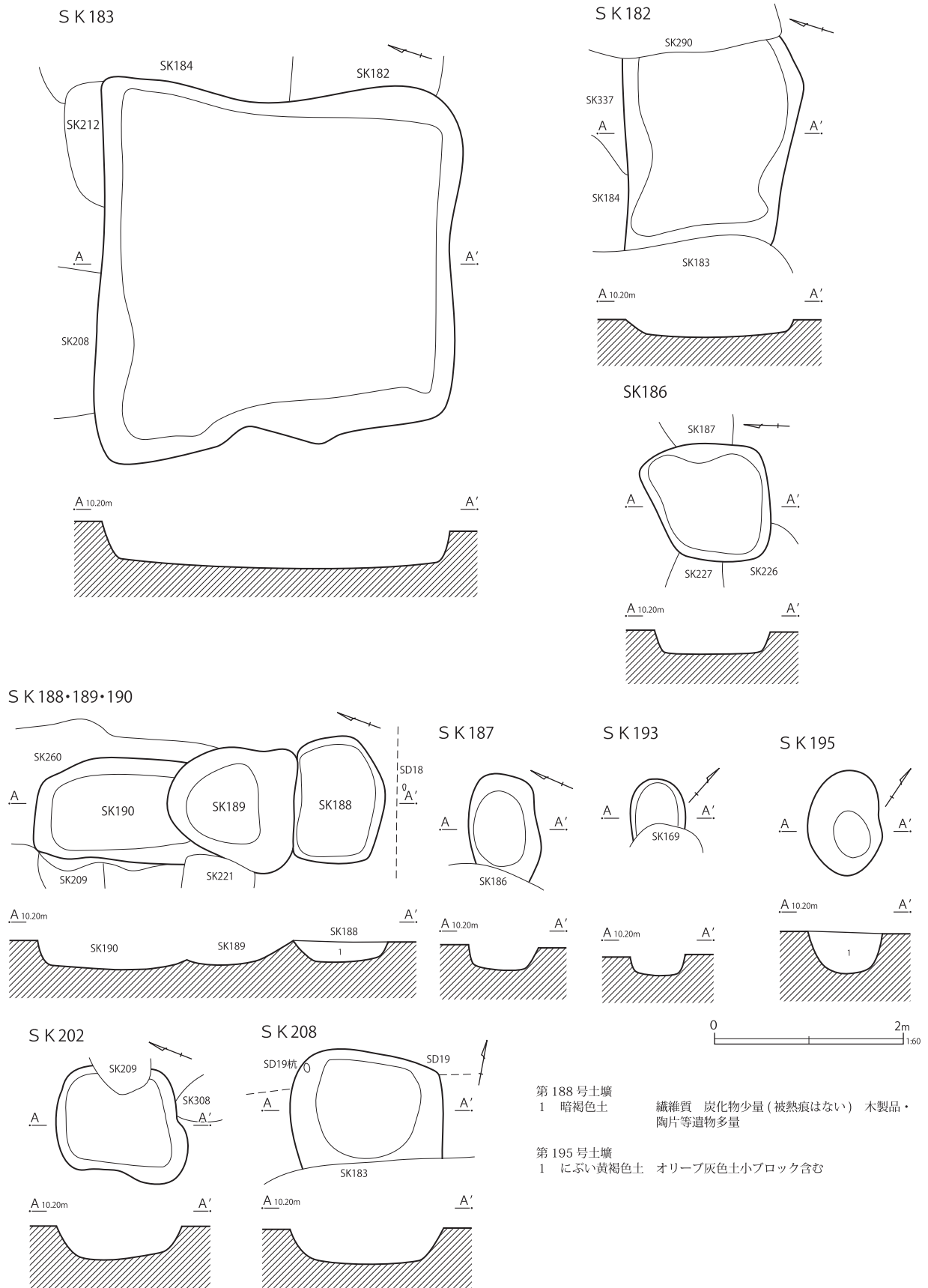
第5区画は土壌の数が多い。以下、遺物が多く出土した土壌を中心に様相を略述しておく。大多数の土壌は栗橋9期に帰属する。

第164号土壌は、区画南西部に位置し、長軸1.4mの隅丸方形を呈する。

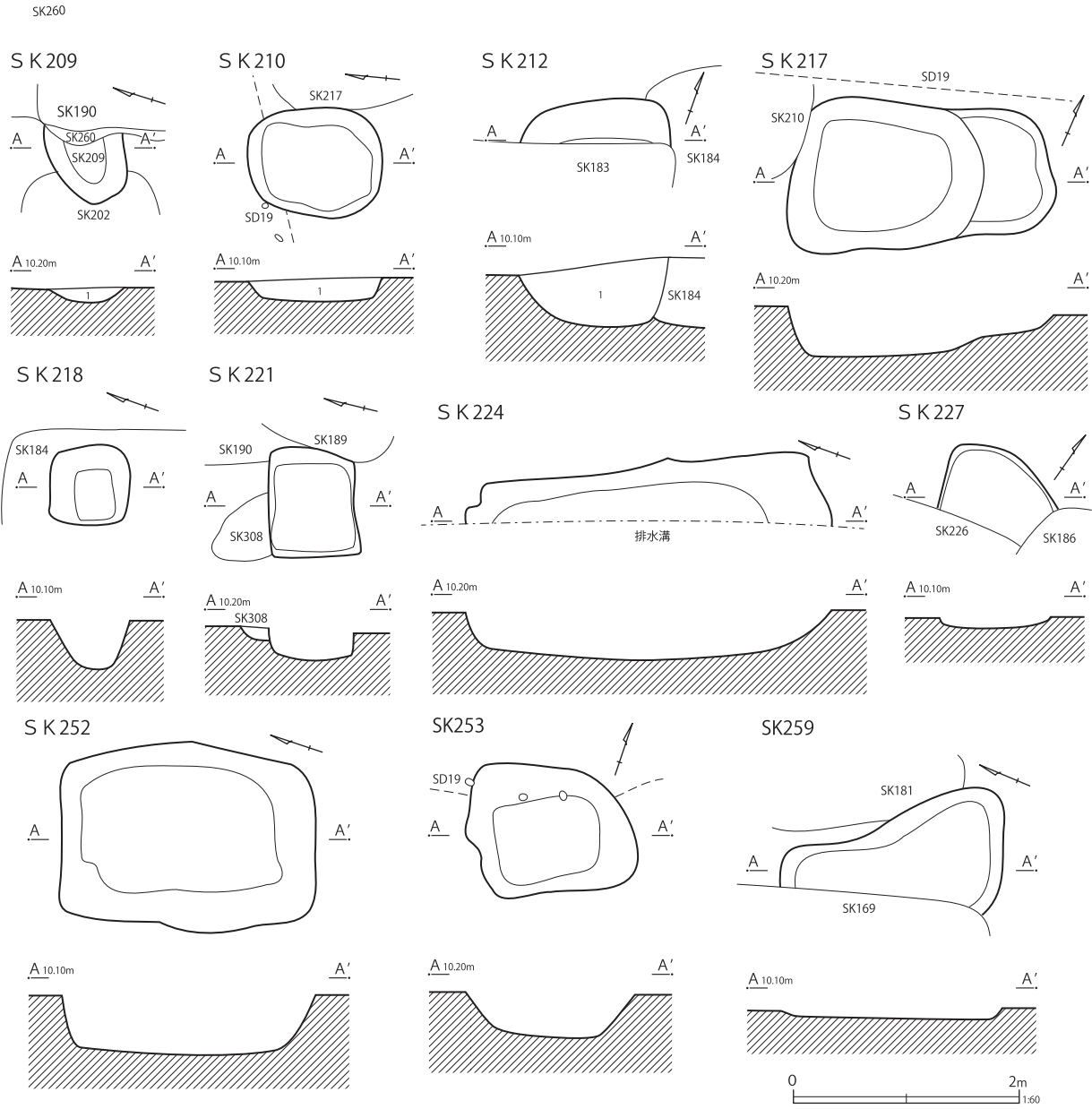
第419図1～7に出土した陶磁器を示す。1・2は瀬戸美濃系磁器の碗である。1は外面に3つの菊花文を酸化コバルト染付する碗である。所謂「飯碗」形態のものである(日野市遺跡調査会2003)。2は端反碗で、内外面とも木型打込の陰刻状文をベースに染付が施される。3は瀬戸美濃系磁器の坏で、外面は吹き墨で鶴を染付する。4は瀬戸美濃系磁器で把手の一部である。上面に牡丹文を染付する。手持ち桶型の花生の可能性もある。5は萬古系陶器の急須で、持ち手下に刻印があり、判読し難いが「萬古/藤松」であろうか。持ち手付け根部分を焼き継ぎで補修しており、高台内に焼き継ぎ印(赤)と墨痕の一部がみられる。6は土師質土器の把手付鍋と考えられる。7は土師質土器の器台で、三河産焜炉の部材



第 415 図 第 5 区画の土壌 (1)



第 416 図 第 5 区画の土壌 (2)



第 209 号土壌
1 暗褐色土 細砂微量 木質繊維少量

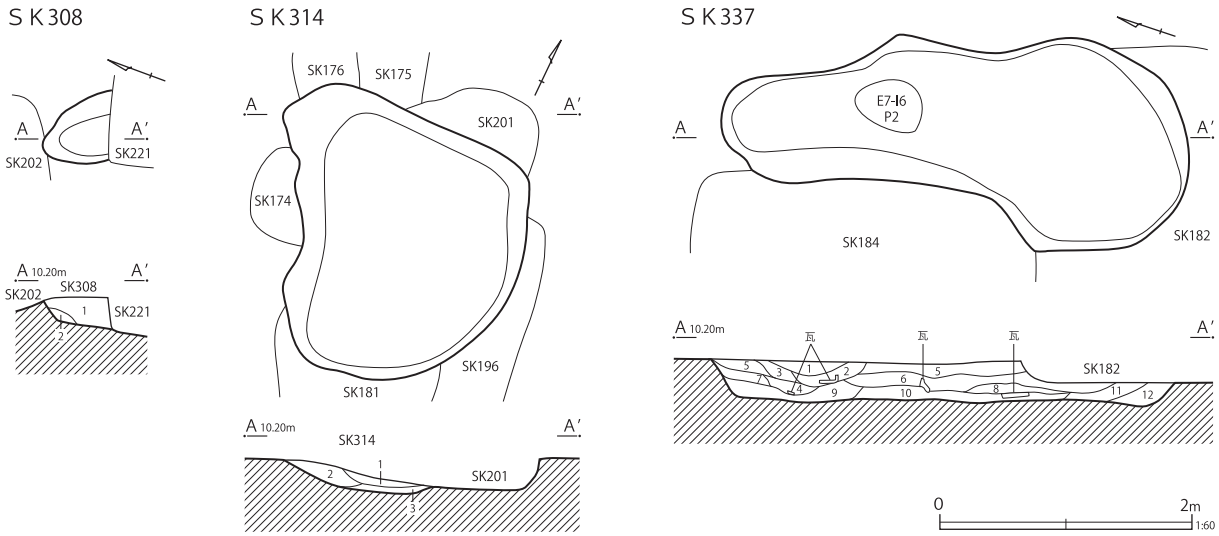
第 212 号土壌
1 暗褐色土 灰褐色土ブロック・炭化物含む

第 210 号土壌
1 黒褐色土 炭化物少量 灰黄褐色土ブロック微量 遺物多量含む

第 417 図 第 5 区画の土壌 (3)

と考えられる。胎土に雲母を多く含む。第470図
1～6は金属製品である。1は横長楕円の環金具
中央に固定された円形環金具を介して、S字状の
掛金具を連結する。掛金具の両端に鳥頭（白鳥
か）をあしらう。4・5はトイガンで、玩具の射
的に用いられたマッチ棒を飛ばすトイピストルで
ある。4は銃身内部にバネが残る。アンチモニー
製だろうか。日本製で「SUITSU」は製造社名と

思われるが不詳である。
第167号土壌は、区画の西部に位置する土壌
で、長軸1.2mの隅丸長方形を呈する。第419図
8・9は大堀相馬系陶器の急須である。鉄化粒状
に鉄釉を施し、外面は所謂「泥塗り」による加飾
を施す。上部に「青ヒビ釉」の灰釉を掛け分けて
いる。蓋の下面に「相馬」刻印がある。
第169号土壌は、区画中央部より西側に位置す



第 308 号土壌

- | | | | | | |
|---|------|------|-------|---------|----------|
| 1 | 暗灰色土 | シルト質 | 炭化物多量 | 粘性・しまり弱 | |
| 2 | 暗灰色土 | シルト質 | 鉄分少量 | 灰白砂微量 | 粘性・しまりあり |

第 314 号土壌

- | | | | | | |
|---|-------|----|---------|------|-------|
| 1 | 暗灰褐色土 | 砂質 | 鉄分多量 | 粘性あり | しまり弱 |
| 2 | 暗灰褐色土 | 砂質 | 暗黄砂質土少量 | 粘性弱 | しまりあり |
| 3 | 暗灰色土 | 砂質 | 鉄分少量 | 粘性弱 | しまりあり |

第 337 号土壌

- | | | | | | |
|---|-------|----|-------|-----|-------|
| 1 | 暗灰褐色土 | 砂質 | 炭化物少量 | 粘性弱 | しまりあり |
| 2 | 暗灰褐色土 | 砂質 | 炭化物多量 | 粘性弱 | しまりあり |

- | | | | | | | |
|----|-------|----|-------|-------|-------|-------|
| 3 | 暗灰褐色土 | 砂質 | 炭化物少量 | 灰色砂少量 | 粘性弱 | しまりあり |
| 4 | 暗灰褐色土 | 砂質 | 灰色砂少量 | 粘性弱 | しまりあり | |
| 5 | 暗灰色土 | 砂質 | 炭化物少量 | 粘性弱 | しまりあり | |
| 6 | 暗灰色土 | 砂質 | 炭化物多量 | 灰色砂多量 | 粘性弱 | しまりあり |
| 7 | 暗灰色土 | 砂質 | 灰色砂少量 | 炭化物多量 | 粘性弱 | しまりあり |
| 8 | 暗灰色土 | 砂質 | 灰色砂少量 | 粘性弱 | しまりあり | |
| 9 | 暗灰色土 | 砂質 | 炭化物少量 | 粘性弱 | しまりあり | |
| 10 | 暗灰色土 | 砂質 | 炭化物微量 | 木質多量 | 粘性弱 | しまりあり |
| 11 | 暗灰色土 | 砂質 | 灰色砂微量 | 粘性弱 | しまりあり | |
| 12 | 暗灰色土 | 砂質 | 灰色砂含む | 粘性弱 | しまりあり | |

第 418 図 第 5 区画の土壌 (4)

る。長軸4.1mの南北に長い隅丸長方形の土壌である。覆土には木片や木質の腐植土が含まれる。第420～422図13～39は出土した陶磁器である。このうち、21・22は内面上絵付けを有す磁器の坏である。21の内面には上絵付けで「[名]声／絶四海」「銘酒／正宗」「原勘」の銘を有す。「原勘」は原勢屋勘兵衛のことである。創業年は不明だが、初出は文政2年(1819)の「酒蔵諸入帳」に名が見え、安政2(1855)年『東講』では「固酒造店」として原勢屋勘兵衛の銘が見られる。明治10年(1877)の酒造人中便宜組合名簿までその名が確認できる(『埼玉の酒文化』)が、その後、県や埼玉の諸組合からは原勢屋の文字が見えず、明治35年の『営業便覧』では「酒類醤油食塩肥料商」として「小林儀三郎」となっている。

22は酒樽と文字を青で上絵付けしたものらし

いが、変色して茶色くなっている。左に書かれた「いろ娘」は兵庫県西宮市の紅野家による酒銘である。紅野家は明治22年に灘の酒造家と合流して西宮企業会社(現日本盛株式会社)を設立する。ただし、大正14年時点でも商標自体は存続・更新していた(佐藤1925)。第464図1・2には土製と磁器製の人形を示す。第470図7～10は金属製品である。このうち、7は棒秤の金具で、鉤と提緒装着具である。図面右側のソケットを棒に挿入して使用する。8・9は複数の鉄棒を三又にして針金で固定する。形状が似ているので同類品と思われるが用途は不明である。

第174号土壌は、区画中央部のやや北西に位置する。長軸0.85mの楕円形を呈する。陶磁器は少なかったが銅版転写染付の磁器坏が認められる。第470図15は金属製品で、引出しの一部と考えられる。笹と鳥がデザインされる。

第175号土壇は、第169号土壇の北東側に位置する。長軸2.7mの不整隅丸長方形を呈する土壇である。第422図40は瀬戸美濃系陶器のこね鉢で、底部に墨書で「百八十口」と書かれる。図示していない遺物には「東洋軒製」銘を有す磁器の鉢が認められる。

第177号土壇は区画西側に位置し、長軸1.8mの隅丸長方形を呈する。第422図41～49に出土した陶磁器を示す。41～43は瀬戸美濃系磁器の碗で、41は広東碗、42・43は端反碗である。44は瀬戸美濃系磁器の端反碗の蓋である。45は瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗である。

46～48は陶器の土瓶である。46は硬質・灰白色の胎土に黒色粒子（鉄斑）を多く混入する土瓶で、大堀相馬系陶器である。体部はロクロ成形後に加圧で凹凸をつけて装飾とする。底部に「相馬」刻印がある。47は内面に灰釉、外面は露胎として細いイッチン掛けで文字を描く。48は不透明の糠白釉を施釉するもので、胎土は灰白色・硬質である。大堀相馬系陶器の可能性がある。49は陶器の土瓶蓋で、上面に漆黒の鉄釉を施釉する。非掲載の陶磁器には瀬戸美濃系磁器急須や、トビガンナ状施文の陶器行平鍋が認められ、栗橋8期の帰属である。

第470図19～22は金属製品である。20はコンパスであるが、後世の混在の可能性がある。本体は鉄製で脚はコの字状になる。持ち手のみ銅（合金）製で、革のようなものが巻かれており、山形の刻み目をあしらう。

第181号土壇は区画中央部付近に位置し、長軸2.15mの長楕円形を呈する。覆土には腐植土が堆積し、下層には貝類が含まれる。第422～424図51～68は出土した陶磁器で、銅版転写染付の磁器皿（51）や陶器の「すず徳利」（54）とともに土師質土器の焼塩壺と蓋（59～68）が出土している。

第467図1～3は出土した木製品である。1は

漆碗で、高台内に「センジ」の文字が書かれる。

2の木札には「武州くりはし [] / 若狭屋庄右衛門 []」の文字が書かれる。3は経木で、表面に「十 / 長助○」、裏面に「小八」の文字が書かれる。

第182号土壇は、区画の南西部に位置し、長軸2.2mほど、重複が多くはっきりしないが方形プランの土壇とみられる。

第424図69～106に出土した陶磁器を示す。75～77・80は外面に草花文を酸化コバルト染付する磁器坏で、76のみ腰部が屈曲する。本跡ではこのタイプの坏の出土量が多く、図示した以外に75の同文が8個体、76の同文が3個体、77の同文が1個体みられた。瀬戸美濃系磁器の坏で、体部丸形の卵殻手酒杯である。89は内面に「福壽 / 太々講」の文字を青色で上絵付けする。90は内面に青色に金彩を加えた上絵付けが施され、富士山・社寺の風景とともに「東都 / 名所 / 道灌山 / 之景」「全 製」の文字が絵付けされる。「十一屋」の屋号を持つのは江州商人の同族・暖簾わけ集団で、中山道筋を中心に北関東一帯にみられる。酒関連では寄居の藤崎惣兵衛家・深谷の田中藤左衛門家・藤岡の高井作右衛門家・安中の野田六左衛門家のいずれかの分家である。四家のうち屋号紋に「へ」を用いるのは田中藤左衛門家で、創業は元禄14年（1701）、平成16年（2004）廃業である。99は瀬戸美濃系磁器の小型壺で、型合せ成形である。内面には指頭圧痕が残る。104は産地不詳の陶器爛徳利で、光沢のある灰釉を施し、上部には銅緑釉を流し掛けする。体部上位はロクロナデ、下位は回転ケズリ痕を残す。底部は回転ケズリ痕を回転ナデで消し、「栗仲 / 高瀬屋」と墨書される。

第470・471図26～31は金属製品である。26は井戸の釣瓶を下す（上げる）人物を打ち出す円盤状の金具である。銅（合金）製と思われる。飾金具であろうか。

第183号土壇は区画東側に位置し、長軸4.0mの不整形を呈する土壇である。

第427～447図107～313に出土した陶磁器を示す。107・108は瀬戸美濃系磁器の端反碗である。109・110は瀬戸美濃系磁器の丸碗で、109には型紙摺絵染付、110には酸化コバルト染付の竹林文が施される。111は瀬戸美濃系磁器の色絵碗、112は単色釉碗である。113～122は瀬戸美濃系磁器の平碗で銅版転写染付が施される。高台内に四文字銘款を有すのは117の「元陶園製」と119の「深山園製」である。

136～164は口縁部が端反になる背の低い坏、149は端反になる背の高い大振りの坏である。

154～164は内面に主文様を描く坏で、このうち154～159、161～164は坏形を呈する。155～157は「くりはし/鯉こく/稻荷屋」の上絵付けがあるものである。細部の絵付けには違いがある。また、155の高台内は露胎で、反時計回りの渦巻き状のケズリがあるのに対し、156・157は施釉し、高台内に青の上絵付けで「金製」の上絵付けがある。158は内面に青の上絵付けで月・円・桜花などの枠を描き、その中に金の上絵付けで「醤油」・「正宗」・「固本」と書かれる。「固本」は栗橋の原勢屋本家、すなわち原勢屋勘兵衛もしくは原勢屋儀三郎を指すのであろう。原勢屋勘兵衛が醤油醸造を行っていた記録は見られず、『埼玉県営業便覧』には小林儀三郎が「酒類醤油食塩肥料商」とあるため、後者によって売られた醤油に関わる可能性がある。159は内面に吹き墨で桜花文を染付し、蕊部分を釉裏に紅で描く。160は体部が丸い坏で、内面に「酒類/醤油 [油] / []」銘を上絵付けする。

168～177までは磁器の皿である。176は内面の上絵付けが消えているが、その痕跡から復元的に図示した。「[卸銘入] 盃/[急] 須湯呑/類面附所/大間々町三丁目/坂入庄平」の文字が読める。183は大形の肥前系磁器鉢である。焼き継ぎ

印「子六九」が赤で記される。202～210は瀬戸美濃系磁器の爛徳利である。205の底に「いな/りや」の墨書がある。220は大堀相馬系陶器の坏で、内面～外面上位灰釉、外面下位は泥塗り装飾である。内底面に金彩で上絵付けを施すが、摩耗して意匠は判らない。

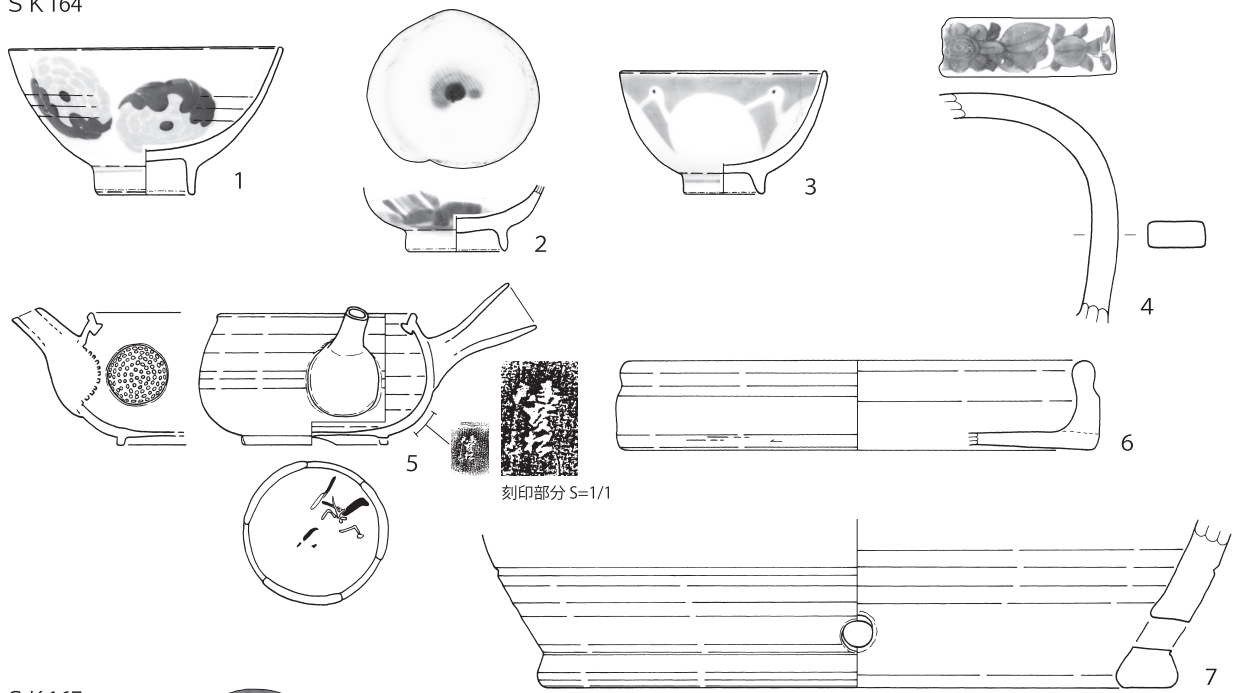
238は産地不詳陶器のこね鉢である。底部は蛇の目状高台で、畳付部に「栗橋町 [] 店用」、中心部に二文字「小澤カ」の墨書がみられる。270・271は糠白釉を施釉する陶器土瓶の蓋と身である。釉薬は不透明で大きな貫入が入る。胎土は硬質で緻密に焼き締まる。大堀相馬系陶器の可能性もある。302は瓦質土器の方形火鉢である。外面はヘラナデ後にミガキが施される。内面は強いナデで調整される。胎土に雲母を多く含み、江戸在地系土器と考えられる。

303・304は瓦質土器の竈罏である。304は直接接合しない二破片から図上復元したもので、上面に、「⊖岩崎」の刻印がある。

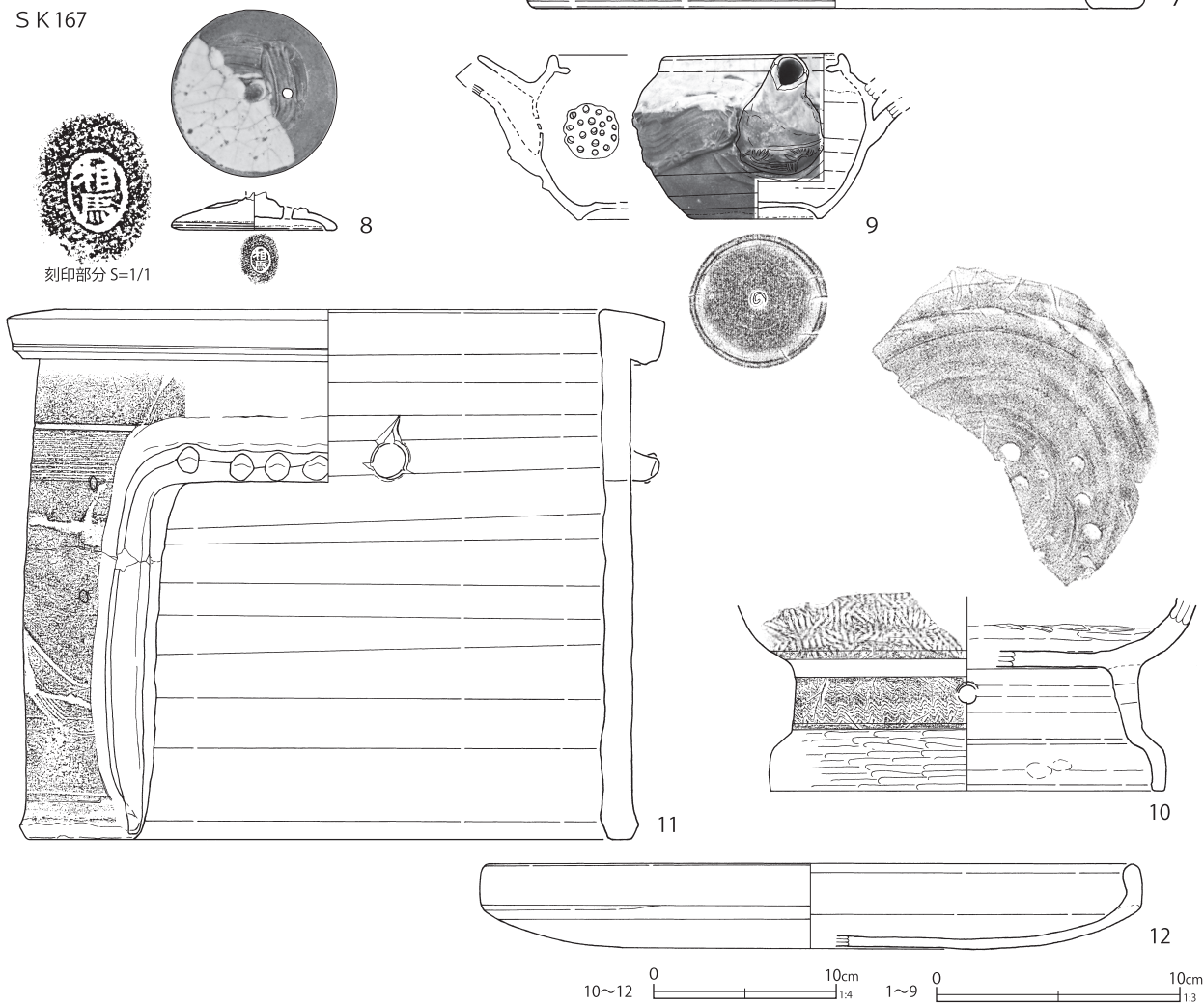
第465図5～7には土製品のミニチュア・箱庭道具の類を示す。5・6は塀と家屋を模すものである。7は軟質施釉土器質で、京都系の玩具類と思われる。平面形は隅丸の方形を呈するものらしく、火鉢のミニチュアの可能性もある。

第467～468図4～20は木製品である。4は箱膳の蓋である。蓋板の外周には、側板を固定していた木釘が残る。全面黒漆塗りである。裏面に「㊦」の焼印が押される。5～7は木札、8・9は経木で、いずれも墨書が見られる。5は表面に「栗橋宿」、裏面に「壽□□□/△ 六本」、6には「拾五」と書かれる。7には鉄釘が残り、他材に固定していたと考えられる。「栗橋/荒野や行」と書かれる。10は漆塗りの容器で、筒型である。口縁には蓋を受けるための段があり、外面には線状の装飾が施される。11は箱の側板で、「㊦」の焼印が押される。12は独楽で鉄軸である。13～15は神酒口である。13・

S K 164

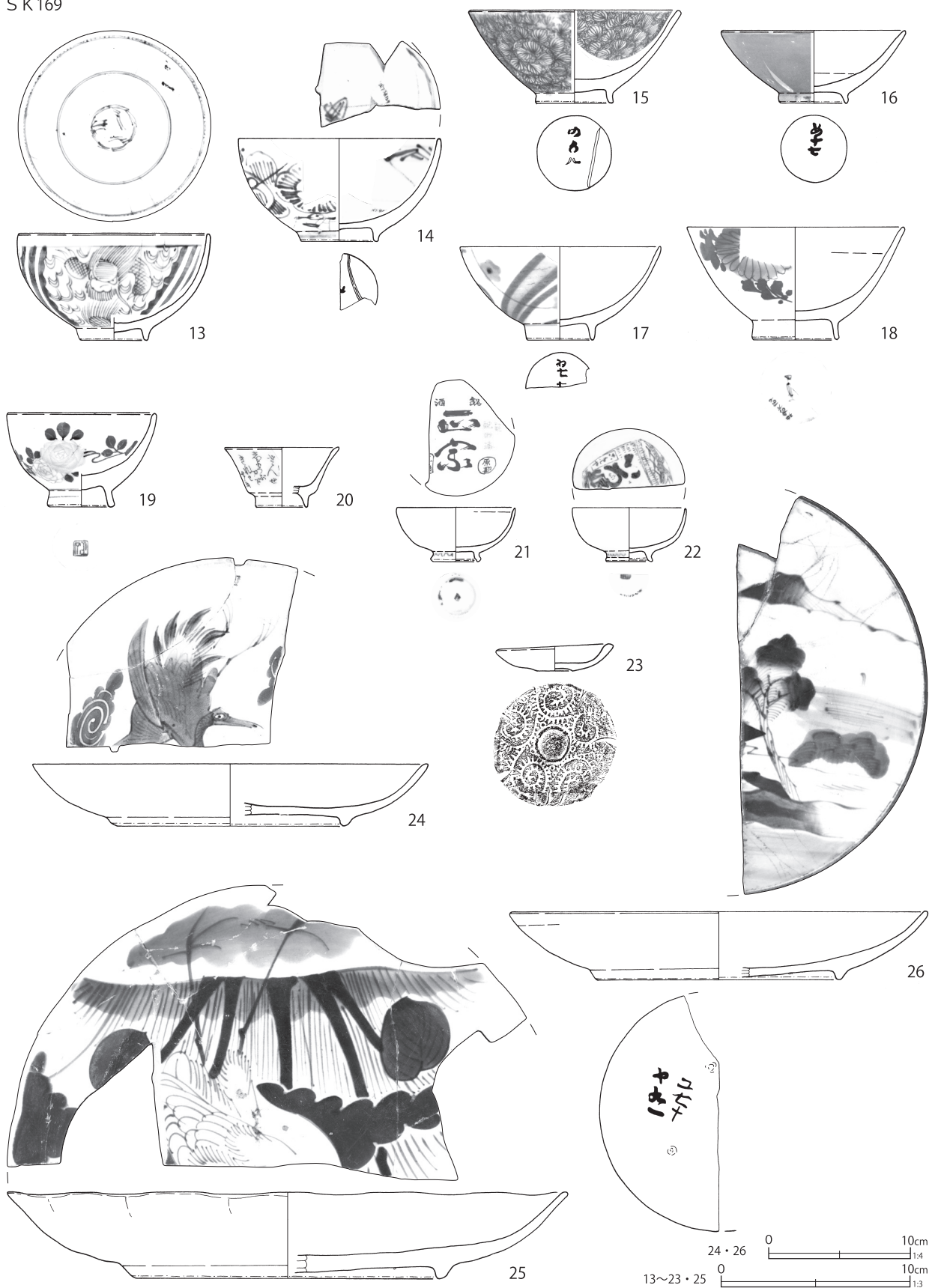


S K 167

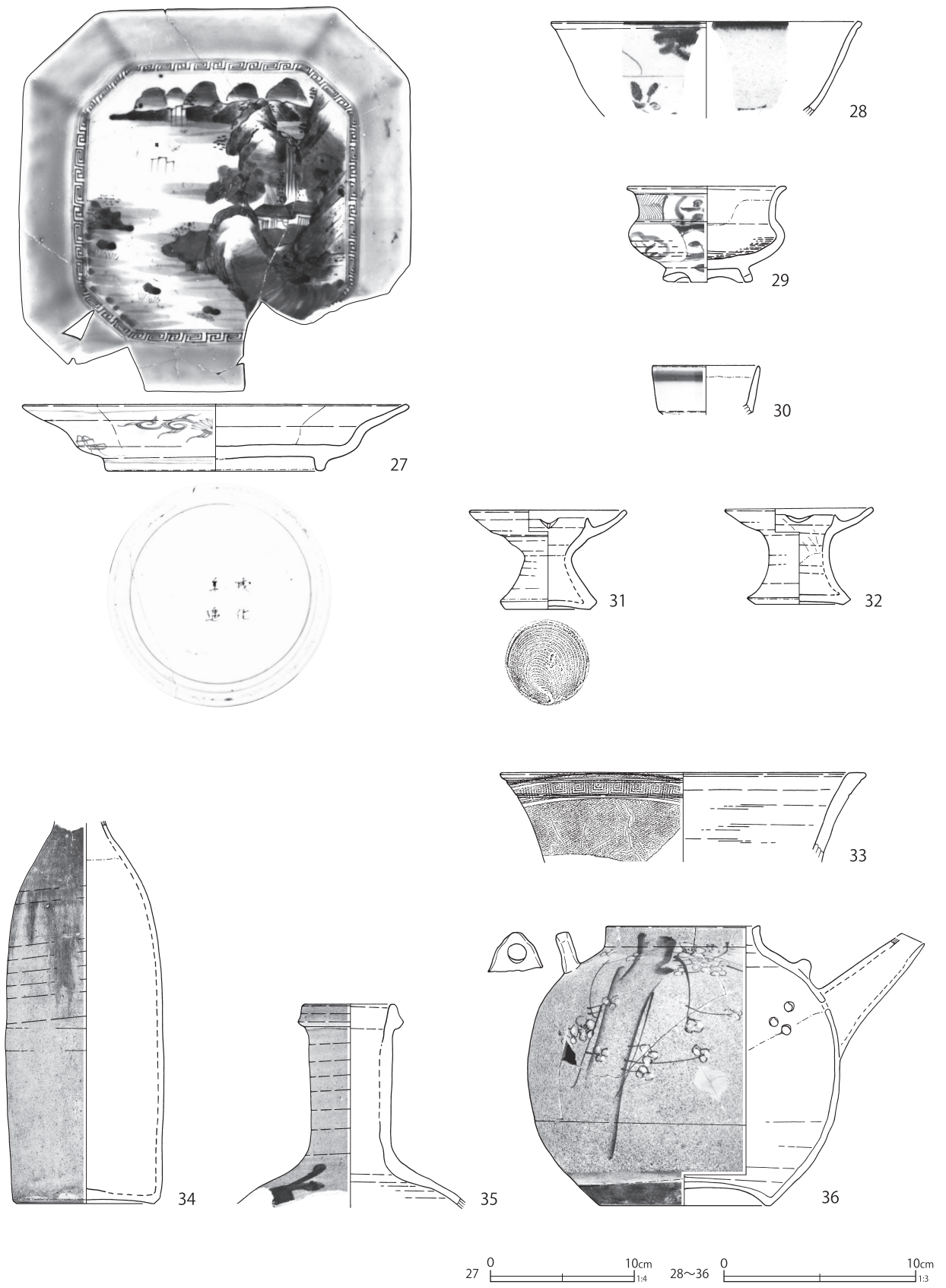


第 419 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (1)

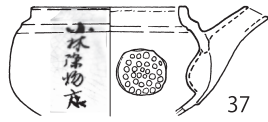
S K 169



第 420 図 第 5 区画の土壇出土遺物 (2)



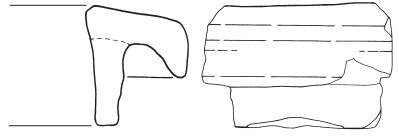
第421図 第5区画の土壙出土遺物(3)



37

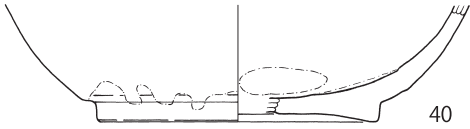


38



39

SK175

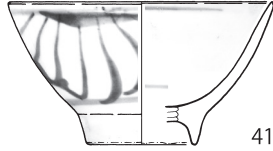


40

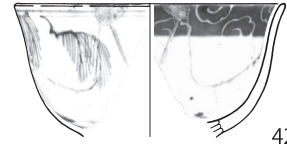


45

SK177



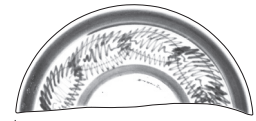
41



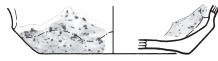
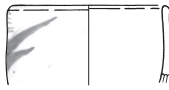
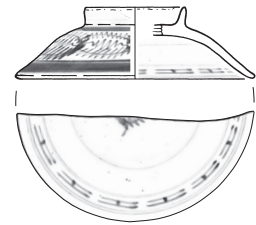
42



43



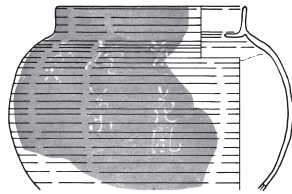
44



46

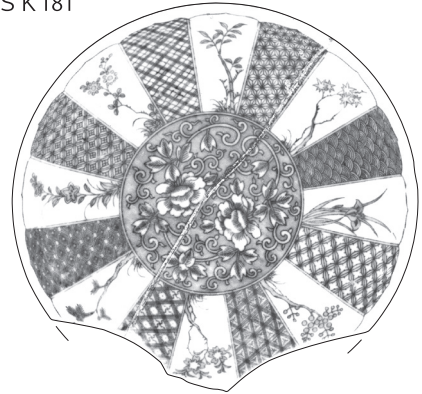


刻印部分 S=1/1

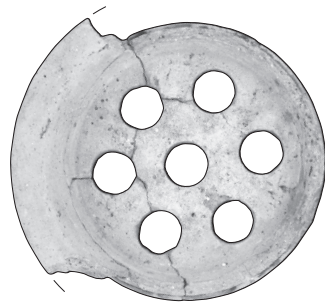


47

SK181



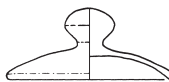
SK179



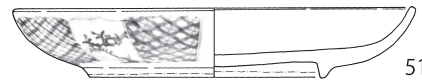
50



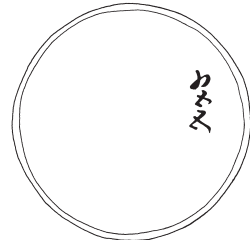
48



49



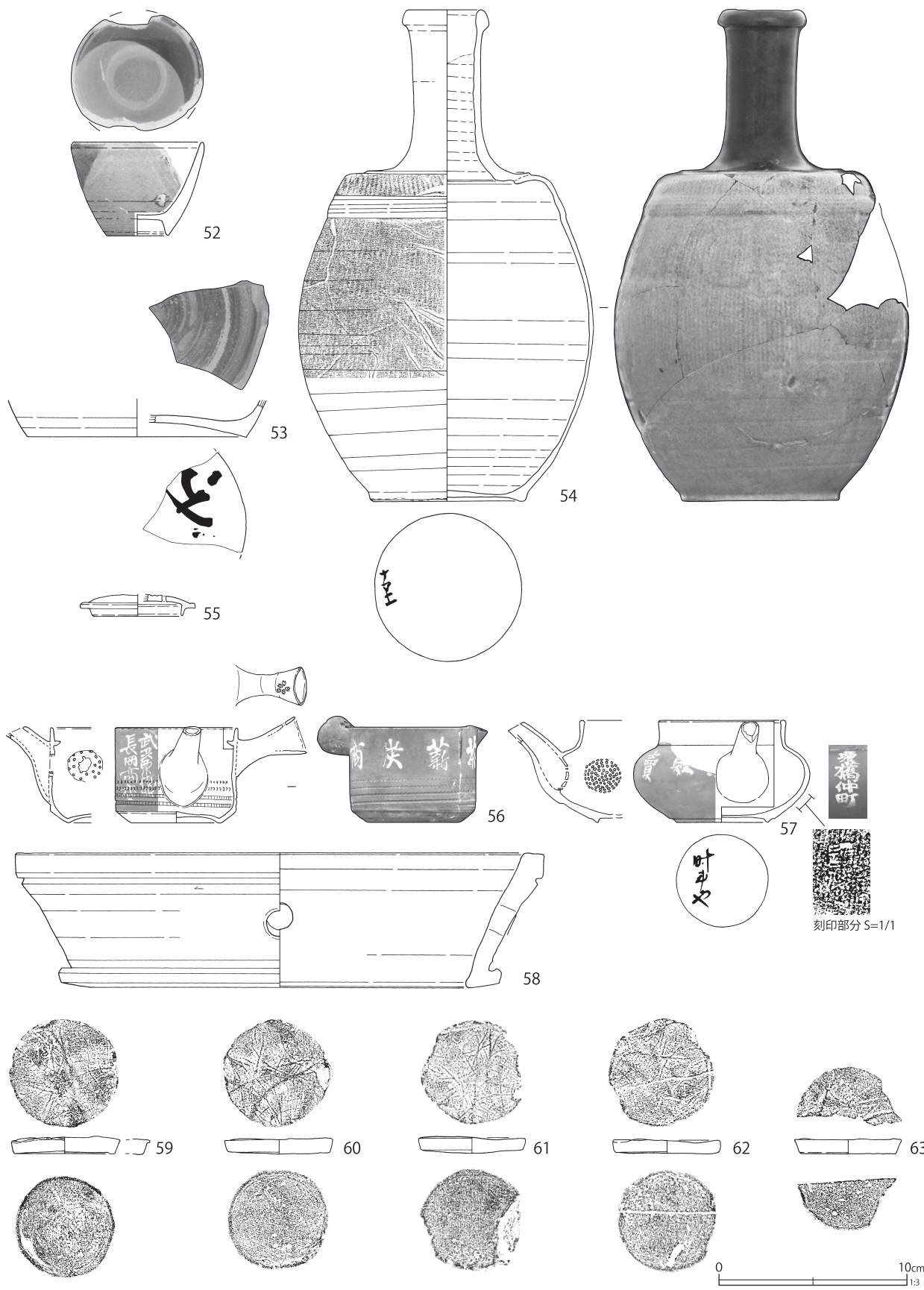
51



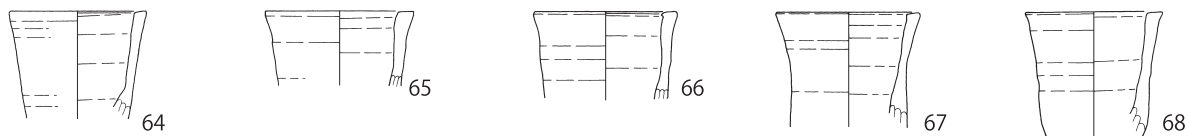
0 10cm 1:4

0 10cm 1:3

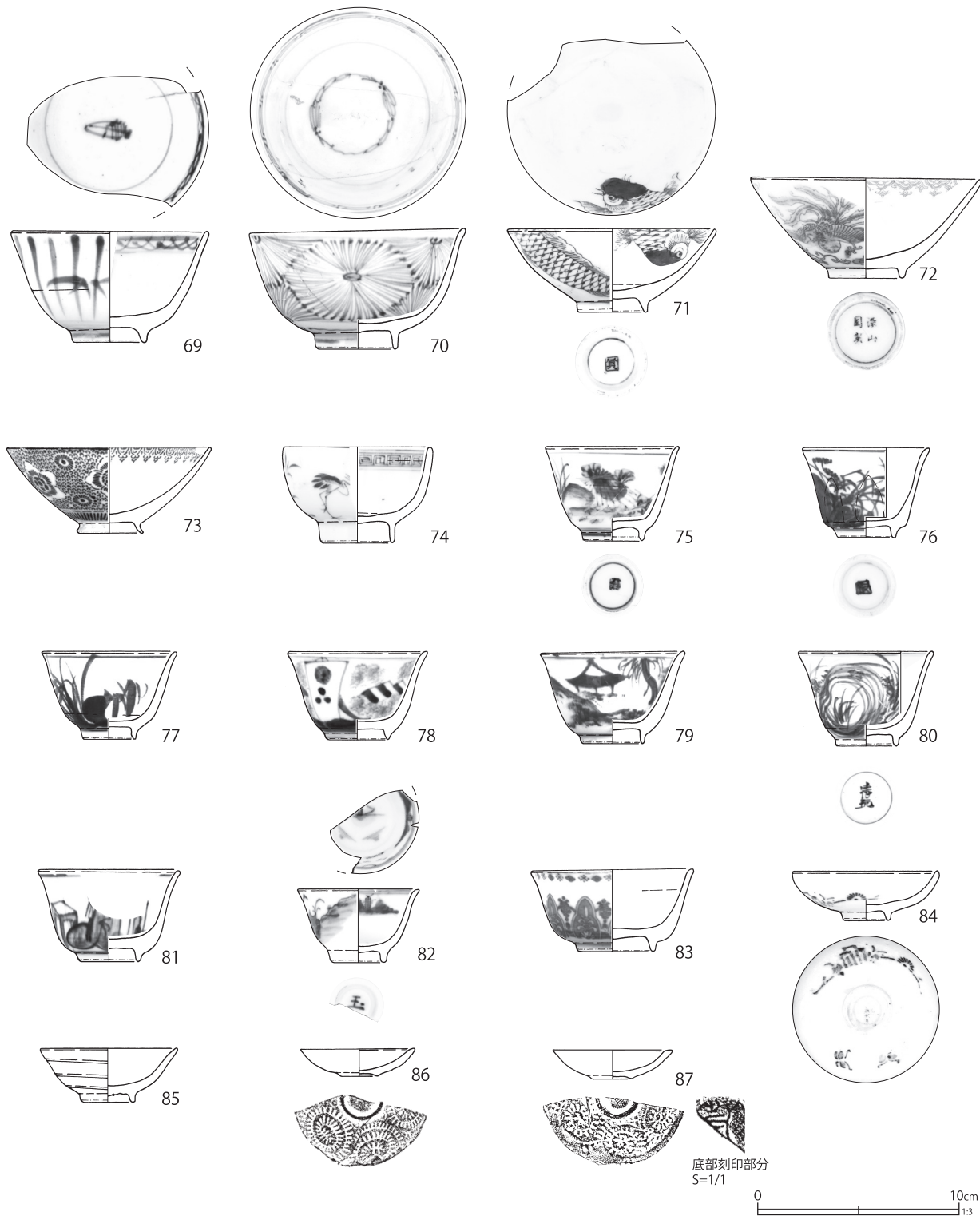
第 422 図 第 5 区画の土壌出土遺物 (4)



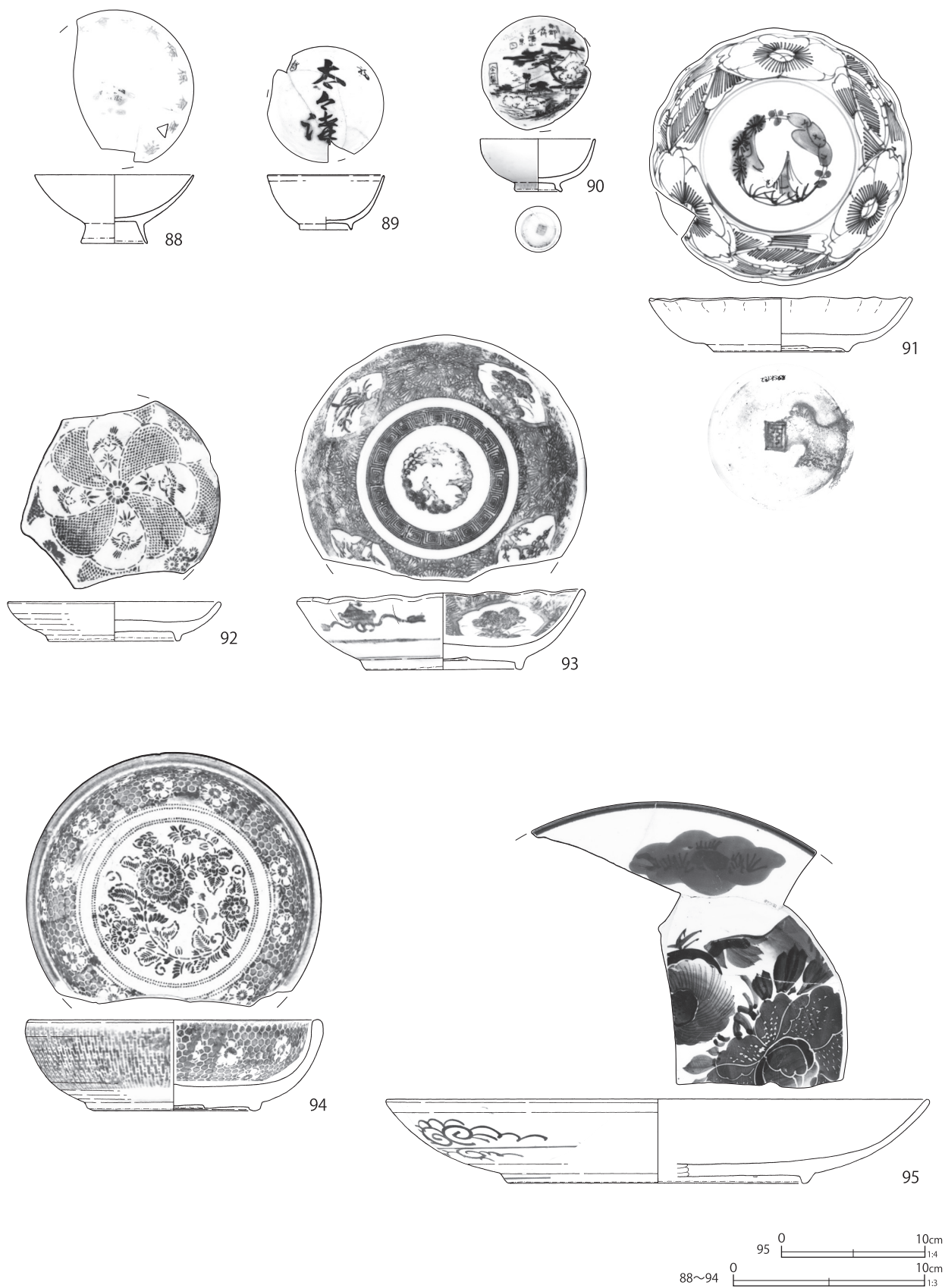
第 423 図 第 5 区画の土壌出土遺物 (5)



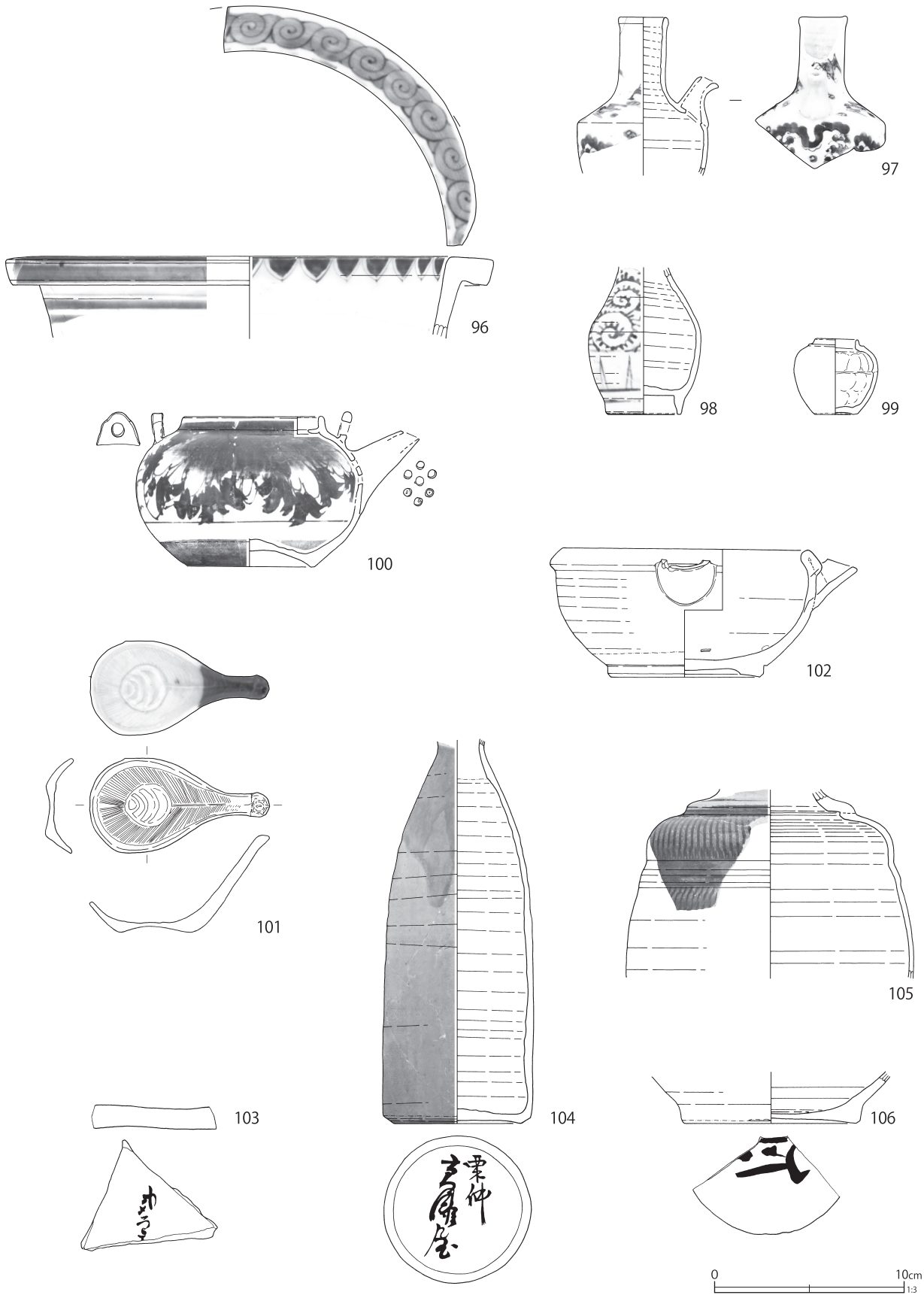
S K 182



第 424 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (6)

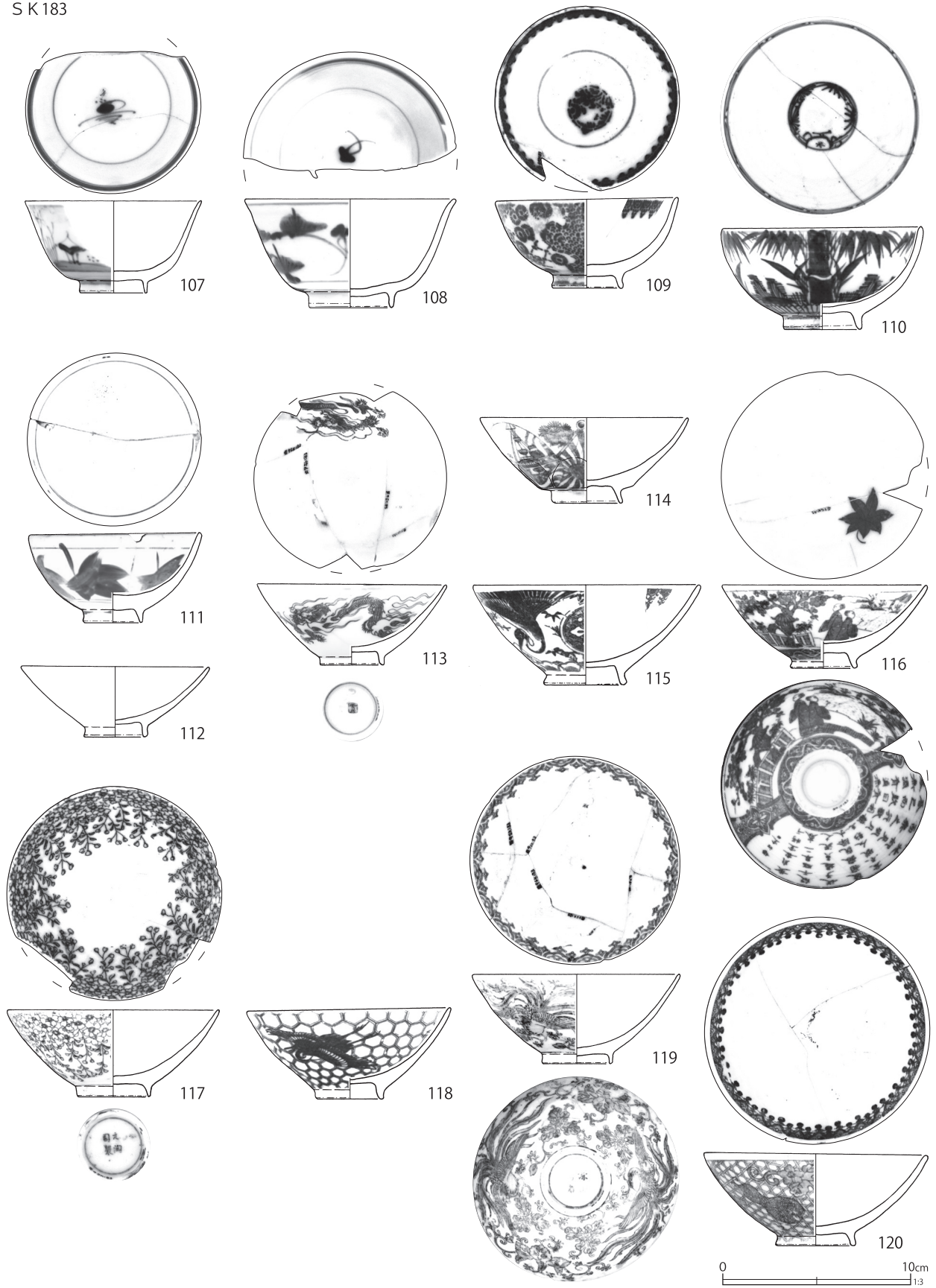


第 425 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (7)

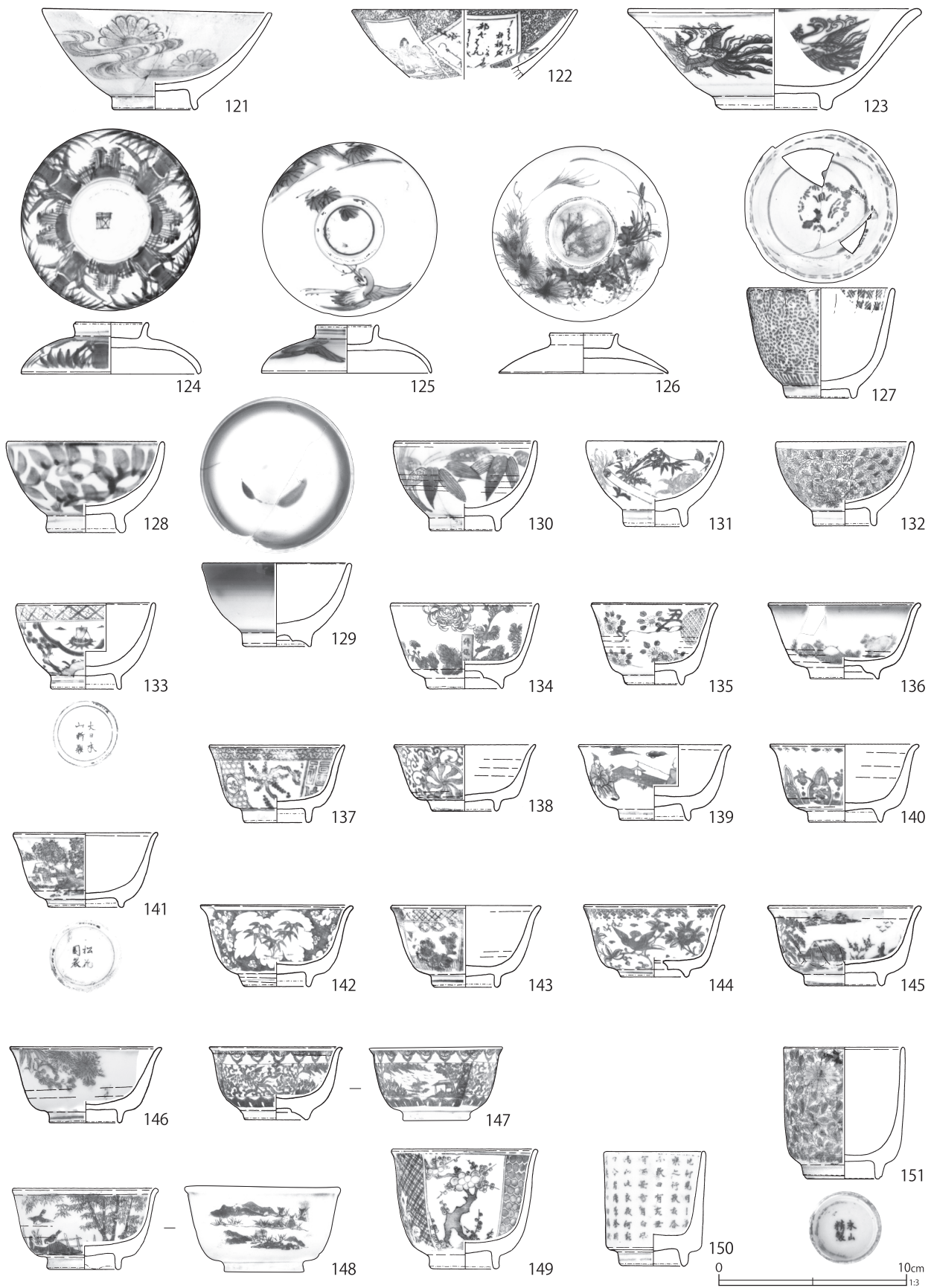


第 426 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (8)

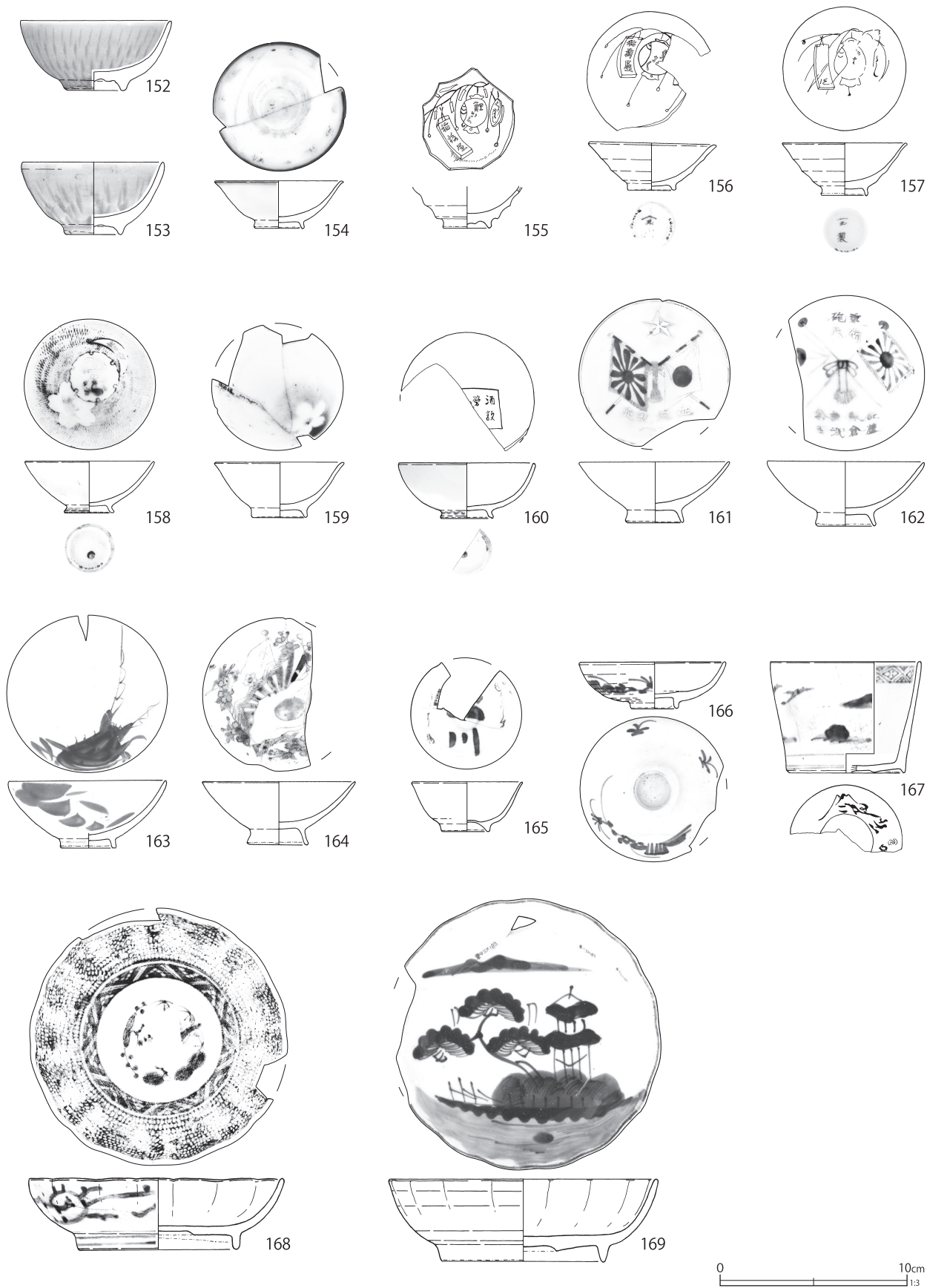
SK183



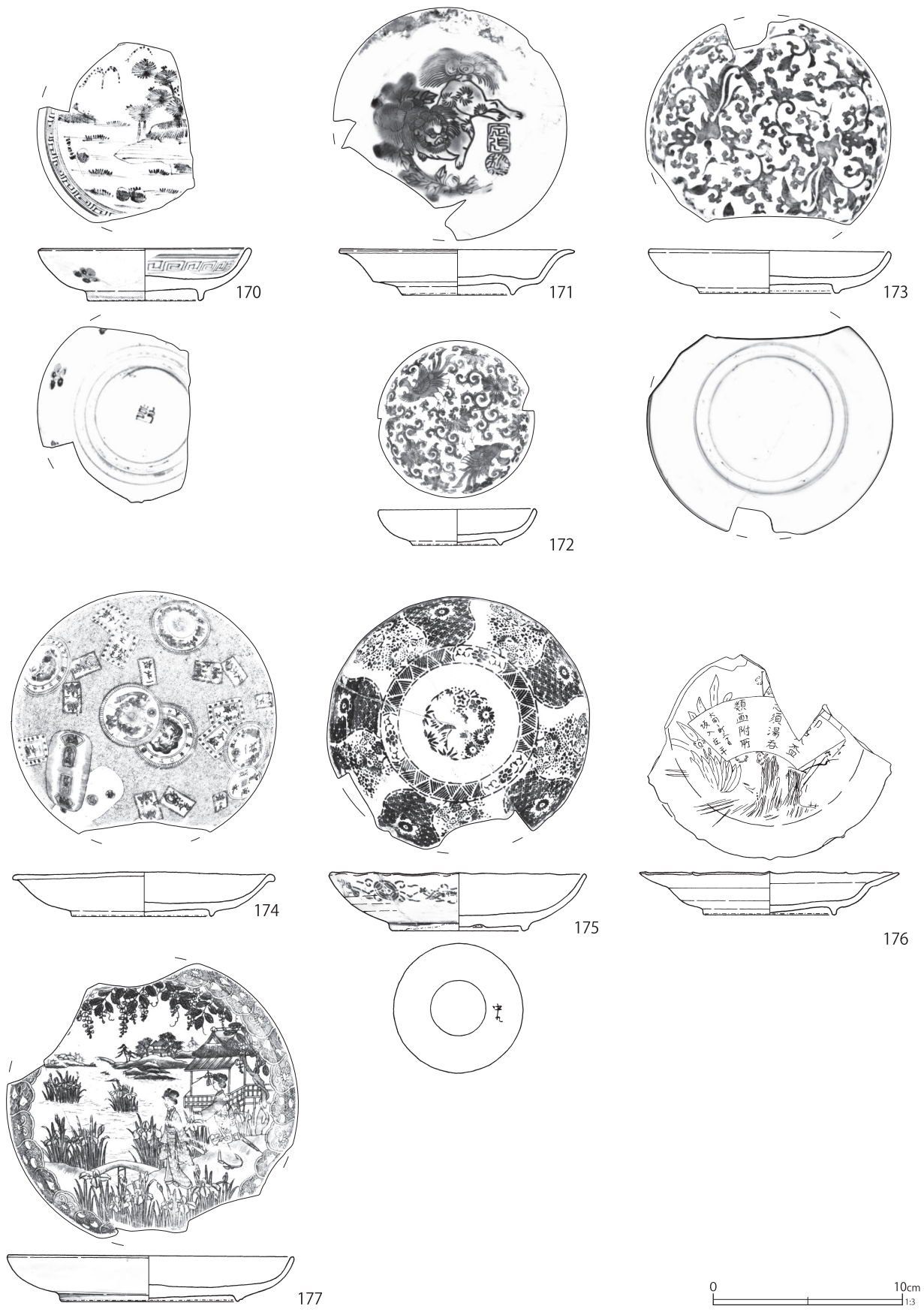
第 427 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (9)



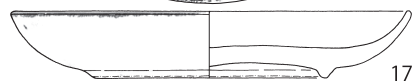
第 428 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (10)



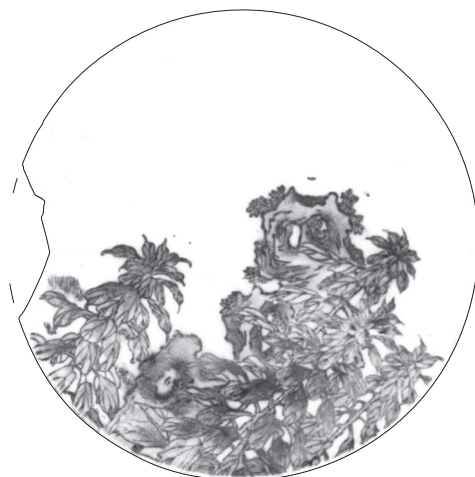
第 429 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (11)



第430図 第5区画の土壙出土遺物 (12)



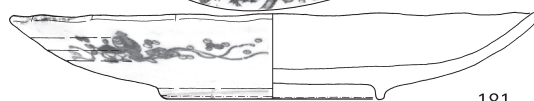
178



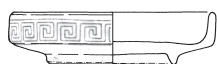
179



180



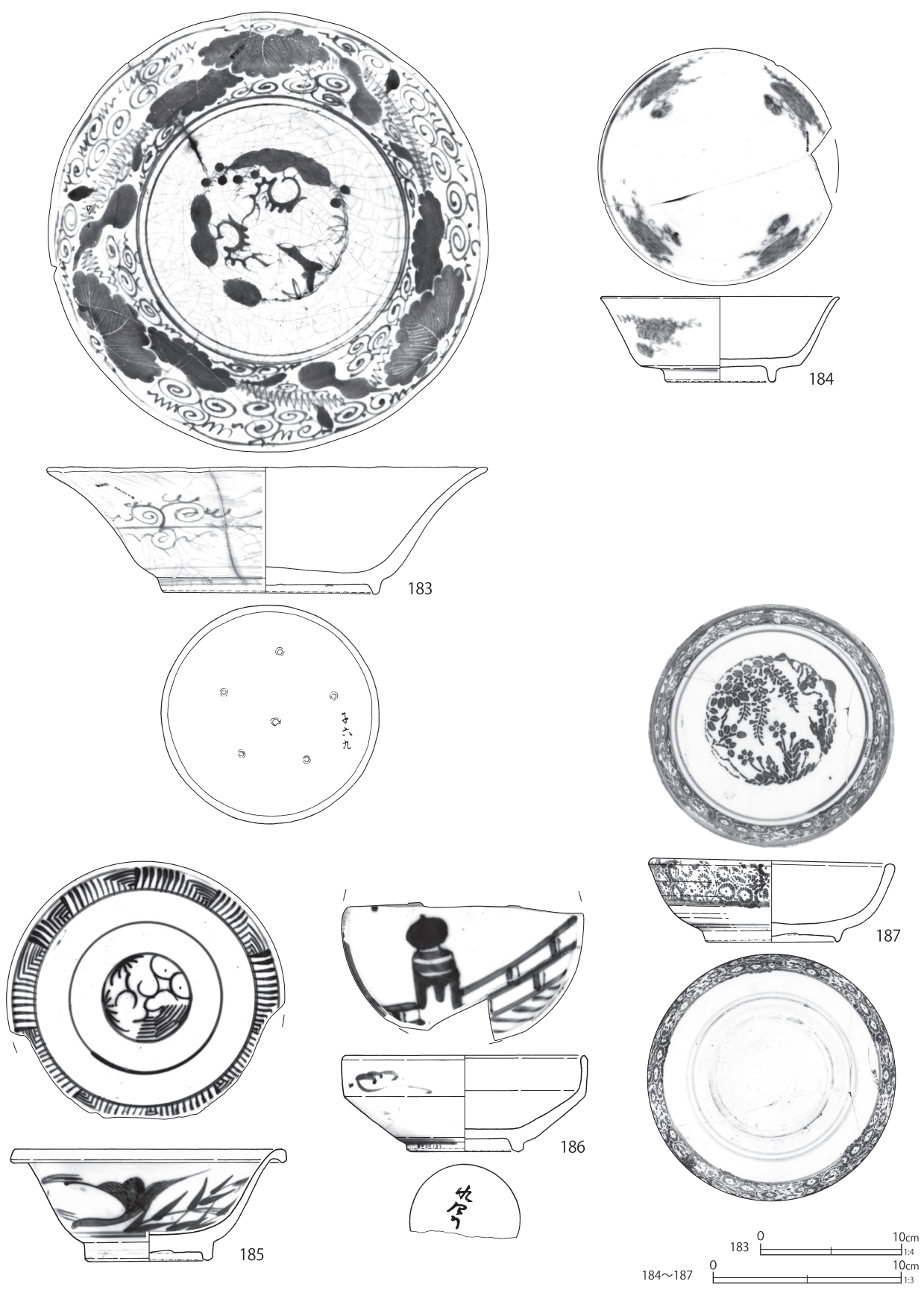
181



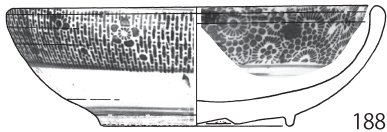
182



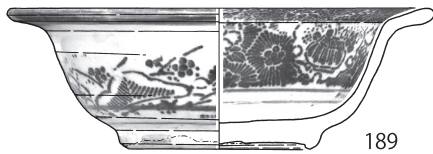
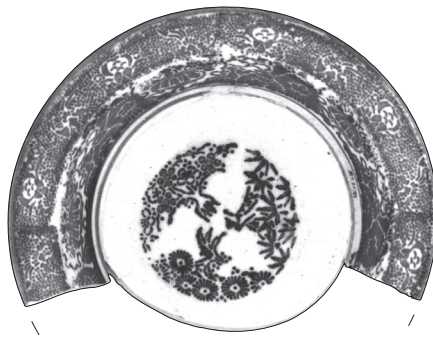
第 431 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (13)



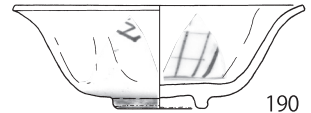
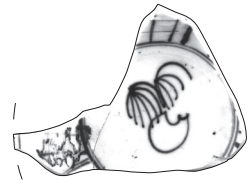
第 432 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (14)



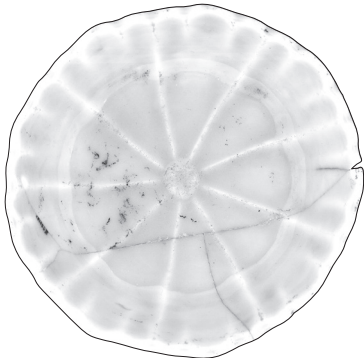
188



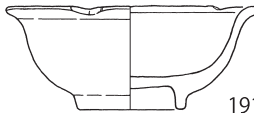
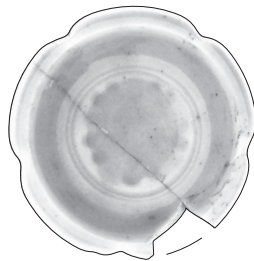
189



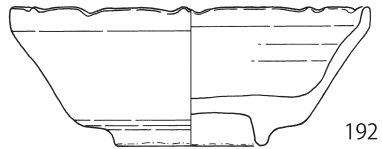
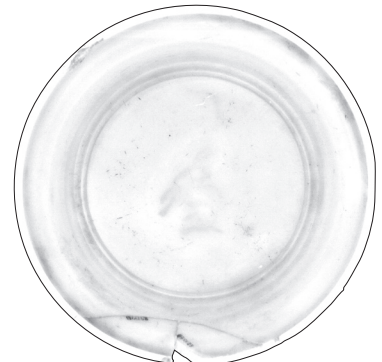
190



193



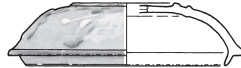
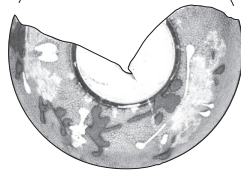
191



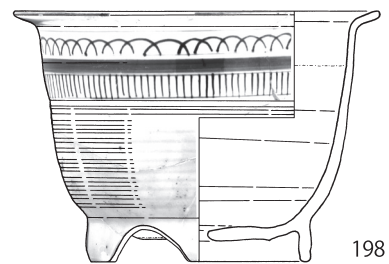
192



195



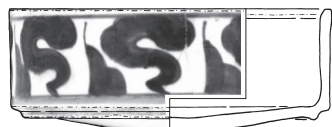
194



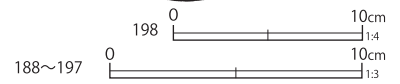
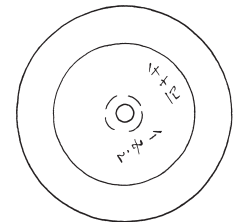
198



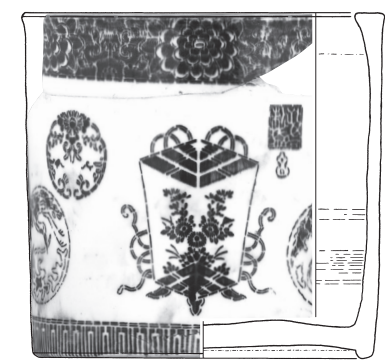
196



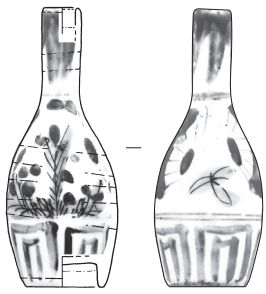
197



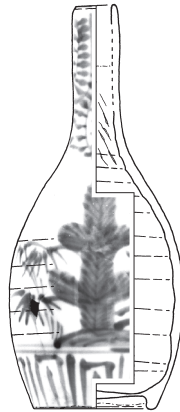
第433図 第5区画の土壙出土遺物 (15)



199



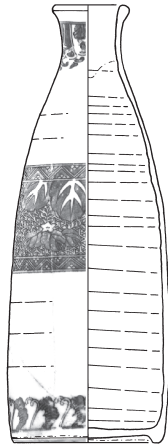
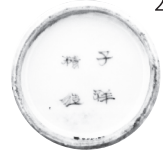
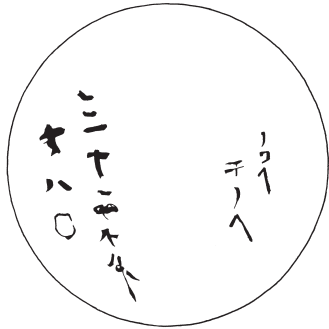
200



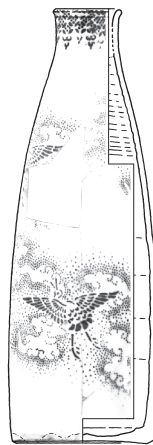
201



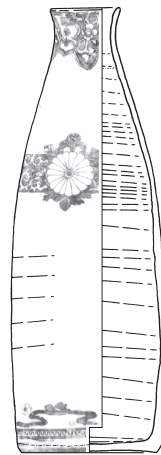
202



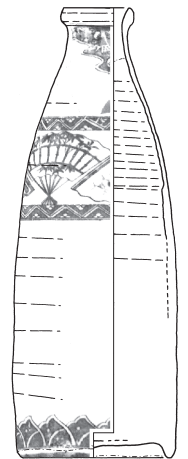
203



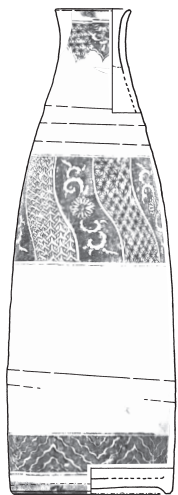
204



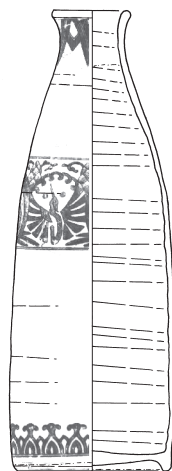
205



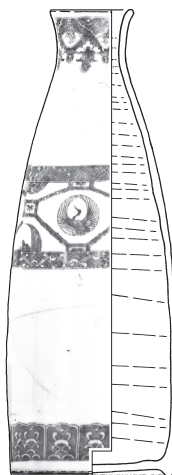
206



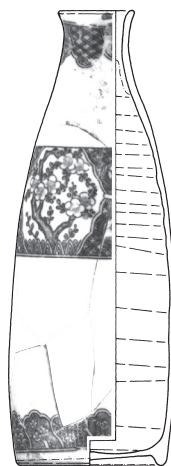
207



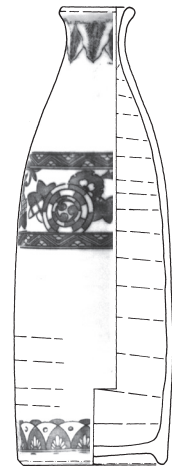
208



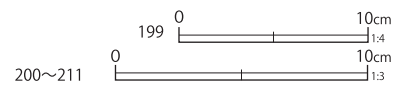
209



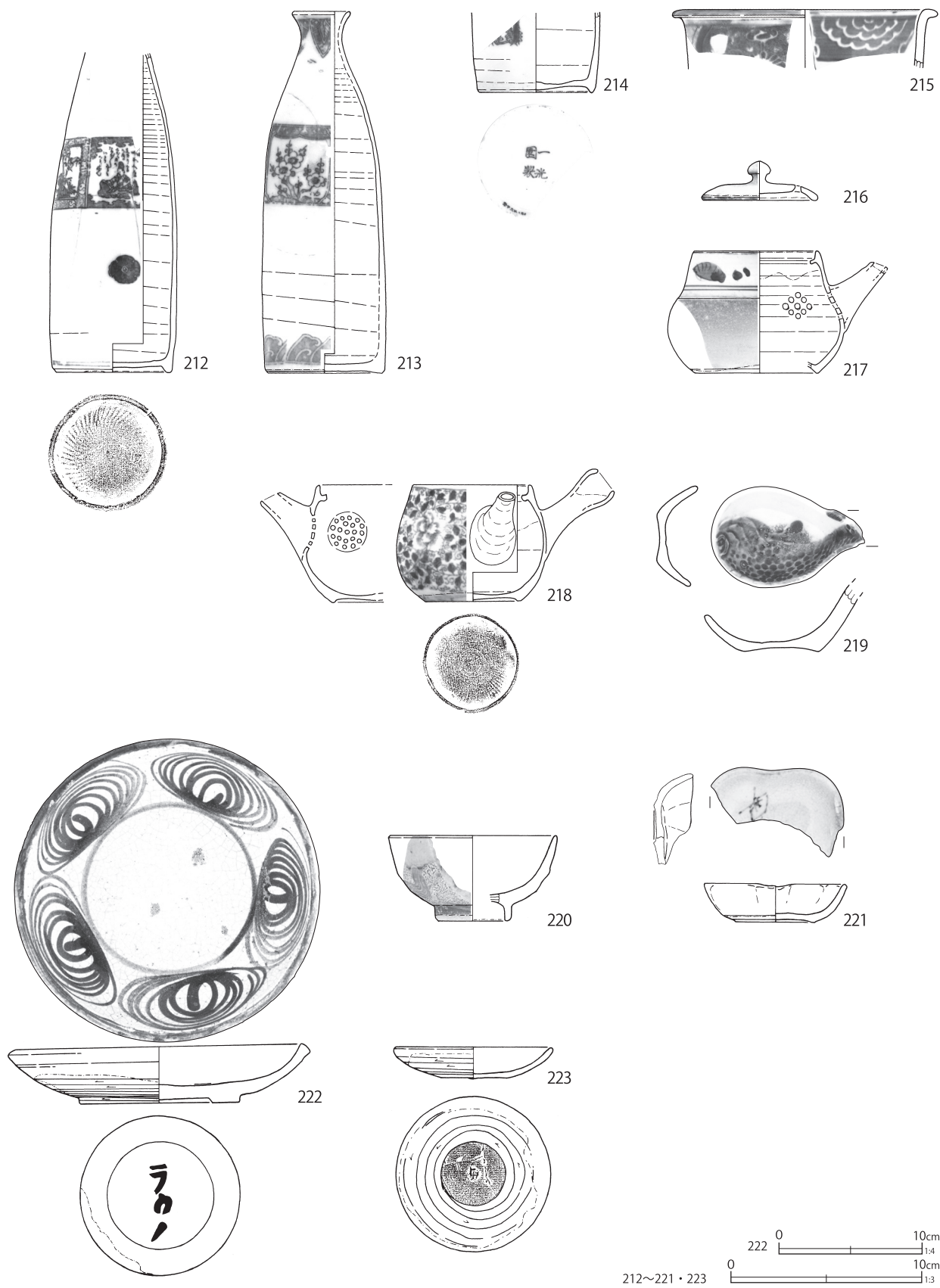
210



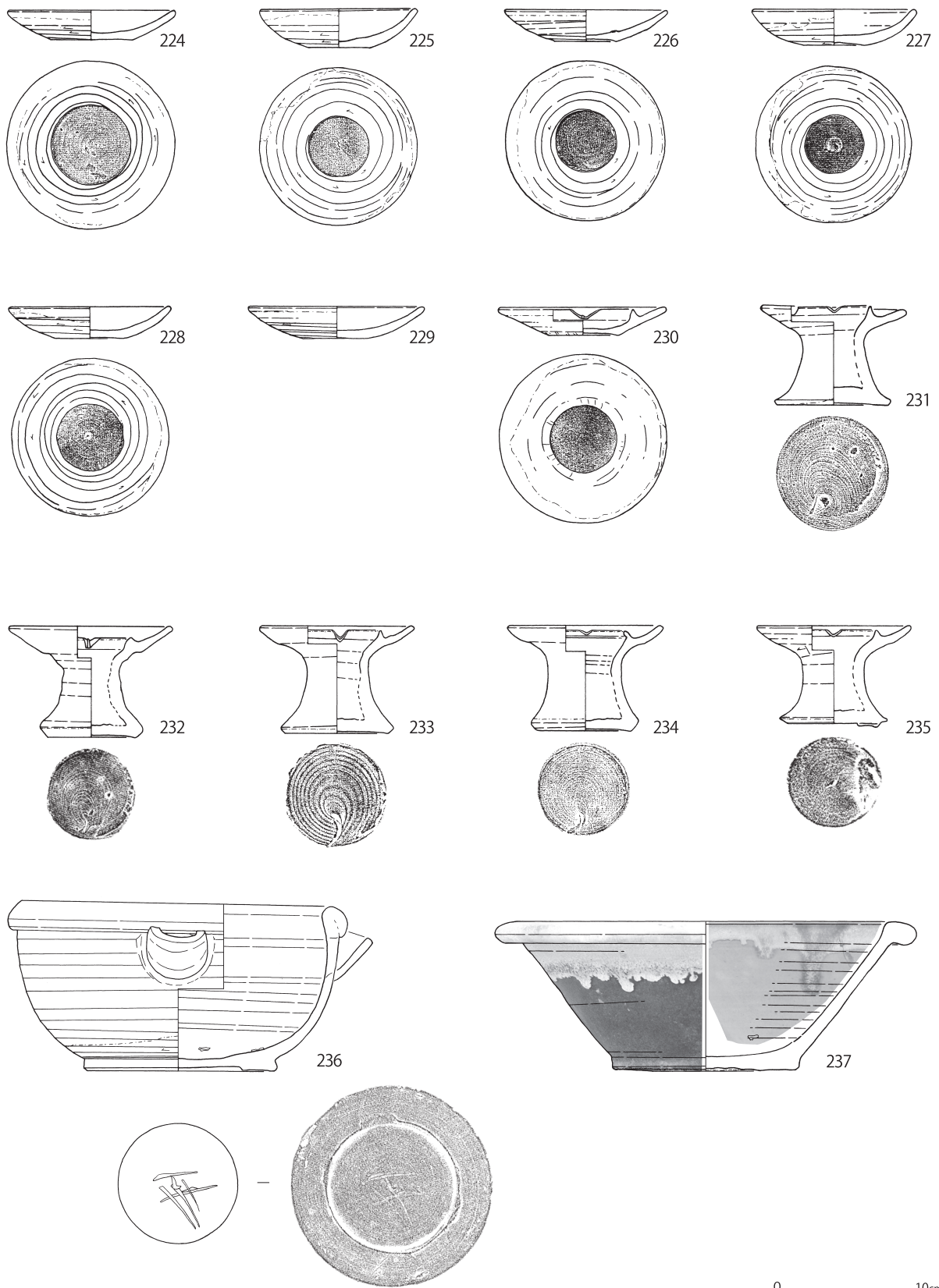
211



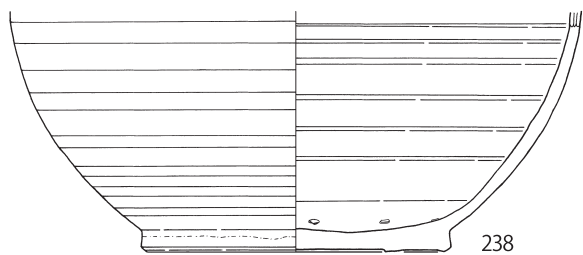
第 434 図 第 5 区画の土壇出土遺物 (16)



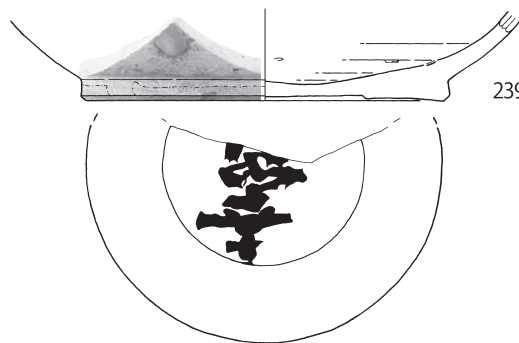
第435図 第5区画の土壙出土遺物(17)



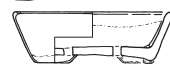
第 436 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (18)



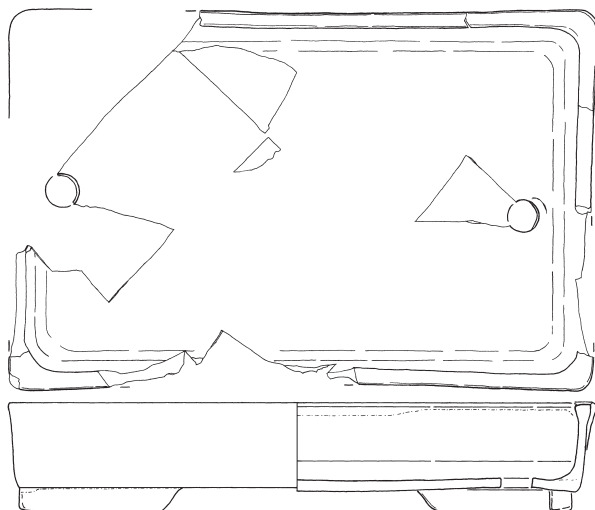
238



239



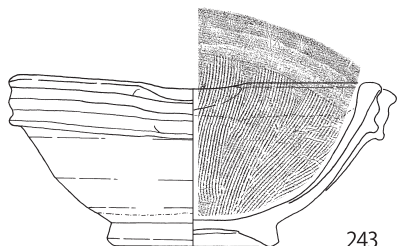
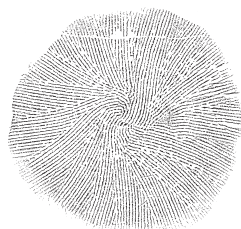
240



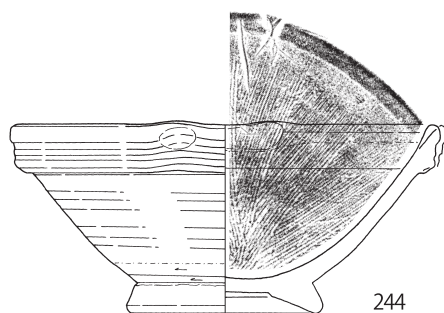
241



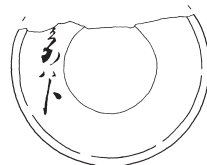
242



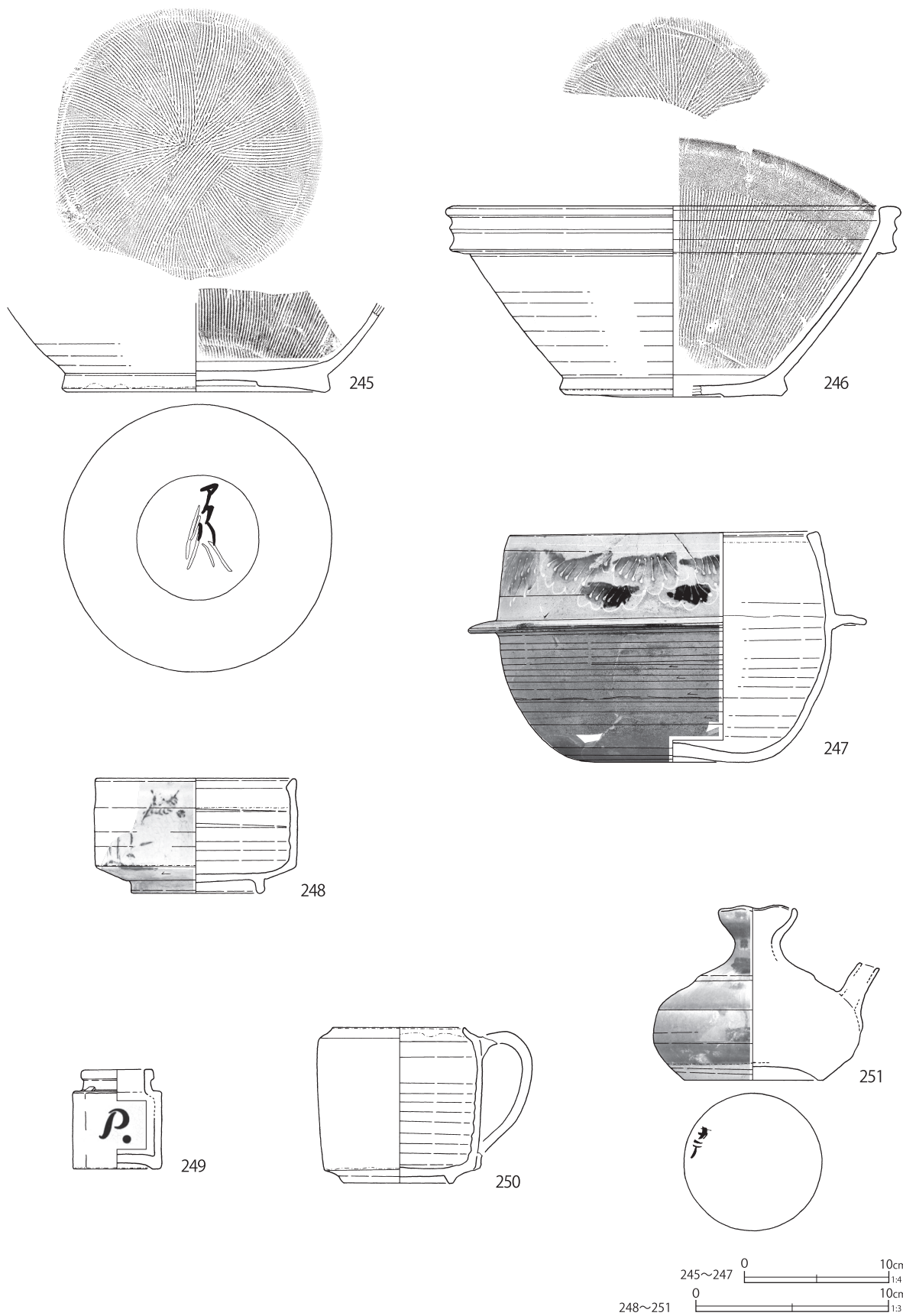
243



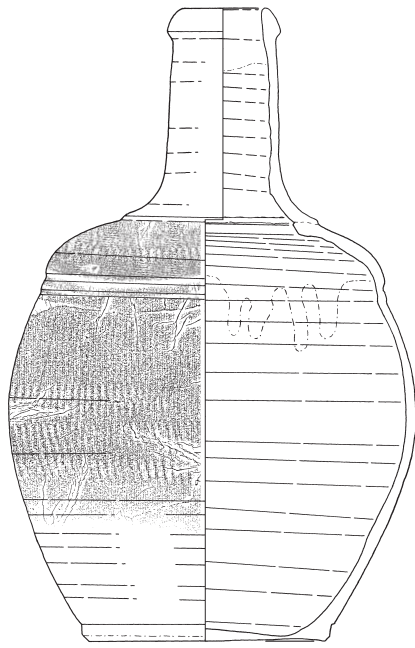
244



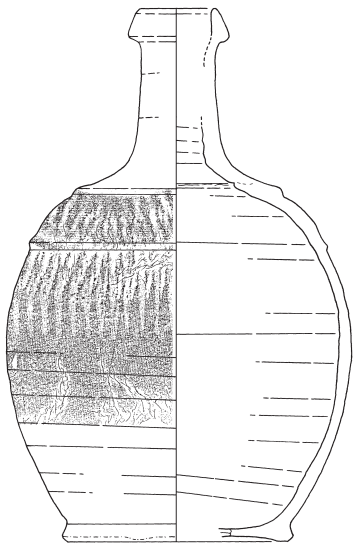
第 437 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (19)



第 438 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (20)



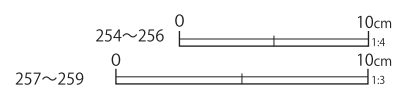
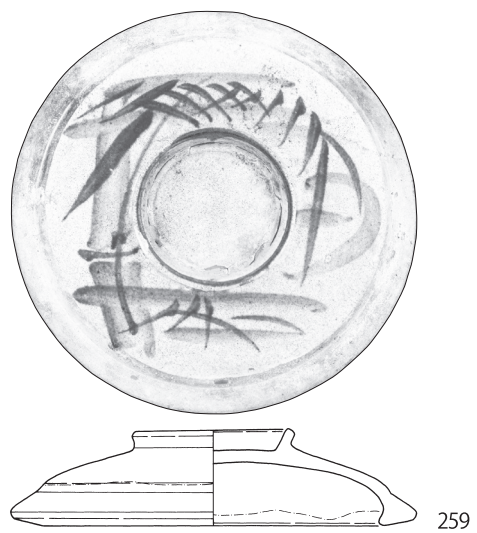
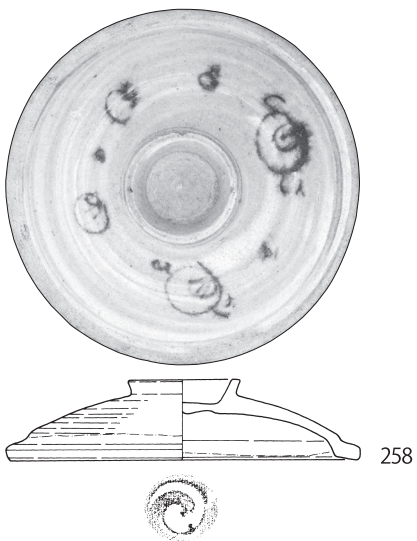
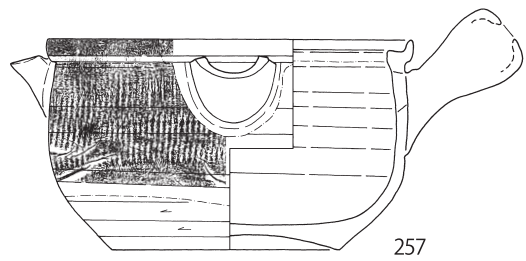
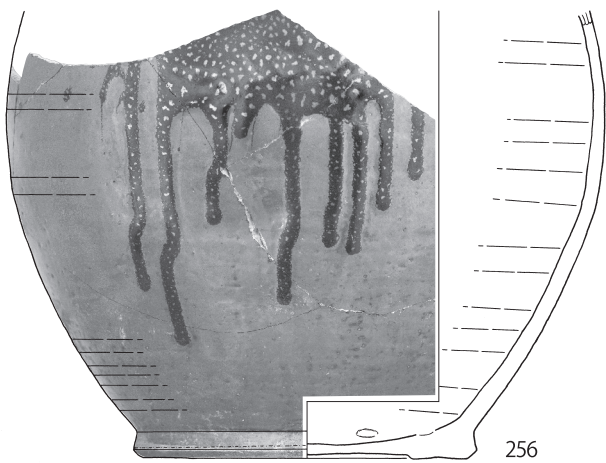
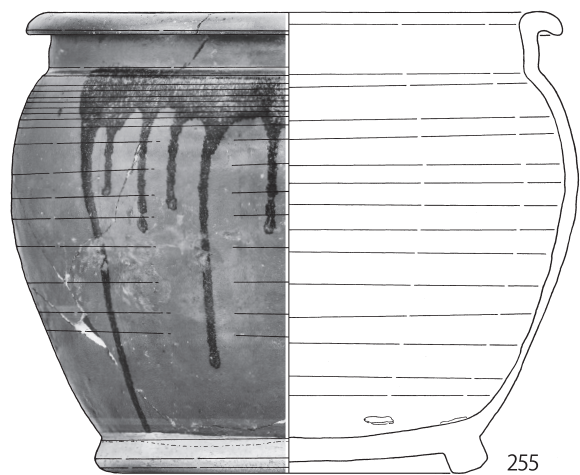
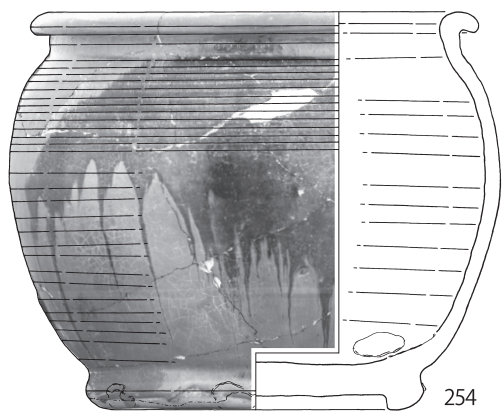
252



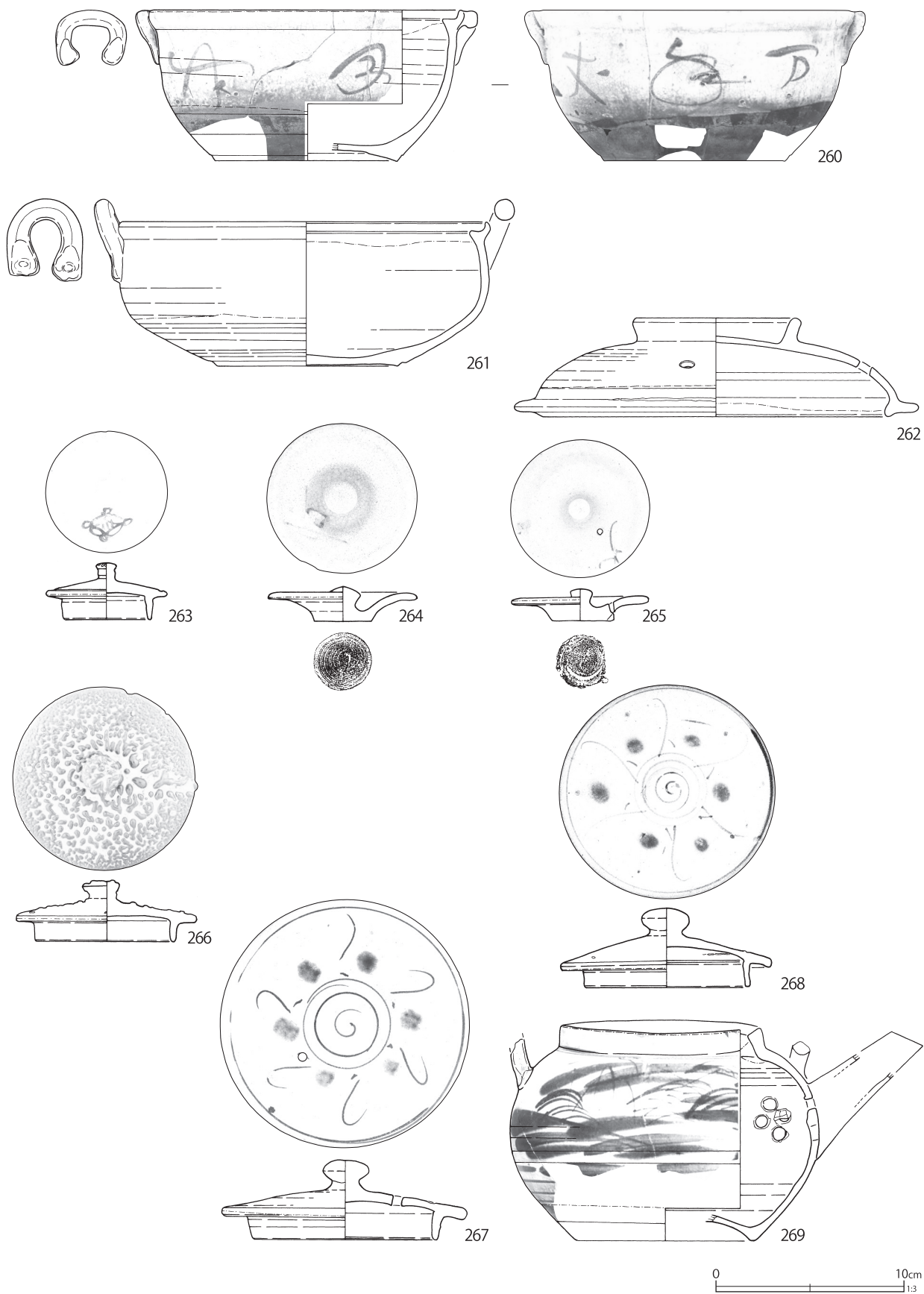
253



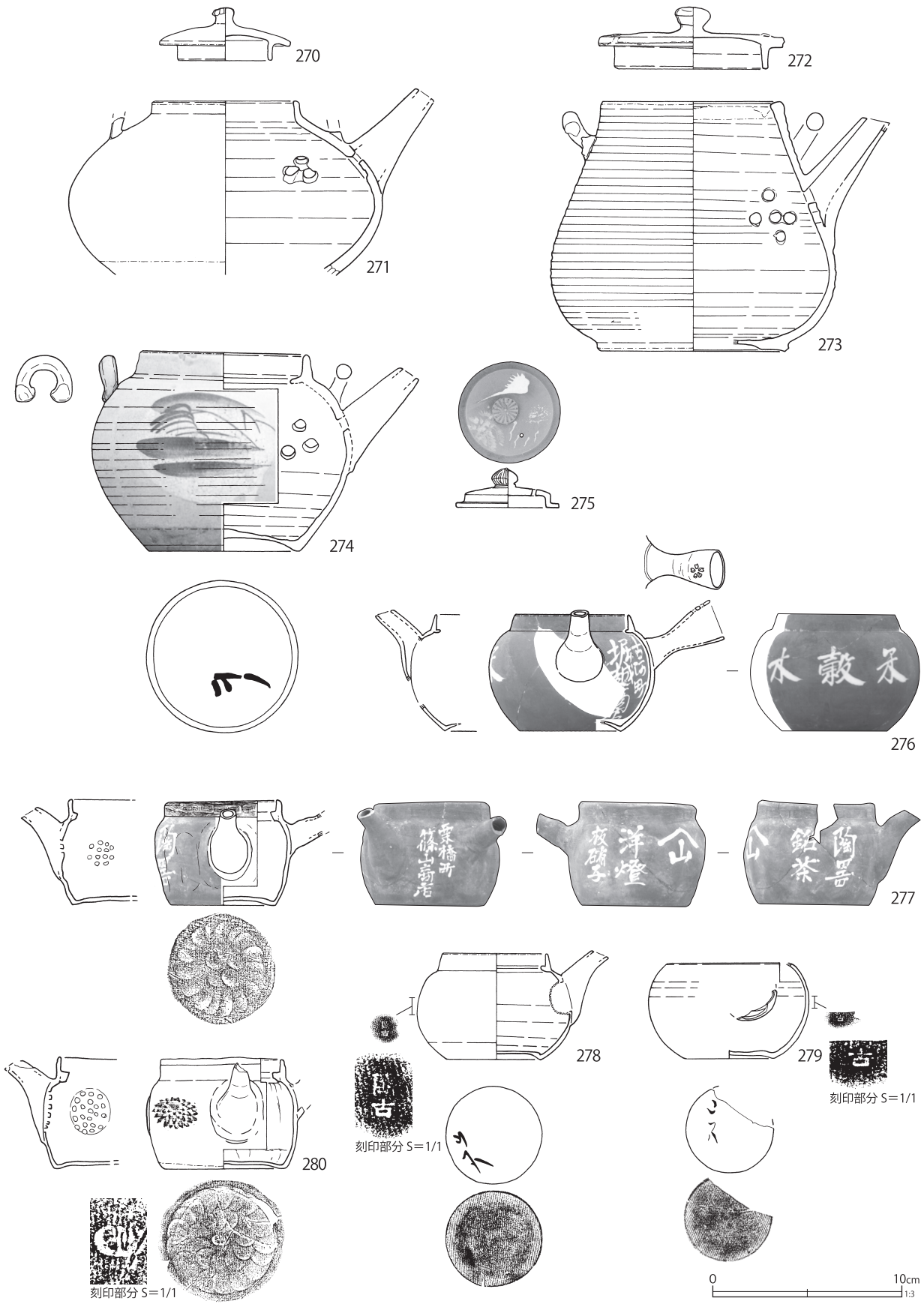
第 439 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (21)



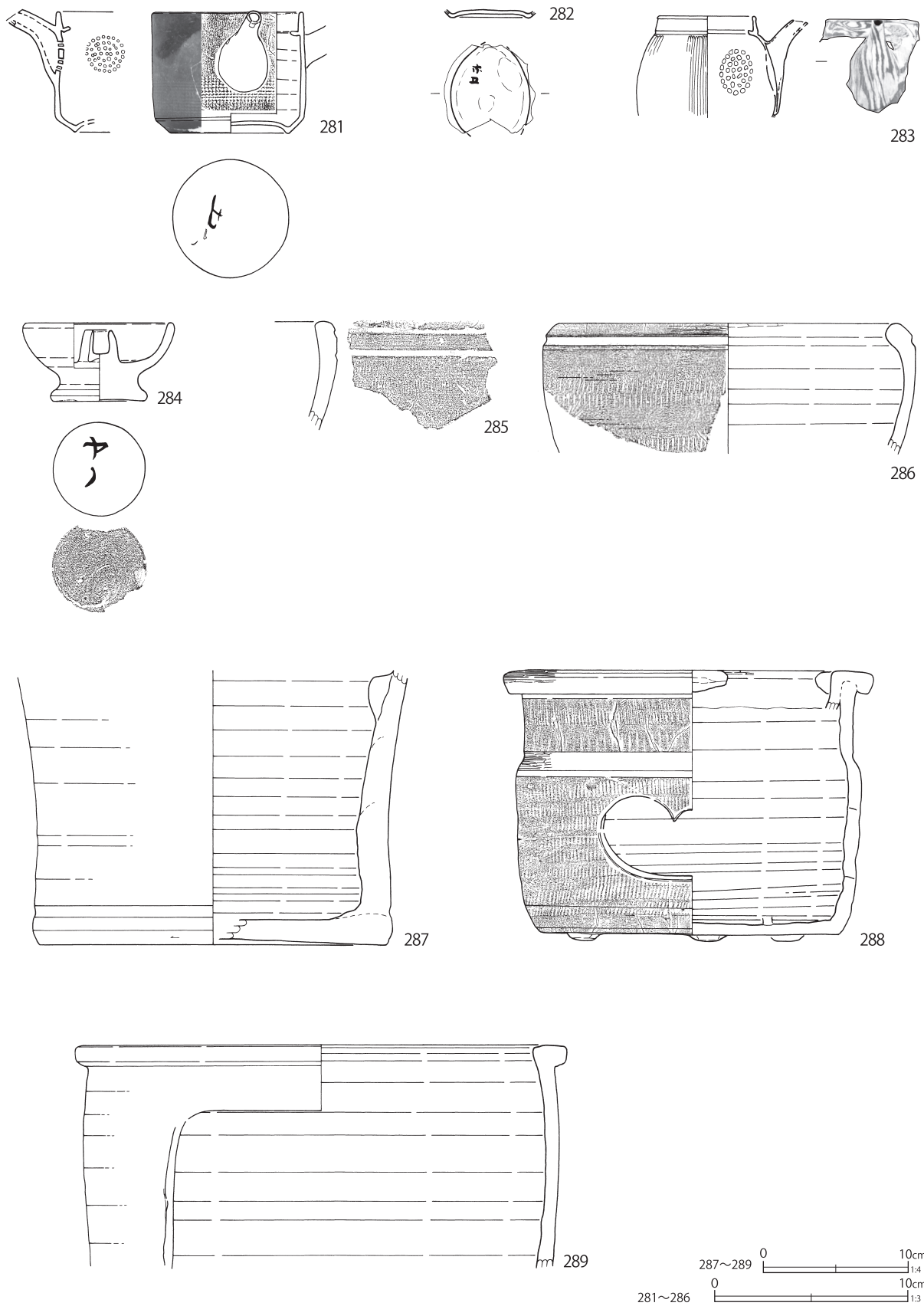
第 440 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (22)



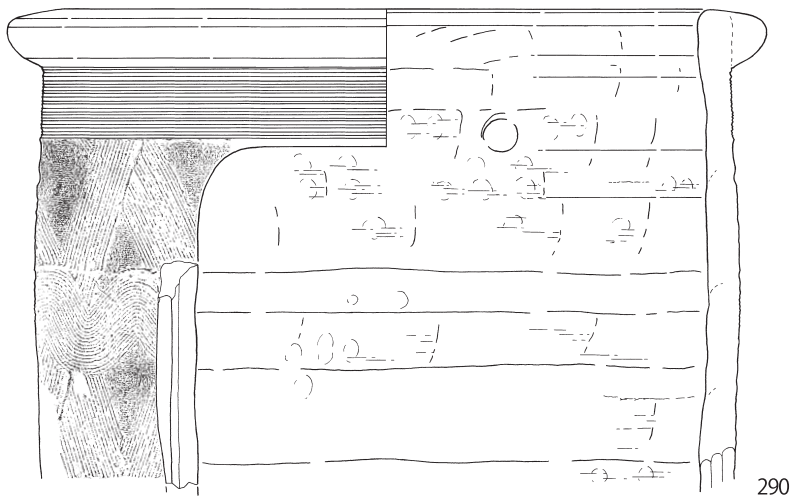
第 441 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (23)



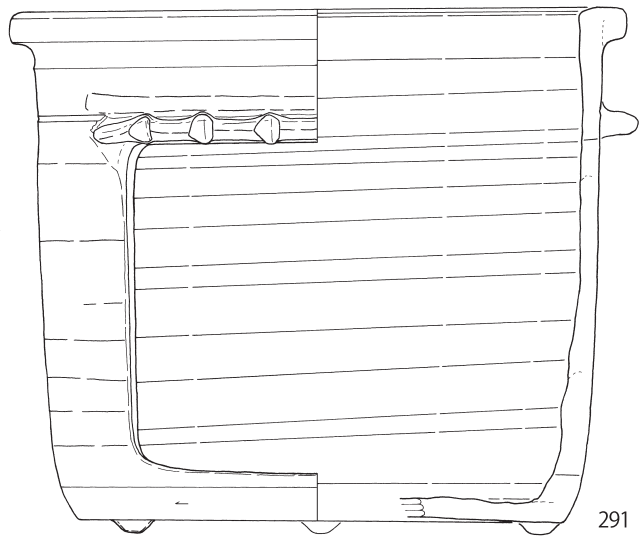
第 442 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (24)



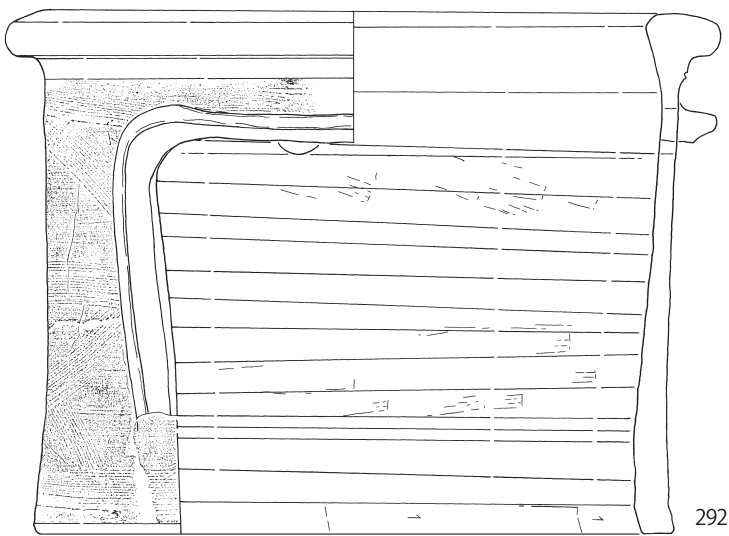
第 443 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (25)



290



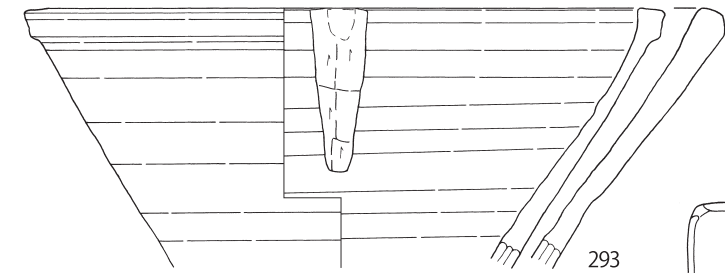
291



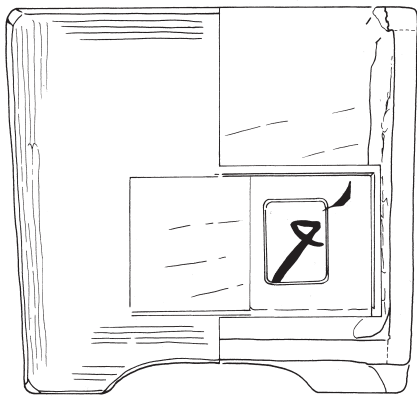
292



第 444 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (26)

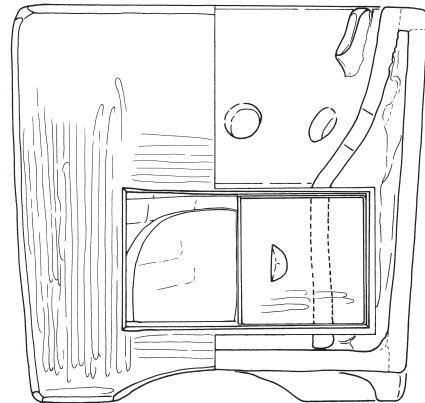


293



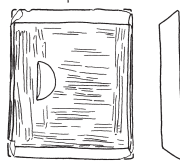
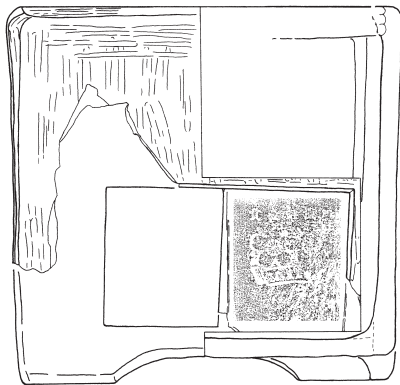
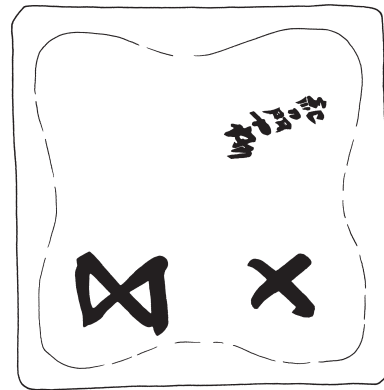
(裏扉部分)

295

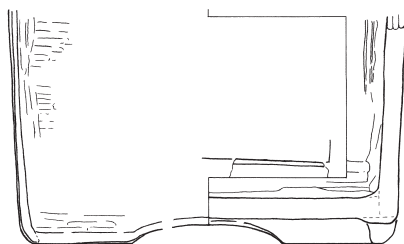


(裏扉部分)

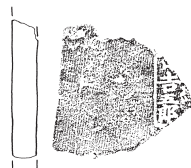
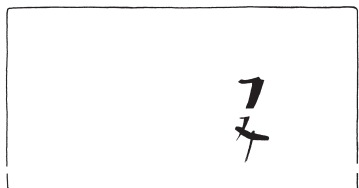
294



296



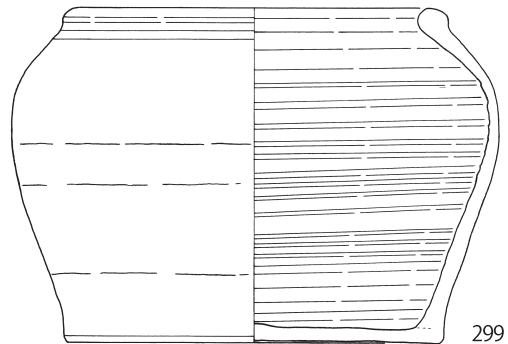
297



298



刻印部分 S=1/1

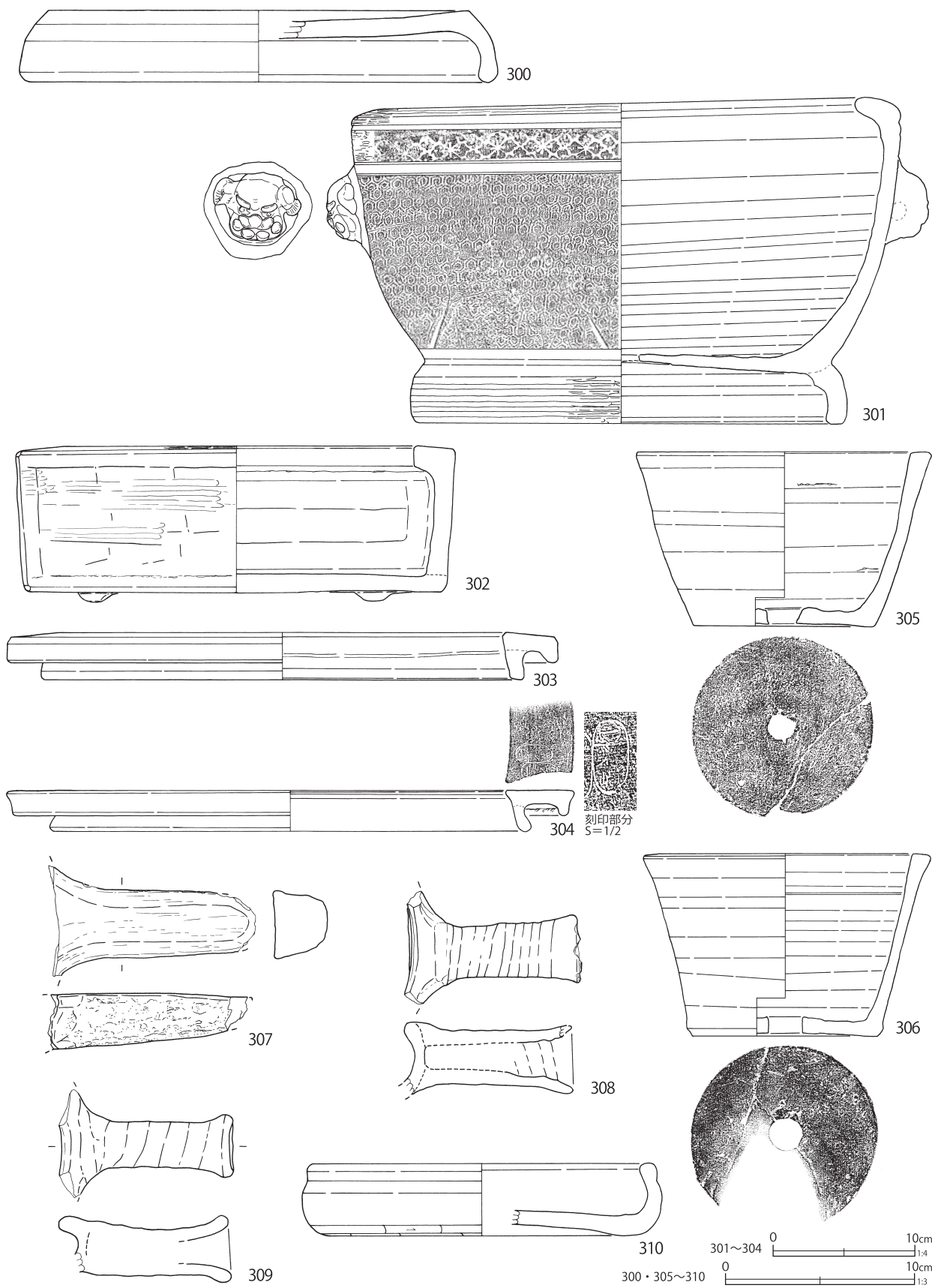


299

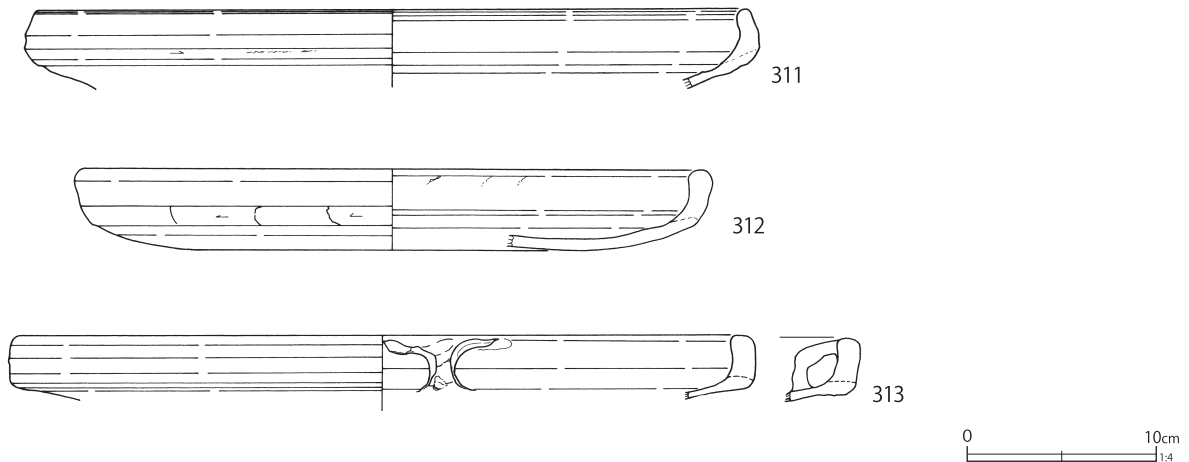
293 ~ 297 · 299 0 10cm 1:4

298 0 10cm 1:3

第 445 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (27)



第 446 図 第 5 区画の土壌出土遺物 (28)



第447図 第5区画の土壙出土遺物(29)

14は外形が近似する。15は栗橋宿跡ではほとんど見られない形で、打出の小槌形である。16は編み針で、端部が曲がる。19は割り下駄で、割り抜きは裏面中央部のみ、前歯は斜めに加工される。20は陰卵下駄である。長さ16.4cmと小形で、歯は薄く華奢である。

第471・472図32～72は金属製品である。33はオイルランプの口金である。平紐の芯を調整する金具である。

第188号土壙は、区画中央よりやや南東に位置し、長軸1.3mの楕円形を呈する。第449・450図326～341に出土した陶磁器を示す。

329は瀬戸美濃系磁器で、体部が丸味をもつ坏(酒杯)である。内面に上絵付けで「銘酒」「泉川」「古河／西村」「蒼海元是一菊泉」銘がみられる。古河市台町の増田屋・西村辨蔵家によるものである。明治三十年代に名が見え(『古河市史』)、大正2年版『大日本酒醤油業名家大鑑』によれば、古河では青木家に次ぐ規模の酒造であった。昭和6年時点で銘柄は「(御)神楽正宗」があったという。戦時統制により栗橋方面への販路を失い、戦後の酒造組合名簿(1952)には名が見えない。高台部の平面形は隅丸方形で、中心は円形に削り込む。330は瀬戸美濃系磁器で、端反になる坏である。内面に上絵付けで「く

りはし」「八坂神社」「染谷」銘がある。

337は土器質の土瓶で、胎土中に微細な雲母を多く含む。338は施釉土器の浅い鉢で、白色土器質のものである。内面全体と外面体部に施釉され、緑色・赤色に発色する。外面底部は型押文で梅樹等が表される。京都系の土器と思われる。

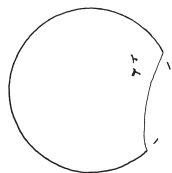
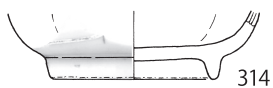
第472図77～80は金属製品で、78はねじりコイルバネ式の紙挟みである。

第189号土壙は、第188号土壙の北側に隣接する土壙で、長軸1.45mの不整楕円形を呈する。第450・451図342～352に出土した陶磁器を示す。

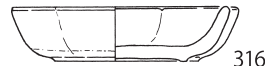
342は瀬戸美濃系磁器の皿で、内面に銅版転写染付で鯉を描く。343は磁器の坏で、色絵を施す九谷風のものである。高台内に赤の上絵付けで「九谷」銘を有す。344は瀬戸美濃系磁器で、器種不詳の筒形を呈する容器である。外面は上下を低い突帯で区切り、その中は鉄釉を弾いて文様を表している。上下には染付が施される。内面は施釉される。345・346は産地不詳の陶器灯明皿である。349は陶器の五徳で、白色土器質のものである。全面丁寧なナゲで仕上げられ、外面に刻印「ふか草」「ト口(齋カ)」が認められる。

「ふか草」の地名が表すように、京都の伏見・深草産のものである。多様な刻印が知られている

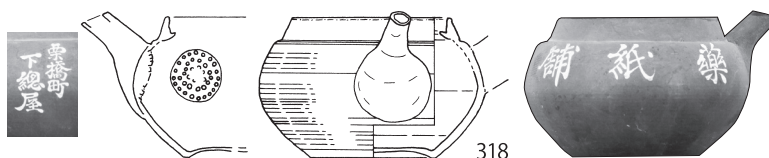
S K 186



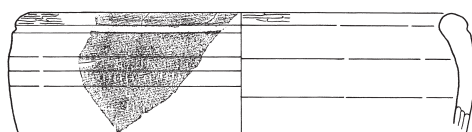
315



316

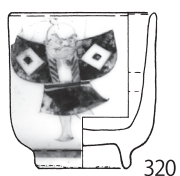


318

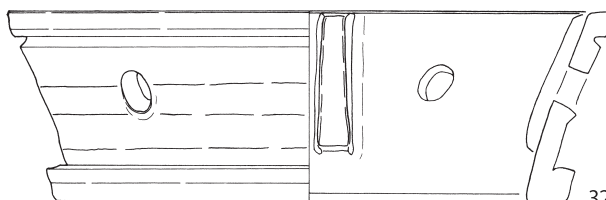


319

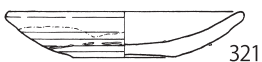
S K 187



320



324



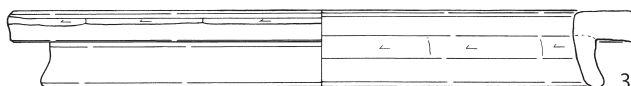
321



322



323



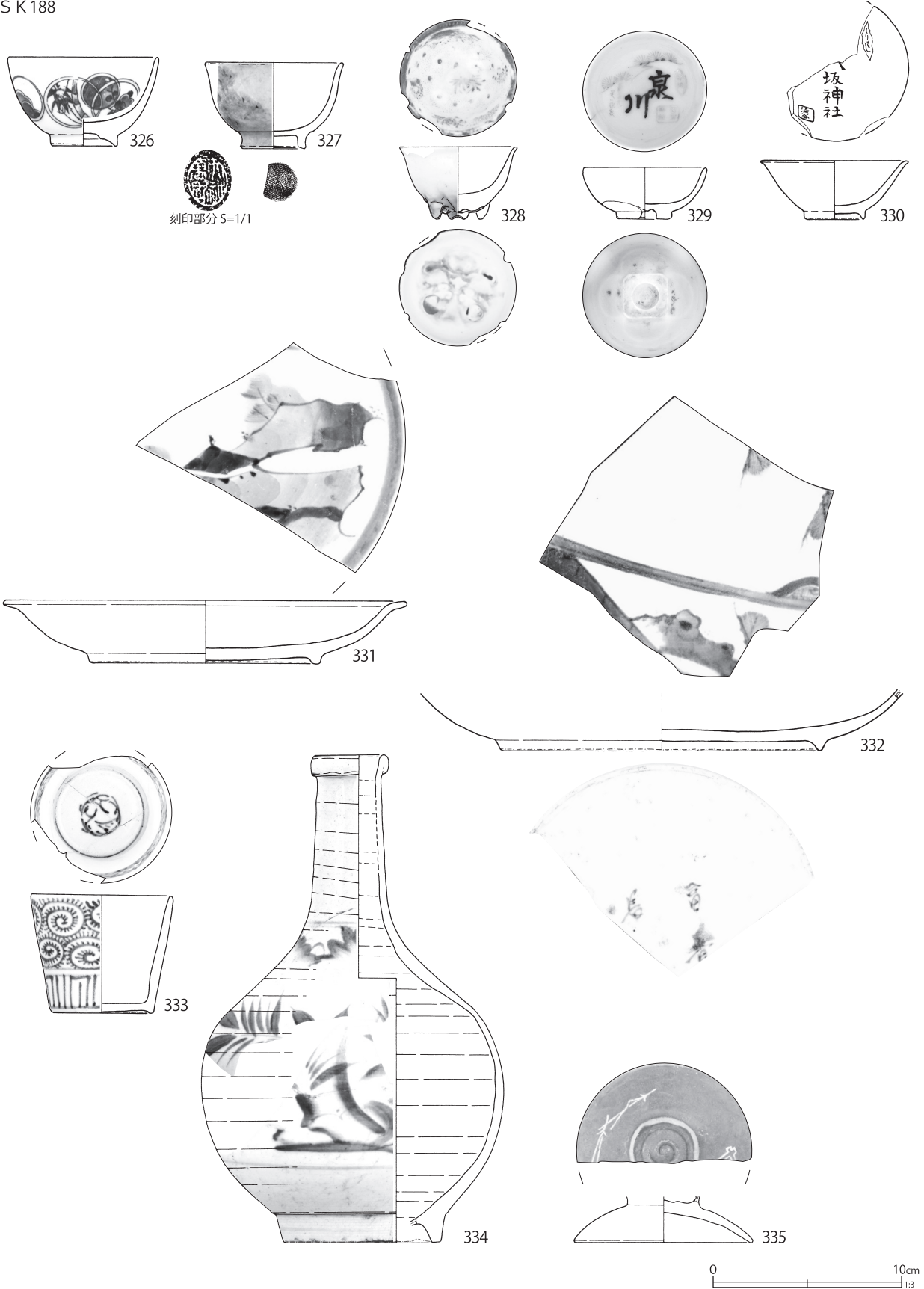
325

0 10cm 1:4

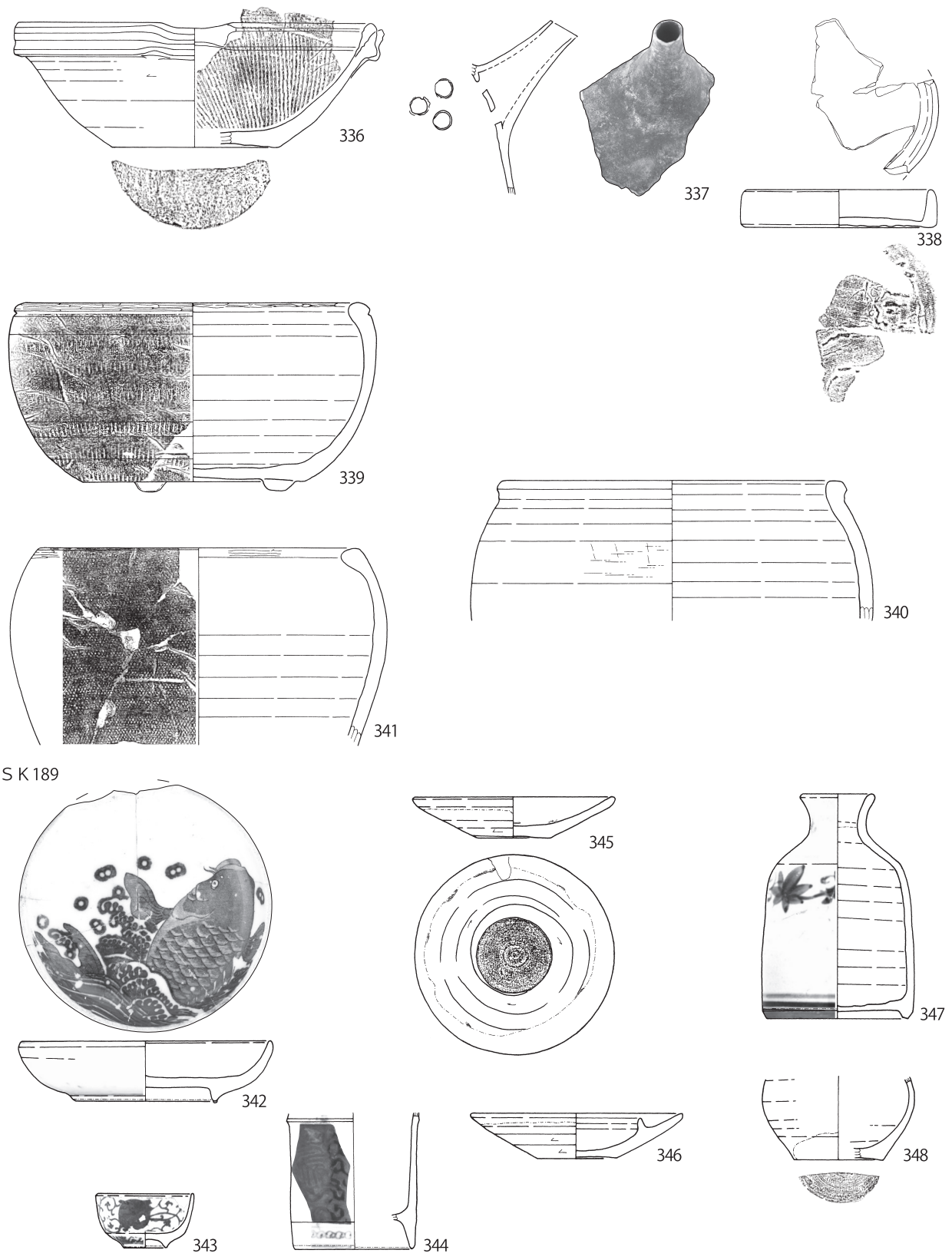
0 10cm 1:3

第 448 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (30)

S K 188



第 449 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (31)



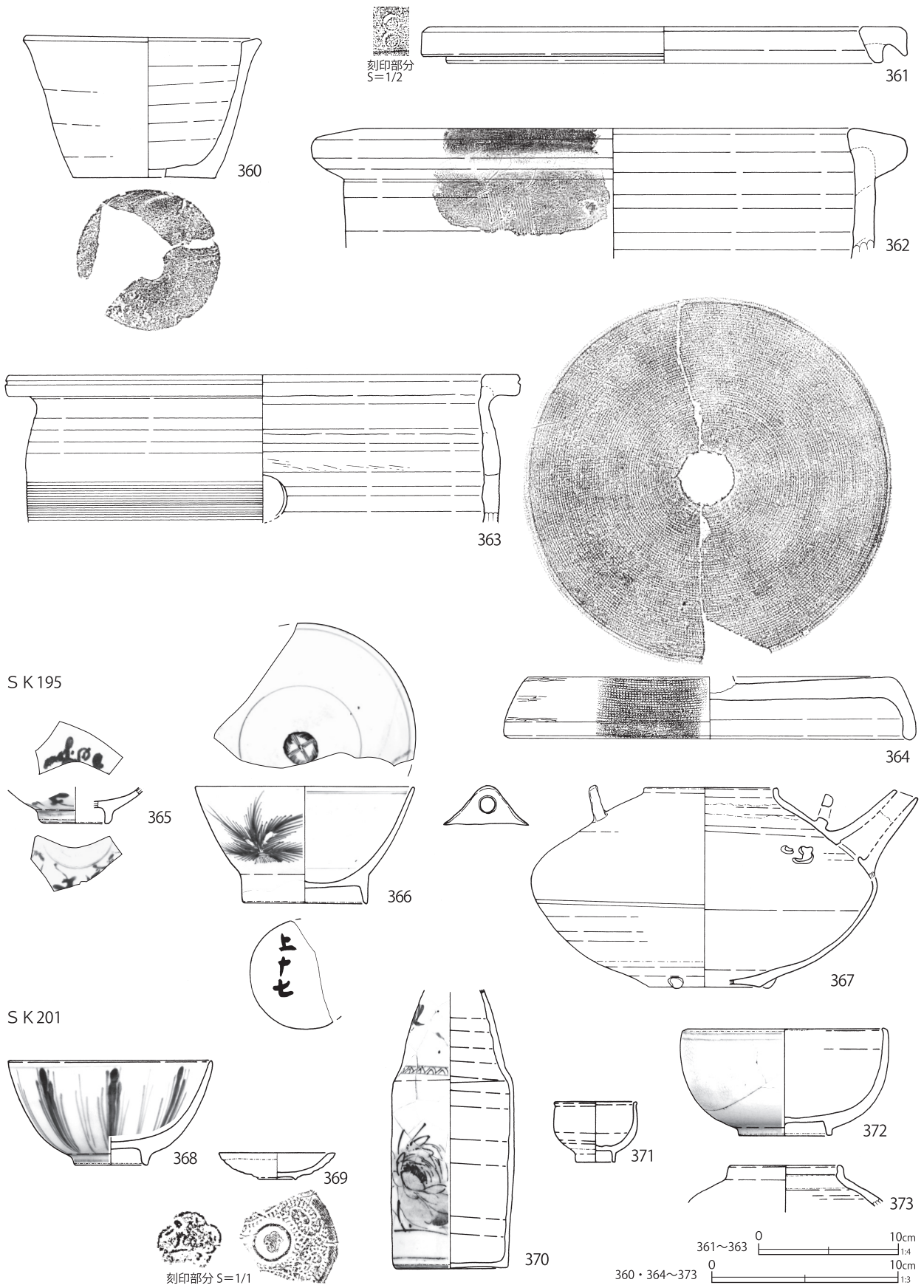
S K 189

340・341 0 10cm 1:4 336~339・342~348 0 10cm 1:3

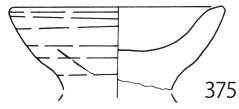
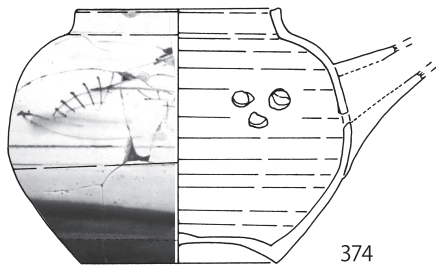
第 450 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (32)



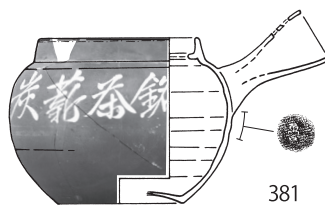
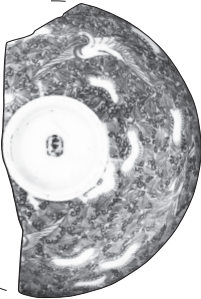
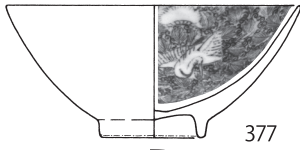
第 451 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (33)



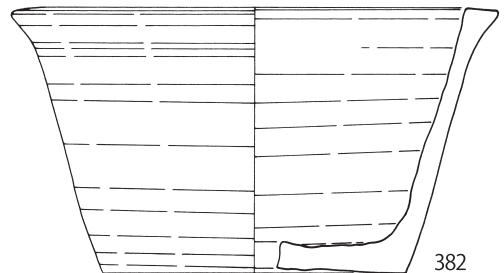
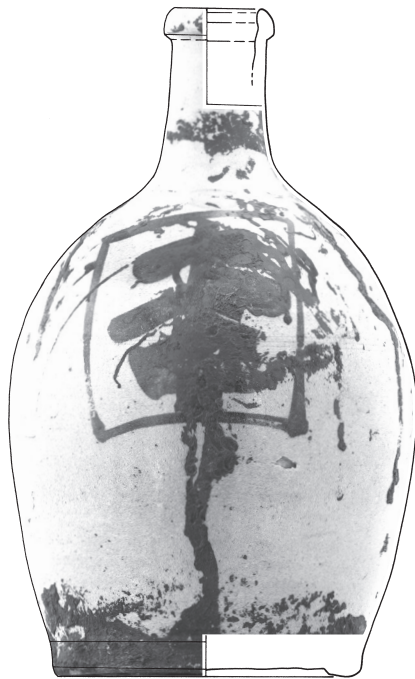
第 452 図 第 5 区画の土壇出土遺物 (34)



S K 208

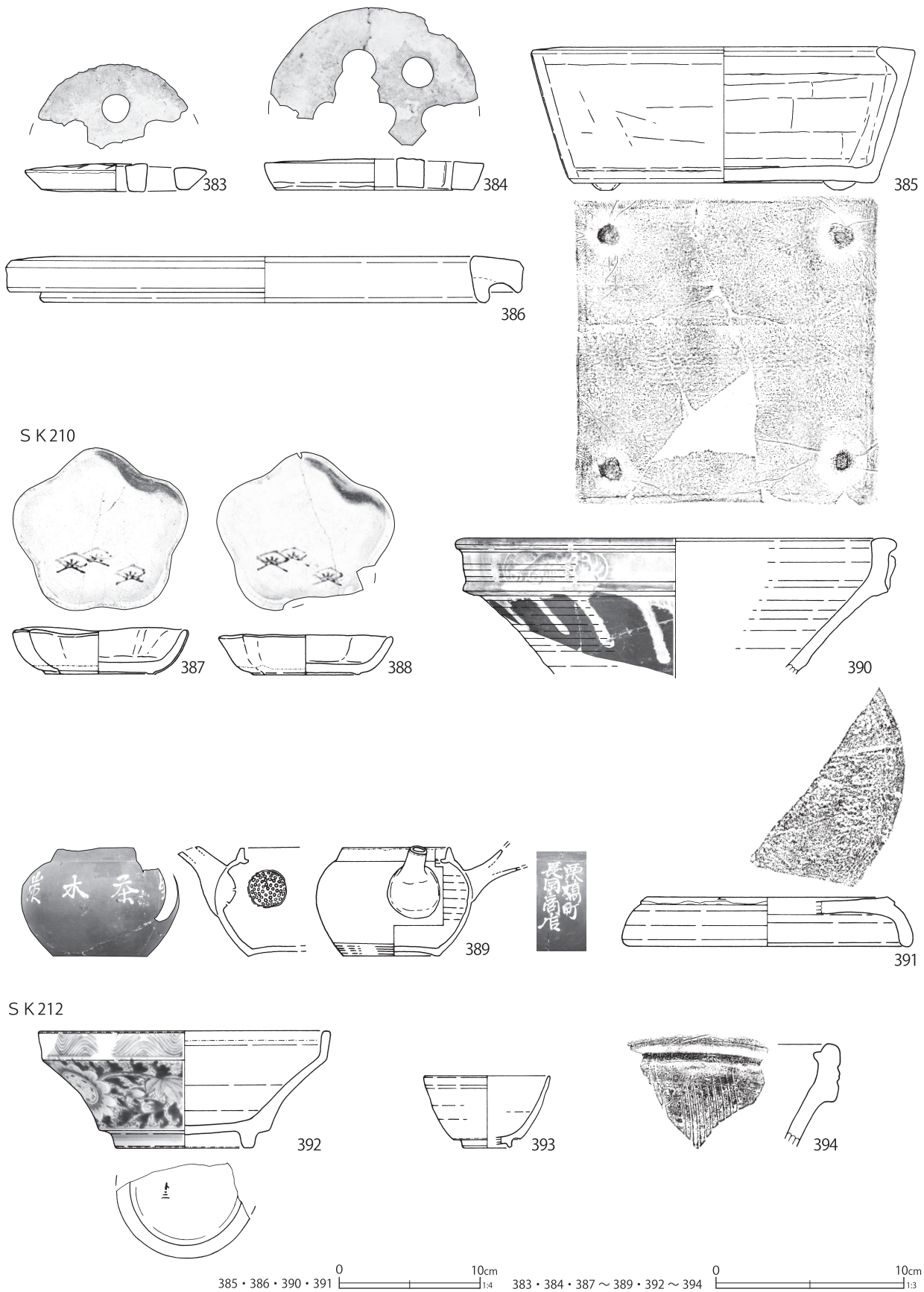


刻印部分
S=1/1



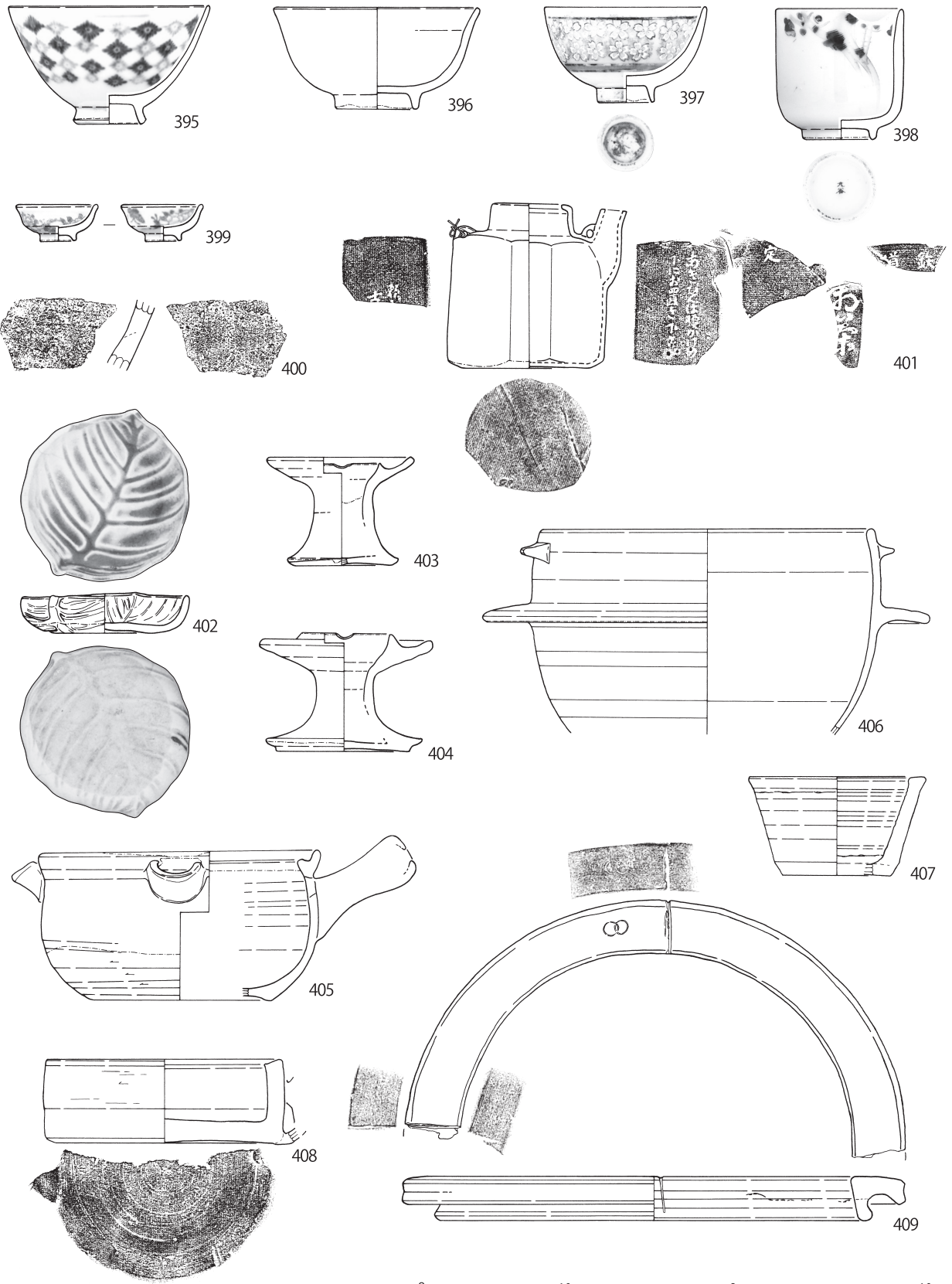
0 10cm
1:3

第 453 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (35)



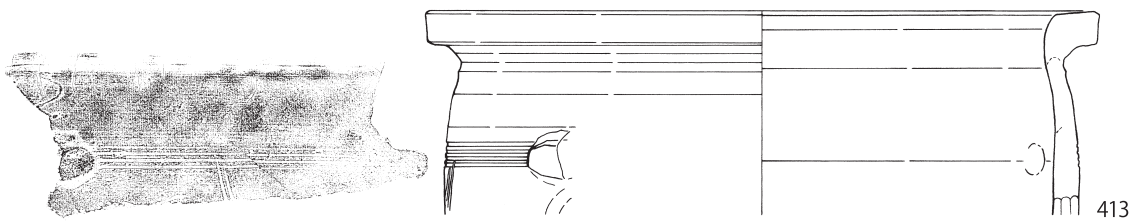
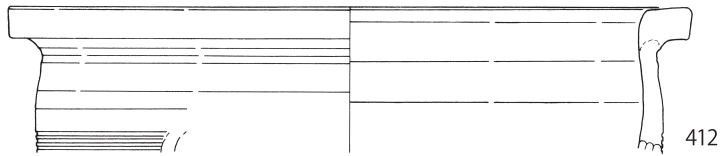
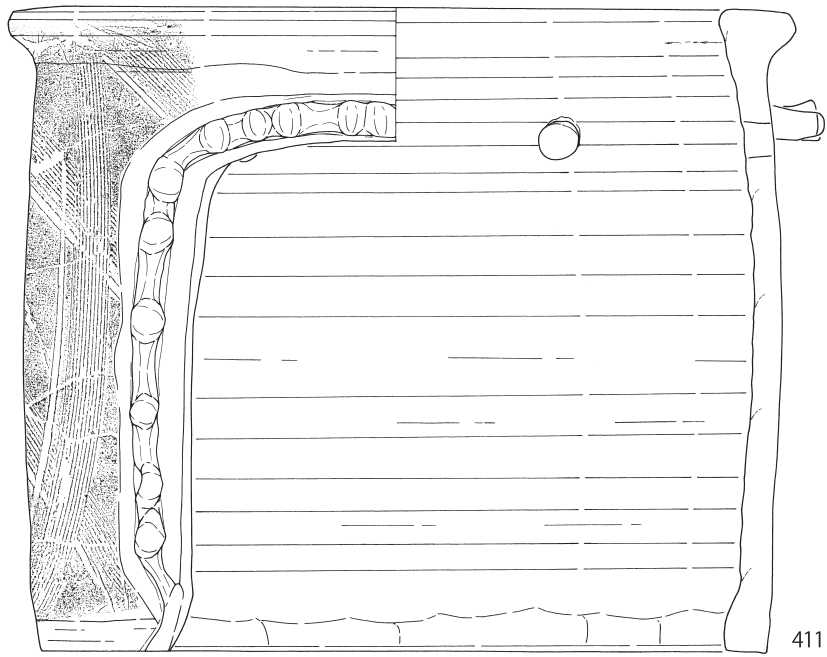
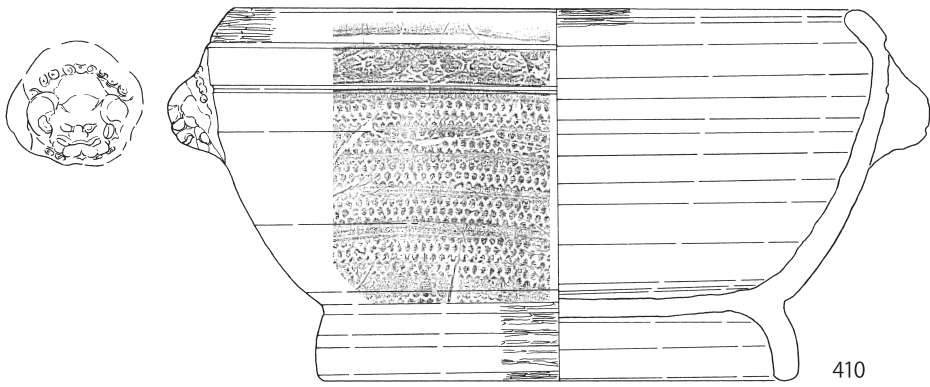
第 454 図 第 5 区画の土壇出土遺物 (36)

S K 217



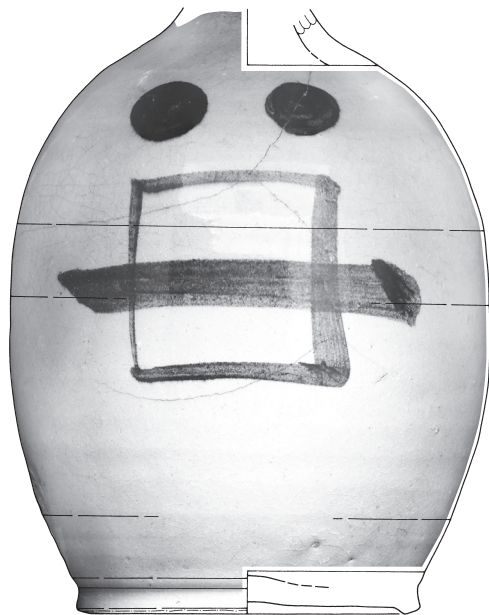
406・409 0 10cm 1:4 395~405・407・408 0 10cm 1:3

第 455 図 第 5 区画の土壌出土遺物 (37)

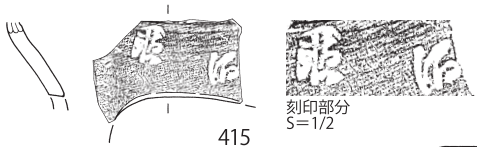


第 456 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (38)

S K 224

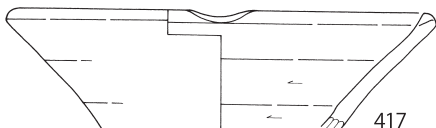


414

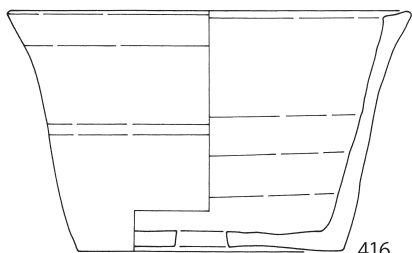


415

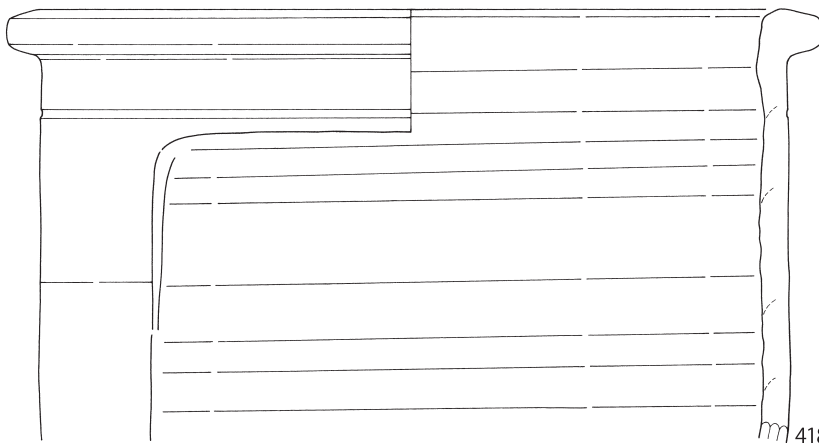
刻印部分
S=1/2



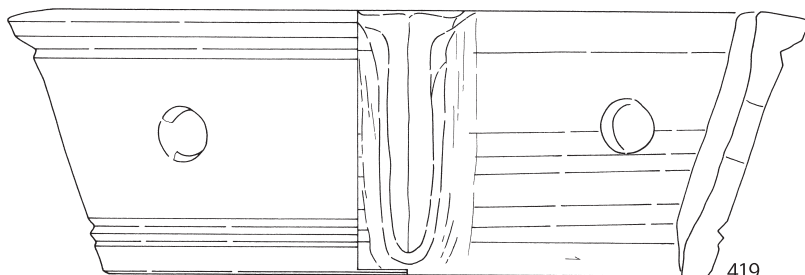
417



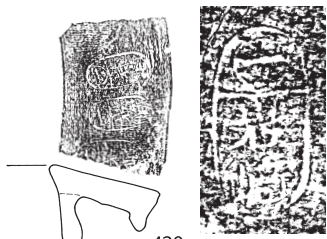
416



418



419

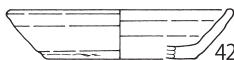


420

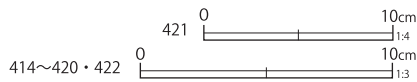
刻印部分
S=1/1



421



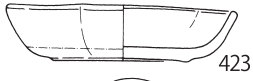
422



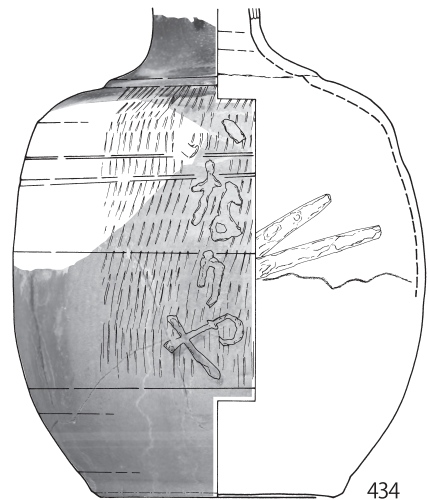
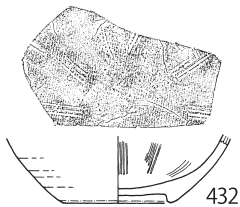
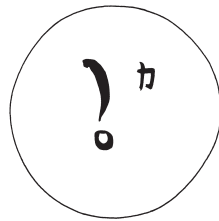
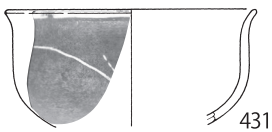
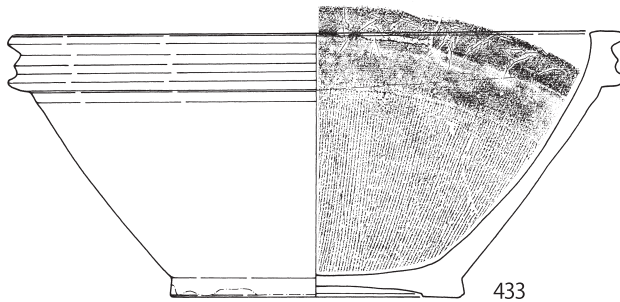
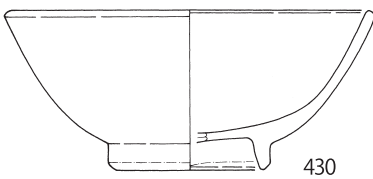
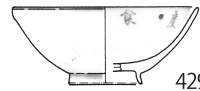
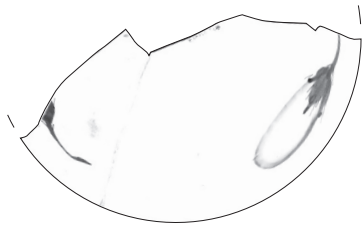
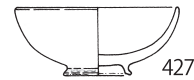
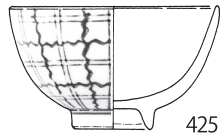
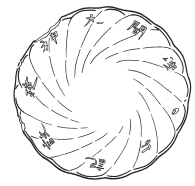
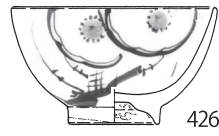
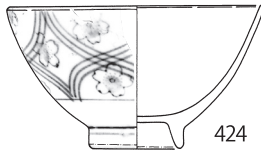
414~420・422

第 457 図 第 5 区画の土蔵出土遺物 (39)

S K227



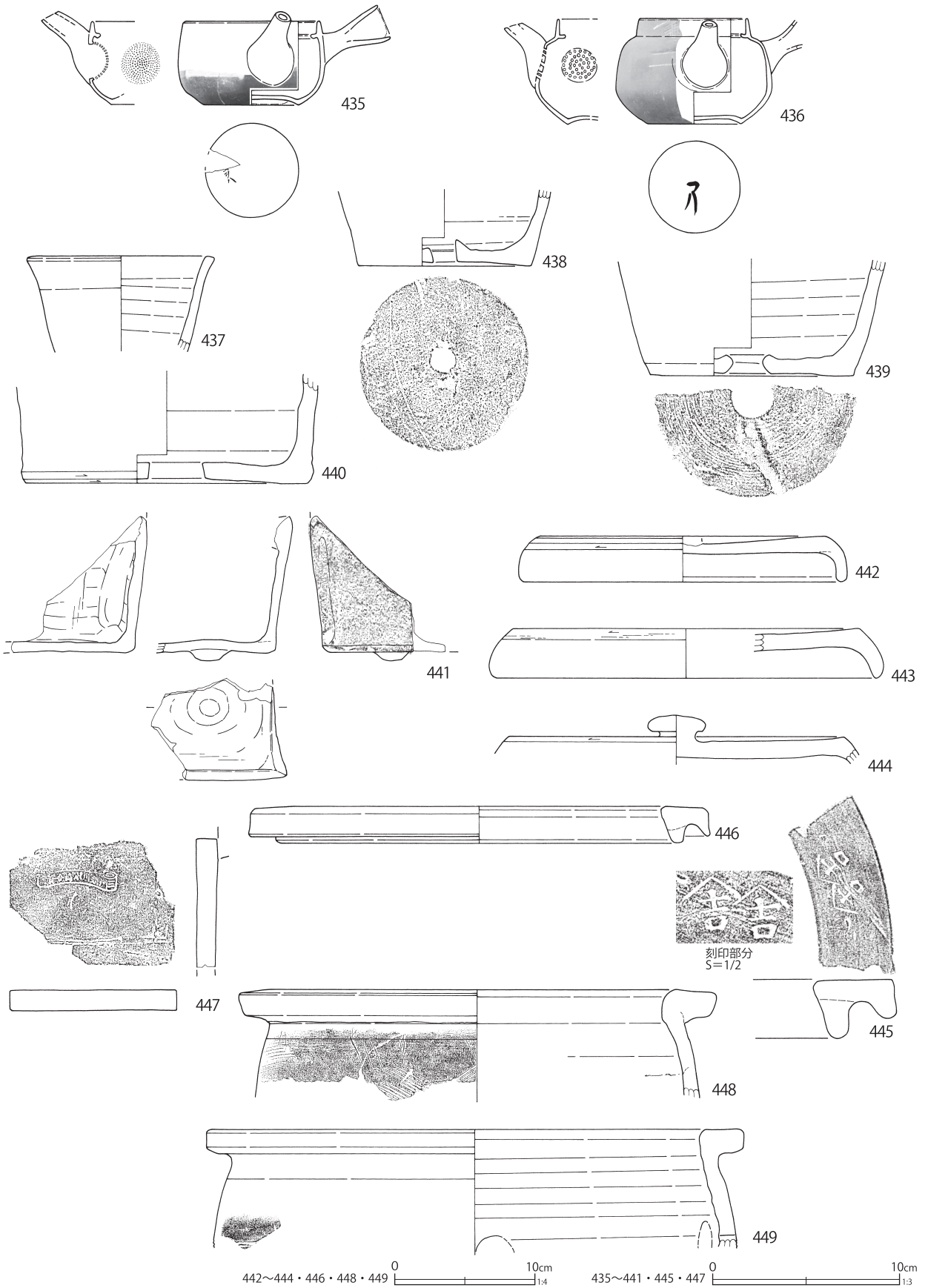
S K252



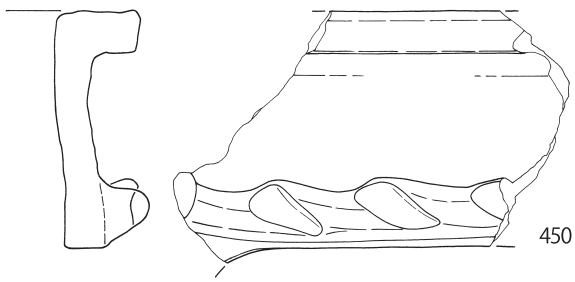
0 10cm 1/4 433

0 10cm 1/3 423~432・434

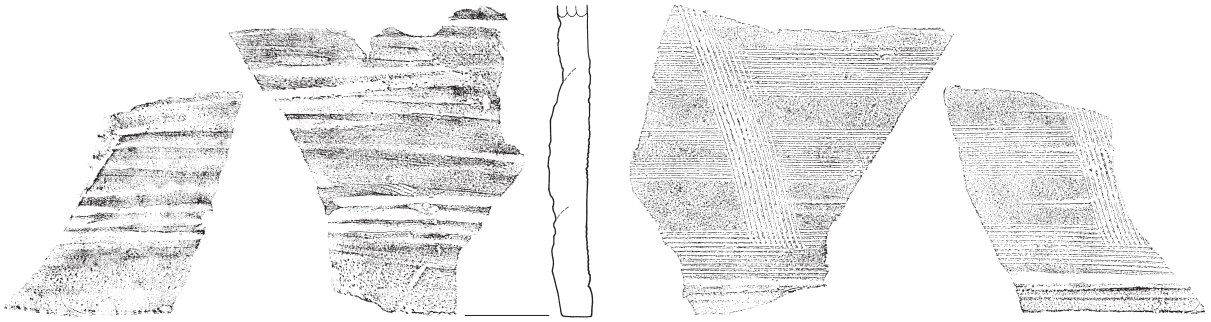
第 458 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (40)



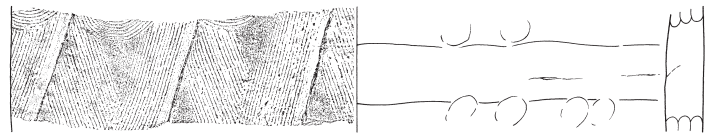
第 59 図 第 5 区画の土器出土遺物 (41)



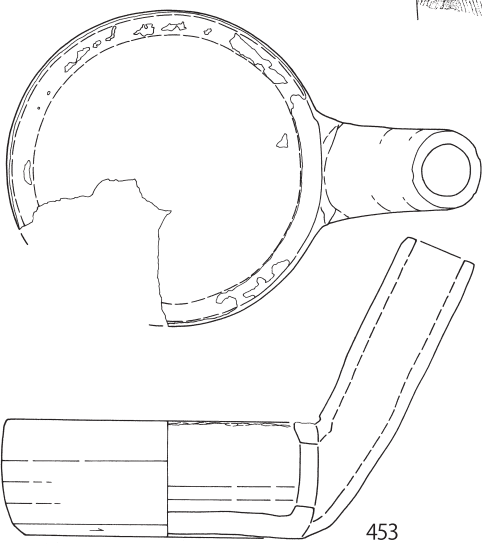
450



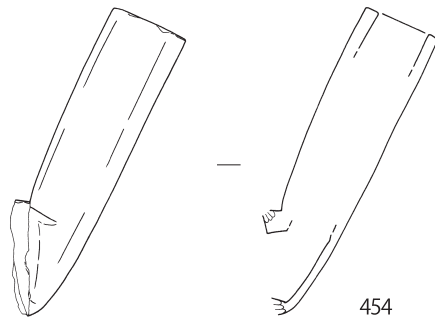
451



452



453



454

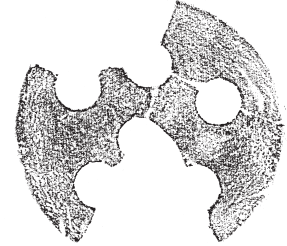
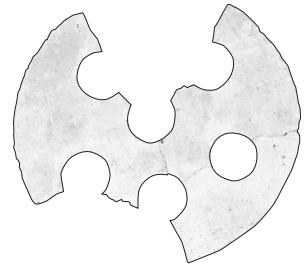
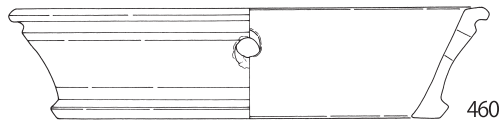
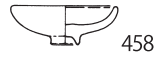
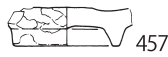
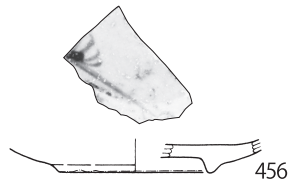
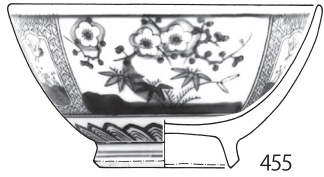


0 10cm
1:4

0 10cm
1:3

第 460 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (42)

S K 253



455

456

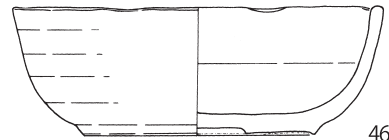
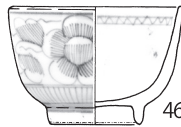
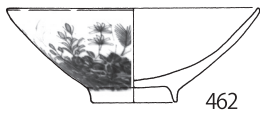
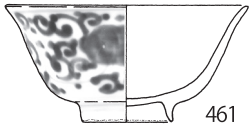
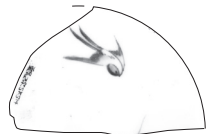
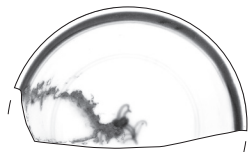
459

457

458

460

S K 314

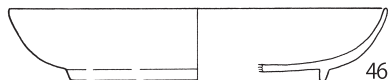
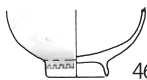


461

462

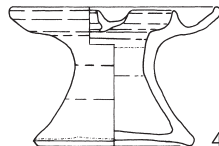
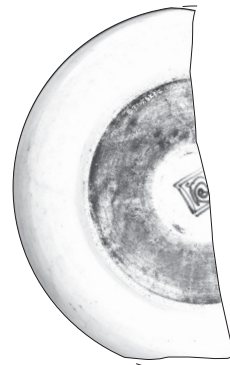
463

466

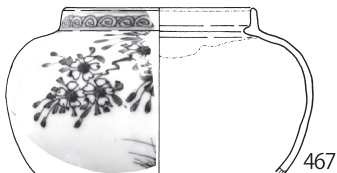


464

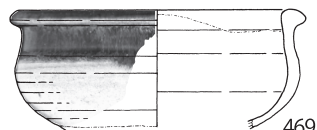
465



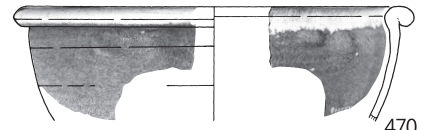
468



467



469

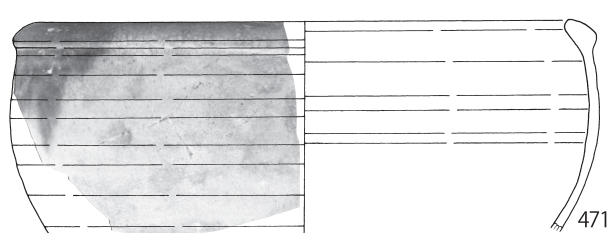


470

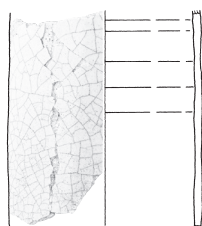
0 10cm 1:4 460

0 10cm 1:3 455~459・461~470

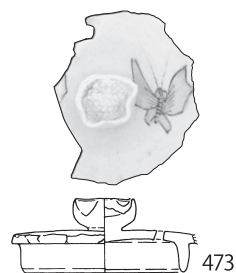
第 461 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (43)



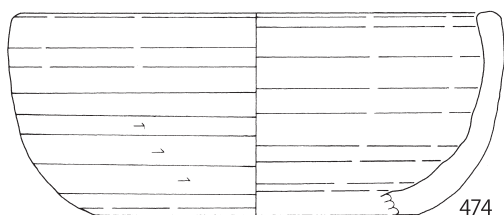
471



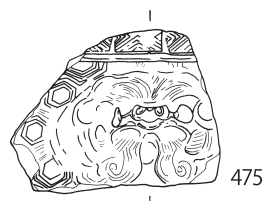
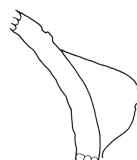
472



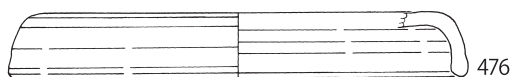
473



474

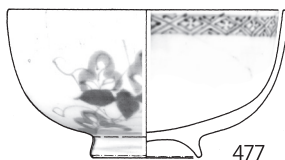
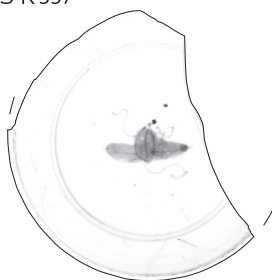


475

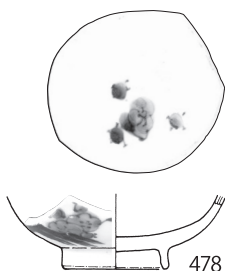


476

S K 337



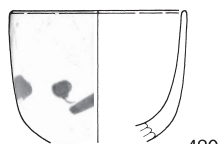
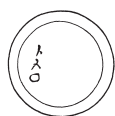
477



478



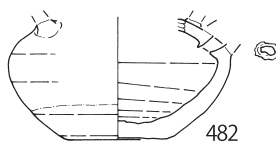
479



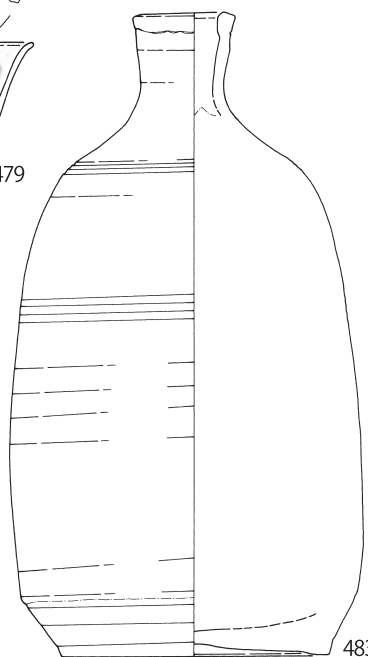
480



481



482



483

471・476 0 10cm 1:4

472~475・477~483 0 10cm 1:3

第 462 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (44)

第200表 第5区画の土壌出土遺物観察表(1)(第419~462図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	10.6	5.8	3.6	-	100	良好	白	SK164	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付	
2	磁器	碗	-	[2.6]	3.9	-	20	良好	白	SK164	瀬戸美濃系 内外面施釉 木型打込施 文・染付 焼き継ぎ痕	
3	磁器	坏	8.0	4.8	3.0	-	95	良好	白	SK164	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付 同文別個体1あり	
4	磁器	花生か	-	[9.1]	-	-	50	良好	白	SK164	瀬戸美濃系 施釉 上面染付 把手部 分(幅2.3cm厚1.0cm)	
5	陶器	急須	7.6	6.4	5.6	I	95	良好	暗赤褐	SK164	萬古系 刻印「萬古/藤松」か 焼き 継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤) 底部墨痕	
6	土師質土器	把手 付鍋 器台	(18.0)	3.5	(18.4)	CHIK	5	普通	にぶい橙	SK164	砂目底 内底面・外面体部に煤付着	
7	土師質土器	器台	-	[6.6]	(24.8)	AHIK	10	普通	にぶい褐	SK164	三河産 内面煤付着	
8	陶器	蓋	-	[1.5]	6.0	IK	90	良好	橙	SK167	大堀相馬系 内外面鉄釉 上面加飾 (泥塗り)・灰釉 穿孔1 下面刻印「相馬」(急須の蓋)	156-7
9	陶器	急須	7.2	6.7	5.4	IK	85	良好	にぶい黄橙	SK167	大堀相馬系 外面鉄釉・加飾 上位灰釉	156-7
10	瓦質土器	火鉢	-	[10.5]	(21.5)	CFHIK	20	普通	灰・灰白	SK167	外面施文 脚部穿孔・外面下位ミガキ 燻す	156-6
11	瓦質土器	竈	29.3	29.0	(33.0)	CEHIK	60	普通	明赤褐	SK167	やや酸化炎焼成 外面櫛歯状施文 背 面に孔2 体部二次穿孔2(補強痕) 内面煤多量に付着	
12	土師質土器	焙烙	(34.8)	4.6	(36.0)	ACFHIK	15	普通	にぶい黄橙	SK167	砂目底 底部外周煤付着	
13	磁器	碗	10.0	5.6	3.5	-	100	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉・染付	157-1
14	磁器	碗	(10.5)	5.4	(4.0)	-	30	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き 継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	157-2
15	磁器	碗	11.0	4.9	3.9	-	80	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 銅版転写染 付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	157-3
16	磁器	碗	(9.6)	3.8	3.5	-	30	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面緑釉(淡色釉)・ 上絵付(緑) 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ 印(赤)	
17	磁器	碗	(10.5)	4.9	(3.4)	-	30	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印 (赤)	157-4
18	磁器	碗	(11.3)	5.9	4.5	-	70	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付・ 絵付(茶)	
19	磁器	坏	7.7	4.9	3.3	-	70	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転 写染付(黒・青・桃) 同文別個体3 あり	157-5
20	磁器	坏	(6.0)	3.1	(2.6)	-	25	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転 写染付	
21	磁器	坏	(6.2)	2.8	2.4	-	25	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付 内面上絵付	157-6
22	磁器	坏	(6.0)	2.8	(2.4)	-	40	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付 内面上絵付(青・変色)	157-7
23	磁器	紅皿	6.1	1.3	1.9	-	100	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 型成形 内面~外面上位 施釉 外面型押施文	157-8
24	磁器	皿	(28.0)	4.3	(16.0)	-	25	良好	白	SK169	SK174 接合 肥前系 内外面施釉 内 面染付 高台内ハリ支痕2 遺存 焼き 継ぎ痕	158-1
25	磁器	皿	(29.1)	4.5	(16.0)	-	40	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉・染付 高台内ハ リ支痕 焼き継ぎ痕	158-3
26	磁器	皿	(29.2)	4.8	(17.0)	-	50	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉 内面染付 口紅 高台内ハリ支痕 焼き継ぎ痕・焼き継 ぎ印(赤)	158-2
27	磁器	皿	26.6	4.6	14.8	-	90	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉・染付 内面一部 青磁釉	158-5
28	磁器	鉢	(16.0)	[5.0]	-	-	5	良好	灰白	SK169	内外面施釉・染付 胎質粗	158-4
29	磁器	香炉	8.1	4.9	4.4	-	100	良好	白	SK169	肥前系 内面上位~外面施釉 外面染 付・色絵(赤・緑) 高台部えぐり3	158-6
30	磁器	合子	(5.5)	[2.5]	-	-	20	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉 外面染付 内面 赤色物質付着	158-7
31	陶器	灯火具	8.0	5.1	4.4	I	50	良好	灰	SK169	底部糸切痕(右) 内外面灰釉	159-2
32	陶器	灯火具	7.6	4.9	4.5	I	70	良好	灰白	SK169	内外面灰釉	159-1
33	陶器	植木鉢	(18.8)	[4.6]	-	AE	25	良好	赤褐	SK169	炆器質 外面施文	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
34	陶器	爛德利	-	[19.7]	7.1	I	90	良好	灰白	SK169	外面灰釉・鉄釉流掛	159-3
35	陶器	德利	4.4	[10.5]	-	I	30	良好	灰白	SK169	外面灰釉・呉須絵(文字)	159-4
36	陶器	土瓶	7.9	14.4	8.8	EJ	90	良好	浅黄橙	SK169	外面灰釉・白盛・鉄絵絵付	159-6
37	陶器	急須	(6.0)	[4.2]	-	H	20	良好	灰白	SK169	内外面施釉 鉄絵「小林染物店」	
38	土師質土器	蓋	(6.4)	0.8	(6.0)	AEGI	50	普通	橙	SK169	上面圧痕 胎土粉質	
39	瓦質土器	籠鏝	-	4.9	-	CE	5	普通	にぶい橙	SK169	外面の一部煤付着	
40	陶器	こね鉢	-	[6.1]	(14.6)	IK	15	良好	灰白	SK175	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面目跡3遺存 底部墨書	160-3
41	磁器	碗	(10.4)	5.6	(4.2)	-	25	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(広東碗)	
42	磁器	碗	(10.5)	[5.2]	-	-	15	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕(端反碗)	
43	磁器	碗	9.0	4.8	3.6	-	50	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(端反碗)	
44	磁器	蓋	(3.8)	2.8	(9.2)	-	45	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(端反碗の蓋)	
45	磁器	碗	(6.0)	[3.0]	-	-	10	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付(湯呑形碗)	
46	陶器	土瓶	-	[1.8]	(6.0)	K	5	良好	灰白	SK177	大堀相馬系 外面灰釉 体部加飾 胎土に黒色粒子目立つ 底部刻印「相馬」	
47	陶器	土瓶	(7.4)	[7.2]	-	IK	20	良好	にぶい黄橙	SK177	内面灰釉 外面イッチン絵付(文字)	
48	陶器	土瓶	(5.5)	[3.8]	-	K	10	良好	灰白	SK177	大堀相馬系 内外面糠白釉	
49	陶器	蓋	-	2.8	6.3	IK	45	良好	灰黄	SK177	上面鉄釉	
50	土師質土器	目皿	(14.0)	3.6	9.9	ADEHIK	75	普通	にぶい橙	SK179	三河産 上面少し被熱・白変	160-5
51	磁器	皿	15.6	2.8	9.1	-	90	良好	白	SK181	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	160-4
52	陶器	坏	6.7	4.9	3.2	IK	70	良好	灰白	SK181	灰釉・鉄釉掛け分け 外面白盛・鉄絵の絵付 胎土硬質	161-1
53	陶器	土瓶か	-	[2.0]	(11.0)	IK	5	良好	褐灰	SK181	胎土炆器質 底部墨書	161-2
54	陶器	德利	3.8	26.0	7.8	IK	85	良好	灰黄	SK181	外面頸部鉄釉、体部灰釉、トビガンナ状施文	161-3
55	陶器	蓋	-	[1.1]	(4.7)	I	45	良好	赤灰	SK181	萬古系 上面沈線 穿孔1 最大径(6.0)cm	
56	陶器	急須	6.4	5.6	4.8	-	95	良好	赤灰	SK181	萬古系 口唇部・注口端部・把手端部施釉 把手に桜花状すかし(穿孔) 白盛絵付	
57	陶器	急須	(6.5)	5.3	4.8	-	60	良好	赤灰	SK181	萬古系 外面白盛絵付 墨書	161-4
58	土師質土器	器台	(27.9)	7.0	20.1	AHIK	30	普通	にぶい赤褐	SK181	三河産	161-5
59	土師質土器	蓋	5.7	0.9	5.3	AIK	100	普通	にぶい橙	SK181	上面圧痕 胎土粉質 被熱・一部赤変	162-1
60	土師質土器	蓋	5.6	0.8	5.4	AHIK	95	普通	にぶい橙	SK181	上面圧痕 胎土粉質 被熱・赤変	162-2
61	土師質土器	蓋	5.6	0.8	5.3	AHIK	75	普通	にぶい橙	SK181	上面圧痕 胎土粉質 被熱・赤変	162-3
62	土師質土器	蓋	5.5	0.7	5.4	AHIK	90	普通	にぶい黄橙	SK181	上面圧痕 胎土粉質	162-4
63	土師質土器	蓋	(5.6)	0.7	(5.0)	AHIK	25	普通	にぶい橙	SK181	上面圧痕 胎土粉質	162-5
64	土師質土器	焼塩壺	(5.4)	[4.2]	-	AHIK	30	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質 被熱・赤変	
65	土師質土器	焼塩壺	(5.8)	[2.9]	-	AHIK	15	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質	
66	土師質土器	焼塩壺	(5.5)	[3.4]	-	AHIK	30	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質 器面やや荒れる	162-7
67	土師質土器	焼塩壺	(5.6)	[4.5]	-	AHIK	30	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質 器面やや荒れる	162-8
68	土師質土器	焼塩壺	(5.4)	[4.9]	-	AHIK	30	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質	162-6
69	磁器	碗	(9.6)	5.4	3.4	-	30	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(端反碗)	163-1
70	磁器	碗	10.5	5.9	3.8	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(端反碗)	163-2
71	磁器	碗	10.2	4.1	3.4	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	163-3
72	磁器	碗	11.2	4.9	3.6	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	163-4
73	磁器	碗	(10.0)	4.2	3.2	-	30	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面型紙摺絵染付	
74	磁器	碗	(7.0)	4.7	3.5	-	35	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(湯呑形碗)	
75	磁器	坏	6.5	4.6	2.7	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 同文別個体8あり	163-5
76	磁器	坏	6.1	4.4	2.8	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 同文別個体3あり	163-6

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
77	磁器	坏	6.5	4.2	2.5	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付 同文別個体1あり	163-7
78	磁器	坏	6.7	4.3	3.0	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	164-1
79	磁器	坏	6.9	4.5	3.0	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	164-2
80	磁器	坏	6.5	4.6	2.9	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付	164-3
81	磁器	坏	6.9	4.5	2.9	-	80	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付	164-4
82	磁器	坏	(5.9)	3.6	2.6	-	35	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 口紅	164-5
83	磁器	坏	7.9	4.0	3.6	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染 付 同文別個体2あり	
84	磁器	坏	7.1	2.4	2.2	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面型紙摺 絵染付	165-1
85	磁器	坏	6.7	2.6	2.5	-	65	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉	
86	磁器	紅皿	(5.7)	1.3	1.8	-	50	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 型成形 内面～口縁部施 釉 外面型押施文	164-6
87	磁器	紅皿	(5.8)	1.4	(2.0)	-	50	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 型成形 内面～外面上位 施釉 外面型押施文 底部刻印	164-7
88	磁器	坏	8.3	3.5	3.4	-	60	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付 (金)	
89	磁器	坏	6.1	2.8	2.6	-	75	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付 (卵殻手酒杯)	165-2
90	磁器	坏	6.0	2.7	2.3	-	65	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付 内面上絵付(金・青)(卵殻手酒杯)	165-3
91	磁器	皿	13.4	2.8	6.9	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバル ト染付 蛇の目凹形高台 同文別個体 1あり	165-4
92	磁器	皿	(11.0)	2.0	6.7	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面型紙摺 絵染付	
93	磁器	皿	14.6	4.0	8.0	-	80	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転 写染付 蛇の目凹形高台	
94	磁器	鉢	15.0	4.7	8.3	-	85	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面型紙摺 絵染付 蛇の目凹形高台	
95	磁器	皿	(37.7)	5.8	(20.4)	-	20	良好	白	SK182	SK184 接合 肥前系 内外面施釉・酸 化コバルト染付	165-5
96	磁器	植木鉢	(21.3)	[4.2]	-	-	10	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き 継ぎ痕 少量煤付着	
97	磁器	水注	(2.3)	[8.3]	-	-	45	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付	165-6
98	磁器	御神酒 德利	-	[7.6]	3.7	-	70	良好	白	SK182	肥前系 外面施釉・染付	
99	磁器	壺	2.1	3.9	2.2	-	85	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 上下合型成形 外面施釉 ミニチュアか	165-7
100	磁器	土瓶	7.2	8.1	6.6	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付 露胎部煤付着	
101	磁器	蓮華	-	5.2	-	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバル ト染付 内面施文 長9.4 幅4.9	
102	陶器	片口鉢	12.7	6.7	7.8	IK	95	良好	灰白	SK182	内外面灰釉 内面目跡5	165-8
103	陶器	甕	-	[1.3]	-	EHIK	5	良好	灰白	SK182	瀬戸美濃系 内面柿釉 底部墨書	166-3
104	陶器	爛德利	-	[20.1]	6.7	IK	95	良好	灰	SK182	外面灰釉、上位緑釉流掛 底部墨書「栗 仲/高瀬屋」	166-4
105	陶器	德利	-	[9.8]	-	K	10	良好	灰白	SK182	SK184 接合・182に同一個体 外面頸部 緑釉 体部鉄釉・トビガンナ状施文	166-1
106	陶器	德利	-	[2.7]	(9.0)	IK	10	良好	灰黄	SK182	外面鉄釉 底部墨書	166-2
107	磁器	碗	9.2	4.8	3.4	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付	166-5
108	磁器	碗	11.0	5.7	4.3	-	50	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付	166-6
109	磁器	碗	9.5	4.8	3.6	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙摺絵染 付	
110	磁器	碗	10.5	5.4	4.0	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバル ト染付	166-7
111	磁器	碗	8.9	4.8	3.0	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・色絵(赤・ 緑)	
112	磁器	碗	9.8	3.6	3.1	-	50	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉(鉄釉)	
113	磁器	碗	9.9	4.3	3.2	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染 付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	166-8
114	磁器	碗	10.9	4.5	3.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 体部面取り 内外面施釉 外面銅版転写染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
115	磁器	碗	11.9	5.2	4.1	-	95	良好	白	SK183	SK182 と接合 瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	167-1
116	磁器	碗	10.7	4.4	3.3	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	
117	磁器	碗	11.1	4.6	3.7	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	
118	磁器	碗	10.6	4.8	3.4	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	167-2
119	磁器	碗	10.8	4.7	3.6	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付 同文別個体1あり	
120	磁器	碗	11.7	4.9	4.2	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付 同文別個体2あり	
121	磁器	碗	11.9	5.3	4.2	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付 同文別個体1あり	167-3
122	磁器	碗	(11.8)	[3.6]	-	-	20	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	
123	磁器	鉢	15.3	5.3	5.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付 同文別個体2あり	
124	磁器	蓋	3.7	2.7	9.3	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付	167-4
125	磁器	蓋	3.2	2.5	9.0	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	
126	磁器	蓋	3.5	2.1	9.0	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	
127	磁器	猪口	7.6	5.8	3.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙摺絵染付 同文別個体2あり	167-6
128	磁器	坏	8.2	4.8	4.0	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 同文別個体2あり	
129	磁器	坏	7.6	4.4	3.3	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付 同文別個体2以上あり	
130	磁器	坏	7.4	4.7	3.6	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付(青・緑) 同文別個体1あり	167-7
131	磁器	坏	7.1	4.5	3.0	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付(青・緑) 同文別個体2あり	
132	磁器	坏	7.1	4.4	3.1	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	
133	磁器	坏	7.1	4.6	3.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付	168-1
134	磁器	坏	7.8	4.5	3.9	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	
135	磁器	坏	6.4	4.3	2.9	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付(緑・茶) 同文別個体1あり	
136	磁器	坏	7.9	4.0	3.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	168-2
137	磁器	坏	7.0	4.1	3.4	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体4あり	
138	磁器	坏	(7.4)	3.5	3.3	-	50	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
139	磁器	坏	7.8	4.0	3.5	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2以上あり	168-3
140	磁器	坏	7.7	4.1	3.7	-	65	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
141	磁器	坏	7.5	3.9	3.8	-	65	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	
142	磁器	坏	7.8	4.3	3.4	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付	168-2
143	磁器	坏	7.7	4.3	3.4	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
144	磁器	坏	7.2	3.8	3.5	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付(植木鉢転用)	
145	磁器	坏	7.9	4.2	3.9	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付	168-2
146	磁器	坏	7.8	4.0	3.7	-	60	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	
147	磁器	坏	7.0	3.8	3.3	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
148	磁器	坏	7.5	4.3	3.6	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付(緑・茶)	168-3

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
149	磁器	坏	7.5	6.3	3.3	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	168-4
150	磁器	坏	5.2	6.0	3.3	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
151	磁器	坏	6.2	6.9	3.7	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付	
152	磁器	坏	7.9	3.7	2.9	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 外面施文	
153	磁器	坏	(7.4)	3.8	2.9	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 外面施文 同文別個体2あり	
154	磁器	坏	6.6	2.5	2.5	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 口縁部酸化コバルト染付 内面上絵付(赤・青) 同文別個体1あり	
155	磁器	坏		[2.2]	2.4	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(金他)「くりはし/鯉こく/稲荷屋」	168-5
156	磁器	坏	6.6	2.5	2.3	-	55	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上絵付(金・青・黄)「鯉こく/稲荷や」	168-6
157	磁器	坏	6.5	2.8	2.3	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・上絵付(金・青)「[くり]はし/鯉こく/[稲荷]屋」・高台内、「全製」	168-7
158	磁器	坏	6.9	2.7	2.6	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上絵付(青・金)	168-8
159	磁器	坏	6.7	2.9	2.8	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 同文別個体3あり	
160	磁器	坏	7.2	2.9	(2.8)	-	50	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上絵付(金他)	
161	磁器	坏	7.9	3.2	2.9	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(赤・黒・金)「征露凱旋」金縁	
162	磁器	坏	8.2	3.4	3.0	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(金・赤)「近衛砲兵」「征露紀念」藤倉浅吉	
163	磁器	坏	8.3	3.5	3.0	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・上絵付(赤・黒)	169-1
164	磁器	坏	8.1	3.3	3.1	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(赤・茶・青・黄・桃・金・黒)	
165	磁器	坏	5.7	2.6	2.3	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面染付	169-2
166	磁器	坏	7.6	2.4	2.3	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	169-3
167	磁器	猪口	(7.8)	5.9	6.0	-	45	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付 蛇の目状高台 底部墨痕	169-4
168	磁器	皿	13.4	3.8	8.3	-	85	良好	灰白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付 蛇の目状高台	169-6
169	磁器	皿	14.1	4.3	8.5	-	90	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉 内面染付 口紅 蛇の目状高台	169-5
170	磁器	皿	(11.0)	2.7	5.8	-	40	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付	
171	磁器	皿	12.3	2.4	5.7	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 型成形 内外面施釉 内面型押施文・染付	170-1
172	磁器	皿	8.1	1.9	4.5	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転写染付 同文別個体1あり	
173	磁器	皿	12.5	2.3	7.2	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転写染付	
174	磁器	皿	13.4	2.3	7.2	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転写染付	170-2
175	磁器	皿	13.3	3.1	6.8	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙摺絵染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)「中丸」	170-3
176	磁器	皿	(13.6)	2.2	6.8	-	55	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付	170-4
177	磁器	皿	14.9	2.4	9.2	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転写染付	170-5
178	磁器	皿	15.4	2.5	9.0	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転写染付 外面酸化コバルト染付	
179	磁器	皿	18.0	2.3	10.5	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転写染付	170-6
180	磁器	皿	(18.3)	2.9	6.7	-	65	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転写染付 外面酸化コバルト染付	170-7
181	磁器	皿	20.5	3.4	8.4	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	171-1

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
182	磁器	皿	7.8	2.0	4.8	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付(緑)	
183	磁器	鉢	30.8	9.0	15.0	-	100	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付 高台内ハリ支痕6 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)「子六九」	171-3
184	磁器	鉢	12.4	4.5	5.6	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付	
185	磁器	鉢	14.1	5.9	6.2	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付 蛇の目状高台 同文別個体2あり	
186	磁器	鉢	(12.6)	5.0	5.7	-	45	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付 口紅 焼き継ぎ印(赤)	171-2
187	磁器	鉢	12.4	4.4	6.8	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙摺絵染付 蛇の目凹形高台	
188	磁器	鉢	14.3	4.7	7.4	-	85	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙摺絵染付 蛇の目凹形高台 墨書	171-4
189	磁器	鉢	16.3	5.5	7.2	-	70	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙摺絵染付 蛇の目凹形高台	
190	磁器	鉢	(11.3)	4.0	3.4	-	35	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付	
191	磁器	鉢	9.7	4.0	4.0	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 内面陰刻状施文	171-5
192	磁器	鉢	14.0	5.4	5.6	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 内面陰刻状施文	171-5
193	磁器	鉢	13.4	4.8	8.1	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉	
194	磁器	蓋	4.2	[2.4]	7.7	-	60	良好	白	SK183	内外面施釉 外面鮫肌釉・白色、緑色の釉でイッチン掛施文 最大径9.2cm	
195	磁器	蓋物	8.8	4.9	6.2	-	100	良好	白	SK183	内外面施釉 外面鮫肌釉・白色、緑色の釉でイッチン掛施文	
196	磁器	段重	10.6	3.9	9.6	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付	
197	磁器	段重	12.6	4.8	11.3	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	
198	磁器	植木鉢	19.1	13.2	11.3	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内面上位～外面施釉(下位青磁釉) 外面染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	171-6
199	磁器	火鉢	(18.6)	18.2	17.0	-	65	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内面上位～外面施釉 外面型紙摺絵染付	172-1
200	磁器	御神酒德利	1.3	11.0	3.0	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・色絵(赤・青・緑・茶)	172-3
201	磁器	御神酒德利	1.5	15.9	4.7	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・染付	172-3
202	磁器	爛德利	-	[14.9]	(5.6)	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・酸化コバルト染付	172-3
203	磁器	爛德利	2.7	17.2	5.7	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体2あり	172-3
204	磁器	爛德利	2.5	17.1	5.1	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・型紙摺絵染付	172-3
205	磁器	爛德利	2.6	17.5	5.3	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 底部墨書「いな/りや」	172-2
206	磁器	爛德利	(2.5)	17.7	5.8	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体1あり	172-3
207	磁器	爛德利	(2.8)	19.1	6.1	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体1あり	172-3
208	磁器	爛德利	2.8	18.0	5.9	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体2あり	172-3
209	磁器	爛德利	3.0	18.3	6.1	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体3あり	172-3
210	磁器	爛德利	(2.8)	17.9	5.6	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付	172-3
211	磁器	爛德利	2.6	18.0	5.4	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付	172-3
212	磁器	爛德利	-	[16.6]	5.9	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付	172-3
213	磁器	爛德利	(2.8)	18.7	5.9	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付	172-3
214	磁器	爛德利	-	[4.1]	5.9	-	10	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付	
215	磁器	香炉	(12.8)	[3.0]	-	-	5	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付 外面色絵被熱	172-4
216	磁器	蓋	-	2.0	5.8	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鮫肌釉 穿孔1	173-1

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
217	磁器	急須	(6.3)	6.3	6.4	-	30	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付・鮫肌釉	173-2
218	磁器	急須	6.0	6.8	5.0	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転 写染付	
219	磁器	蓮華	-	[3.4]	-	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 型成形 内外面施釉 内 面型押施文・酸化コバルト染付 幅 5.2 cm	173-3
220	陶器	坏	(8.6)	4.4	(3.5)	I	20	良好	灰白	SK183	大堀相馬系 内面～外面上位灰釉 外 面下位泥塗装飾、鉄化粧 内面金彩	173-4
221	陶器	皿	(7.4)	2.0	4.1	I	20	良好	灰白	SK183	型成形 内外面灰釉 内面鉄絵・呉須 絵	173-5
222	陶器	皿	20.0	4.0	11.0	DI	100	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面鉄絵 (馬目皿)	173-6
223	陶器	灯明皿	8.1	1.7	3.3	K	100	良好	灰白	SK183	内外面灰釉 外面少量煤付着	173-7
224	陶器	灯明皿	8.3	1.5	4.0	E	100	良好	にぶい黄橙	SK183	内面～口縁部灰釉 外面煤付着	173-8
225	陶器	灯明皿	7.6	2.0	3.0	I	100	良好	褐灰	SK183	内面～口縁部灰釉 外面上位煤付着	174-1
226	陶器	灯明皿	8.1	1.6	3.0	I	100	良好	にぶい黄橙	SK183	京都信楽系か 内面～口縁部透明釉 内面ピン痕 3 外面上位煤付着	174-2
227	陶器	灯明皿	8.0	1.8	2.9	I	100	良好	褐灰	SK183	内外面灰釉 外面少量煤付着	174-3
228	陶器	灯明皿	7.9	1.6	3.4	E	100	良好	にぶい黄橙	SK183	内外面灰釉 口縁部僅かに煤付着	174-4
229	陶器	灯明皿	8.8	1.6	3.2	K	70	良好	灰白	SK183	京都信楽系 内面～口縁部透明釉 一 部煤付着	174-5
230	陶器	灯明皿	8.3	1.4	3.4	EI	100	良好	灰白	SK183	内外面灰釉 外面少量煤付着	174-6
231	陶器	灯火具	7.2	5.0	5.7	E	100	良好	にぶい黄橙	SK183	底部糸切痕(右) 内外面灰釉 228 と 組物か	174-7
232	陶器	灯火具	7.9	5.6	4.4	E	100	良好	灰黄褐	SK183	底部糸切痕(右) 内外面灰釉	174-8
233	陶器	灯火具	7.6	5.4	5.2	I	100	良好	にぶい黄橙	SK183	底部糸切痕(右) 内外面灰釉	175-1
234	陶器	灯火具	7.7	5.3	4.6	EI	100	良好	灰黄褐	SK183	底部糸切痕(右) 内外面灰釉 底部 少量煤付着	175-2
235	陶器	灯火具	7.6	4.9	4.6	I	90	良好	にぶい黄橙	SK183	底部糸切痕(右) 内外面灰釉	175-3
236	陶器	片口鉢	16.9	8.3	10.3	IK	100	良好	灰白	SK183	内外面灰釉 内面目跡 6 蛇の目状高 台 高台内に浅くへら書きあり	
237	陶器	鉢	25.3	10.1	12.0	IK	75	良好	灰白・ にぶい黄橙	SK183	内面灰釉 外面鉄釉 口縁部二彩釉流 掛 内面目跡 6 蛇の目状高台	175-4
238	陶器	こね鉢	-	[12.7]	15.7	HIK	20	良好	灰白	SK183	内外面灰釉 内面目跡 6 遺存 蛇の目 状高台・墨書「栗橋町[]店用/[小 澤カ]」	175-5
239	陶器	こね鉢	-	[3.6]	(14.1)	IK	20	良好	灰白	SK183	内外面灰釉 外面緑釉流掛 蛇の目状 高台・墨書「[喜紀カ]」	175-6
240	陶器	植木鉢	6.0	1.9	4.8	IK	100	良好	灰白	SK183	型成形 内面上位～外面灰釉 底部穿 孔 1	176-1
241	陶器	植木鉢	30.8	5.8	29.5	IK	80	良好	灰白	SK183	板作成形か、口縁部～外面灰釉 底部 穿孔 2	
242	陶器	植木鉢	14.0	9.3	(8.5)	IK	60	良好	灰白	SK183	口縁部～外面灰釉・呉須絵 底部穿孔	
243	陶器	播鉢	13.8	6.7	6.1	IK	95	良好	灰白	SK183	益子系か、口縁部～外面柿釉 内面播 目 露胎部煤付着 小形	
244	陶器	播鉢	(16.2)	7.6	7.2	IK	65	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系か、口縁部～外面柿釉 内 面播目 底部墨書	176-3
245	陶器	播鉢	-	[6.1]	17.8	K	30	良好	灰白	SK183	外面柿釉 内面播目 高台内墨書・へ ら書き	176-2
246	陶器	播鉢	(30.3)	13.1	(15.0)	IK	40	良好	にぶい橙	SK183	益子・笠間系 内外面柿釉 内面播目	176-5
247	陶器	釜	21.2	15.9	10.1	K	75	良好	明褐灰	SK183	内面～外面上位灰釉 外面呉須絵・イ ッチン掛施文 底部煤付着	176-4
248	陶器	香炉	(10.2)	5.9	6.5	IK	60	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内面上位～外面灰釉 外 面摺絵	
249	陶器	瓶	3.6	5.1	4.4	K	95	良好	灰白	SK183	硬質陶器 内外面施釉 外面絵付(青) インク瓶	
250	陶器	水注	6.8	8.0	5.6	EK	70	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 外面柿釉	176-6
251	陶器	水注	(3.7)	9.0	7.1	K	90	良好	褐灰	SK183	外面飴釉 底部墨書	176-7
252	陶器	徳利	3.3	24.9	9.2	IK	80	良好	灰	SK183	外面上位鉄釉 下位灰釉、トビガンナ 状施文	177-1
253	陶器	徳利	2.9	21.0	8.7	HIK	65	良好	にぶい黄橙	SK183	内面鉄釉 外面上位飴釉・下位灰釉、 トビガンナ状施文	177-2
254	陶器	甕	21.7	21.0	15.1	IK	95	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内外面柿釉 外面鉄釉流 掛	177-3

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
255	陶器	甕	26.0	24.3	17.4	EIK	85	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内外面柿釉 外面鉄釉流掛 内面目跡7遺存	177-5
256	陶器	甕	-	[23.6]	17.0	DIK	40	良好	にぶい褐	SK183	笠間か 内外面柿釉 外面鉄釉流掛	177-7
257	陶器	行平	14.2	9.5	9.0	IK	90	良好	灰白	SK183	内外面柿釉 外面トビガンナ状施文・下位煤付着	
258	陶器	蓋	4.3	3.1	13.6	HIK	100	良好	灰白	SK183	内外面灰釉 外面施釉前に白化粧・鉄絵	177-4
259	陶器	蓋	6.0	3.7	13.3	IK	100	良好	にぶい黄橙	SK183	内面灰釉 外面施釉・白土染付 260と組	
260	陶器	鍋	16.2	7.9	9.6	IK	70	良好	にぶい黄橙	SK183	内面灰釉 外面施釉・白土染付 底部煤付着 259と組	177-6
261	陶器	鍋	19.2	8.7	9.5	IK	40	良好	浅黄橙	SK183	内外面鉛釉 底部煤付着	
262	陶器	蓋	8.5	5.1	18.2	IK	90	良好	にぶい橙	SK183	内面灰釉 外面鉛釉 穿孔1 最大径21.4cm	177-8
263	陶器	蓋	-	2.9	4.5	K	95	良好	灰白	SK183	上面灰釉・上絵付(茶・緑) 最大径6.4cm	178-1
264	陶器	蓋	-	1.8	3.0	HIK	100	良好	にぶい黄橙	SK183	下面離糸切痕 上面灰釉・鉄絵・白盛絵付 最大径7.9cm	178-2
265	陶器	蓋	-	1.7	2.8	CIK	100	良好	にぶい黄橙	SK183	下面離糸切痕 上面灰釉・鉄絵・白盛絵付 穿孔1 最大径7.3cm	178-3
266	陶器	蓋	-	3.2	7.2	IK	85	良好	灰黄	SK183	上面鮫肌釉・ビン痕4(窯道具痕) 最大径9.6cm	178-4
267	陶器	蓋	-	4.2	9.5	IK	100	良好	灰白	SK183	上面施釉・三彩絵付・ビン痕5(窯道具痕)・穿孔1(三彩土瓶の蓋) 最大径13.0cm	178-5
268	陶器	蓋	-	4.1	8.6	IK	100	良好	にぶい赤褐	SK183	上面施釉・三彩絵付・ビン痕5(窯道具痕) 下面窯道具痕一部残る(三彩土瓶の蓋) 最大径11.2cm 269と組物	178-6
269	陶器	土瓶	10.5	11.6	9.5	IK	70	良好	にぶい赤褐	SK183	底部白化粧 外面施釉・三彩絵付 268と組物	178-6
270	陶器	蓋	-	2.7	4.8	E	100	良好	灰白	SK183	大堀相馬系か 上面糠白釉(貫入多い) 最大径6.9cm 271と組物	178-7
271	陶器	土瓶	(7.4)	[9.8]	-	IK	15	良好	灰白	SK183	大堀相馬系か 外面糠白釉(貫入多い) 270と組物	178-8
272	陶器	蓋	-	3.2	7.8	HIK	100	良好	灰白	SK183	上面灰釉 ビン痕4(窯道具痕) 最大径9.8cm 273と組物	179-1
273	陶器	土瓶	9.3	13.1	9.8	IK	65	良好	灰白	SK183	外面灰釉 272と組物	179-1
274	陶器	土瓶	8.6	10.5	8.0	IK	95	良好	灰黄	SK183	外面灰釉・白盛染付 底部墨書	179-2
275	陶器	蓋	-	2.0	5.4	-	100	良好	褐灰	SK183	萬古系 上面上絵付(白盛・緑・金) 穿孔1(急須の蓋)	
276	陶器	急須	5.9	6.9	5.3	-	70	良好	暗赤褐	SK183	萬古系 口唇部施釉 外面白盛絵付(文字) 底部布圧痕	179-3
277	陶器	急須	5.7	5.5	5.5	-	95	良好	暗赤灰	SK183	萬古系 口唇部施釉 外面白盛絵付(文字) 底部布圧痕	179-4
278	陶器	急須	5.4	5.7	5.1	-	90	良好	暗赤褐	SK183	萬古系 口唇部施釉 外面刻印「萬古」 底部布圧痕・墨書	179-5
279	陶器	急須	-	[5.0]	4.6	I	40	良好	褐灰	SK183	萬古系 外面刻印「口古」 底部布圧痕・墨書	179-6
280	陶器	急須	6.3	5.8	6.2	IK	80	良好	灰	SK183	型成形 外面施釉 貼付文に鉄釉を施す 底部刻印	
281	陶器	急須	7.6	6.2	6.0	I	70	良好	にぶい赤褐	SK183	萬古系 外面施文・施釉、上位鉛釉流掛 底部墨書	179-7
282	陶器	急須	-	[0.4]	-	K	5	良好	灰白	SK183	型成形 底部布圧痕・墨書	179-8
283	陶器	急須	(4.9)	[5.2]	-	K	15	良好	灰白	SK183	胎土2色練り込み 外面施文	180-1
284	施釉土器	乗燭	(7.4)	4.0	4.8	AI	60	普通	橙	SK183	江戸在地系 底部糸切痕(左)・墨書 内外面施釉 胎土粉質	180-2
285	瓦質土器	火鉢	-	[5.5]	-	CIK	5	普通	灰白	SK183	外面口縁部ミガキ・施文 燻す 口唇部二次敲打	
286	瓦質土器	火鉢	(17.5)	[6.7]	-	CHIK	10	普通	灰白	SK183	口縁部ミガキ 外面トビガンナ状施文	
287	瓦質土器	焜炉	-	[18.9]	(24.0)	ACEHIK	35	普通	にぶい橙・褐灰	SK183	砂目底 やや酸化炎焼成	180-3
288	瓦質土器	焜炉	(20.5)	18.6	20.6	CHIK	70	普通	灰白・黒	SK183	砂目底 外面トビガンナ状施文 口縁部・体部の一部ミガキ 燻す	180-4
289	瓦質土器	竈	(32.6)	[15.3]	-	CHIK	30	普通	にぶい黄橙・褐灰	SK183	燻す 窓部幅は任意値で復元	180-5
290	瓦質土器	竈	(34.0)	[25.4]	-	CHI	35	普通	橙・褐灰	SK183	外面施文 内面上位煤付着 燻す 窓部幅は任意値で復元	180-6

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
291	瓦質土器	竈	29.8	27.8	25.5	CHIK	75	普通	灰白	SK183	砂目底 やや酸化炎焼成 内外面煤付着	180-7
292	瓦質土器	竈	33.1	27.6	33.5	GHIK	85	普通	にぶい橙	SK183	外面櫛歯波状文 口縁部煤付着	181-1
293	瓦質土器	焜炉類か	31.2	[13.7]	-	EGHIK	70	普通	にぶい赤褐	SK183	やや酸化炎焼成	181-2
294	土師質土器	焜炉	21.5	21.0	19.0	ADEHIK	75	普通	にぶい橙	SK183	三河系 底部ナデ・墨書「紀劬や口」 外面ミガキ 扉裏に刻印	181-4
295	土師質土器	焜炉	20.7	20.3	19.5	DEHIK	50	普通	にぶい黄橙	SK183	三河系 底部ナデ 外面ミガキ 扉裏に 刻印・墨書 上面煤付着	181-3
296	土師質土器	焜炉	19.9	19.9	19.0	ADHIK	45	普通	にぶい橙	SK183	三河系 外面ミガキ 扉裏に刻印 上 面煤付着	
297	土師質土器	焜炉	-	[12.4]	(18.5)	ADEHI	30	普通	にぶい橙	SK183	三河系 外面ミガキ 底部墨書	
298	土師質土器	焜炉	-	[5.4]	-	ACDEIK	5	普通	にぶい橙	SK183	三河系 扉裏刻印	
299	瓦質土器	火消壺	(18.4)	17.7	19.7	CHIK	70	普通	灰黄	SK183	砂目底 強く燻す	181-5
300	瓦質土器	蓋	(22.2)	3.8	(24.2)	CHIK	45	普通	にぶい橙	SK183	上面砂目 燻す	
301	瓦質土器	火鉢	33.5	23.0	29.6	CHIK	90	普通	にぶい黄橙	SK183	砂目底 外面施文 口縁・脚部ミガキ 燻す 底部二次穿孔(植木鉢転用)	181-6
302	瓦質土器	火鉢	24.6	10.9	29.0	AHIK	75	普通	灰褐	SK183	江戸在地系 砂目底 外面ミガキ 胎 土粉質 燻す	182-1
303	瓦質土器	竈罫	(31.6)	3.3	(33.6)	AIK	35	普通	灰褐	SK183	煤多量に付着 最大径(38.7) cm	182-2
304	瓦質土器	竈罫	(30.4)	2.8	(33.4)	ACIK	25	普通	にぶい褐	SK183	上面刻印「⊖ 岩崎」 燻す 煤付着 最大径(39.9) cm	
305	瓦質土器	植木鉢	15.3	9.2	9.5	ACIK	95	普通	灰白・灰	SK183	底部穿孔 燻す	182-3
306	瓦質土器	植木鉢	(13.4)	9.6	9.7	AI	35	普通	灰	SK183	江戸在地系 底部糸切痕 胎土粉質	182-4
307	瓦質土器	十能	-	[3.0]	-	CIK	30	普通	黒	SK183		182-5
308	土師質土器	把手付鍋	-	[3.8]	-	CHIK	10	普通	にぶい橙	SK183	把手部分	182-7
309	土師質土器	把手付鍋	-	[3.5]	-	CHIK	20	普通	灰白	SK183	把手部分 外面煤付着	182-6
310	土師質土器	把手付鍋	(17.8)	3.8	(15.6)	CHIK	30	普通	にぶい黄橙	SK183	砂目底	183-1
311	土師質土器	焙烙	(37.3)	[4.1]	(38.7)	CEHIK	10	普通	浅黄橙	SK183	底部シワ状痕 外面煤付着	
312	土師質土器	焙烙	(32.8)	4.3	(31.6)	CHIK	15	普通	橙	SK183	底部シワ状痕 外面煤付着	183-2
313	土師質土器	焙烙	(38.0)	[3.4]	-	CHIK	20	普通	にぶい橙	SK183	砂目底	182-8
314	磁器	鉢	-	[2.7]	6.3	-	25	良好	白	SK186	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ 痕・焼き継ぎ印(赤)	187-7
315	磁器	鉢	15.5	7.3	6.7	-	75	良好	白	SK186	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転 写染付	187-8
316	陶器	皿	8.4	2.1	5.2	IK	90	良好	灰白	SK186	型成形 内外面灰釉、一部緑釉 内面 呉須絵・鉄絵、陽刻状施文 同文別個 体1あり	188-1
317	陶器	甕	(11.3)	11.9	7.5	IK	55	良好	褐灰	SK186	笠間系 底部白化粧 内面鉄釉 外面 上位鉄釉流掛、下位糠白釉・銅緑釉 (二彩)	188-2
318	陶器	急須	6.1	5.7	5.0	I	90	良好	暗赤灰	SK186	萬古系 口唇部施釉・金縁 外面イッ チン絵付(文字)	188-3
319	瓦質土器	火鉢	(16.5)	[4.7]	-	CIK	5	普通	灰白	SK186	口縁部ミガキ 外面トビガンナ状施文 をナデ消し	
320	磁器	坏	(5.6)	6.1	(3.4)	-	50	良好	白	SK187	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付	
321	陶器	灯明皿	(9.2)	1.8	(4.0)	IK	25	良好	灰白	SK187	内外面灰釉・外面下位拭き取り 直重 ね焼き痕	188-4
322	陶器	土瓶	-	[2.5]	(8.4)	IK	10	良好	にぶい橙	SK187	松岡系 内面海鼠釉 底部窯道具痕	188-5
323	陶器	瓶類か	-	[3.3]	(5.6)	IK	25	良好	にぶい黄橙	SK187	底部ケズリ 内外面透明釉・上位灰釉 掛け分け 外面施文	188-6
324	土師質土器	器台	(23.8)	7.5	(20.1)	AHIK	20	普通	にぶい橙	SK187	三河系 穿孔2 遺存 上位煤付着	
325	瓦質土器	竈罫	(27.2)	4.0	(29.5)	CIK	35	普通	にぶい黄橙	SK187	やや酸化炎焼成 上面煤付着 最大径 (33.4) cm	188-7
326	磁器	坏	7.8	4.7	3.2	-	85	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転 写染付	189-1
327	磁器	坏	(7.2)	4.5	3.3	-	50	良好	白	SK188	瀬戸美濃系か 内面施釉 外面色絵 (緑) 高台内刻印	189-2
328	磁器	坏	6.1	3.7	-	-	95	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉・上絵付(赤・ 金・青・黄)	189-3
329	磁器	坏	6.3	2.7	2.7	-	100	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付 (黒・金・緑・赤)	189-4

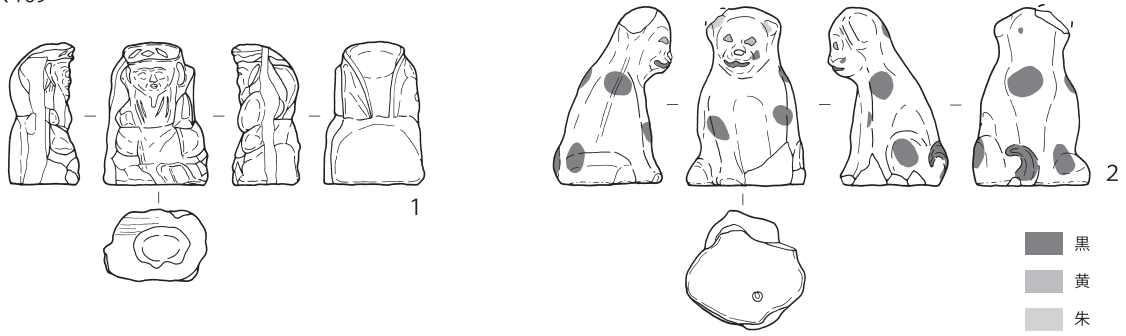
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
330	磁器	坏	(7.5)	3.1	(3.0)	-	50	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(赤、他)	189-5
331	磁器	皿	(21.2)	3.3	(11.7)	-	35	良好	白	SK188	肥前系 内外面施釉 内面染付 高台内ハリ支痕3 遺存	189-6
332	磁器	皿	-	[3.3]	(16.7)	-	20	良好	白	SK188	肥前系 内外面施釉・染付 高台内ハリ支痕4 遺存	190-1
333	磁器	猪口	7.2	6.3	5.0	-	85	良好	白	SK188	肥前系 内外面施釉・染付 蛇の目状高台	190-2
334	磁器	徳利	3.6	25.8	(7.5)	-	35	良好	灰白	SK188	肥前系 外面施釉・染付	
335	陶器	蓋	-	[2.4]	9.3	I	50	良好	灰褐	SK188	内外面灰釉 外面絵付(白)	190-3
336	陶器	播鉢	(18.3)	6.4	(8.6)	DEHIK	30	良好	にぶい赤褐	SK188	堺明石系 砂目底 内面播目	190-4
337	瓦質土器	土瓶	-	[8.9]	-	AHIK	15	普通	にぶい黄橙	SK188	外面燻す・煤付着	190-5
338	施釉土器	鉢	(9.4)	1.9	(9.6)	AIK	20	普通	灰白	SK188	京都系 型成形 内外面透明釉 底部露胎・型押文	190-7
339	瓦質土器	火鉢	(17.0)	9.7	11.5	CIK	60	普通	灰白	SK188	底部ナデ 外面トビガンナ状施文 口縁部ミガキ 燻す	190-6
340	瓦質土器	火消壺	(22.7)	[9.6]	-	CEIK	10	普通	灰白・褐灰	SK188	内面煤付着	
341	瓦質土器	火消壺	(21.6)	[13.6]	-	ACHIK	15	普通	黄灰・灰	SK188	口縁部～外面ミガキ 外面施文 内面煤多量に付着	191-1
342	磁器	皿	12.8	3.1	7.2	-	80	良好	白	SK189	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付 口紅	
343	磁器	坏	4.8	2.7	2.2	-	70	良好	白	SK189	内面金彩 外面色絵 高台内「九谷」銘(赤)	191-3
344	磁器	不明	-	[6.8]	(6.0)	-	10	良好	白	SK189	瀬戸美濃系 内外面施釉・鉄釉掛け・染付	191-2
345	陶器	灯明皿	10.2	2.1	3.8	E	95	普通	浅黄	SK189	内面～口縁部灰釉 内面直重ね焼き痕	191-4
346	陶器	灯明皿	10.7	2.3	(4.0)	E	20	良好	明褐灰	SK189	内面～口縁部灰釉	191-5
347	磁器	徳利	3.5	11.5	7.1	-	70	良好	灰白	SK189	内外面施釉 外面染付 胎質悪い	191-6
348	陶器	豆甕	-	[4.2]	(4.6)	IK	25	良好	にぶい橙	SK189	底部糸切痕 内外面柿釉	192-2
349	陶器	五徳	-	[6.2]	-	E	10	良好	灰白	SK189	京都系(深草) 白色土器 刻印「ふか草」「ト[齋カ]」	192-1
350	土師質土器	焜炉か	-	[4.0]	-	ADEI	10	良好	にぶい褐	SK189	三河系か 外面刻印	
351	瓦質土器	手焙り	-	[9.3]	-	CEI	15	良好	にぶい黄橙	SK189	外面一部ミガキ トビガンナ状施文	
352	土師質土器	把手付鍋	18.2	3.5	18.5	CHI	100	良好	にぶい橙	SK189	砂目底	192-4
353	磁器	碗	(10.8)	5.5	3.8	-	15	良好	白	SK190	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(白)	192-3
354	磁器	碗	(10.9)	[4.6]	-	-	10	良好	白	SK190	肥前系 内外面施釉・染付	
355	磁器	碗	9.6	4.3	3.0	-	95	良好	白	SK190	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上絵付(赤・黄・緑)	
356	磁器	皿	15.0	4.5	8.8	-	95	良好	白	SK190	肥前系 内外面施釉 内面染付 口紅 蛇の目状高台	192-6
357	磁器	仏飯器	(5.9)	6.8	4.0	-	45	良好	白	SK190	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付	192-5
358	磁器	段重	(12.0)	6.0	(9.0)	-	45	良好	白	SK190	肥前系 内外面施釉 外面染付・色絵(赤・緑・紫・黄)	193-1
359	陶器	蓋	-	1.9	5.6	I	95	良好	灰褐	SK190	萬古系 つまみ上端施釉・金彩 上面白盛絵付(文字) 穿孔	193-2
360	瓦質土器	植木鉢	12.3	7.6	7.5	CIK	75	普通	灰黄	SK190	底部ヘラナデ・穿孔 燻す	193-3
361	瓦質土器	竈鏝	(28.6)	2.6	(30.4)	AGHIK	20	普通	にぶい褐	SK190	やや酸化炎焼成 煤付着 最大径(34.9)cm	193-4
362	土師質土器	竈	(35.4)	[9.3]	-	AIK	5	普通	橙・褐灰	SK190	外面櫛歯状施文 内面煤付着	
363	瓦質土器	竈	(36.5)	[10.6]	-	ACDHIK	10	普通	にぶい橙	SK190	外面櫛歯状施文・穿孔 やや酸化炎焼成 窓部遺存なし 口縁部煤付着	
364	瓦質土器	蓋	19.4	3.4	21.4	CIK	90	普通	褐灰	SK190	外面施文・一部ミガキ	193-5
365	磁器	碗	-	[1.9]	(3.4)	-	10	良好	白	SK195	中国景德鎮系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕	196-1
366	磁器	碗	(11.7)	6.2	(6.5)	-	40	良好	白	SK195	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	196-2
367	陶器	土瓶	7.1	10.7	(6.0)	IK	45	良好	黄灰	SK195	外面灰釉 底部少量煤付着	196-3
368	磁器	碗	10.8	5.5	3.9	-	55	良好	白	SK201	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付 少量煤付着	
369	磁器	紅皿	(6.2)	1.4	1.9	-	35	良好	白	SK201	瀬戸美濃系 型成形 内面～外面上位施釉 外面型押施文 高台内刻印	198-4

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
370	磁器	爛德利	-	[14.8]	5.9	-	40	良好	白	SK201	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	
371	陶器	坏	4.2	3.2	2.0	E	60	良好	灰白	SK201	京都信楽系 内外面透明釉	198-5
372	陶器	蓋物	(10.4)	5.7	4.8	K	50	良好	灰白	SK201	内外面透明釉 外面鉄絵	198-6
373	陶器	土瓶	(6.0)	[2.2]	-	K	10	良好	灰白	SK201	大堀相馬系か 外面糠白釉	199-1
374	陶器	土瓶	(8.0)	10.0	7.8	I	20	良好	にぶい黄橙	SK201	外面施釉・多彩絵付 下位煤付着	198-7
375	瓦質土器	瓦燈	8.3	[3.3]	-	CE	10	良好	灰白	SK201	内面煤付着	198-2
376	土師質土器	蓋	(5.5)	0.8	(4.9)	AHIK	35	普通	橙	SK201	胎土粉質 被熱・赤変	
377	磁器	碗	11.5	5.2	3.9	-	60	良好	白	SK208	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	
378	磁器	皿	10.6	2.2	6.4	-	90	良好	白	SK208	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面銅版転写染付(緑) 口紅 体部外面ケズリ痕跡	
379	磁器	香炉か	-	[2.7]	-	-	5	良好	白	SK208	瀬戸美濃系 外面施釉・染付 脚部破片	200-3
380	陶器	德利	3.6	26.4	11.6	-	100	良好	灰白	SK208	内外面灰釉 外面鉄絵(文字) 内面油遺存	200-4
381	陶器	急須	6.1	7.6	4.8	-	65	良好	赤灰	SK208	萬古系 底部布疋痕 口縁部施釉 外面イッチン絵付(文字)・刻印「萬古」	
382	瓦質土器	植木鉢	(17.0)	10.4	(12.0)	AHIK	45	普通	灰白	SK208	底部糸切痕(左)・ナゲ消し 燻す	
383	土師質土器	目皿	(9.5)	1.4	(7.9)	AEIK	30	普通	にぶい橙	SK208	三河系か 上面ヘラナゲ・白化	
384	土師質土器	目皿	(11.7)	1.6	(10.6)	HIK	40	普通	にぶい褐	SK208	上面白化 被熱・赤変した瓦質土器の可能性あり	
385	土師質土器	火鉢	(22.6)	10.1	(21.3)	AHIK	40	普通	灰黄褐	SK208	江戸在地系 砂目底 胎土粉質	
386	瓦質土器	籠鏝	(29.8)	3.2	(31.2)	HIK	45	普通	にぶい黄橙	SK208	やや酸化炎焼成 煤付着 最大径(36.9) cm	
387	陶器	皿	9.0	2.4	5.8	K	100	良好	灰白	SK210	型成形 内外面灰釉、一部緑釉 内面呉須絵・鉄絵・陽刻状の型押施文	200-5
388	陶器	皿	9.0	2.1	5.6	IK	90	良好	灰白	SK210	型成形 内外面灰釉、一部緑釉 内面呉須絵・鉄絵・陽刻状の型押施文	200-5
389	陶器	急須	5.5	5.8	5.0	-	90	良好	暗赤灰	SK210	萬古系 口唇部施釉・金縁 外面白盛絵付(文字)	
390	陶器	鉢	(29.8)	[9.6]	-	IK	20	良好	灰白	SK210	内面灰釉 外面鉄釉 口縁部から二彩(糠白釉・緑釉)流掛	200-6
391	瓦質土器	蓋	(17.0)	3.5	(19.7)	CIK	20	普通	灰	SK210	上面砂目 燻す 内面煤付着	
392	磁器	蓋物	(15.4)	6.2	(7.2)	-	45	良好	白	SK212	肥前系 内外面施釉 外面染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	201-5
393	陶器	坏	(6.6)	3.8	(2.4)	IK	30	良好	灰白	SK212	京都信楽系 内外面透明釉	
394	陶器	播鉢	-	[5.4]	-	ADEIK	5	良好	灰赤	SK212	備前系 内面播目	
395	磁器	碗	10.2	6.0	3.2	-	100	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面ゴム印判染付	
396	磁器	碗	10.3	5.2	4.0	-	65	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉(単色釉)	
397	磁器	坏	8.2	4.9	2.7	-	100	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面色絵(金・赤・橙・白盛) 金縁 高台内「九谷」銘 同文別個体1あり	
398	磁器	坏	6.3	6.6	3.4	-	95	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面色絵(赤・緑・黒) 口紅 高台内「九谷」銘	
399	磁器	坏	4.0	1.8	1.7	-	100	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付 紅坏か	202-1
400	陶器	甕	-	[3.7]	-	EHIK	5	良好	灰褐	SK217	常滑 内面ヨコナゲ 外面縦方向ヘラナゲ 中世	
401	陶器	土瓶	3.0	8.4	6.5	IK	60	良好	灰黄	SK217	瀬戸美濃系 汽車土瓶 型成形 内外面灰釉 外面型押施文(文字) 耳に銅線遺存	202-2
402	陶器	皿	8.4	2.0	5.2	K	95	良好	灰白	SK217	型成形 内外面灰釉	202-3
403	陶器	灯火具	(7.3)	5.5	4.9	IK	70	良好	灰白	SK217	京都信楽系 内外面透明釉	
404	陶器	灯火具	4.5	6.0	6.8	IK	100	良好	灰白	SK217	底部糸切痕(右) 内外面灰釉	202-4
405	陶器	行平	14.0	8.4	9.2	IK	90	良好	にぶい褐	SK217	内面白化粧後施釉 外面鉛釉 底部少量の煤付着	
406	施釉土器	羽釜	22.5	[14.1]	-	ADEIK	60	良好	にぶい橙	SK217	内外面施釉 外面下位露胎部煤付着 同形の資料1あり	
407	瓦質土器	植木鉢	(8.9)	5.1	(5.5)	CEIK	20	普通	灰白	SK217	底部ヘラナゲ 燻す	
408	土師質土器	練炭おこし	(11.9)	4.2	(11.1)	AIK	40	普通	灰白	SK217	底部ヘラケズリ 被熱して赤変・白変	202-5

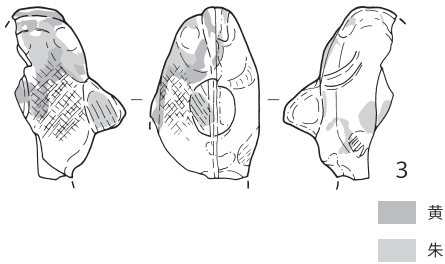
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
409	瓦質土器	竈罏	(27.6)	3.0	(29.2)	CIK	25	普通	褐灰	SK217	上面煤付着・二次的な切り込み状の傷あり 最大径 (34.6) cm	202-6
410	瓦質土器	火鉢	32.9	19.8	24.1	I	90	普通	にぶい橙	SK217	砂目底 口縁部・脚部外面ミガキ 外面施文	202-7
411	瓦質土器	竈	36.0	34.4	37.9	DEGI	90	普通	にぶい橙	SK217	外面櫛歯波状文 背面孔1 やや酸化炎焼成 煤付着	202-8
412	瓦質土器	竈	(36.0)	[7.7]	-	ADEHIK	5	普通	灰白	SK217	外面櫛歯状文 孔1 残存 内面煤付着	
413	瓦質土器	竈	(35.2)	[10.7]	-	ADEIK	5	普通	灰白	SK217	外面櫛歯状施文 孔1 残存 燻す 412と同一個体の可能性大きい	
414	陶器	徳利	-	[24.0]	12.3	I	80	普通	灰白	SK224	外面灰釉・鉄絵(文字・店印)「新中屋」	203-1
415	陶器	涼炉	-	[2.7]	-	DEHI	5	良好	灰白	SK224	京都系 白色土器質 外面刻印	203-2
416	瓦質土器	植木鉢	15.8	9.5	10.5	AI	80	普通	灰白	SK224	底部糸切痕 燻す	
417	瓦質土器	焜炉類か	(16.0)	[4.7]	-	C	20	良好	にぶい黄橙	SK224	やや酸化炎焼成	
418	瓦質土器	竈	(29.2)	[17.2]	-	CFHIK	20	普通	浅黄	SK224	内外面煤付着 窓幅は任意値で復元	
419	瓦質土器	器台	(28.0)	10.5	(23.6)	CEFHI	20	普通	灰白・橙	SK224	穿孔2 遺存 やや酸化炎焼成 口縁部内側に煤付着	
420	瓦質土器	竈罏	-	3.2	-	I	5	普通	にぶい黄	SK224	上面に刻印「㊦ 岩崎」	203-3
421	土師質土器	焙烙	(34.0)	3.9	(35.4)	ACHI	20	良好	にぶい黄橙	SK224	砂目底	203-4
422	かわらけ	小皿	(8.8)	1.9	(5.8)	CIK	15	良好	灰黄	SK224	底部糸切痕 胎土砂質	
423	陶器	皿	8.8	2.2	5.5	K	55	普通	灰白	SK227	型成形 内外面灰釉, 一部緑釉掛け分け 内面型押文(三日月)・呉須絵焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)「き九口」	209-1
424	磁器	碗	10.0	5.6	3.4	-	60	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 ゴム印判染付	
425	磁器	坏	8.1	4.8	3.0	-	95	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 ゴム印判染付	
426	磁器	坏	8.0	4.6	3.5	-	100	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付・絵付(茶) 高台内付着物	
427	磁器	坏	6.3	2.7	2.5	-	95	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上絵付(緑・赤・茶・金)「泉川/古河/西村/蒼海元は一掬泉」	209-4
428	磁器	坏	6.9	3.1	2.2	-	95	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉・上絵付(金)	
429	磁器	坏	(7.2)	[3.0]	(2.8)	-	25	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 口縁部染付 内面上絵付(青・赤)	
430	磁器	鉢	(14.2)	6.3	(5.8)	-	50	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉(外面鉄釉単彩)・染付 煤付着 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)	209-5
431	陶器	碗	(9.8)	[4.6]	-	K	15	良好	黄灰	SK252	内面白化粧・施釉 外面鉄泥, イッチン施文	209-6
432	陶器	播鉢	-	[2.6]	(4.2)	IK	25	良好	灰白	SK252	内外面柿釉 内面播目 小形	209-7
433	陶器	播鉢	32.2	14.0	15.3	IK	75	良好	にぶい橙	SK252	笠間系 内外面柿釉 内面播目 底部白化粧・墨書	209-8
434	陶器	徳利	-	19.4	9.2	I	90	良好	灰白	SK252	外面灰釉・トビガンナ状施文・釘書き「いなりや」 頸部鉄釉 内面下位に鉄釘・鉄塊充填	210-1
435	陶器	急須	(7.2)	[5.2]	5.1	K	40	良好	灰白	SK252	外面施釉・絵付 底部布目庄痕・墨書	210-6
436	陶器	急須	(5.7)	5.6	4.9	I	70	良好	褐灰	SK252	萬古系 外面絵付(緑・金) 墨書	210-7
437	瓦質土器	植木鉢	(9.2)	[5.1]	-	AIK	10	普通	灰	SK252	江戸在地系 燻す	
438	瓦質土器	植木鉢	-	[4.0]	9.2	CIK	20	普通	黄灰	SK252	底部静止糸切 燻す	
439	瓦質土器	植木鉢	-	[6.2]	(10.8)	CEGHIK	20	普通	灰黄褐	SK252	底部糸切痕 燻す	
440	瓦質土器	植木鉢	-	[6.0]	(15.0)	CIK	20	普通	にぶい赤褐・黒褐	SK252	底部ナデ 燻す	
441	瓦質土器	火鉢	-	[7.6]	-	CIK	5	普通	にぶい褐・褐灰	SK252	燻す	
442	瓦質土器	蓋	(20.3)	[3.2]	(22.6)	CIK	45	普通	灰白・黒褐	SK252	上面砂目痕をナデ 燻す 内面煤付着	210-2
443	瓦質土器	蓋	(24.8)	[3.5]	(27.4)	CIK	30	普通	灰白・黒褐	SK252	燻す 内面煤付着	
444	瓦質土器	蓋	(24.0)	[3.4]	-	CIK	20	普通	にぶい橙	SK252	やや酸化炎焼成 上面砂目 燻す 煤付着	
445	瓦質土器	竈罏	-	3.1	-	EI	5	普通	黄灰	SK252	上面刻印「舎」 煤付着	210-3
446	瓦質土器	竈罏	(26.6)	2.6	(28.4)	CEIK	15	普通	にぶい橙・黒褐	SK252	煤付着 最大径 (33.0) cm	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
447	土師質土器	焜炉	-	[6.8]	-	AEHK	5	普通	にぶい橙	SK252	三河系	210-4
448	瓦質土器	竈	28.5	[7.7]	-	CHIK	15	普通	橙	SK252	外面櫛歯波状文 やや酸化炎焼成 煤付着	
449	瓦質土器	竈	(37.8)	[8.4]	-	CHIK	5	普通	浅黄橙	SK252	外面孔 2 遺存・櫛歯状文施文 煤付着	
450	瓦質土器	竈	-	[9.3]	-	ACEHI	5	普通	灰白	SK252	燻す	
451	瓦質土器	竈	-	[16.5]	-	CIK	5	普通	灰白・黄灰	SK252	外面櫛歯状文施文 燻す	
452	瓦質土器	竈	-	[6.6]	-	CEIK	5	普通	にぶい橙・灰	SK252	外面櫛歯状文施文	
453	土師質土器	練炭おこし	10.7	12.0	11.1	ADEH	85	普通	にぶい橙・赤	SK252	三河系か 底部静止糸切 被熱・内面白化, 口縁部剥離多い	210-5
454	土師質土器	練炭おこし	-	[12.2]	-	ADEH	5	普通	橙	SK252	三河系	
455	磁器	碗	12.2	6.4	5.2	-	95	良好	白	SK253	瀬戸美濃系 内外面施釉・ゴム印判染付	211-1
456	磁器	皿	-	[1.3]	(6.0)	-	10	良好	白	SK253	肥前系 内外面施釉 内面染付 初期伊万里様式	
457	磁器	碗	-	[1.5]	4.0	-	20	良好	灰白	SK253	肥前系 内外面施釉 内面蛇の目状釉剥ぎ 二次加工(円盤状製品) 径4.9cm 重39.8g	211-2
458	磁器	坏	(4.0)	1.5	1.0	-	40	良好	白	SK253	肥前系 内外面施釉 紅坏か	
459	瓦質土器	目皿	11.0	1.1	10.6	CEHIK	70	普通	にぶい橙	SK253	下面砂目 被熱・赤変	211-4
460	土師質土器	器台	(24.6)	5.7	(20.2)	AHIK	15	普通	にぶい褐	SK253	三河系 内面煤付着	
461	磁器	碗	(9.4)	4.6	3.6	-	40	良好	白	SK314	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(端反碗)	228-4
462	磁器	碗	(10.0)	3.7	3.4	-	15	良好	白	SK314	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)「チ五七」	
463	磁器	碗	(6.6)	4.6	(3.5)	-	45	普通	白	SK314	肥前系 内外面施釉・染付(湯呑形碗)	228-5
464	磁器	坏	-	[2.6]	2.4	-	45	良好	白	SK314	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上絵付(青・赤・金) 外面染付	
465	磁器	皿	(15.0)	2.9	(10.0)	-	20	普通	白	SK314	淡路珉平系 内外面緑釉 内面型押施文	228-6
466	磁器	皿	(14.3)	5.0	9.0	-	50	普通	灰白	SK314	肥前系 内外面施釉(外面青磁釉)・染付 漆継痕 煤付着	
467	磁器	土瓶	(7.4)	[6.6]	-	-	10	普通	白	SK314	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	229-2
468	陶器	灯火具	(8.0)	5.5	6.0	HK	65	普通	灰白	SK314	京都信楽系 内外面透明釉 煤付着	
469	陶器	香炉	(11.0)	[4.7]	-	I	15	普通	浅黄橙	SK314	外面灰釉 口縁部緑釉流掛	229-1
470	陶器	片口鉢	(14.6)	[4.5]	-	EIK	5	良好	灰黄	SK314	内外面灰釉 口縁部糠白釉流掛	
471	陶器	こね鉢	(28.0)	[11.2]	-	IK	15	普通	灰白	SK314	益子系か 内外面灰釉 口縁部緑釉流掛 弱く被熱	229-2
472	陶器	爛德利	-	[8.5]	-	K	10	普通	淡黄	SK314	外面糠白釉(貫入多い)	
473	陶器	蓋	-	2.9	(6.2)	K	75	良好	灰白	SK314	京都信楽系 上面透明釉・上絵付(紫・黄) 周囲二次敲打か	229-1
474	瓦質土器	火鉢	(18.5)	[8.0]	(12.7)	ACEFHK	30	普通	にぶい黄橙	SK314	やや酸化炎焼成 口縁部少量煤付着	
475	瓦質土器	火鉢	-	[6.2]	-	ACK	5	普通	浅黄	SK314	江戸在地系 外面施文 胎土粉質 燻す 内面赤色塗布物痕あり	231-1
476	瓦質土器	蓋	(21.0)	3.4	(23.8)	IK	20	普通	灰	SK314	上面砂目底 燻す 内面煤付着	
477	磁器	碗	(11.0)	5.8	4.2	-	55	良好	白	SK337	肥前系 内外面施釉・染付	231-1
478	磁器	碗	-	[2.9]	4.0	-	25	良好	白	SK337	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ印(赤)「ト[六カ]〇」	
479	磁器	碗	9.3	5.1	(3.7)	-	50	良好	白	SK337	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(端反碗)	231-2
480	磁器	碗	(6.8)	[5.2]	-	-	20	良好	白	SK337	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	
481	陶器	土瓶	(4.8)	[1.4]	-	K	5	良好	灰白	SK337	京都信楽系 内外面透明釉	231-2
482	陶器	水注	-	[4.8]	3.5	IK	50	良好	褐灰	SK337	瀬戸美濃系 底部糸切痕 内外面鉄釉(耳付水注)	
483	陶器	德利	3.3	25.5	10.4	IK	100	良好	灰白	SK337	瀬戸美濃系 外面灰釉・底部拭き取り	

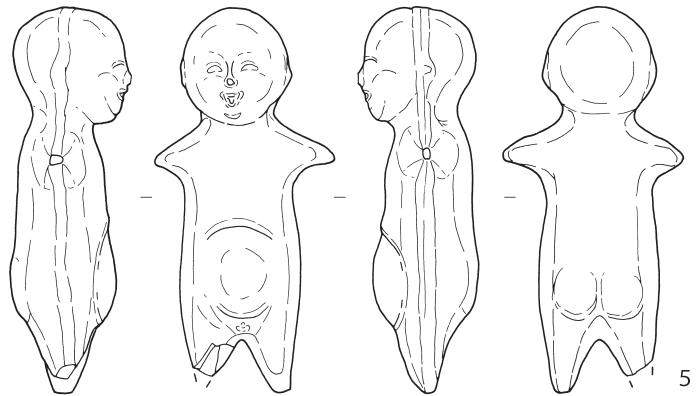
SK169



SK182



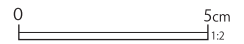
SK195



SK183

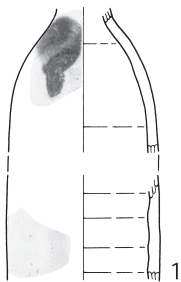


SK227

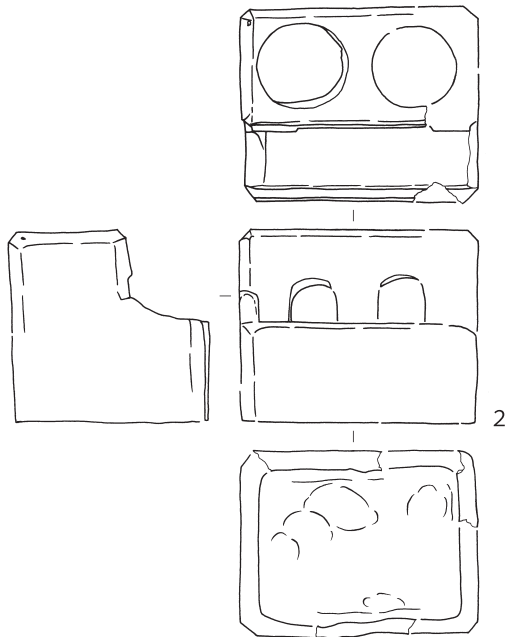


第 463 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (45)

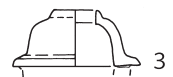
SK165



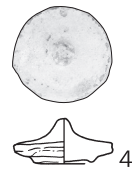
SK169



SK181

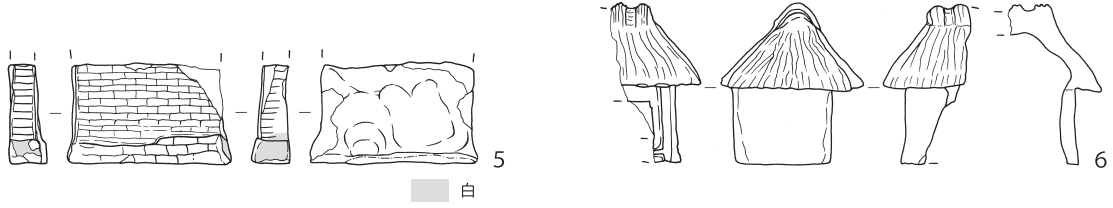


SK182

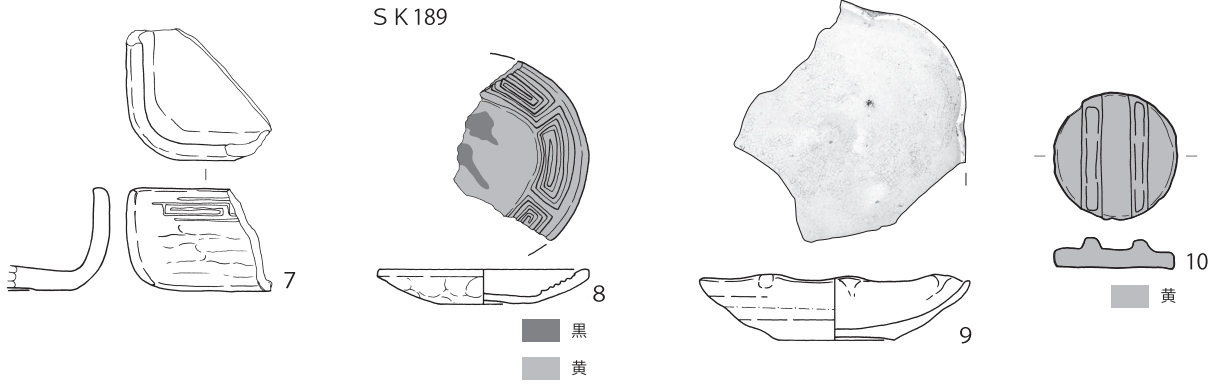


第 464 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (46)

SK183

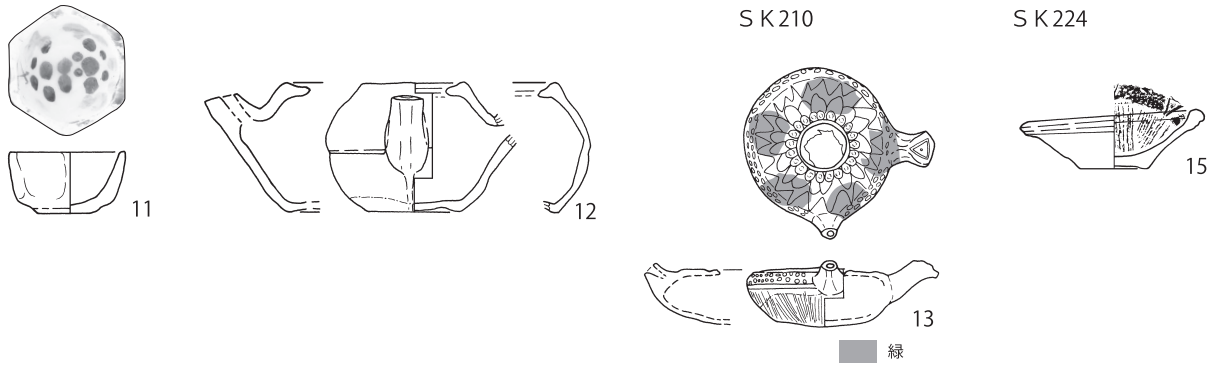


SK189



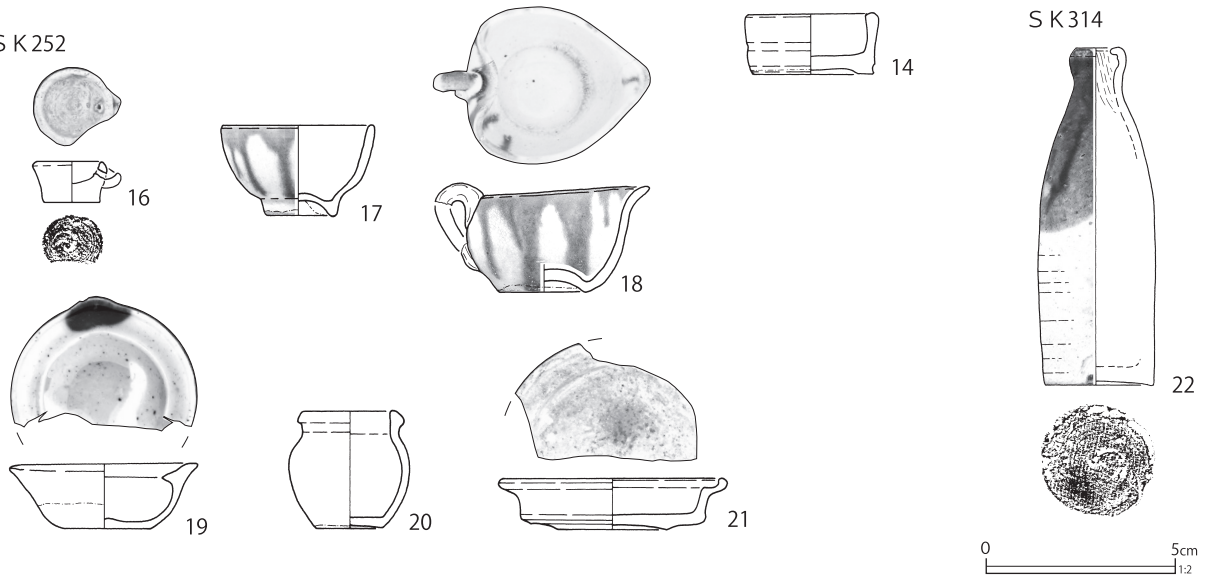
SK210

SK224



SK252

SK314



第465図 第5区画の土壙出土遺物(47)

第201表 第5区画の土壌出土遺物観察表(2)(第463~465図)

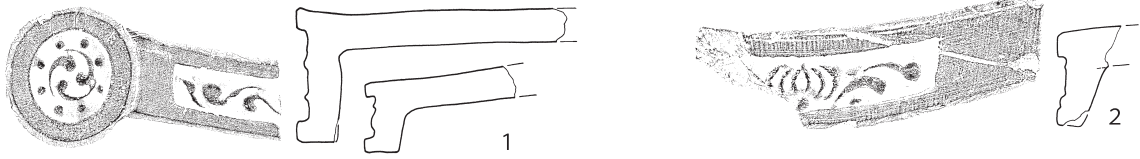
番号	種別	器種	幅/長	高さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	人形	2.8/3.7	-	1.9	12.7	AK	良好	にぶい褐	SK169	江戸在地系 恵比寿 前後合二枚型成形 中空 彩色(青) 僅かに遺存	243-16
2	磁器	人形	3.1/4.6	-	2.8	33.7	-	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 猫 前後合二枚型成形 中実 施釉 上絵付(赤・黄・黒) 下面露胎	
3	磁器	人形	[2.9]/[4.5]	-	(2.9)	9.7	-	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 金魚 上下合二枚型成形 中空 上面施釉 彩色(黄・橙)	
4	土製品	芥子面	[2.2]/2.8	-	0.85	3.8	-	良好	にぶい褐	SK183	江戸在地系 一枚型成形	244-3
5	土製品	人形	4.8/10.2	-	3.1	47.7	AEHI	良好	橙	SK195	江戸在地系 ぶら人形 前後合二枚型成形 中空	244-10
6	土製品	芥子面	1.6/1.6	-	0.55	1.0	AK	良好	にぶい橙	SK227	江戸在地系 一枚型成形	245-3
番号	種別	器種	口径	器高	底径	重量	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	施釉土器	ミニチュア	-	[7.2]	-	10.7	AIK	普通	橙	SK165	江戸在地系 爛徳利 外面化粧土 施釉 緑釉流し掛け 接点のない2片から復元	243-15
2	土製品	玩具類	縦5.0 横6.2 高さ5.1			45.0	HIK	普通	橙	SK169	江戸在地系 竈 板作り成形 胎土粉質	243-17
3	施釉土器	ミニチュア	1.1	[1.4]	3.4	2.3	EI	良好	灰白	SK181	京都系 茶釜 上下合二枚型成形 内外面緑釉	243-18
4	施釉土器	ミニチュア	-	1.1	1.5	4.8	A	良好	にぶい橙	SK182	江戸在地系 蓋 型成形 上面白土施釉 胎土粉質	243-19
5	土製品	箱庭道具	長さ[2.5] 幅4.4 厚さ1.5			9.2	AHIK	良好	橙	SK183	江戸在地系 塀 一枚型成形 上・側面施釉(一部白土) 下面指頭痕	243-20
6	土製品	箱庭道具	長さ4.1 幅[2.4] 厚さ0.7			13.1	HK	良好	灰白	SK183	民家 二枚型成形 上下別作り	244-1
7	施釉土器	ミニチュア	-	2.7	[3.7]	-	IK	普通	灰白	SK183	京都系 内外面赤彩後施釉 外面施文 火鉢	244-2
8	土製品	ミニチュア	(5.4)	0.9	(2.4)	5.4	K	良好	にぶい黄	SK189	京都系 型成形 内面黄黒釉 底部指頭痕	244-5
9	施釉土器	ミニチュア	7.2	1.7	3.0	2.3	I	良好	灰白	SK189	京都系 底部糸切痕(左) 内外面黄色釉	244-6
10	磁器	ミニチュア	-	0.9	3.2	10.2	-	普通	白	SK189	瀬戸美濃系 蓋 型成形 上面施釉・黄色塗付	244-7
11	磁器	ミニチュア	3.4	1.7	1.4	10.8	-	普通	白	SK189	瀬戸美濃系 鉢 型成形 内外面施釉 内面上絵付(青・緑・赤・金)	244-8
12	磁器	ミニチュア	2.6	3.4	2.3	20.4	-	良好	白	SK189	瀬戸美濃系 急須 上下合二枚型成形 外面施釉 六角形	244-9
13	施釉土器	ミニチュア	1.3	1.7	-	10.6	EK	普通	灰白	SK210	京都系 急須 上下合二枚型成形 上面施釉・緑釉 縦4.5 横5.0	244-12
14	施釉土器	ミニチュア	3.3	1.6	3.2	12.9	IK	良好	灰白	SK210	京都系 内外面施釉	244-14
15	土製品	ミニチュア	4.9	1.5	2.0	8.3	K	普通	にぶい橙	SK224	外面光沢 内面播目 播鉢	244-13
16	施釉土器	ミニチュア	2.2	1.1	1.5	3.3	K	普通	灰白	SK252	京都系 片口鉢 底部離し糸切痕 内外面黄色釉	245-4
17	施釉土器	ミニチュア	4.0	2.4	1.8	13.6	K	普通	灰白	SK252	京都系 型成形 内外面黄色釉 外面緑釉流し掛け	245-5
18	施釉土器	ミニチュア	縦4.1 横[5.7] 高さ2.7			18.7	K	普通	灰白	SK252	京都系 型成形 内外面黄色釉・緑釉流し掛け	
19	磁器	ミニチュア	4.6	1.7	2.2	9.8	-	普通	白	SK252	瀬戸美濃系 鍋 内外面施釉(褐色・青)	
20	磁器	ミニチュア	2.2	3.1	1.8	13.0	-	普通	白	SK252	瀬戸美濃系 甕 前後合二枚型成形 内外面施釉	
21	施釉土器	ミニチュア	5.8	1.3	2.8	-	E	良好	灰白	SK252	京都系 内外面施釉 鍋か	245-6
22	施釉土器	ミニチュア	1.2	8.9	2.8	35.9	EIK	普通	灰白	SK314	京都系 徳利 底部離し糸切痕(右) 内外面施釉 緑釉流し掛け	245-18

が、これらは個別に生産者を表すものらしい(能芝2011)。第473図81~86は金属製品である。81は、がま口の口金で、丸のつかないタイプと考えられる。

第190号土壌は、第189号土壌と重複する土壌

で、長軸1.6m以上の不整長方形を呈する。第451・452図353~364に出土した陶磁器を示す。361は瓦質土器の竈罏である。上面には「〇」が二個並ぶ刻印がある。胎土に微細な雲母を少し含んでおり、角閃石は含まれていない。

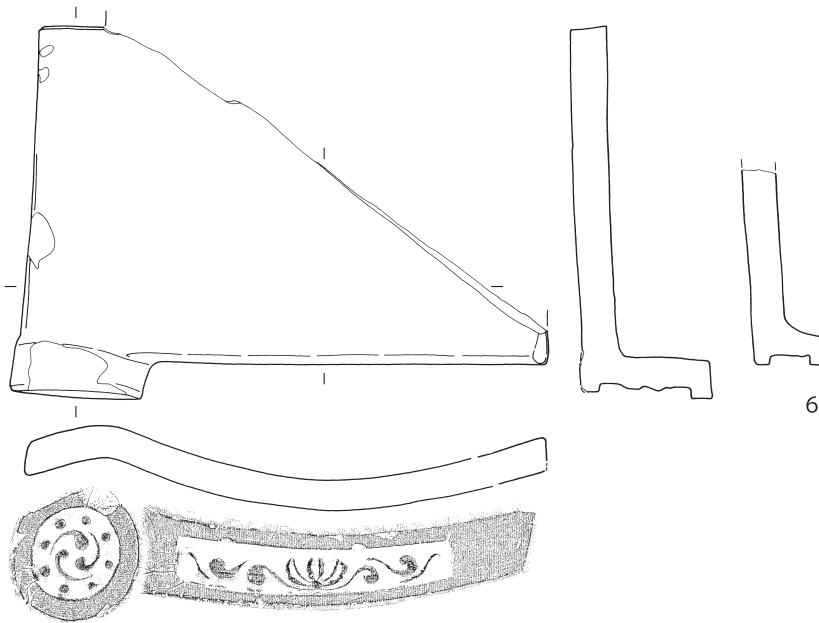
SK177



SK195



SK337



第466図 第5区画の土壌出土遺物(48)

第202表 第5区画の土壌出土遺物観察表(3)(第466図)

番号	種別	器種	長さ	幅	径	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	軒棧瓦	[14.4]	[15.6]	6.8	AIK	良好	灰白	SK177	右巻き 8珠文 胎土硬質	254-10
2	瓦	軒棧瓦	[4.9]	[8.5]	-	ACIK	普通	灰白	SK177		255-3
3	瓦	軒棧瓦	[7.0]	[15.2]	6.1	ACIK	良好	灰白	SK195		
4	瓦	軒棧瓦	-	[6.0]	-	ACHIK	良好	灰黄	SK195	被熱・赤変	
5	瓦	軒棧瓦	-	[7.4]	-	AHIK	良好	灰	SK195	胎土硬質	
6	瓦	軒棧瓦	[17.5]	28.3	7.1	HK	普通	灰白	SK337	右巻き	256-6

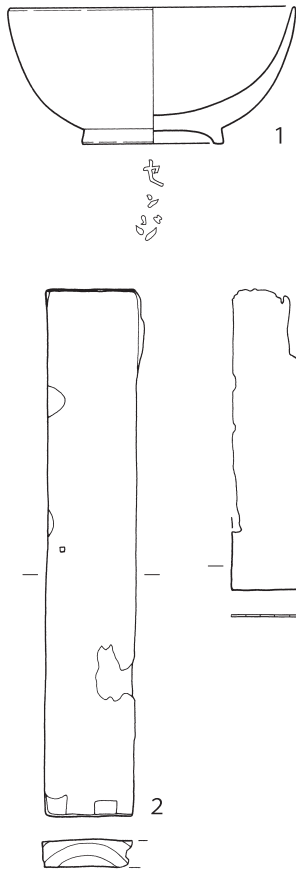
第195号土壌は、区画西側に位置する土壌で、長軸1.1mの楕円形を呈する。第452図365~367に出土した陶磁器を示す。

365は中国清朝磁器で、景德鎮窯系のものである。高台端部は面取りされて下端断面は尖る。内

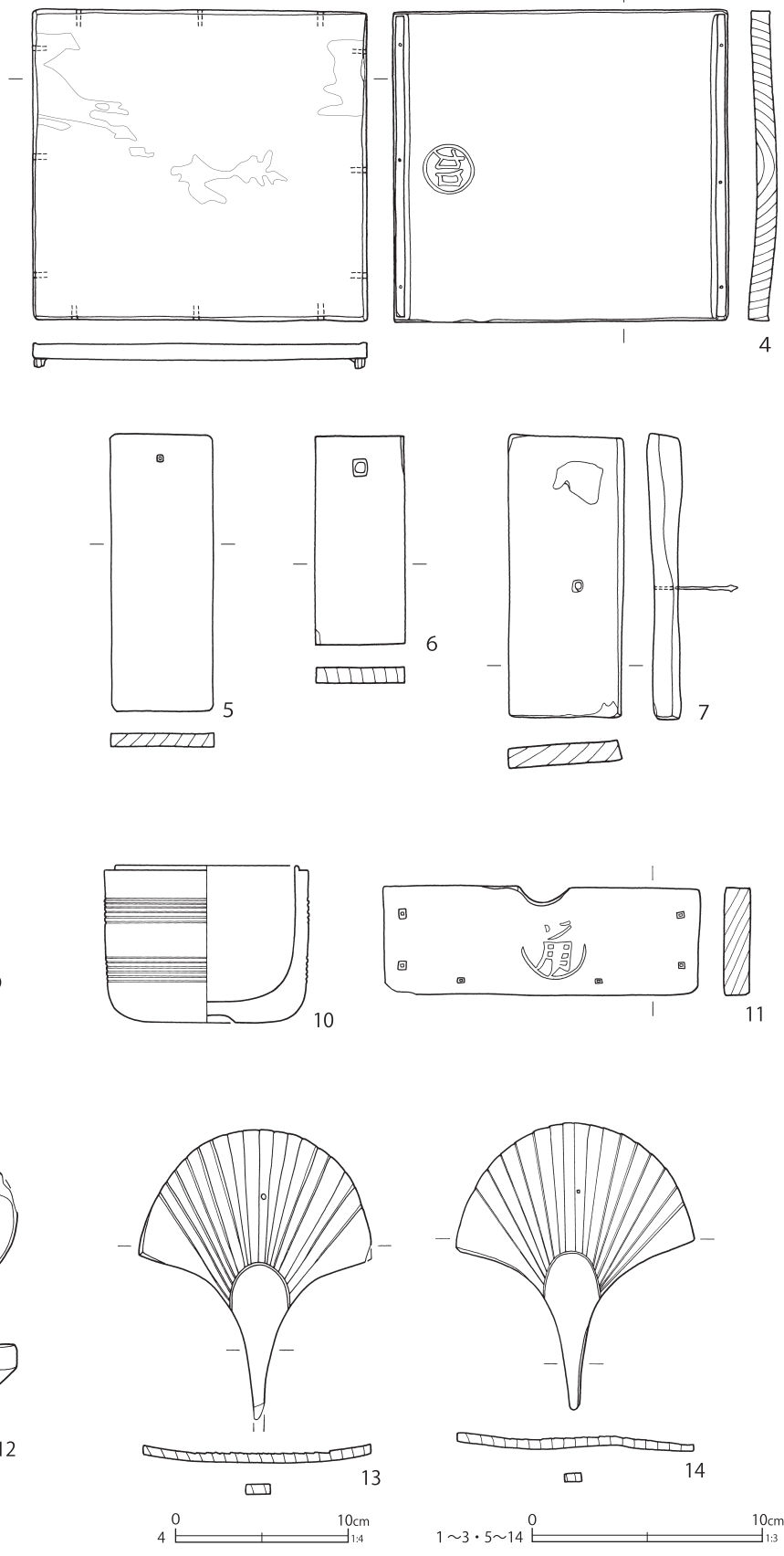
外面に霊芝文が施される。366は肥前系磁器の広東碗で、底部に「上十七」の焼き継ぎ印がみられる。367は陶器の土瓶である。陶磁器は少なく、詳細な時期は不明である。

第201号土壌は、第314号土壌など複数の土壌

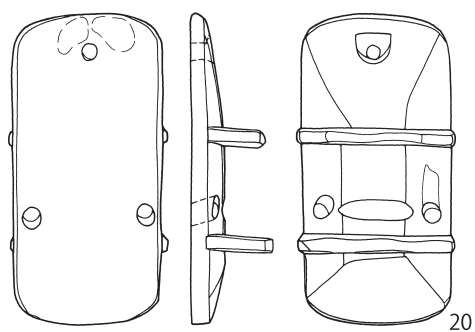
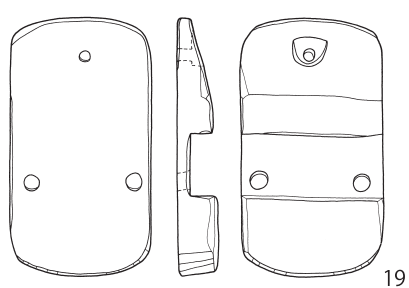
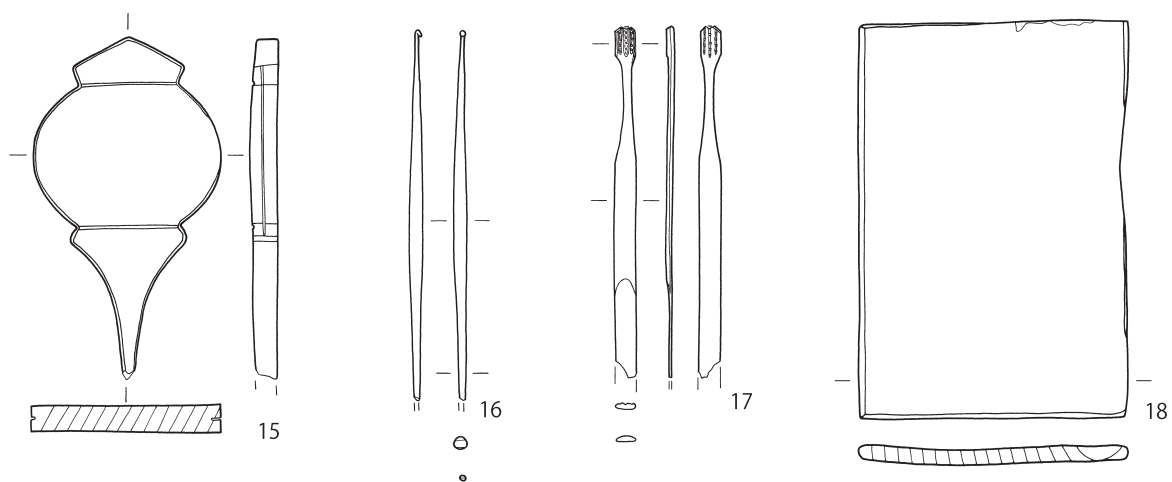
SK181



SK183



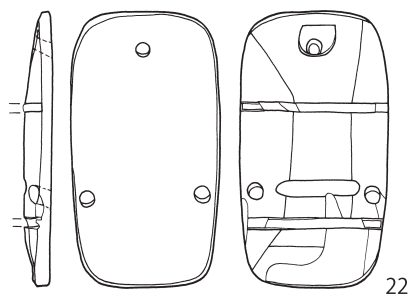
第 467 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (49)



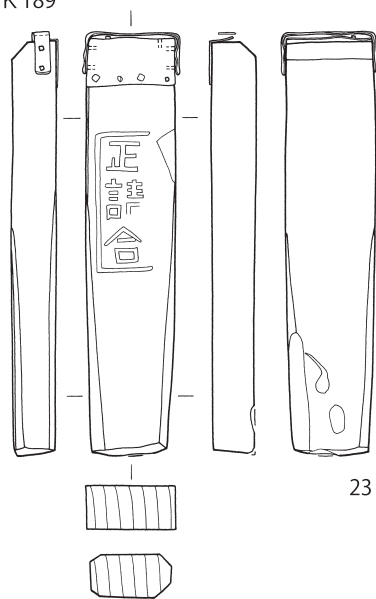
SK187



SK188



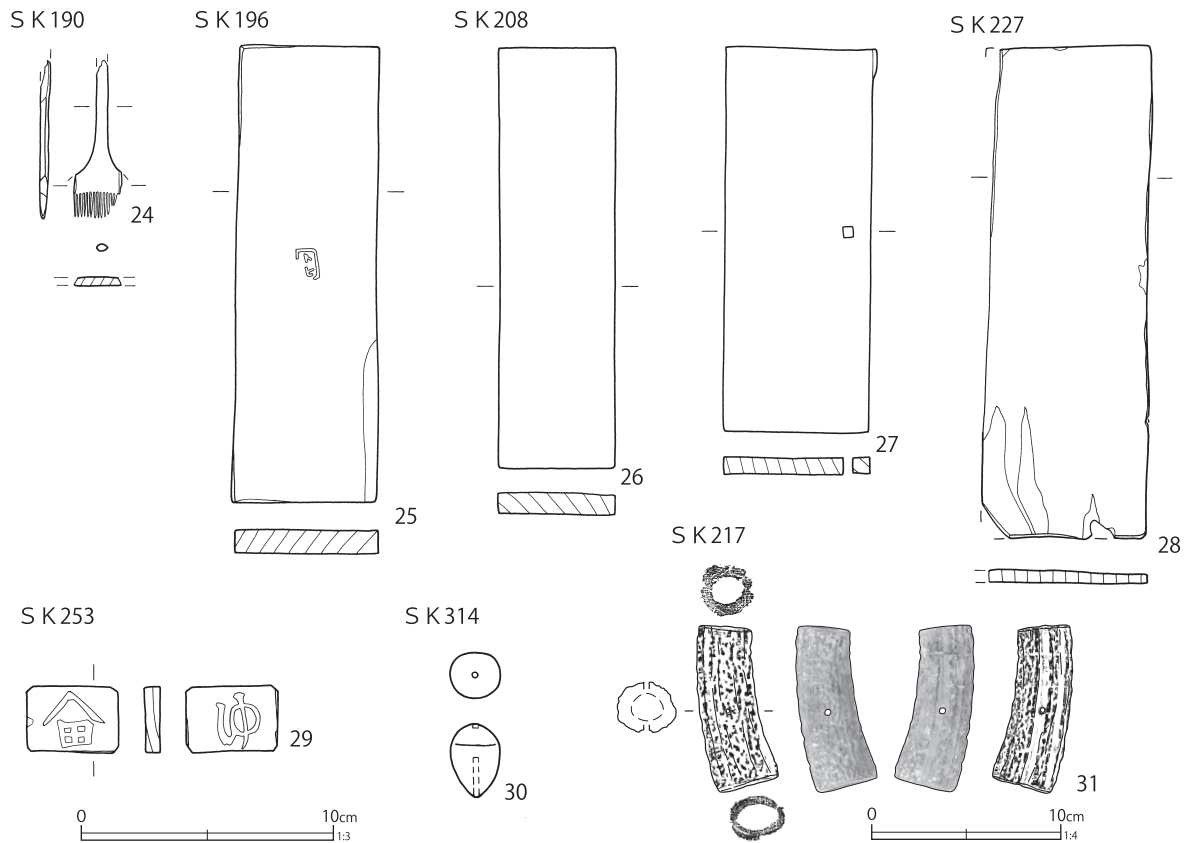
SK189



19・20・22 0 10cm 1/4

15~18・21・23 0 10cm 1/3

第468図 第5区画の土壙出土遺物 (50)



第 469 図 第 5 区画の土壌出土遺物 (51)

第 203 表 第 5 区画の土壌出土遺物観察表 (4) (第 467 ~ 469 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	漆椀	-	-	-	11.2	5.3	5.4	横木取り	SK181	内面赤漆 高台内黒漆 高台内「センジ」の文字	265-5
2	木製品	木札	20.7	[3.5]	1.0	-	-	-	板目	SK181	表面墨書 第 241 表 27	
3	木製品	経木	[11.8]	[2.9]	0.05	-	-	-	柱目	SK181	両面墨書 第 241 表 28	
4	木製品	膳	19.3	18.0	1.5	-	-	-	板目	SK183	両面黒漆 側板の痕跡 焼印「㊦」釘穴 18 木釘残 12	265-6
5	木製品	木札	11.9	4.4	0.6	-	-	-	板目	SK183	表面朱墨 両面墨書 第 241 表 30	298-1
6	木製品	木札	9.0	3.8	0.7	-	-	-	柱目	SK183	表面墨書「拾五」孔 1 第 241 表 31	
7	木製品	木札	12.2	5.0	0.8	-	-	-	板目	SK183	釘付き 片面墨書 第 241 表 32	298-2
8	木製品	経木	11.6	[2.8]	0.05	-	-	-	柱目	SK183	両面墨書 第 241 表 33	298-3
9	木製品	経木	[4.4]	[3.3]	0.06	-	-	-	柱目	SK183	両面墨書 第 241 表 34	
10	木製品	漆椀	-	-	-	(8.8)	6.7	4.8	横木取り	SK183	内外面黒漆 一部赤漆残 外面に溝 6 が 2 段 わたり径 (7.8) cm	266-1
11	木製品	板	4.6	13.7	1.1	-	-	-	板目	SK183	孔 6 (孔貫通 3 鉄釘残 3) 焼印「㊦」カ	
12	木製品	独楽	[6.1]	6.2	6.1	-	-	-	芯持材	SK183	鉄軸	266-7
13	木製品	神酒口	[12.5]	10.0	0.4	-	-	-	柱目	SK183		266-2
14	木製品	神酒口	12.4	10.2	0.4	-	-	-	板目	SK183	中央に孔	266-3
15	木製品	神酒口	[13.5]	7.4	1.1	-	-	-	板目	SK183	表面線で区切り 側面溝状の切り込み	266-4
16	木製品	編み針	[14.6]	0.5	0.5	-	-	-	削出し柱目	SK183	かぎ編みの編み針	266-5
17	木製品	歯ブラシ	[13.8]	0.8	0.2	-	-	-	-	SK183	竹製 溝 3 列 孔 12	266-6
18	木製品	木札	15.7	10.8	0.7	-	-	-	板目	SK183	両面墨書 第 241 表 29	
19	木製品	下駄	13.5	7.3	-	-	2.2	-	板目	SK183	削り下駄	266-8
20	木製品	下駄	16.4	7.9	-	-	4.3	-	板目	SK183	陰卯下駄	

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
21	木製品	箸	[15.1]	0.8	0.6	-	-	-	削出し	SK187	表面「八坂神社」裏面「栗はし」の焼印あり	267-3
22	木製品	下駄	14.4	7.8	-	-	[2.1]	-	板目	SK188	陰卯下駄 朱漆	
23	木製品	皮剥き	16.8	3.8	1.8	-	-	-	板目	SK189	銅をかぶせてある 歯も銅 孔8 銅釘5残 表面焼印「正諸合」	267-4
24	木製品	櫛	[6.2]	1.8	0.3	-	-	-	板目	SK190	(筋立て)	267-5
25	木製品	木札	18.0	5.6	0.9	-	-	-	板目	SK196	表面焼印 裏面焼印「㊤」	
26	木製品	木札	16.5	4.6	0.8	-	-	-	板目	SK208	両面墨書 第241表 37	298-7
27	木製品	木札	15.1	6.0	0.7	-	-	-	板目	SK208	両面墨書 第241表 36	298-6
28	木製品	木札	19.2	[6.6]	0.5	-	-	-	板目	SK227	片面墨書 第241表 41	298-11
29	木製品	木札	2.6	3.6	0.6	-	-	-	板目	SK253	表面「㊤」裏面「ゆ」焼印	269-1
30	木製品	浮子	2.8	-	-	2.0	-	-	板目	SK314	上部赤漆 下部黒漆 上下端面に孔	272-3
31	骨製品	不明	8.8	4.2	2.7	-	-	-	-	SK217	鹿角 穿孔 重さ63.9g	285-3

と重複して全体形が把握し難い。第452・453図368～376に出土した陶磁器を示す。368は瀬戸美濃系磁器の丸碗で、酸化コバルト染付が施される。369は瀬戸美濃系磁器の紅皿で、高台内に刻印がある。370は瀬戸美濃系磁器の爛徳利で、外面に酸化コバルト染付が施される。頸～体部間で括れる独特の形態である。371は京都信楽系陶器の坏、372は産地不詳の陶器蓋物である。373は陶器の土瓶で、外面に貫入の多い糠白釉を施釉する。胎土はやや磁質で良く焼き締まっている。大堀相馬系陶器の可能性もある。374は陶器の三彩土瓶である。375の土器は瓦灯の上部である。胎土には角閃石が目立つ。376は土師質土器焼塩壺の蓋である。

第208号土壇は、区画北東部に位置し、第183号土壇と重複して検出された。長軸1.6mの隅丸方形を呈する。第435～454図377～385に出土した陶磁器を示す。

377は瀬戸美濃系磁器の平碗である。内外面とも、銅版転写染付が施される。高台内には、○枠内に「戸忠」の銘款がみられる。380は陶器の徳利で、鉄絵で「本店」「固」の文字が書かれる。栗橋の原勢屋に関わる遺物である。内面に油が遺存しているらしく、臭いが強い。

第210号土壇は区画中央部のやや北側に位置し、長軸1.20mの楕円形を呈する土壇である。覆土は遺物を多く含む暗褐色土で、廃棄土壇と思

われる。

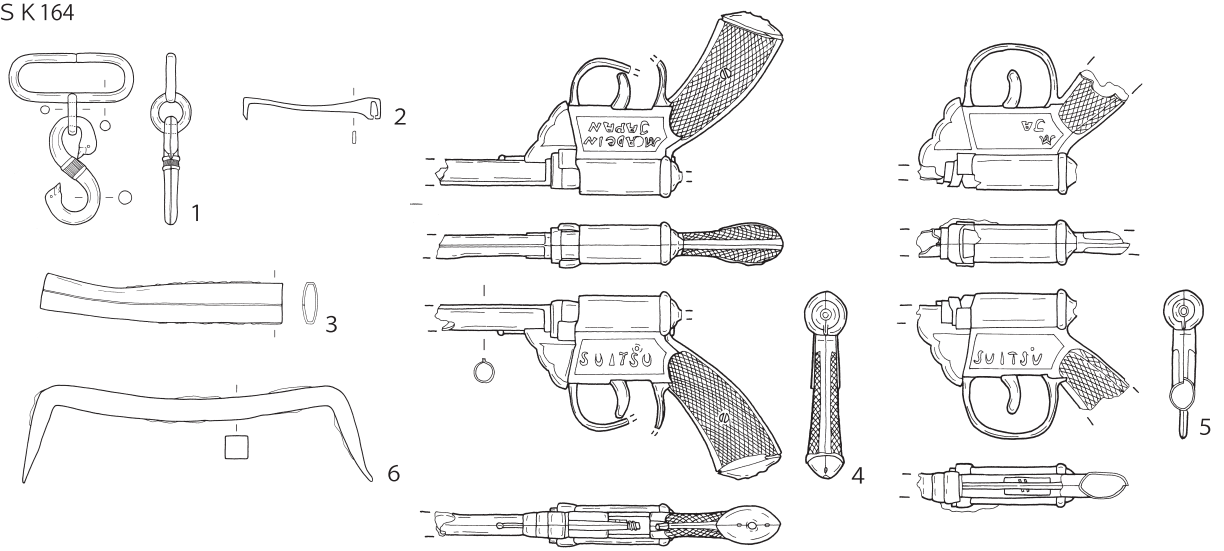
第454図387～391に出土した陶磁器を示す。このうち、387・388は型成形の陶器の皿である。平面形は五角形を基調とした変形である。産地不明としたが、瀬戸美濃系陶器の可能性もある。灰釉を地とし、一辺の口縁部に緑釉を施釉する。内底面には型押しによる三日月文様が陽刻状に表され、その部分に呉須絵・鉄絵で絵付けが施される。同様の皿は、第183号土壇（第435図221）や第186号土壇（第448図316）・第227号土壇（第458図423）等からも出土している。

第212号土壇は、区画北東部に位置するが、第183・184号土壇と重複し、遺存状態が悪い。第184号土壇を掘り込んで構築されている。

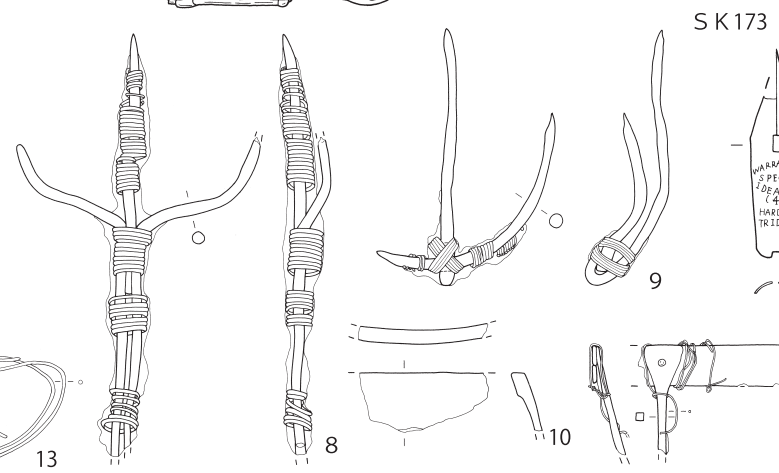
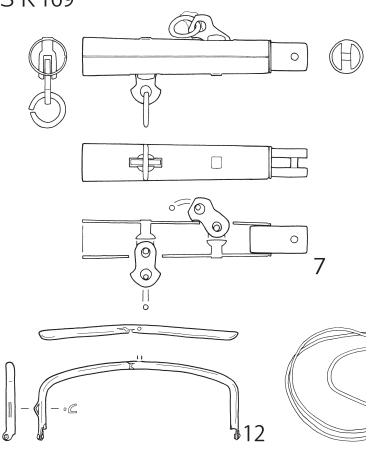
第454図392～394に出土した陶磁器を示す。392は肥前系磁器である。口縁部の釉が拭き取られ、蓋物であることが分かる。外面に唐花文などを丁寧に染付する。焼き継ぎが認められ、底部に小さく「ト二一」と読める焼き継ぎ印を認める。393は京都信楽系陶器の坏で、小杉碗を小型にした形態のものである。394は備前系陶器の播鉢で、内面の播目は一単位9条と思われる。陶磁器は少なかったが、青緑釉土瓶や地方窯系の柿釉甕が認められる。

第217号土壇は、区画中央部のやや北側に位置し、長軸2.30mの隅丸長方形を呈する。第455～456図395～413に出土した陶磁器を示す。396は

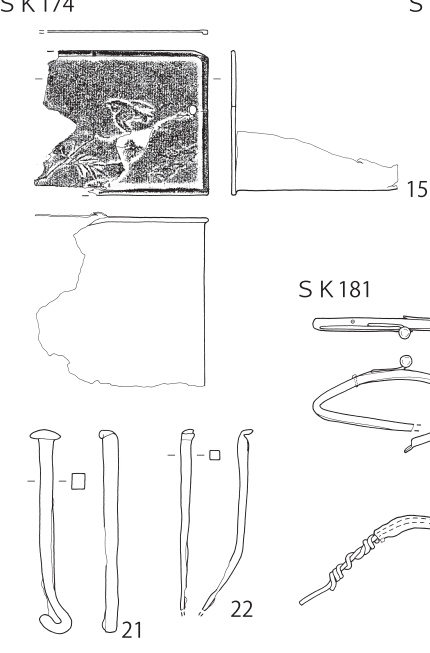
SK 164



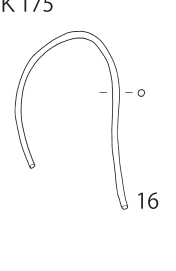
SK 169



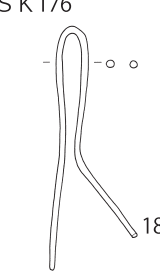
SK 174



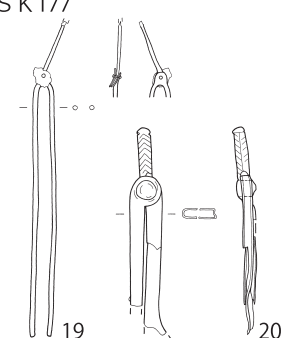
SK 175



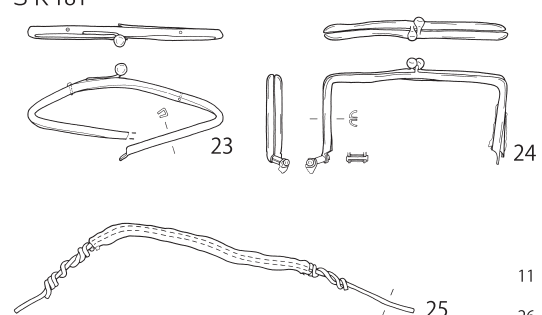
SK 176



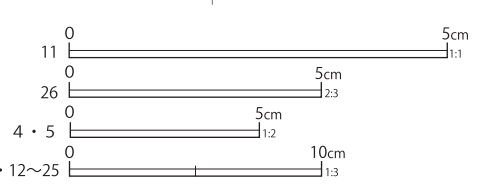
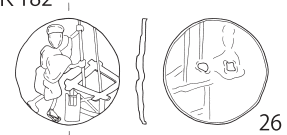
SK 177



SK 181

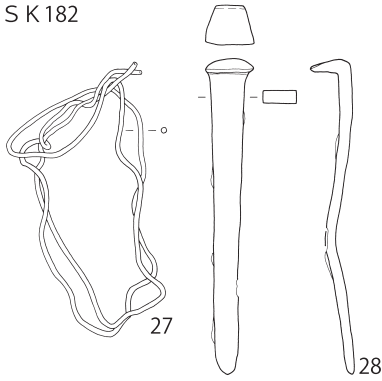


SK 182

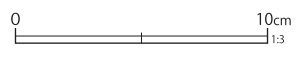
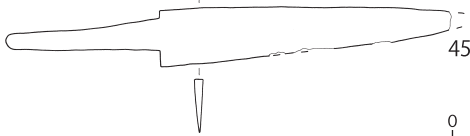
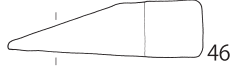
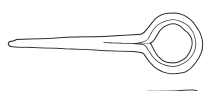
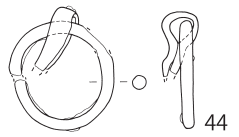
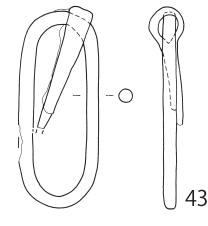
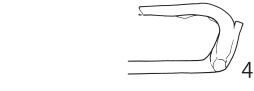
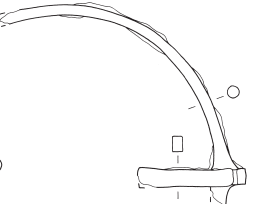
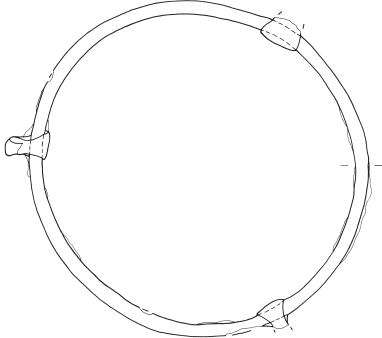
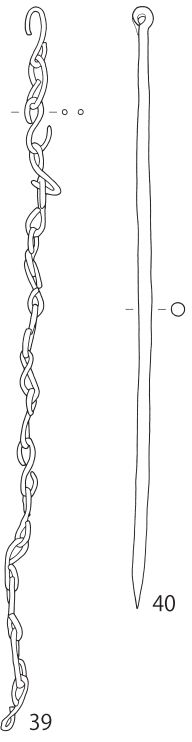
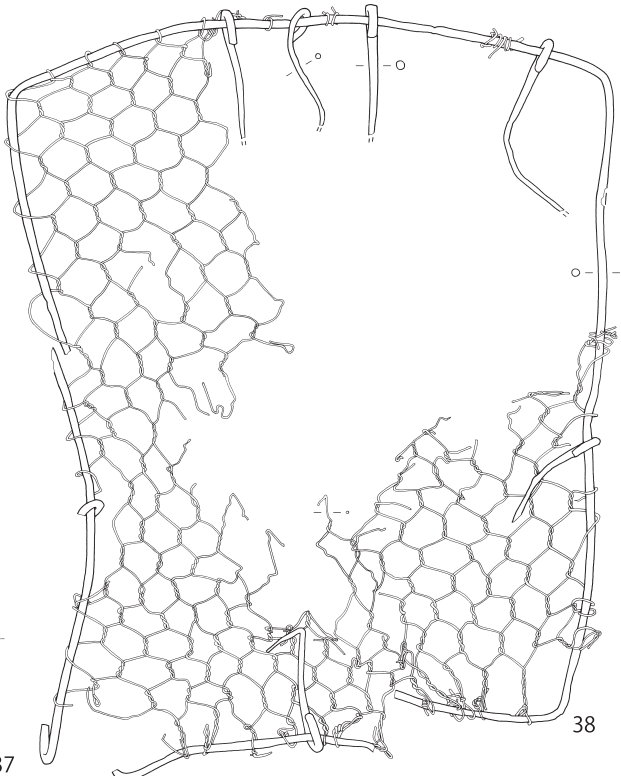
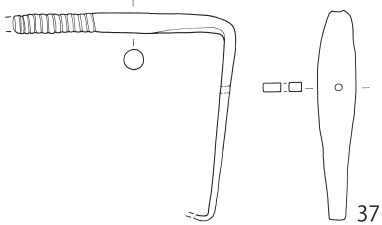
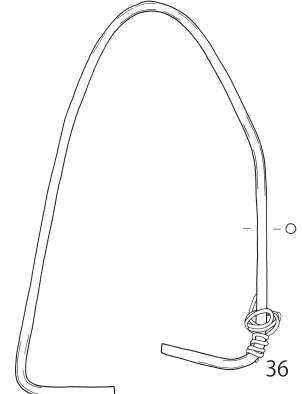
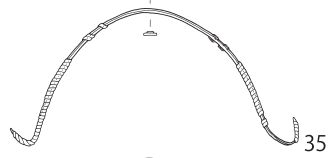
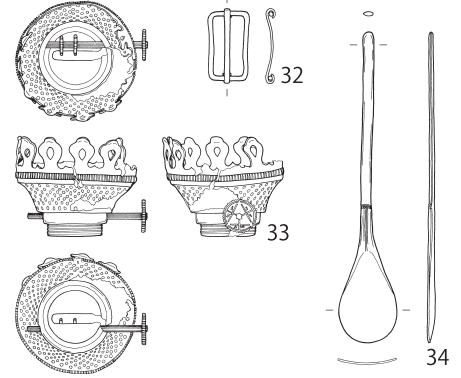


第 470 図 第 5 区画の土壇出土遺物 (52)

SK 182

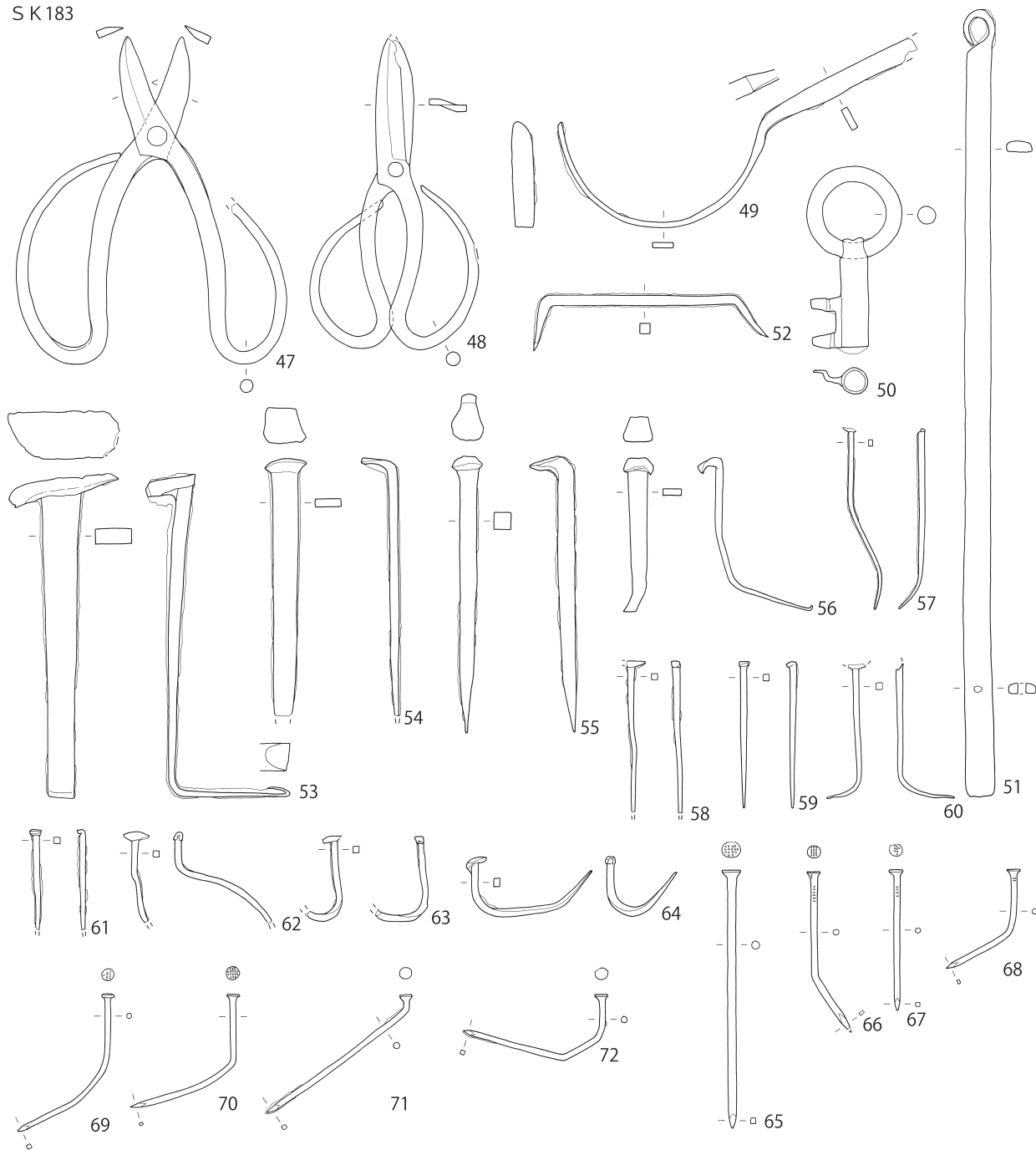


SK 183

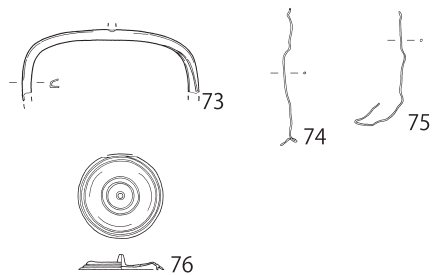


第 471 図 第 5 区画の土壌出土遺物 (53)

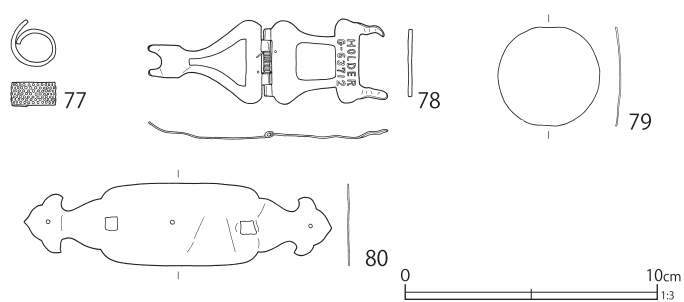
S K 183



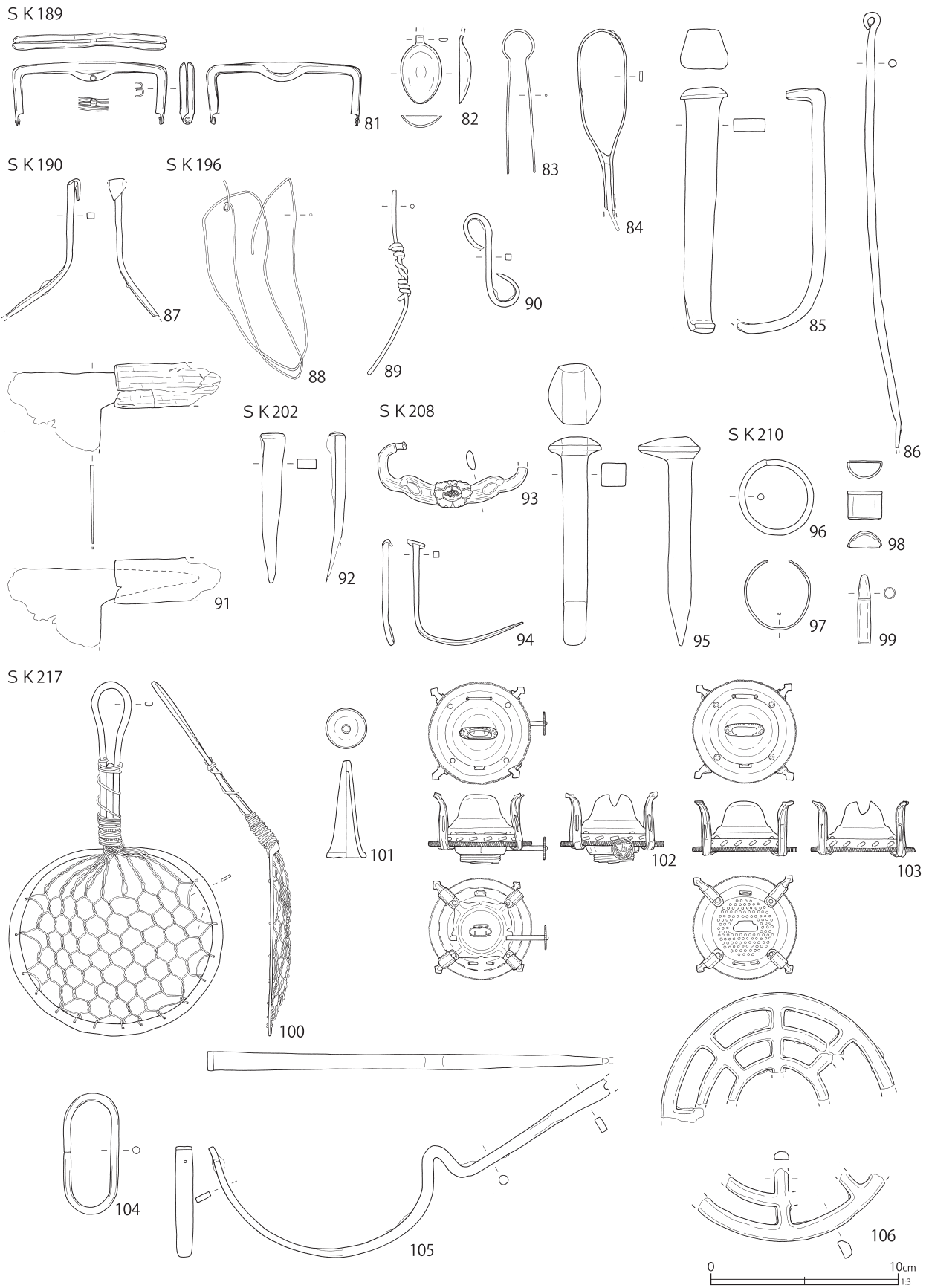
S K 186



S K 188

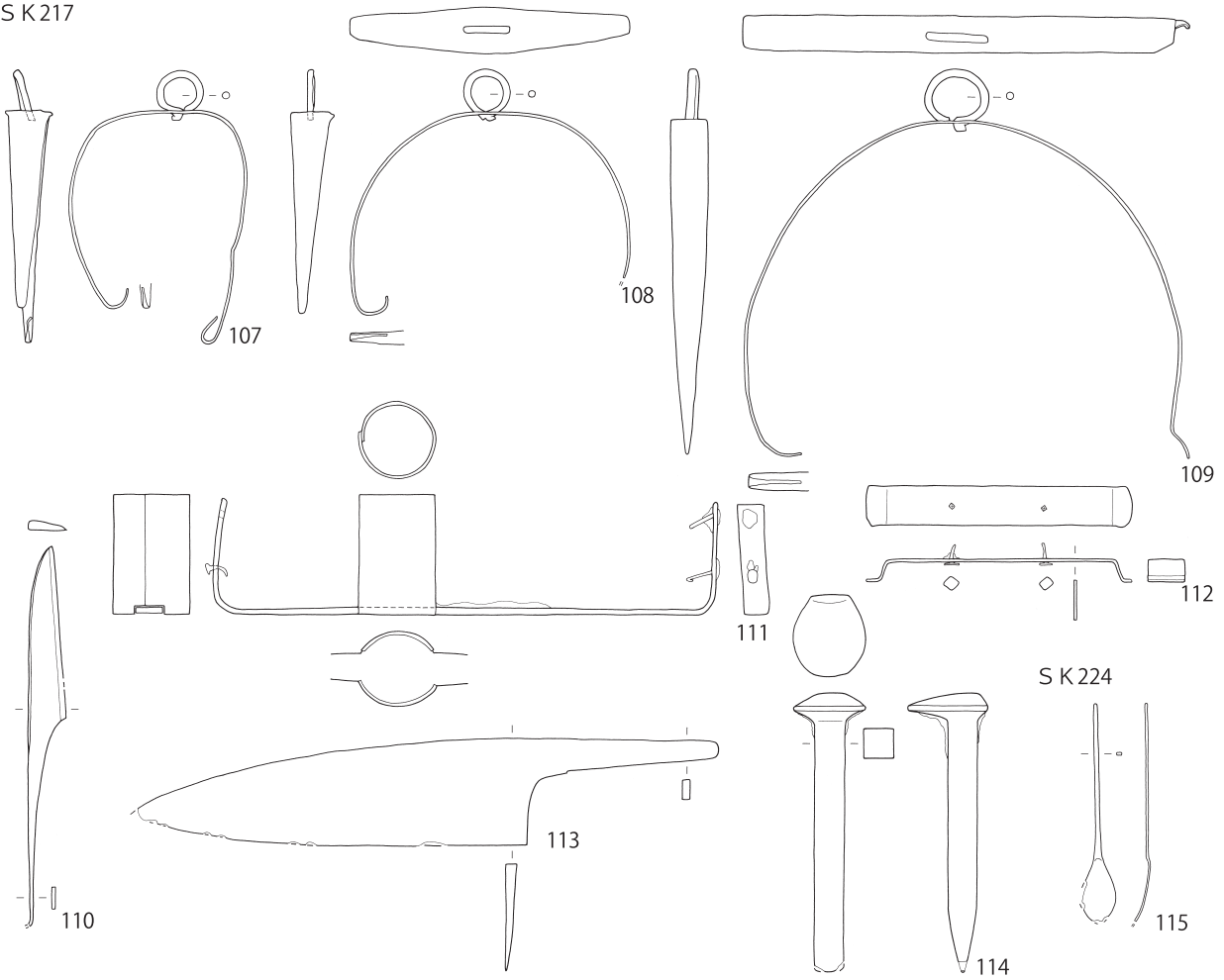


第 472 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (54)

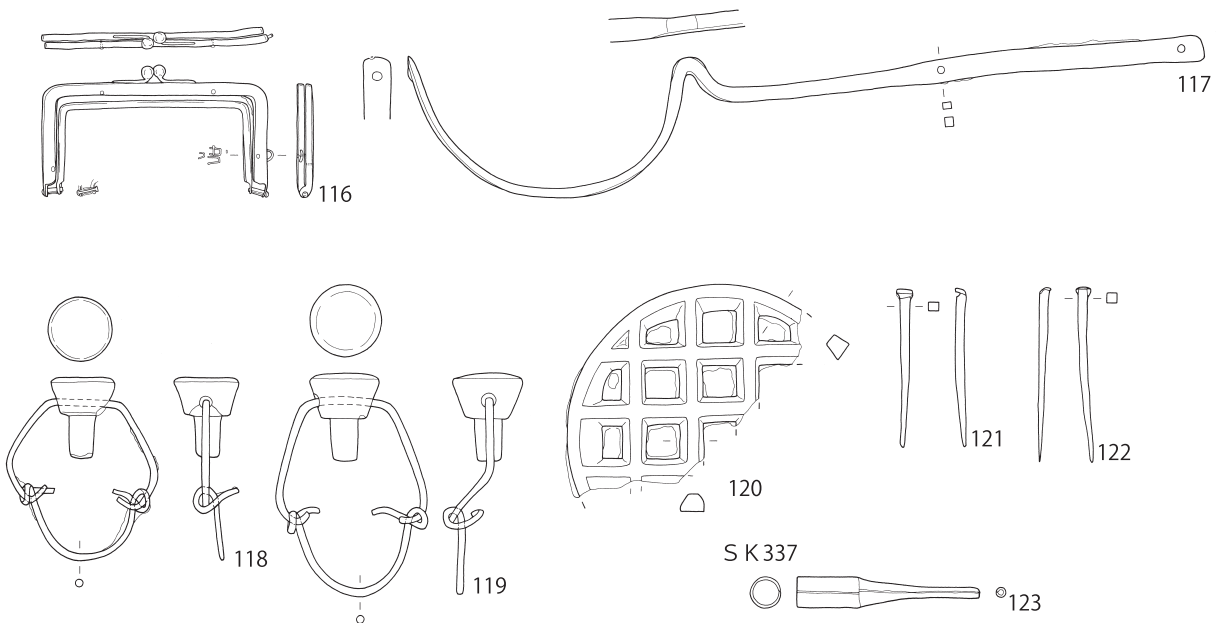


第473図 第5区画の土壌出土遺物 (55)

SK217



SK252



0 10cm
1:3

第 474 図 第 5 区画の土壙出土遺物 (56)

第204表 第5区画の土壌出土遺物観察表(5)(第470~474図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	掛金具	縦6.75 横4.9 重さ21.8	SK164	楕円形の環金具に円環を介してS字状掛具(両端鳥頭)が垂下する	278-2
2	銅製品	不明	長さ5.4 幅0.8 厚さ0.1 重さ1.2	SK164	錠の掛具か	
3	銅製品	不明	長さ9.5 幅1.6 厚さ0.1 重さ18.3	SK164	中空	
4	銅製品	トイガン	長さ[9.2] 高さ5.0 幅1.1 銃身径0.55 重さ36.1	SK164	銃口欠損 表「SUITSU」裏「MADE IN JAPAN」	277-4
5	銅製品	トイガン	長さ[5.6] 高さ[3.8] 幅1.0 重さ26.5	SK164	銃身・銃把欠損 表「SUITSU」裏「MADE IN JAPAN」	277-4
6	鉄製品	錠	長さ14.0 幅0.9 厚さ0.9 重さ59.3	SK164		
7	銅・鉄製品	竿秤	長さ8.9 径1.5 厚さ0.1 重さ47.8	SK169	取緒金具2は鉄製	277-1
8	鉄製品	不明	縦[16.8] 横[9.7] 厚さ0.5 重さ66.8	SK169	3本の鉄棒を針金で連結	
9	鉄製品	不明	縦[10.1] 横[7.1] 厚さ0.5 重さ28.8	SK169	2本の鉄棒を針金で連結	
10	鉄製品	鍋	縦[2.3] 横[5.2] 厚さ0.6 重さ18.3	SK169		
11	金属製品	ペン先	長さ2.8 幅0.7 厚さ0.05 重さ0.2	SK173	材質不明 刻印「WARRANTED SPECIAL IDEALPEN (4) HARDST TRIDI U N」	
12	銅製品	がま口	縦[3.1] 横8.2 厚さ0.07 重さ3.0	SK173	口金の片方 玉欠失	
13	銅製品	針金	縦4.5 横6.4 厚さ0.1 重さ4.4	SK173		
14	銅・鉄製品	不明	縦[4.7] 横[6.9] 厚さ0.3 重さ10.4	SK173	鉄製金具に銅線がからまる	
15	銅製品	引出し	縦5.7 横[6.9] 奥行[6.6] 厚さ0.05 重さ48.1	SK174	笹に雀	
16	銅製品	不明	縦7.0 横4.1 厚さ0.3 重さ6.3	SK175		
17	鉄製品	釘	長さ9.7 幅0.3 厚さ0.3 重さ5.4	SK175	洋釘 頭方形 刻みあり	
18	銅製品	簪か	長さ9.6 幅1.3 厚さ0.3 重さ8.5	SK176		
19	銅製品	簪	長さ[12.5] 幅0.8 厚さ0.15 重さ3.1	SK177	耳かき・飾り欠失	274-1
20	銅・鉄製品	コンパス	長さ[8.2] 幅1.3 厚さ0.4 重さ7.5	SK177	持ち手は銅製で革?を巻く	
21	鉄製品	釘	長さ8.0 幅0.5 厚さ0.6 重さ12.1	SK177		
22	鉄製品	釘	長さ[7.1] 幅0.4 厚さ0.4 重さ3.1	SK177		
23	銅製品	がま口	縦[3.8] 横7.7 厚さ0.07 重さ6.9	SK181	口金の片方 変形	274-2
24	銅製品	がま口	縦[4.5] 横[8.0] 厚さ0.08 重さ7.6	SK181	口金	274-2
25	銅製品	把手	長さ15.9 高さ3.5 厚さ0.15 重さ8.2	SK181	銅芯に布巻き	
26	銅製品	飾金具	径3.1 厚さ0.1 重さ5.0	SK182	釣瓶井戸	279-1
27	銅製品	針金	縦10.9 横6.3 厚さ0.2 重さ15.8	SK182		
28	鉄製品	釘	長さ12.5 幅1.3 厚さ0.5 重さ31.2	SK182		
29	鉄製品	釘	長さ[9.4] 幅0.5 厚さ0.4 重さ5.1	SK182		
30	鉄製品	環釘	長さ[5.6] 幅0.2 厚さ0.7 重さ7.6	SK182		
31	鉄製品	錠	長さ12.1 幅0.7 厚さ0.7 重さ32.8	SK182		
32	銅製品	革留金具	縦2.9 横1.7 重さ2.1	SK183		
33	銅製品	オイルランプ	縦4.8 横5.2 高さ3.9 重さ11.7	SK183	口金	277-2
34	銅製品	匙	長さ12.3 幅2.3 厚さ0.05 重さ8.2	SK183		277-3
35	銅製品	把手	長さ11.4 高さ5.4 幅0.5 厚さ0.2 重さ3.8	SK183	籐?の芯に銅板を重ねて銅銭を巻く	274-2
36	鉄製品	把手	縦15.6 横10.5 厚さ0.4 重さ37.9	SK183		
37	鉄製品	把手	長さ[8.5] 高さ8.2 厚さ0.8 重さ43.4	SK183		
38	銅・鉄製品	金網	縦30.9 横24.3 厚さ0.1 重さ107.8	SK183	粹金鉄製	278-5
39	鉄製品	鎖	長さ28.6 幅0.8 厚さ0.2 重さ14.8	SK183	S字状16連	
40	鉄製品	火箸	長さ23.8 厚さ0.5 重さ28.5	SK183	箸頭環状	
41	鉄製品	五徳	高さ[3.0] 幅14.5 厚さ0.5 重さ53.5	SK183		
42	鉄製品	五徳	高さ2.7 幅[9.7] 厚さ0.5 重さ20.7	SK183		
43	鉄製品	吊金具	径7.8×3.2 縦8.0 厚さ0.5 重さ30.6	SK183		276-1
44	鉄製品	吊金具	径4.3×4.2 縦4.8 厚さ0.5 重さ14.5	SK183		276-1
45	鉄製品	刀子	長さ[17.7] 刃長[11.5] 刃幅2.1 背幅0.3 重さ38.8	SK183		275-2

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
46	鉄製品	鳶口	縦2.3 横7.7 厚さ0.7 重さ51.2	SK183		
47	鉄製品	鋏	長さ15.5 刃幅1.3 背幅0.4 重さ162.8	SK183	植木鋏	276-2
48	鉄製品	鋏	長さ[14.7] 刃幅1.3 背幅0.3 重さ100.2	SK183	植木鋏	276-2
49	鉄製品	雨樋受け 金具	長さ[17.0] 幅1.0 厚さ0.3 重さ28.8	SK183		
50	鉄製品	鍵	長さ8.5 重さ56.2	SK183		
51	鉄製品	不明	長さ37.4 幅1.3 厚さ0.6 重さ144.3	SK183	端部環状 孔1あり	
52	鉄製品	錠	長さ11.2 幅0.5 厚さ0.5 重さ20.0	SK183		
53	鉄製品	釘	長さ[15.3] 幅1.7 厚さ0.7 重さ134.1	SK183		
54	鉄製品	釘	長さ[12.2] 幅1.2 厚さ0.4 重さ45.2	SK183		
55	鉄製品	釘	長さ13.1 幅0.8 厚さ0.8 重さ50.7	SK183		
56	鉄製品	釘	長さ[7.3] 幅0.9 厚さ0.3 重さ18.3	SK183		
57	鉄製品	釘	長さ[8.6] 幅0.2 厚さ0.3 重さ4.1	SK183		
58	鉄製品	釘	長さ[7.2] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.1	SK183		
59	鉄製品	釘	長さ6.9 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.2	SK183		
60	鉄製品	釘	長さ[6.3] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.1	SK183		
61	鉄製品	釘	長さ[4.7] 幅0.3 厚さ0.3 重さ2.6	SK183		
62	鉄製品	釘	長さ[4.3] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.5	SK183		
63	鉄製品	釘	長さ[4.0] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.3	SK183		
64	鉄製品	釘	長さ[2.8] 幅0.3 厚さ0.4 重さ4.0	SK183		
65	鉄製品	釘	長さ12.2 幅0.4 厚さ0.4 重さ13.7	SK183	洋釘 刻みあり	
66	鉄製品	釘	長さ[7.4] 幅0.3 厚さ0.3 重さ5.6	SK183	洋釘 刻みあり	
67	鉄製品	釘	長さ6.6 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.3	SK183	洋釘 刻みあり	
68	鉄製品	釘	長さ4.7 幅0.3 厚さ0.3 重さ2.2	SK183	洋釘 刻みあり	
69	鉄製品	釘	長さ6.5 幅0.25 厚さ0.25 重さ3.5	SK183	洋釘 刻みあり	
70	鉄製品	釘	長さ5.3 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.3	SK183	洋釘 刻みあり	
71	鉄製品	釘	長さ5.6 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.7	SK183	洋釘	
72	鉄製品	釘	長さ3.1 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.7	SK183	洋釘	
73	銅製品	がま口	縦[2.8] 横7.0 厚さ0.1 重さ2.6	SK186	口金の片方 丸欠失	
74	銅製品	針金	長さ5.4 厚さ0.06 重さ0.2	SK186		
75	銅製品	針金	縦4.5 横2.0 厚さ0.06 重さ0.1	SK186		
76	銅製品	蓋	径3.3 高さ0.6 厚さ0.1 重さ5.9	SK186		
77	銅製品	指貫	径1.8 高さ0.9 厚さ0.15 重さ4.8	SK188		
78	銅製品	紙挟み	縦9.5 横3.3 厚さ0.07 重さ7.8	SK188	HOLDER G-63712 ねじりコイルバネ式	
79	銅製品	不明	縦3.8 横4.0 厚さ0.05 重さ3.7	SK188	換引手の一部か	
80	銅製品	飾金具	縦3.2 横12.2 厚さ0.05 重さ11.8	SK188		
81	銅製品	がま口	縦3.3 横8.2 厚さ0.06 重さ10.3	SK189	口金 丸のないタイプ	274-2
82	銅製品	スプーン	長さ[3.6] 幅2.1 厚さ0.1 重さ5.5	SK189	つぼ 柄欠損	
83	鉄製品	不明	縦7.7 横2.8 厚さ0.1 重さ1.2	SK189	ヘアピン状	
84	鉄製品	不明	縦[10.7] 横2.5 厚さ0.1 重さ11.2	SK189		
85	鉄製品	釘	長さ[13.5] 幅1.5 厚さ0.7 重さ97.3	SK189		
86	鉄製品	火箸	長さ[23.2] 厚さ0.4 重さ22.4	SK189	箸頭環状	
87	鉄製品	釘	長さ[7.9] 幅0.4 厚さ0.3 重さ5.2	SK190		
88	銅製品	針金	縦10.7 横5.6 厚さ0.1 重さ4.7	SK196		
89	銅製品	針金	縦9.9 横2.3 厚さ0.2 重さ6.0	SK196		
90	鉄製品	不明	縦5.0 横3.0 厚さ0.3 重さ4.7	SK196		
91	鉄製品	包丁	長さ[11.3] 刃長[4.9] 刃幅[4.2] 背幅0.2 重さ22.4	SK196	木柄付き	
92	鉄製品	釘	長さ[8.0] 幅1.0 厚さ0.5 重さ15.2	SK202		
93	鉛製品	引出しの 把手	縦3.5 横[8.0] 厚さ0.4 重さ26.2	SK208		274-2
94	鉄製品	釘	長さ5.6 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.6	SK208		
95	鉄製品	釘	長さ11.1 幅1.3 厚さ1.2 重さ138.5	SK208		
96	銅製品	環金具	径4.0 厚さ0.3 重さ7.0	SK210		
97	銅製品	不明	径3.7×3.5 厚さ0.02 重さ0.8	SK210		
98	銅製品	不明	縦1.5 横1.8 厚さ0.1 重さ3.9	SK210		

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
99	銅製品	キャップ	縦3.7 横0.7 厚さ0.02 重さ0.6	SK210	鉛筆のキャップか	
100	銅製品	口すくい	縦18.9 横11.5 高さ7.5 重さ52.0	SK217		278-6
101	鉛製品か	不明	口径2.1 高さ5.2 重さ23.3	SK217		
102	銅製品	オイルランプ	縦5.5 横6.4 高さ3.8 重さ20.3	SK217	口金	277-2
103	銅製品	オイルランプ	縦5.6 横5.6 高さ2.9 重さ11.5	SK217	口金	
104	鉄製品	環金具	径6.4×2.9 厚さ0.4 重さ12.6	SK217		
105	鉄製品	雨樋受け金具	長さ[21.4] 幅0.8 厚さ0.4 重さ61.1	SK217		
106	鉄製品	火格子	径(13.0) 厚さ0.5 重さ83.0	SK217	接合しないが同一個体	
107	鉄製品	提灯金具	縦1.8 横7.1 高さ10.9 厚さ0.1 重さ18.6	SK217	把手 変形	
108	鉄製品	提灯金具	縦1.8 横11.2 高さ9.8 厚さ0.1 重さ17.5	SK217	把手	274-2
109	鉄製品	提灯金具	縦1.5 横17.9 高さ15.6 厚さ0.1 重さ34.5	SK217	把手	
110	鉄製品	握鋏	長さ[15.1] 刃幅1.5 背幅0.4 重さ22.6	SK217		
111	鉄製品	提灯金具か	横20.5 高さ4.8 幅1.0 厚さ0.3 径3.1 重さ81.3	SK217	台部か 釘3 残存	
112	鉄製品	提灯金具	縦1.5 横10.6 高さ1.6 厚さ0.1 重さ11.7	SK217	脚台 釘2 残存	
113	鉄製品	包丁	長さ[23.2] 刃長[15.6] 刃幅4.3 背幅0.5 重さ107.3	SK217		274-1
114	鉄製品	釘	長さ11.1 幅1.2 厚さ1.2 重さ140.1	SK217		
115	銅製品	匙	長さ[8.7] 幅1.3 厚さ0.05 重さ1.6	SK224		277-3
116	銅製品	がま口	縦5.2 横9.2 厚さ0.07 重さ24.6	SK252	口金 内部の仕切り金あり	274-2
117	鉄製品	雨樋受け金具	長さ31.5 幅1.0 厚さ0.3 重さ74.1	SK252		276-2
118	磁器・鉄製品	栓	縦7.3 横6.0 厚さ0.3 重さ25.7	SK252		274-2
119	磁器・鉄製品	栓	縦8.8 横6.0 厚さ0.3 重さ30.6	SK252		
120	鉄製品	火格子	縦[8.9] 横[9.4] 厚さ0.7 重さ121.8	SK252		278-3
121	鉄製品	釘	長さ6.2 幅0.4 厚さ0.4 重さ3.4	SK252		
122	鉄製品	釘	長さ6.9 幅0.4 厚さ0.4 重さ3.3	SK252		
123	銅製品	煙管	長さ7.2 小口径1.2 口付径0.4 重さ7.9	SK337	吸口	273-1

瀬戸美濃系磁器の端反碗で、茶色の単色釉を全体に施す。内面の端反部分の稜は強い。397・398は瀬戸美濃系磁器の坏で、高台内に「九谷」の銘を有す。399は瀬戸美濃系磁器の小型の坏で、外面に花文や蝶文などが銅版転写で染付される。第235号土壇（第9区画・次年度以降に報告予定）の遺物と同サイズ・形態で「紅清」銘を有すものがあるので、本資料も紅坏とみられる。

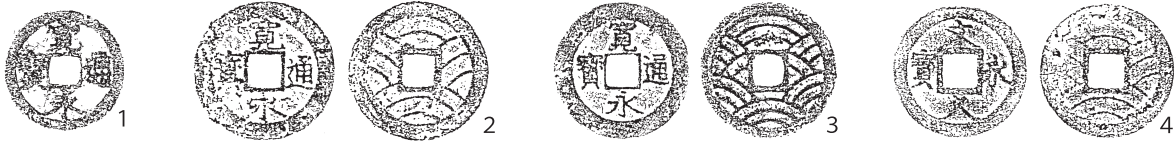
401は汽車土瓶である。類例から瀬戸・古藤製陶所製と考えられる（辻本2011）。406は施釉土器の羽釜である。内面から外面上位を施釉、羽部以下は露胎で回転ケズリで仕上げる。この部分には煤が著しく多く付着する。胎土には微細な雲母を多く含む。409は瓦質土器の竈鏝で、第210号土壇出土のものと接合した。第210号土壇は隣接しているが、直接の重複関係は認められない。破

損部に接近して、二次的な刻みを上面～側面に入れている部分がある。切断を意図した二次加工と考えられる。上面に刻印（「○○」）がある。

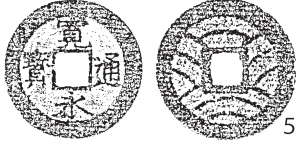
第473～475図100～114は金属製品である。このうち100は口すくいと考えられる。口すくいは「座繰などで糸を取る際に、口立箒で煮繭の糸口を探し出し、それをすくい取る用具」とされる（日本民具学会編1997）。ただし、栗橋宿で養蚕をしていたかどうかは、この例だけでは判断できない。107～109は提灯の提げ金具、111は提灯の台座につけた金具と思われる。112も提灯の台座であろうか。第469図31は骨製品で鹿角を切断、穿孔する。

第224号土壇は西側調査区際で検出され、大部分は調査区外とみられる。南北長は3.25m以上である。第457図414～422に出土した陶磁器を

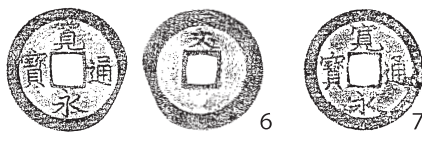
SK164



SK165



SK183



SK186



SK189



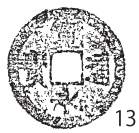
SK190



SK212



SK217



SK253



SK314



第 475 図 第 5 区画の土壇出土遺物 (57)

第 205 表 第 5 区画の土壇出土遺物観察表 (6) (第 475 図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	銭貨	径 24.3 厚さ 1.1 重さ 3.2	SK164	寛永通寶 (新)	279-5
2	鉄製品	銭貨	径 28.2 厚さ 1.3 重さ 4.1	SK164	寛永通寶 (新) 11 波	
3	鉄製品	銭貨	径 27.6 厚さ 1.3 重さ 4.4	SK164	寛永通寶 (新) 21 波	
4	銅製品	銭貨	径 26.7 厚さ 0.9 重さ 3.2	SK164	文久永寶	
5	鉄製品	銭貨	径 28.1 厚さ 1.2 重さ 4.4	SK165	寛永通寶 (新) 11 波	
6	銅製品	銭貨	径 24.9 厚さ 1.1 重さ 3.4	SK183	寛永通寶 (新) 背文	
7	銅製品	銭貨	径 24.3 厚さ 1.2 重さ 3.1	SK183	寛永通寶 (新)	
8	鉄製品	銭貨	径 24.0 厚さ 1.7 重さ 3.0	SK183	寛永通寶 (新)	
9	銅製品	銭貨	径 22.8 厚さ 1.2 重さ 3.3	SK186	桐一銭銅貨 大正七年	
10	銅製品	銭貨	径 27.6 厚さ 1.5 重さ 6.7	SK189	龍一銭銅貨 明治十二年	
11	銅製品	銭貨	径 27.6 厚さ 1.4 重さ 6.5	SK190	龍一銭銅貨 明治十八年	
12	銅製品	銭貨	径 27.9 厚さ 1.2 重さ 4.4	SK212	寛永通寶 (新) 11 波	
13	銅製品	銭貨	径 23.8 厚さ 1.1 重さ 3.0	SK217	寛永通寶 (古)	
14	銅製品	銭貨	径 22.4 厚さ 0.8 重さ 1.8	SK253	寛永通寶 (新)	
15	銅製品	御宝銭	縦 4.1 横 2.5 厚さ 0.2 重さ 8.4	SK253	江ノ嶋大神	
16	銅製品	銭貨	径 23.1 厚さ 1.4 重さ 2.4	SK314	寛永通寶 (新)	

第 206 表 第 5 区画の土壌出土遺物観察表 (7) (第 476 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	硯	[6.5]	[5.5]	-	56.3	石灰岩	SK164	器高 1.3 cm 朱墨・墨付着 (内面)	282-7
2	石製品	硯	12.4	6.5	-	276.7	粘板岩	SK164	器高 1.8 cm 内面墨付着 表面刻書 刃物傷か	282-8
3	石製品	硯	12.1	5.2	-	266.8	粘板岩	SK169	器高 1.2 cm 内面墨付着 表面刻書	282-9
4	石製品	石板	[15.0]	[10.0]	0.4	115.0	粘板岩	SK181	両面罫線あり 表面刻書 側面工具痕	282-10
5	石製品	砥石	[14.9]	5.2	2.3	330.1	流紋岩	SK183	ノコギリ痕 幅広工具痕 裏刃物痕 砥面 3	282-11
6	石製品	硯	15.3	7.5	-	322.1	粘板岩	SK183	器高 1.4 cm 内面墨付着 淵欠失部内底面二次加工 裏面刻書	282-12
7	石製品	硯	12.0	6.1	-	205.8	粘板岩	SK183	器高 1.7 cm 内外面墨付着 裏面刻書	282-13
8	石製品	砥石	[10.0]	5.5	5.0	478.2	砂岩	SK189	未使用面に刻み 砥面 3	
9	石製品	硯	13.7	6.1	-	265.1	粘板岩	SK189	器高 1.7 cm 側面黒色塗付物 側面・裏面刻書	282-14
10	石製品	石筆	[4.8]	径 0.5		2.2	滑石	SK210	黄色味帯びる	284-2
11	石製品	石筆	3.4	径 0.5		1.8	滑石	SK210		284-2
12	石製品	石筆	4.7	径 0.5		2.4	滑石	SK210		284-2
13	石製品	石板	[11.2]	22.6	0.3	142.3	粘板岩	SK224	両面罫線あり・刻書	282-15
14	石製品	石板	15.2	[7.7]	0.4	88.4	粘板岩	SK224	両面罫線あり・刻書 側面工具痕	283-1
15	石製品	石筆	3.9	径 0.5		2.7	滑石	SK226	白色不透明	284-2
16	石製品	硯	[13.1]	7.5	-	259.4	凝灰岩	SK252	器高 2.0 cm 内面墨付着 中央部凹み 裏面刻書「包吉」	283-3
17	石製品	石筆	3.6	径 0.6		1.3	滑石	SK252	白色不透明	284-2
18	石製品	硯	[9.4]	6.1	-	62.3	粘板岩	SK252	器高 0.6 cm	

示す。このうち、414は瀬戸美濃系陶器の徳利で鉄絵で、「新中屋」の文字と、店印と見られる模様を描く。415は白色土器質の陶器で、京都産の涼炉である。420は瓦質土器の竈鏝で、上面に「㊦岩崎」の刻印を3つ連ねる。

第252号土壌は区画中央部よりやや南東に位置し、長軸2.25mの隅丸長方形を呈する。第458～460図424～454に出土した陶磁器を示す。このうち427は、古河市の増田屋・西村辨蔵家に関わる酒杯である。第188号土壌の解説も参照されたい。434は外面に「いなりや」銘を有す「すず徳利」で、鉄漿壺に転用されている。

第474図116～122は金属製品である。116は「がま口」の口金で、内部を2つに仕切るための金具がつく。固定するための金具がついた磁器製の栓である。117は雨樋を受けるために軒下に固定した金具で完形である。装着部分と受け部は幅広の面が縦から横に90度変わる。

第253号土壌は、区画中央の北東に位置し、長

軸1.35mの不整形を呈する。

第461図455～460に出土した陶磁器を示す。455は高台内に「東洋軒平八製」銘を有す磁器碗である。458は肥前系磁器で小型の坏である。高台は非常に小さい。紅坏であろうか。

第475図15は江ノ嶋大神の御宝銭である。モチーフは、江島神社（藤沢市江の島）の祭神である弁財天女であろう。鏡と香炉を手に行している。

第314号土壌は、区画のほぼ中央に位置するが、多くの土壌と重複して平面形は不明瞭である。長軸2.25mほどである。第461・462図461～476に出土した陶磁器を示す。

第337号土壌は区画東部で検出された南北に長い土壌で、長軸3.70mの不整形を呈する。第462図477～483に出土した陶磁器を示す。このうち、482は瀬戸美濃系陶器の鉄釉の耳付き水注で、17世紀に遡るものと考えられる。非掲載の陶磁器には糠白釉を掛けた陶器土瓶があり、本跡は栗橋8期頃に帰属する可能性が高い。